



JAEA-Review

2019-016

DOI:10.11484/jaea-review-2019-016

**アニュアルレポート「原子力機構 2018」
環境報告関連データのまとめ**

Environmental Performance Data in
Annual Report "Japan Atomic Energy Agency 2018"

安全・環境課

Safety and Environmental Management Section

安全・核セキュリティ統括部

Safety and Nuclear Security Administration Department

December 2019

Japan Atomic Energy Agency

日本原子力研究開発機構

JAEA-Review

本レポートは国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が不定期に発行する成果報告書です。
本レポートの入手並びに著作権利用に関するお問い合わせは、下記あてにお問い合わせ下さい。
なお、本レポートの全文は日本原子力研究開発機構ホームページ (<https://www.jaea.go.jp>)
より発信されています。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 研究連携成果展開部 研究成果管理課
〒319-1195 茨城県那珂郡東海村大字白方2番地4
電話 029-282-6387, Fax 029-282-5920, E-mail:ird-support@jaea.go.jp

This report is issued irregularly by Japan Atomic Energy Agency.
Inquiries about availability and/or copyright of this report should be addressed to
Institutional Repository Section,
Intellectual Resources Management and R&D Collaboration Department,
Japan Atomic Energy Agency.
2-4 Shirakata, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken 319-1195 Japan
Tel +81-29-282-6387, Fax +81-29-282-5920, E-mail:ird-support@jaea.go.jp

© Japan Atomic Energy Agency, 2019

アニュアルレポート「原子力機構 2018」環境報告関連データのまとめ

日本原子力研究開発機構
安全・核セキュリティ統括部
安全・環境課*

(2019年8月16日受理)

日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）は、2017年度の原子力機構の活動を総合的に報告するレポートであるアニュアルレポート「原子力機構 2018」を作成した。その中で2017年度の環境配慮活動について取りまとめた結果を掲載しており、この環境配慮活動報告の部分は「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づき2018年9月にホームページで公表した。

本報告書は、環境報告の信頼性を高めるためにその情報の検証可能性を確保し、また、原子力機構における環境配慮活動の取組を推進する手段として、アニュアルレポート「原子力機構 2018」に掲載した環境報告の部分、その追加情報に記載した環境関連情報の根拠となる2017年度の環境報告関連データ及び他のさまざまな環境配慮活動の関連情報を取りまとめたものである。

Environmental Performance Data in
Annual Report “Japan Atomic Energy Agency 2018”

Safety and Environmental Management Section*

Safety and Nuclear Security Administration Department
Japan Atomic Energy Agency
Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken

(Received August 16, 2019)

We have prepared Annual Report “Japan Atomic Energy Agency 2018” as a means for comprehensively reporting on the activities of the Japan Atomic Energy Agency (JAEA). In September, 2018 Japan Atomic Energy Agency published results of environmental activity as a part of Annual Report “Japan Atomic Energy Agency 2018” concerning the activities of FY 2017 under “Law Concerning the Promotion of Business Activities with Environmental Consideration by Specified Corporations, etc., by Facilitating Access to Environmental Information, and Other Measures”.

This report has been edited to show detailed environmental performance data in FY 2017 as the base of Annual Report “Japan Atomic Energy Agency 2018” and its additional informations. This report would not only ensure traceability of the data in order to enhance the reliability of the environmental report, but also make useful measures for promotion of environment-conscious activities in JAEA.

Keywords : Environmental Report, Environmental Performance, Environment-conscious Activities

※ (Eds.) : (Environment-conscious Activities Management Team) Yurina SUZUKI, Takumi SUGA, Sadayuki SATO and Katsuta KANAI

目 次

緒言 1

1. 環境配慮活動の取組に関する詳細データ 3

2. 環境報告の詳細データ 37

3. 電気事業者別の CO₂ 排出係数(2016 年度実績) (2017 年 12 月 21 日環境省公表) 191

Contents

Introduction1

1. Detailed Data about Environment-conscious Activities3

2. Detailed Data about Environmental Report 37

3. Carbon Dioxide Emission Coefficients for Each Power Companies
(FY 2016 Data) (Released by Ministry of the Environment on December 21, 2017)191

報告対象拠点等の名称とその略称（2017年度）

（ ）内は本報告書中での略称を示す。

【国立研究開発法人日本原子力研究開発機構】

- ◎幌延深地層研究センター（幌延）
- ◎青森研究開発センター（青森）
 - むつ地区：（むつ）
- ◎福島県内にある地区を総称した呼び名（福島拠点）
 - いわき事務所：（いわき）
 - 楢葉遠隔技術開発センター：（楢葉）
 - 福島環境安全センター：（三春）^{注1)}
 - 廃炉国際共同研究センター：（富岡）
 - 大熊分析・研究センター：（大熊）
- ◎主たる事務所（本部）
- ◎原子力科学研究所及び J-PARC センター（原科研(J-PARC を含む)）
 - 原子力科学研究所：（原科研）、J-PARC センター：（J-PARC）
- ◎核燃料サイクル工学研究所（サイクル研）
- ◎大洗研究開発センター（大洗）^{注2)}
- ◎原子力緊急時支援・研修センター（NEAT）
 - 茨城地区：（NEAT 茨城）、福井地区：（NEAT 福井）
- ◎東京事務所（東京）及びシステム計算科学センター（柏）（東京地区）
- ◎東濃地科学センター（東濃）
- ◎敦賀事業本部（敦賀）^{注3)}
- ◎高速増殖原型炉もんじゅ（もんじゅ）^{注3)}
- ◎原子炉廃止措置研究開発センター（ふげん）^{注3)}
- ◎もんじゅ運営計画・研究開発センター（も運研）^{注3)}
- ◎播磨事務所（関西播磨）^{注4)}
- ◎人形峠環境技術センター（人形）

【2016年4月より国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構へ移管された拠点】

- ◎青森研究開発センター（青森）
 - 六ヶ所地区：（六ヶ所）^{注5)}
- ◎那珂核融合研究所（那珂）^{注5)}
- ◎高崎量子応用研究所（高崎）^{注5)}
- ◎関西光科学研究所（関西研）
 - 木津地区：（関西木津）^{注5)}

注1) 2015年度までは福島と略称。

注2) 2018年4月1日付けで、大洗研究所と改称された。

注3) 2018年4月1日付けで、これらの拠点を対象に、次のとおり組織改編が行われた。

敦賀事業本部、敦賀廃止措置実証本部、高速増殖原型炉もんじゅ、新型転換炉原型炉ふげん、敦賀総合研究開発センター

- 注 4) 2016 年 4 月より国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（以下「量研機構」または「QST」という。）へ一部移管された。原子力機構組織は、播磨事務所と改称した。また、2019 年 4 月 1 日付けで、播磨事務所から播磨放射光 RI ラボラトリーと改称した。
- 注 5) 2016 年 4 月より量研機構へ移管された。

This is a blank page.

緒言

原子力機構では、事業運営に当たり環境への配慮を優先事項と位置付け、組織全体で環境配慮活動に取り組むため「環境配慮管理規程」を制定し、これに基づき各拠点・事務所で環境配慮活動を展開している。環境配慮活動の推進・チェック等を目的に安全・核セキュリティ統括担当理事を委員長とする「環境委員会」を設置している。理事長は毎年度、環境基本方針を定め、環境基本方針に基づき毎年度環境目標を設定し、年度計画を立案している。各拠点等（「報告対象拠点等の名称とその略称」を参照）においても、これに基づく環境目標と年度計画を立案し、積極的に取り組んでいる。各拠点等に環境配慮活動の担当課長を定め、この環境配慮活動担当課長からなる「環境配慮活動に係る担当課長会議」等を活用して計画的・組織的な環境配慮活動に取り組んでいる。

また省エネルギーや地球温暖化対策等に関する事項については、各拠点等のエネルギー管理員等から構成する「省エネ法・温対法対応専門会議」にて専門的に確認・取りまとめを行っている。

2018年度においては、原子力機構の2017年度の事業活動の総合的報告書としてアニュアルレポート「原子力機構 2018」を作成し、この中でまとめた環境配慮活動報告に関する部分を2018年9月に原子力機構ホームページ^{*}で公表した。

この環境報告部分については、ページ数の制約から結果の概要のみとなったため、追加情報もホームページで公開している。この作成にあたっては、環境配慮活動の一環と位置付け、各担当部署でのデータの入念な確認に加え、「環境配慮活動に係る担当課長会議」で原稿案を審議・検討し、「環境委員会」で総合的にチェックする体制とし、原子力機構を挙げて取り組んでいる。

「環境報告ガイドライン（2012年版）」（2012年4月、環境省）によると、環境報告は、「記載事項が対象となる事項を忠実に表現しているかどうか客観的に検証できなければ、利用者にとって環境報告を信頼できなくなるリスクが高まり、環境報告の有用性は著しく低下します。それを防ぐためには、記載事項について、前提条件、集計範囲、算定方法、原データ等の作成プロセスに関する情報を開示し、前提条件からの論理的な推論や再計算等によって、作成結果の妥当性を検証できるようにすることが必要です。」とされている。

この要求を含め、原子力機構における環境配慮活動の取組を推進する一助とするため、アニュアルレポート「原子力機構 2018」に掲載した環境報告の部分、その追加情報に記載した環境関連情報の根拠となる2017年度の環境報告関連データ及び他のさまざまな環境配慮活動の関連情報を取りまとめた。

なお、2016年4月から一部の拠点等が量研機構へ移管されたため、2016年度データから移管された拠点等のデータは含まれていないが、年度推移を示すデータ等の2015年度以前の年度データには移管された拠点等のデータが含まれている。

※詳細はこちらの原子力機構ホームページを参照。

https://www.jaea.go.jp/about_JAEA/environment/

This is a blank page.

1. 環境配慮活動の取組に関する詳細データ

表 リ ス ト

表 1-1-1	各拠点等でのエネルギーの使用に係る原単位算出の比較（2017 年度）	6
表 1-1-2	各拠点等での電気需要平準化評価原単位算出の比較（2017 年度）	7
表 1-1-3	エネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由と 過去 5 年間の原単位が年平均 1 %以上改善できなかった場合の理由 （2017 年度）	8
表 1-1-4	電気需要平準化評価原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由 （2017 年度）	9
表 1-1-5	総エネルギー投入量拠点別割合と年度推移（2017 年度）	10
表 1-1-6	電気使用量拠点別割合と年度推移（2017 年度）	11
表 1-1-7	化石エネルギー投入量拠点別割合と年度推移（2017 年度）	12
表 1-1-8	各拠点等のエネルギー消費原単位の年度推移	13
表 1-2-1	水資源投入量拠点別種類別割合と年度推移（2017 年度）	14
表 1-2-2	水資源投入量の年度推移	15
表 1-2-3	水資源増減の理由及び取組内容（2017 年度）	16
表 1-2-4	コピー用紙投入量の拠点別割合と年度推移（2017 年度）	17
表 1-3-1	廃棄物・再生利用物・有価物の排出量の年度推移	18
表 1-3-2	主要な PCB 廃棄物等（微量な PCB で汚染された物を含む）の 2017 年度末時点 保管量と 2017 年度までの処分済み累積実績量（2017 年度）	19
表 1-3-3	放射性廃棄物量（固体、気体、液体）の年度推移	20
表 1-4-1	総温室効果ガス排出量拠点別割合と年度推移（フロン排出抑制法に基づき集計 したフロン漏えい量を含む）（2017 年度）	21
表 1-4-2	エネルギー起源 CO ₂ 排出量拠点別内訳（2017 年度）	22
表 1-4-3	代替フロン等 4 ガスの拠点別割合と年推移（2017 年）	23
表 1-4-4	代替フロン等 4 ガス増減の理由及び取組内容（2017 年）	24
表 1-4-5	総温室効果ガス放出量の放出源別年度推移	25
表 1-4-6	拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量（2017 年度）	26
表 1-4-7	フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量拠点別割合と年度推移 （2017 年度）	27
表 1-4-8	拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量と漏えい理由、削減の取組 （2017 年度）	28

表 1-5	ISO14001 認証取得状況（2018 年 3 月末時点）	29
表 1-6	環境マネジメントシステム（EMS）の構築、運用状況（2017 年度）	29
表 1-7	環境に配慮したサプライチェーンマネジメントの状況（2017 年度）	29
表 1-8	清掃活動等のボランティア等への参加・貢献状況（2017 年度）	30
表 1-9	緑化・植林・植樹・花壇の整備等の取組（2017 年度）	32
表 1-10	環境に関する拠点等の独自の活動、地道な取組等（2017 年度）	33
表 1-11	2017 年度環境目標の結果と評価	34

注記)

※1 表中の数値は四捨五入による端数処理をして表記した。そのため、個々の数値を合算した数値と表記されている合計値とが一致しない場合がある。

表1-1-1 各拠点等でのエネルギーの使用に係る原単位算出の比較(2017年度)

番号	拠点名	エネルギーの使用に係る原単位の算出方法	エネルギーの使用量(原油換算kℓ) A=C	Cの構成割合 % D	エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値 E	エネルギーの使用に係る原単位 F=A/E	エネルギーの使用に係る前年度の原単位 G	エネルギーの使用に係る前年度の対前年度比(%) H=F/G*100	エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比の寄与度(%) I=D*H/100	備考
1	三春	エネルギー使用量/床面積	199	0.12	2,755	0.07223	0.05372	134.5	0.2	
	楢葉	エネルギー使用量/床面積	207	0.13	11,508	0.01799	0.01606	112.0	0.1	
	富岡	エネルギー使用量/床面積	46	0.03	2,115	0.02175				
	大熊	エネルギー使用量/床面積	25	0.02	4,785	0.005225				
	サイクル研	エネルギー使用量/床面積	37,141	23.15	395,429	0.09393	0.09581	98.0	22.7	
	人形	エネルギー使用量/床面積	3,341	2.08	72,267	0.04623	0.05168	89.5	1.9	
	ふげん	エネルギー使用量/床面積	6,102	3.80	42,820	0.1425	0.1388	102.7	3.9	
	むつ	エネルギー使用量/床面積	504	0.31	17,828	0.02825	0.04563	61.9	0.2	
	東濃	エネルギー使用量/床面積	353	0.22	6,505	0.05427	0.05809	93.4	0.2	
	幌延	エネルギー使用量/床面積	176	0.11	6,446	0.02730	0.02498	109.3	0.1	
	NEAT	エネルギー使用量/床面積	183	0.11	5,245	0.03489	0.03699	94.3	0.1	
	も連研	エネルギー使用量/床面積	476	0.30	9,565	0.04976	0.03826	130.1	0.4	
	関西福鹿	エネルギー使用量/床面積	83	0.05	1,086	0.07643	0.06136	124.6	0.1	
	小計	—	48,836	30.43	578,354	0.08444	0.08794	96.0	①	29.2
2	原科研(J-PARC含む)	エネルギー使用量/(床面積×係数) 基準原単位は、基準年度を2009年度、建家名を「NUCEF」とし、その生産数量等の単位は延床面積(m ²)とする。NUCEFの換算係数は基準となるため「1」とする。 ①エネルギー使用量が施設の運転/停止による影響が大で、運転状況によってエネルギー使用量が大きく変動する施設 → 生産数量等：運転時間(hr) ②エネルギー使用量が施設の運転状況による影響が比較的小さい施設またはエネルギー使用量が少ない施設 → 生産数量等：延床面積(m ²) ③生産する処理水量がエネルギー使用量に直接影響する施設 → 生産数量等：処理水量(m ³) ④計算機設備容量及び運転日数の変化が大きい計算機設備 → 生産数量等：計算機設備容量×運転日数	73,788	45.98	452,300	0.1631	0.1574	103.6	②	47.6
3	もんじゅ	エネルギー使用量/理論上のエネルギー使用量 理論上のエネルギー使用量を、「あるべき電力量kℓ(18,816)」と「あるべき軽油使用量kℓ(1,897)」の合計として、「20,713」とする。	20,685	12.89	20,440	1.012	1.007	100.5	③	13.0
4	大洗	エネルギー使用量/時間 基準年度(2004年)の常陽の原単位を「1」として、他施設の原単位との比を求め、この比に当該年度を生産数量を掛けて基準年度の常陽の生産数量(単位は時間)に換算する。換算した生産数量の合計を分母とする。	16,616	10.35	15,744	1.055	1.070	98.6	④	10.2
5	いわき	エネルギー使用量/床面積	27	0.02	1,248	0.02163	0.02163	100.0	0.0	いわき事務所と福島事務所を合わせて報告する。 ・エネルギー使用量内訳 いわき事務所：24kℓ 福島事務所：3kℓ → 合計 27kℓ ・敷地面積内訳 いわき事務所：136m ² 、福島事務所：112m ² → 合計 1,248m ²
	本部	エネルギー使用量/床面積	291	0.18	14,727	0.01976	0.01982	99.7	0.2	
	東京	エネルギー使用量/床面積	40	0.02	1,827	0.02189	0.02469	88.7	0.0	
	柏	エネルギー使用量/床面積	29	0.02	598	0.04849	0.05017	96.7	0.0	
	敦賀	エネルギー使用量/床面積	157	0.10	3,572	0.04395	0.04339	101.3	0.1	
	小計	—	544	0.34	21,972	0.02476	0.02488	99.5	⑤	0.3
合計	—	160,469	100.00	—	—	—	—	—	—	
事業者全体								Z=①+②+③+④+⑤	100.4	

表1-1-2 各拠点等での電気需要平準化評価原単位算出の比較(2017年度)

番号	拠点名	エネルギーの使用に係る原単位の算出方法	エネルギーの使用量(原油換算k _l) A	電気需要平準化時間帯の買電量(原油換算k _l) A'	C' = A + A'*(1.3 - 1.0)	Cの構成割合 % D	エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値 E	電気需要平準化評価原単位 F=C'/E	前年度の電気需要平準化評価原単位 G'	電気需要平準化評価原単位の対前年度比 H=F'/G'*100	エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比の寄与度 I=D*H'/100	備考	
1	三春	エネルギー使用量/床面積	199	125	237	0.12	2755	0.08584	0.06581	130.4	0.2		
	楢葉	エネルギー使用量/床面積	207	147	251	0.13	11,508	0.02182	0.01948	112.0	0.1		
	富岡	エネルギー使用量/床面積	46	29	55	0.03	2,115	0.02586					
	大熊	エネルギー使用量/床面積	25	25	33	0.02	4,785	0.006792					
	サイクル研	エネルギー使用量/床面積	37,141	8,825	39,789	23.15	395,429	0.1006	0.1027	97.9	22.7		
	人形	エネルギー使用量/床面積	3,341	921	3,617	2.08	72,267	0.05005	0.05563	90.0	1.9		
	ふげん	エネルギー使用量/床面積	6,102	2,325	6,800	3.80	42,820	0.1588	0.1545	102.8	3.9		
	むつ	エネルギー使用量/床面積	504	270	585	0.31	17,828	0.03279	0.05305	61.8	0.2		
	東濃	エネルギー使用量/床面積	353	210	416	0.22	6,505	0.06395	0.06801	94.0	0.2		
	幌延	エネルギー使用量/床面積	176	78	199	0.11	6,446	0.03093	0.02842	108.8	0.1		
	NEAT	エネルギー使用量/床面積	183	78	206	0.11	5,245	0.03935	0.04133	95.2	0.1		
	も運研	エネルギー使用量/床面積	476	149	521	0.30	9,565	0.05444	0.04319	126.0	0.4		
	関西播磨	エネルギー使用量/床面積	83	55	100	0.05	1,086	0.09162	0.07258	126.2	0.1		
小計	—	48,836	13,237	52,807	30.43	578,354	0.09131	0.09508	96.0	①	29.2		
2	原料研(J-PARC含む)	エネルギー使用量/(床面積×係数) 基準原単位は、基準年度を2009年度、建家名を「NUCEF」とし、その生産数量等の単位は延床面積(m ²)とする。NUCEFの換算係数は基準となるため「1」とする。 ①エネルギー使用量が施設の運転/停止による影響が大きく、運転状況によってエネルギー使用量が大きく変動する施設 → 生産数量等：運転時間(hr) ②エネルギー使用量が施設の運転状況による影響が比較的少ない施設またはエネルギー使用量が少ない施設 → 生産数量等：延床面積(m ²) ③生産する処理水量がエネルギー使用量に直接影響する施設 → 生産数量等：処理水量(m ³) ④計算機設備容量及び運転日数の変化が大きい計算機設備 → 生産数量等：計算機設備容量×運転日数	73,788	21,706	80,300	45.98	452,300	0.1775	0.1717	103.4	②	47.5	
3	もんじゅ	エネルギー使用量/理論上のエネルギー使用量 理論上のエネルギー使用量を、「あるべき電力量k _l (18,816)」と「あるべき軽油使用量k _l (1,897)」の合計として、「20,713」とする。	20,685	6,891	22,752	12.89	20,440	1.113	1.102	101.0	③	13.0	
4	大洗	エネルギー使用量/時間 基準年度(2004年)の常時の原単位を「1」として、他施設の原単位との比を求め、この比に当該年度の生産数量を掛けて基準年度の常時の生産数量(単位は時間)に換算する。換算した生産数量の合計を分母とする。	16,616	5,831	18,365	10.35	15,744	1.166	1.182	98.7	④	10.2	
5	いわき	エネルギー使用量/床面積	27	17	32	0.02	1,248	0.02572	0.02572	100.0	0.0	電気需要平準化時間帯の買電量内訳 いわき事務所: 15k _l 福島事務所: 2k _l → 合計 17k _l	
	本部	エネルギー使用量/床面積	291	138	332	0.18	14,727	0.02257	0.02340	96.5	0.2		
	東京	エネルギー使用量/床面積	40	20	46	0.02	1,827	0.02518	0.02867	87.8	0.0		
	柏	エネルギー使用量/床面積	29	18	34	0.02	598	0.05753	0.05920	97.2	0.0		
	敦賀	エネルギー使用量/床面積	157	87	183	0.10	3,572	0.05126	0.05062	101.3	0.1		
小計	—	544	280	628	0.34	21,972	0.02858	0.02923	97.8	⑤	0.3		
合計	—	160,469	47,945	174,852	100.00	—	—	—	—	—	—		
事業者全体										Z=①+②+③+④+⑤	100.3		

表1-1-3 エネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由と
過去5年間の原単位が年平均1%以上改善できなかった場合の理由(2017年度)

拠点名	エネルギーの使用に係る原単位				エネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由	過去5年間のエネルギー使用に係る原単位が年平均1%以上改善できなかった場合の理由
	2016年度	2017年度	対前年度比 (%)	5年度間平均原単位変化		
三春	0.05372	0.07223	134.5		・温度や湿度に影響される各種実験等の頻度増加に伴い、測定器、エアコン類の稼働時間も増加 ・2016年12月から建屋空調の24時間連続運転開始	
楢葉	0.01606	0.01799	112.0		・外部施設利用が増加したため ・厳冬により暖房稼働時間が増えたため	
富岡		0.02175			2017年度に施設本格運用開始のため	
大熊		0.005225			2017年度3月からの運用開始であるため、比較は不可能である。	
サイクル研	0.09581	0.09393	98.0	99.5		2015年度までの原単位は前年度と比べ減少していたが、2016年度の再処理施設のガラス固化処理及びGPFの試験に伴う空調運転によりエネルギー使用量が増加したため、年平均1%以上の改善は達成できなかった。
人形	0.05168	0.04623	89.5	97.6		
ふげん	0.1388	0.1425	102.7	96.6	(1)2016年度は設備の不具合により運転しなかった建屋空調設備の冷凍機を2017年度は運転を行った。また、解体撤去工事に伴い建屋換気設備を休祭日も運転したため、電気使用量が増加した。 (2)廃液処理のために運転する蒸発濃縮器の運転時間増加及び解体撤去工事で使用する作業服の使用量増加に伴うランドリー設備の運転時間増加により、前年度より蒸気使用量が増加したことからボイラの燃料である灯油の使用量が増加した。 (1)及び(2)の理由によりエネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった。	
むつ	0.04563	0.02825	61.9			
東濃	0.05809	0.05427	93.4			
幌延	0.02498	0.02730	109.3		2017年度は降雪量が例年より多く、暖房や融雪のためのエネルギーを2016年度より多く使用したため。	
NEAT	0.03699	0.03489	94.3			
も運研	0.03826	0.04976	130.1		空調等の機器の老朽化に伴い、電力量を前年度に比して要したものと考えられる。	
関西播磨	0.06136	0.07643	124.6		播磨地区の人数が増えたためエネルギー使用する設備が増加した。	
原科研 (J-PARC含む)	0.1574	0.1631	103.6	99.4	必要な実験計画の遂行によりエネルギー使用量が増加したことで前年度より増加した。	必要な実験計画の遂行によりエネルギー使用量が増加したことで年平均1%以上という目標を達成できなかった。
もんじゅ	1.007	1.012	100.5	100.6	当事業所で使用するエネルギーは、原子炉施設及び運営管理で使われる。前者は、原子炉施設の安全を維持するために必須のエネルギーである。後者については、これまで通り削減努力を継続してきたが、全エネルギー使用量に対する割合は小さく、削減状況が頭打ちになってきている。	当事業所で使用するエネルギーは、原子炉施設及び運営管理で使われる。前者は、原子炉施設の安全を維持するために必須のエネルギーである。後者については、これまで通り削減努力を継続してきたが、全エネルギー使用量に対する割合は小さく、削減状況が頭打ちになってきている。
大洗	1.070	1.055	98.6	98.1		
いわき	0.02163	0.02163	100.0		前年度に比べ、エネルギー使用に係る原単位での削減はできていないものの、電気の年間使用量は削減されている。	
本部	0.01982	0.01976	99.7			
東京	0.02469	0.02189	88.7			
柏	0.05017	0.04849	96.7			
敦賀	0.04339	0.04395	101.3		冬期間中の気温が例年より低く、積雪も多かったため、暖房使用が増加したものと推測する。	

表1-1-4 電気需要平準化評価原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由(2017年度)

拠点名	電気需要平準化評価原単位			電気需要平準化評価原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由
	2016年度	2017年度	対前年度比(%)	
三春	0.06581	0.08584	130.4	・温度や湿度に影響される各種実験等の頻度増加に伴い、測定器、エアコン類の稼働時間も増加 ・2016年12月から建屋空調の24時間連続運転開始
楢葉	0.01948	0.02182	112.0	・外部施設利用が増加したため ・厳冬により暖房稼働時間が増えたため
富岡		0.02586		2017年度に施設本格運用開始のため
大熊		0.006792		2017年度3月からの運用開始であるため、比較は不可能である。
サイクル研	0.1027	0.1006	98.0	
人形	0.05563	0.05005	90.0	
ふげん	0.1545	0.1588	102.8	2016年度は設備の不具合により運転しなかった建屋空調設備の冷凍機を2017年度は運転を行った。また、解体撤去工事に伴い建屋換気設備を休日も運転したため、電気使用量が増加した。 上記の理由により電気需要平準化評価原単位が前年度に比べ改善できなかった。
むつ	0.05305	0.03279	61.8	
東濃	0.06801	0.06395	94.0	
幌延	0.02842	0.03093	108.8	2017年度は降雪量が例年より多く、暖房や融雪のためのエネルギーを2016年度より多く使用したため。
NEAT	0.04133	0.03935	95.2	
も運研	0.04319	0.05444	126.0	空調等の機器の老朽化に伴い、電力量を前年度に比して要したものと考えられる。
関西播磨	0.07258	0.09162	126.2	播磨地区の人数が増えたためエネルギー使用する設備が増加した。
原科研 (J-PARC含む)	0.1717	0.1775	103.4	必要な実験計画の遂行によりエネルギー使用量が増加したことで前年度より増加した。
もんじゅ	1.102	1.113	101.0	当事業所で使用するエネルギーは、原子炉施設及び運営管理で使われる。前者は、原子炉施設の安全を維持するために必須のエネルギーである。後者については、これまで通り削減努力を続けてきたが、全エネルギー使用量に対する割合は小さく、削減状況が頭打ちになってきている。
大洗	1.182	1.166	98.7	
いわき	0.02572	0.02572	100.0	前年度に比べ、電気需要平準化評価原単位での削減はできていないものの、電気需要平準化評価原単位の算出期間での、電気の使用量は削減されている。
本部	0.02340	0.02257	96.5	
東京	0.02867	0.02518	87.8	
柏	0.05920	0.05753	97.2	
敦賀	0.05062	0.05126	101.3	冬期間中の気温が例年より低く、積雪も多かったため、暖房使用が増加したものと推測する。

表1-1-5 総エネルギー投入量拠点別割合と年度推移(2017年度)

拠点名	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		対前年度比(%) 2017/2016
横浜	6,432	5,698	6,232	6,255	6,811	6,255	6,811	108.9			
青森	207,464	218,898	232,201	19,740	19,529	19,740	19,529	88.9			
むつ	20,960	19,905	18,832	19,740	19,529	19,740	19,529	88.9			
六ヶ所	186,504	198,993	213,469	213,469	19,482	19,482	19,482	149.3			
福島拠点	2,054	2,043	5,768	13,059	1,034	1,034	1,034	97.2			
いわき			915	1,004	1,034	1,034	1,034	97.2			
楢葉			2,674	6,269	8,017	8,017	8,017	127.9			
三善			2,179	5,726	7,739	7,739	7,739	135.2			
高岡					1,742	1,742	1,742	0.0			
大熊					980	980	980	0.0			
本所	9,152	7,835	10,543	11,640	11,301	11,301	11,301	97.1			
原料研(J-PARCを含む)	2,051,641	2,595,547	2,695,514	2,715,741	2,860,029	2,860,029	2,860,029	105.3			
原料研	826,120	757,178	751,321	777,723	772,657	772,657	772,657	99.3			
J-PARC	1,225,521	1,838,369	1,944,193	1,938,018	2,087,372	2,087,372	2,087,372	107.7			
サイクル研	1,490,224	1,475,751	1,440,364	1,465,391	1,459,590	1,459,590	1,459,590	98.2			
大洗	705,151	666,040	675,715	663,851	644,291	644,291	644,291	97.1			
那珂	315,641	301,490	386,298	7,506	7,092	7,092	7,092	94.5			
NEAT	7,166	6,647	6,796	7,506	7,092	7,092	7,092	94.5			
NEAT茨城	4,969	4,547	4,769	5,522	5,128	5,128	5,128	92.8			
NEAT福井	2,197	2,101	1,997	1,964	1,966	1,966	1,966	99.1			
高崎	150,541	143,593	149,789	1,964	1,966	1,966	1,966	99.1			
東京地区	4,210	4,081	3,761	3,254	2,705	2,705	2,705	83.1			
東京	2,485	2,541	2,296	3,254	2,705	2,705	2,705	83.1			
柏	1,725	1,540	1,475	1,164	1,144	1,144	1,144	99.3			
東濃	15,766	14,886	14,254	14,859	13,680	13,680	13,680	92.1			
敦賀	8,151	7,359	6,628	6,024	6,099	6,099	6,099	101.2			
もんじゅ	813,557	814,484	810,118	785,265	801,758	801,758	801,758	102.1			
ふげん	271,613	253,342	243,049	230,401	238,496	238,496	238,496	102.6			
北濃研	13,881	14,261	14,701	14,169	18,465	18,465	18,465	130.3			
関西研	90,452	85,388	80,213	2,485	3,234	3,234	3,234	130.1			
関西研											
関西木津	75,257	70,191	66,373								
関西青森	15,195	15,197	13,840	2,485	3,234	3,234	3,234	130.1			
人形	142,634	150,409	157,111	144,758	129,481	129,481	129,481	89.4			
合計(GJ)	6,306,942	6,787,751	6,940,442	6,104,399	6,220,045	6,220,045	6,220,045	101.9			

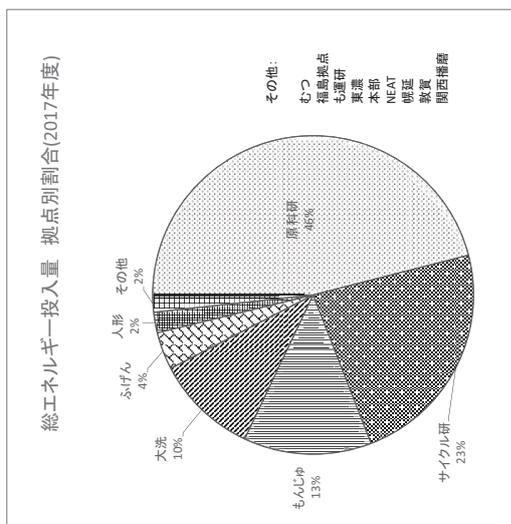
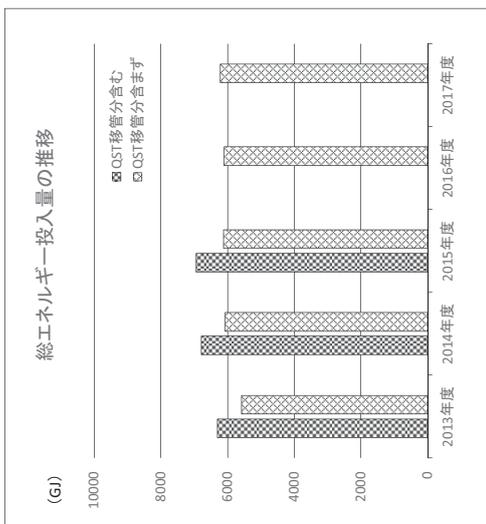
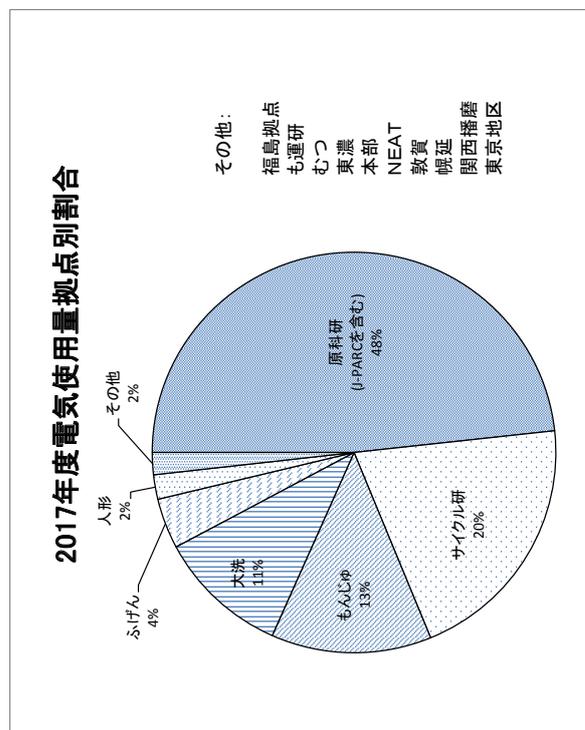


表1-1-6 電気使用量拠点別割合と年度推移(2017年度)

拠点名	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016	全体に占める割合(%)	電気事業者名
原科研 (J-PARCを含む)	268,285,340	282,496,143	105.3	48.3	東京電力 丸紅新電力
サイクル研	122,046,507	120,181,456	98.5	20.5	東京電力
もんじゅ	74,487,120	75,152,760	100.9	12.8	北陸電力
大洗	63,289,044	61,690,787	97.5	10.5	東京電力 丸紅新電力
ふげん	23,288,400	23,757,120	102.0	4.1	北陸電力
人形	12,034,804	11,555,011	96.0	2.0	中国電力
福島拠点	1,297,047	1,930,800	148.9	0.3	東北電力 東京電力 丸紅新電力
も運研	1,456,296	1,884,342	129.4	0.3	北陸電力
むつ	1,686,589	1,680,232	99.6	0.3	東北電力 エネット
東濃	1,429,608	1,311,435	91.7	0.2	中部電力 丸紅新電力 エネサーブ
本部	1,174,533	1,155,970	98.4	0.2	東京電力 丸紅新電力
NEAT	759,897	719,357	94.7	0.1	丸紅新電力 北陸電力
敦賀	613,315	621,363	101.3	0.1	北陸電力
幌延	508,570	522,871	102.8	0.1	北海道電力
関西播磨	249,284	324,423	130.1	0.1	関西電力
東京地区	326,409	271,338	83.1	0.0	東京電力
合計(kWh)	572,932,763	585,255,408	102.2	100.0	



(kWh)

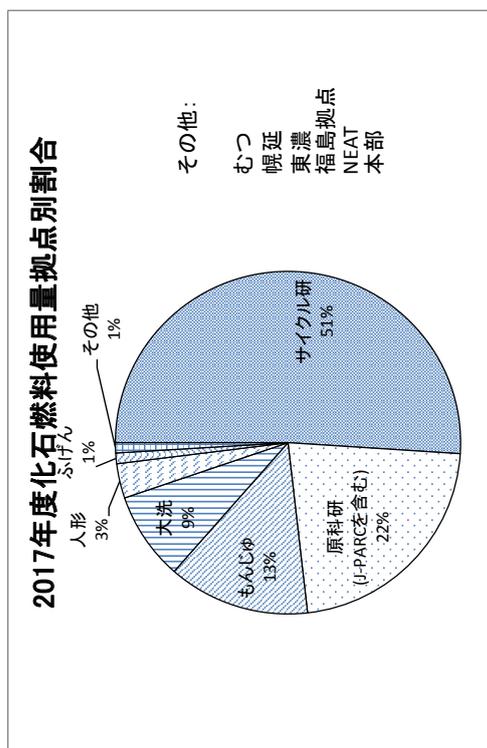
原科研(J-PARCを含む)	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016	全体に占める割合(%)	電気事業者名
原科研	67,793,402	66,989,996	98.8	11.4	東京電力 丸紅新電力
J-PARC	200,491,938	215,506,147	107.5	36.8	東京電力

福島拠点

いわき	106,730	103,757	97.2	0.02	東北電力
楢葉	626,717	804,086	128.3	0.14	丸紅新電力
三春	563,600	751,887	133.4	0.13	東北電力
富岡		174,770			東北電力
大熊		96,300			東京電力

表1-1-7 化石エネルギー投入量拠点別割合と年度推移(2017年度)

拠点名	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016	全体に占める 割合(%)
サイクル研	292,028	284,281	97.3	51.0
原科研 (J-PARCを含む)	121,526	123,458	101.6	22.2
もんじゅ	63,908	73,961	115.7	13.3
大洗	50,382	46,288	91.9	8.3
人形	28,828	18,167	63.0	3.3
ふげん	4,076	5,607	137.6	1.0
むつ	2,925	2,777	94.9	0.5
幌延	1,263	1,670	132.2	0.3
東濃	606	605	99.9	0.1
福島拠点	127	242	190.8	0.04
NEAT	48	41	86.1	0.01
本部	5	9	199.4	0.002
合計(GJ)	565,722	557,107	98.5	100.0



原科研(J-PARCを含む) (GJ)

拠点名	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016	全体に占める 割合(%)
原科研	121,511	123,440	101.6	22.16
J-PARC	15	17	115.5	0.003

NEAT

拠点名	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016	全体に占める 割合(%)
NEAT茨城	37	39	106.4	0.01
NEAT福井	11	2	17.8	0.0004

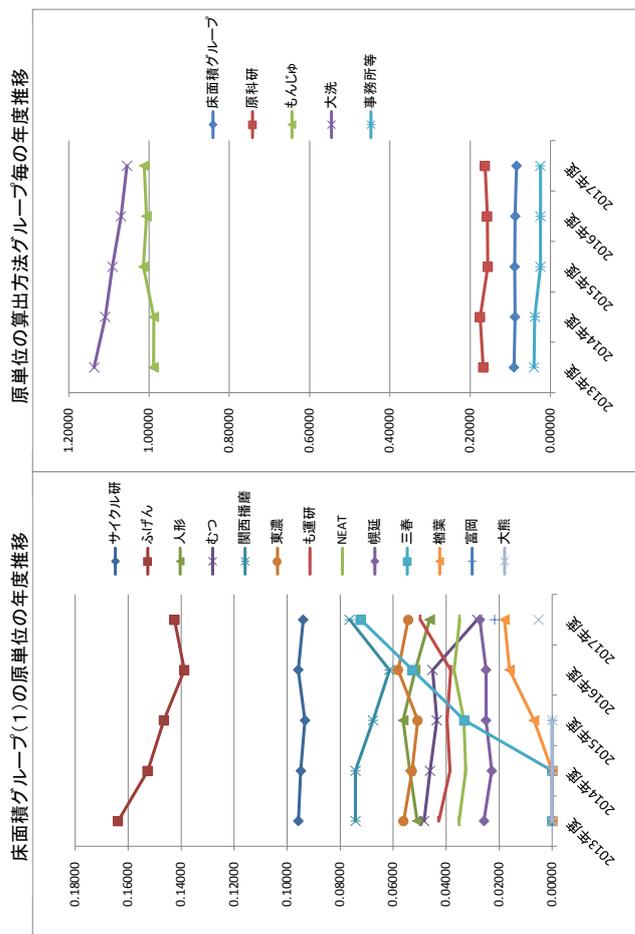
福島拠点

拠点名	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016	全体に占める 割合(%)
楢葉	20	0	0.0	
三春	107	242	226.8	0.04

※いわき、楢葉、富岡、大熊、東京、柏、敦賀、も運研、関西播磨については化石燃料使用なし。

表1-1-8 各拠点等のエネルギー消費原単位の年度推移

番号	拠点名	エネルギーの使用に係る原単位の算出方法	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
1	サイクル研	エネルギー使用量/ 床面積	0.09579	0.09486	0.09330	0.09581	0.09383
	ふげん		0.1638	0.1526	0.1465	0.1388	0.1425
	人形		0.05090	0.05370	0.05624	0.05168	0.04623
	むつ		0.04832	0.04608	0.04357	0.04509	0.02825
	関西播磨		0.07421	0.07421	0.06759	0.06136	0.07643
	東濃		0.05606	0.05289	0.05069	0.05509	0.05427
	も運研		0.04284	0.03847	0.03962	0.03826	0.04976
	NEAT		0.03508	0.03260	0.03337	0.03699	0.03489
	幌延		0.02575	0.02280	0.02498	0.02498	0.02730
	三春		—	—	0.03308	0.05263	0.07223
	榑葉		—	—	0.006839	0.01806	0.01799
	富岡		—	—	—	—	0.02175
	大熊		—	—	—	—	0.005225
	小計		—	—	0.09067	0.08859	0.08936
2	原料研(J-PARC 中心)	エネルギー使用量/ (床面積×係数)	0.1672	0.1752	0.1561	0.1574	0.1631
3	もんじゅ	エネルギー使用量/理論上のエネルギー使用量	0.9890	0.8881	1.014	1.007	1.012
4	大洗	エネルギー使用量/時間	1.137	1.109	1.091	1.070	1.055
5	敦賀	エネルギー使用量/ 床面積	0.05879	0.05319	0.04787	0.04339	0.04395
	本部		0.03442	0.03487	0.01858	0.01982	0.01976
	東京		0.02826	0.03018	0.02698	0.02469	0.02189
	柏		0.05022	0.04464	0.05007	0.05017	0.04849
	いわき		—	—	0.02113	0.02163	0.02163
福島	0.03970	0.03131	—	—	—		
小計	—	0.04095	0.03896	0.02513	0.02488	0.02476	
原子力機構全体の原単位の対前年度比(%)			102.5	99.3	99.6	100.4	
原子力機構の5年度間平均原単位変化率			100.4				



事務所グループ(5)の原単位の年度推移

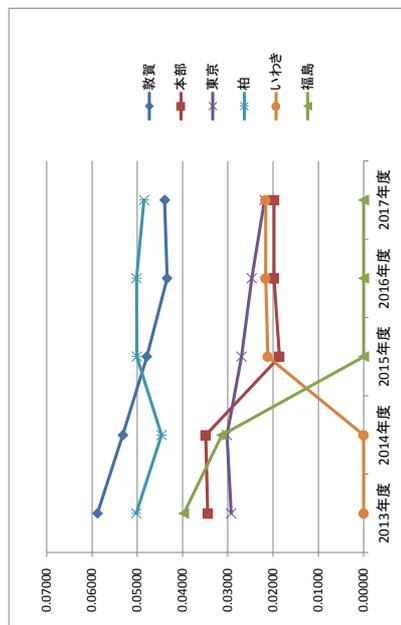


表1-2-1 水資源投入量拠点別種類別割合と年度推移(2017年度)

拠点名/項目	投入量(m³)			上水道(m³)			工業用水(m³)			地下水・井戸水(m³)			河川水・湖沼(m³)			
	2016年度	2017年度	2017/2016 (%)	2016年度	2017年度	2017/2016 (%)	2016年度	2017年度	2017/2016 (%)	2016年度	2017年度	2017/2016 (%)	2016年度	2017年度	2017/2016 (%)	
	全体に占める割合 (%)															
原科研(J-PARCを含む)	1,365,682	1,375,226	100.7	63.4	80,981	58,780	72.6	1,284,701	1,316,446	102.5	0	0	0	0	0	
サイクル研	285,561	298,203	104.4	13.7	34,540	40,807	118.1	251,021	257,396	102.5	0	0	0	0	0	
大洗	204,276	280,897	137.5	12.9	0	0	0	0	0	0	131,916	261,457	198.2	72,360	19,440	26.9
ふげん	76,383	96,923	126.9	4.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	76,383	96,923	126.9
もんじゅ	51,550	53,036	102.9	2.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,550	53,036	102.9
人形	29,307	28,558	97.4	1.3	0	0	0	0	0	0	29,307	28,558	97.4	0	0	0
むつ	9,298	13,229	142.3	0.6	1,292	1,275	98.7	0	0	0	8,006	11,954	149.3	0	0	0
NEAT	2,182	6,135	281.2	0.3	1,092	1,285	117.7	0	0	0	1,090	4,850	445.0	0	0	0
福島拠点	2,897	4,473	154.4	0.2	1,792	2,676	149.4	1,106	1,797	162.4	0	0	0	0	0	0
本部	3,321	3,493	105.2	0.2	3,321	3,493	105.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東濃	3,578	3,327	93.0	0.2	3,578	3,327	93.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
も運研	2,242	2,903	129.5	0.1	351	346	98.6	0	0	0	0	0	0	1,891	2,557	135.2
幌延	1,987	2,137	107.5	0.1	1,987	2,137	107.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
敦賀	1,453	1,797	123.7	0.1	1,453	1,797	123.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(m³)	2,039,718	2,170,337	106.4	100.0	130,387	115,923	88.9	1,536,828	1,575,639	102.5	170,319	306,819	180.1	202,184	171,956	85.0
総量に対する種類の割合(%)	100	100			6.4	5.3		75.3	72.6		8.4	14.1	9.9	7.9		

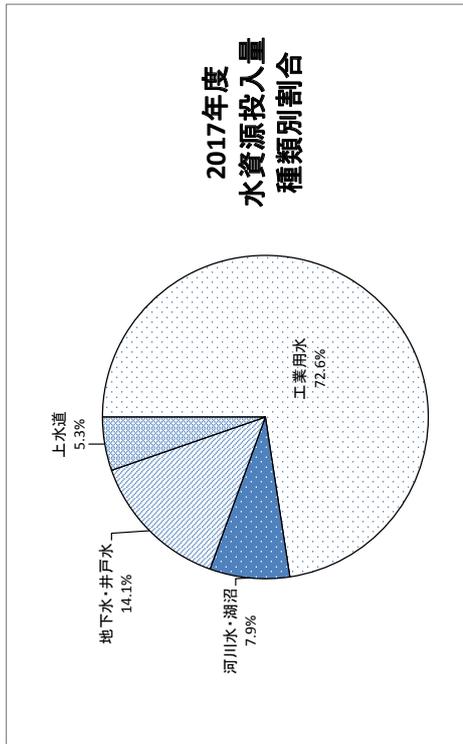
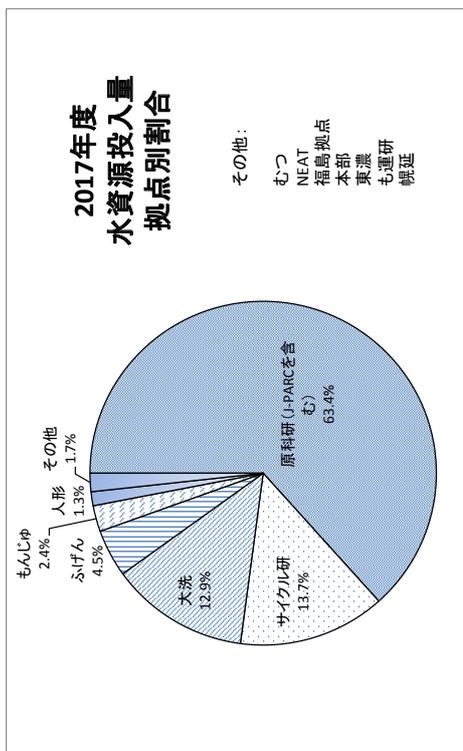
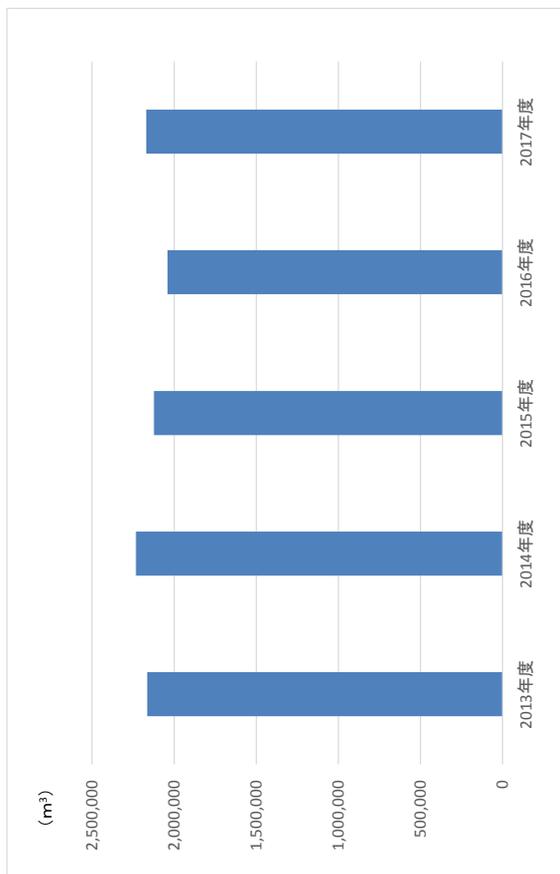


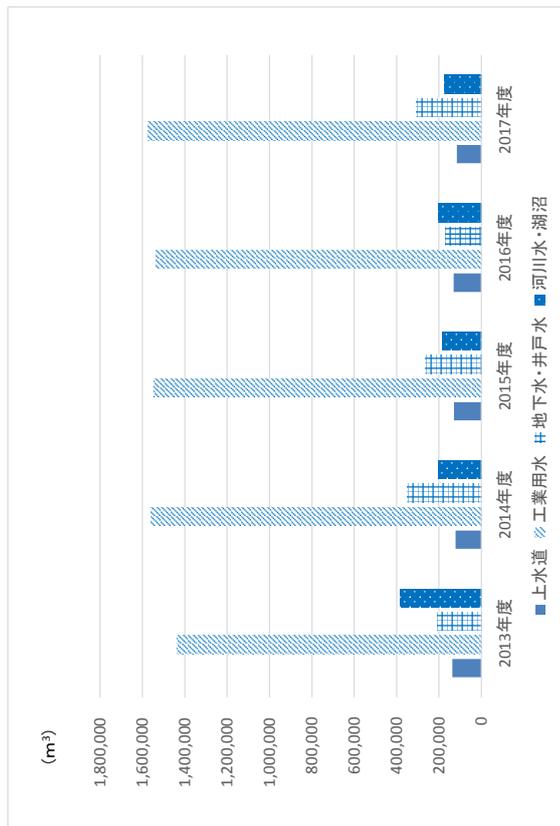
表1-2-2 水資源投入量の年度推移

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016
上水道	137,032	121,516	128,604	130,387	115,923	88.9
工業用水	1,435,421	1,560,741	1,544,706	1,536,828	1,575,639	102.5
地下水・井戸水	209,187	347,628	263,972	170,319	306,819	180.1
河川水・湖沼	381,385	203,376	184,533	202,184	171,956	85.0
水投入量合計(m ³)	2,163,025	2,233,260	2,121,814	2,039,718	2,170,337	106.4
下水道	30,226	26,986	87,951	92,396	96,159	104.1
公共用水域	4,381,938	4,210,281	3,846,136	3,757,672	4,006,642	106.6
排水量合計(m ³)	4,412,163	4,237,266	3,934,087	3,850,069	4,102,800	106.6

※年度推移にQSTは含まれない。



合計水投入量の年度推移



水投入量の内訳

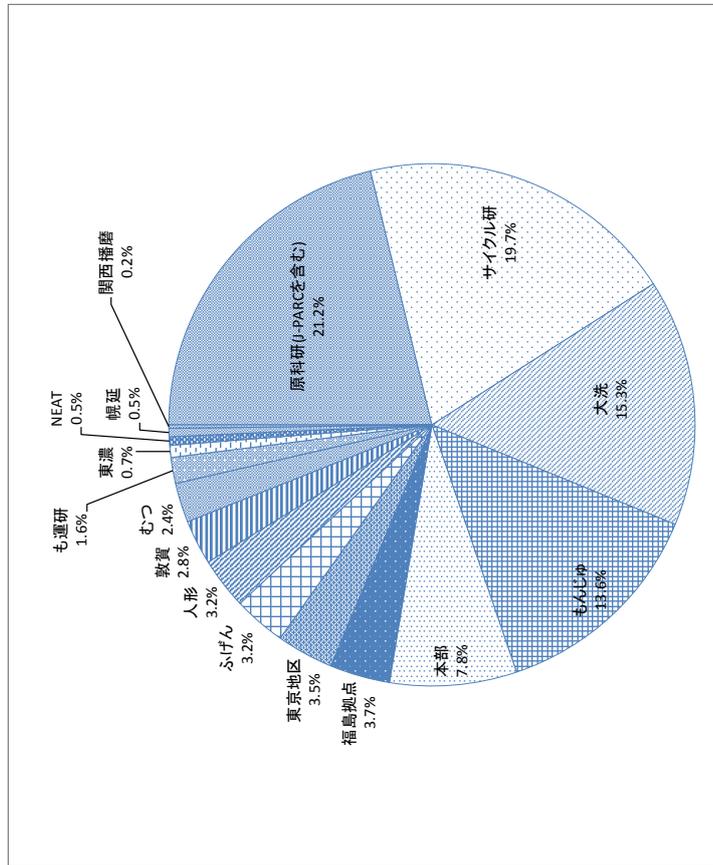
表1-2-3 水資源増減の理由及び取組内容(2017年度)

拠点名	投入量増加(前年比)の理由	投入量減少(前年比)の理由	排水量増加(前年比)の理由	排水量減少(前年比)の理由	投入量に列して排水量が少ない場合の理由	投入量に列して排水量が多い場合の理由	水の再利用量・方法	備考
幌延	2017年度より国際交流施設の水使用量も集計に入れているため	-	-	-	-	地下の研究経路からの地下水の湧水が発生しており、これなくみよげて排水しているため投入量よりも大幅に排水量が増加する。	-	-
むつ	冬期における転倒及び凍結防止のため、水の使用量増加	-	冬期における転倒及び凍結防止のため、排水量の増加	-	-	-	-	-
神楽	検査センターの利用者により増減するため	検査センターの利用者により増減するため	検査センターの利用者により増減するため	検査センターの利用者により増減するため	-	-	-	-
大熊	2018年3月1日より運用開始のため、前年度データなし	2018年3月1日より運用開始のため、前年度データなし	2018年3月1日より運用開始のため、前年度データなし	2018年3月1日より運用開始のため、前年度データなし	同量である。	同量である。	水の再利用なし	2018年3月1日より運用開始
本部	-	-	-	-	-	本部総合管理棟の検針は真塩村からの委託業者が毎月1回実施しているため、毎月ごとの投入・排水量は算出されない。そのため、本館総合管理棟の2か月分投入・排水量が各数月に算出されるため、各数月の投入・排水量が偶数月と比べて多くなっている。	-	-
原科研(JPARCを含む)	実験増加に伴い希釈水が増加したため、投入量が増加した。	-	各機室、実験回数が増加や希釈排水処理などの増加に伴い排水量が増加した。	-	-	雨水が排水に含まれたため。	-	-
大洗	天候等により地下水・井戸水の投入量が増加した。	-	-	-	-	-	-	-
NEAT茨城	従業員が増加したため投入量が増加した。	-	従業員が増加したため排水量が増加した。	-	-	-	-	-
NEAT福井	水資源は地下より汲み上げ貯水槽へ移送されるが、貯水槽に付属する弁が故障し、漏水時に止水できなかつたため。	-	水資源は地下より汲み上げ貯水槽へ移送されるが、貯水槽に付属する弁が故障し、漏水時に止水できなかつたため。	-	-	-	-	水資源については地下水汲み上げ方式のため、当初計画と異なるが考慮されていた。しかし、2006年度に地下水からの汲み上げ量について測定(計画)ができるように設備改造を行ったため、汲み上げ量そのまゝ投入量とし、一般排水口に排水している。
敦賀	敦賀事業本部敷地内での技術実証試験・交流棟建設工事に伴う使用量の増加と推測する。	-	敦賀事業本部敷地内での技術実証試験・交流棟建設工事に伴う使用量の増加と推測する。	-	-	-	-	-
もんじゅ	開閉所の隅子洗浄が増加したため。	-	-	-	開閉所の隅子洗浄は、敷地敷布のため排水量に含めない。	-	-	-
ふげん	雑用水タンク水位計不良に伴い運供給したため、投入量が増加した。	-	雑用水タンク水位計不良に伴い運供給したため、排水量が増加した。	-	-	-	-	-
人形	-	投入量としては、大きく増減した施設はなく、各施設における使用量の差による増減により、前年度より減少した。	雪解氷処理量の増加(4月)、台風(10月の雨の増加)による放流水(タンク処理水)の増加により、前年度より増加した。	-	-	-	-	-

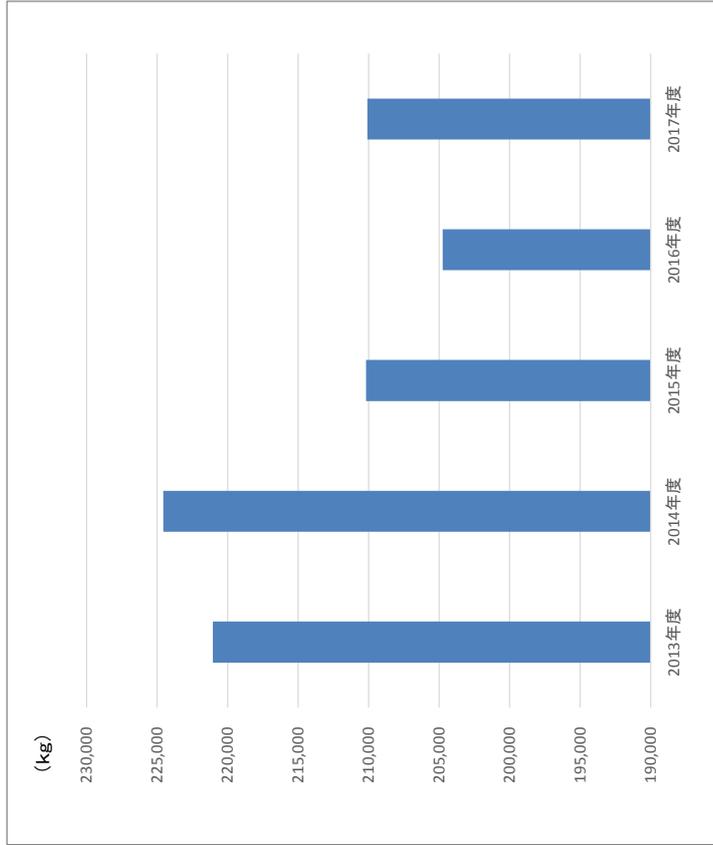
表1-2-4 コピー用紙投入量の拠点別割合と年度推移(2017年度)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016
コピー用紙投入量(kg)	221,056	224,556	210,189	204,752	210,104	102.6

※年度推移にQSTIは含まれない。



コピー用紙投入量拠点別割合 (2017年度)



コピー用紙投入量の年度推移

表1-3-1 廃棄物・再生利用物・有価物の排出量の年度推移

(単位:kg)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
一般廃棄物の量 (a)	308,527	281,265	276,045	246,811	258,460
(うち、再利用した量) (b)	156,800	108,427	111,883	96,340	97,349
産業廃棄物の量 (c)	766,253	551,932	641,852	584,360	764,624
(うち、再利用した量) (d)	20,750	31,591	21,550	9,440	0
有価物の量 (e)	1,961,127	1,027,136	1,281,738	1,210,979	894,053
不要物の総量 (f)=(a)+(c)+(e)	3,035,907	1,860,333	2,199,634	2,042,149	1,917,137
再利用した量 (g)=(b)+(d)+(e)	2,138,677	1,167,154	1,415,171	1,316,759	991,402
再利用率 (h)=(g)/(f)	70%	63%	64%	64%	52%

※年度推移にQSTIは含まれない。

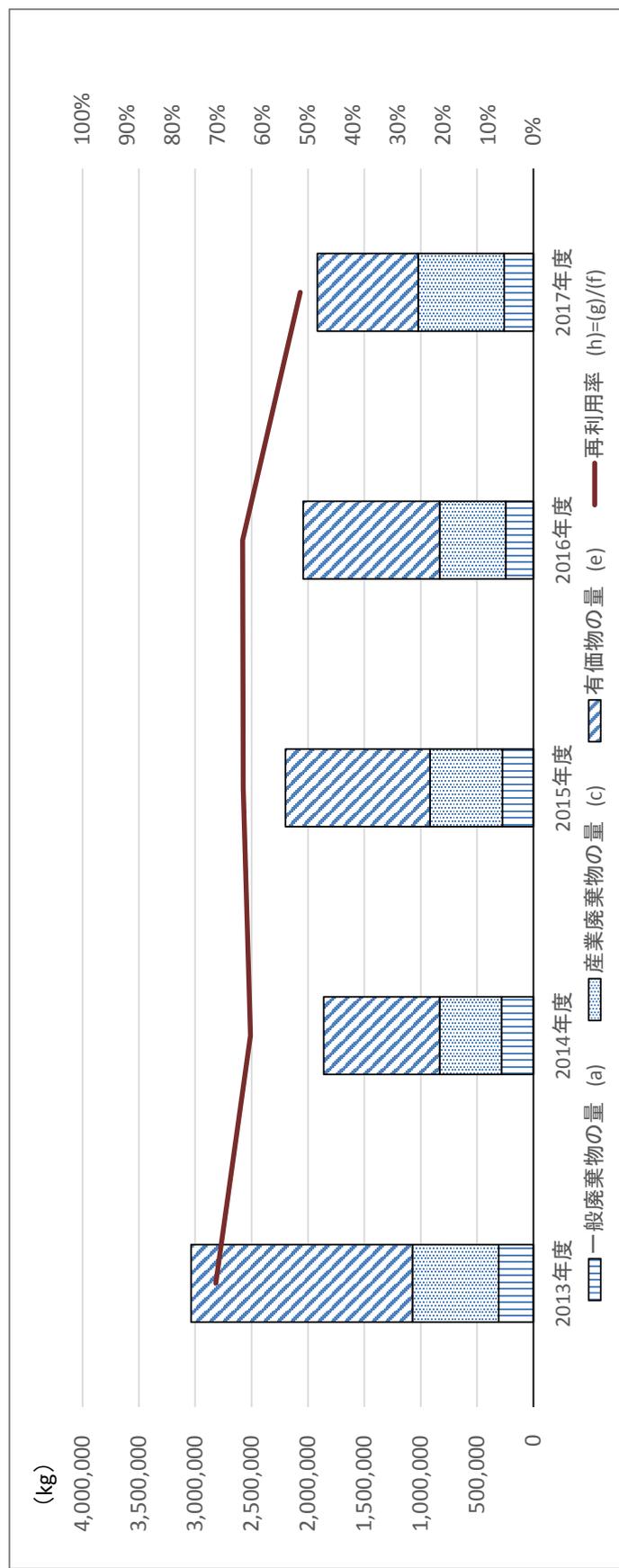


表1-3-2 主要なPCB廃棄物等(微量なPCBで汚染された物を含む)の2017年度末時点保管量と2017年度までの処分済み累積実績量(2017年度)
(単位:台)

拠点名	区分	トランス			コンデンサ			リアクトル			安定器			小計			その他*			合計(台)			
		高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	
むつ	現在保管量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	処分済み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原科研(J-PARCを含む)	現在保管量	0	38	0	17	649	0	0	0	0	0	0	2,116	0	2,133	687	0	17	48	0	2,150	735	0
	処分済み	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	65	0	28	65	0
サイクル研	現在保管量	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0	20	14	0	0	1	0	20	15	0
	処分済み	0	12	0	661	1	0	0	0	0	0	0	172	10	833	23	0	19	51	0	852	74	0
大洗	現在保管量	0	67	0	64	127	0	0	0	0	0	1,750	0	0	1,814	194	0	4	118	0	1,818	312	0
	処分済み	0	14	0	16	2	0	2	0	0	0	480	0	0	498	16	0	0	574	0	498	590	0
人形	現在保管量	0	3	0	0	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	11	0
	処分済み	3	7	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	9	0	1	1	0	5	10	0
保管量総計		0	122	0	81	783	0	0	1	0	0	4,032	0	0	4,113	906	0	21	167	0	4,134	1,073	0
累積処分済み合計		3	33	0	709	5	0	2	0	0	652	10	0	1,366	48	0	20	691	0	1,386	739	0	0

* PCB廃液、PCB付着物など、左記に属さないもの。 2017年度は原科研、サイクル研、大洗のPCB廃棄物を処理

注) 環境データ管理システムの入力に困難なもの(個数で表記していないもの等)はここでは除いている。

「低濃度」にはPCBIに微量に汚染されたものを含む。

表1-3-3 放射性廃棄物量(固体、気体、液体)の年度推移

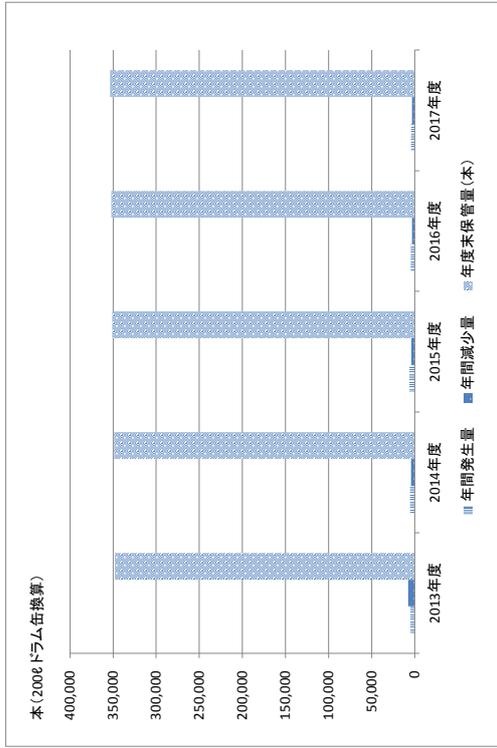
(単位：本(2008ドラム缶換算))

放射性固体廃棄物	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016
	年間発生量	5,082	5,259	6,033	4,675	4,391
年間減少量	7,618	4,474	3,834	3,365	3,234	96.1
年度末保管量(本)	347,942	348,719	350,917	352,224	353,381	100.3

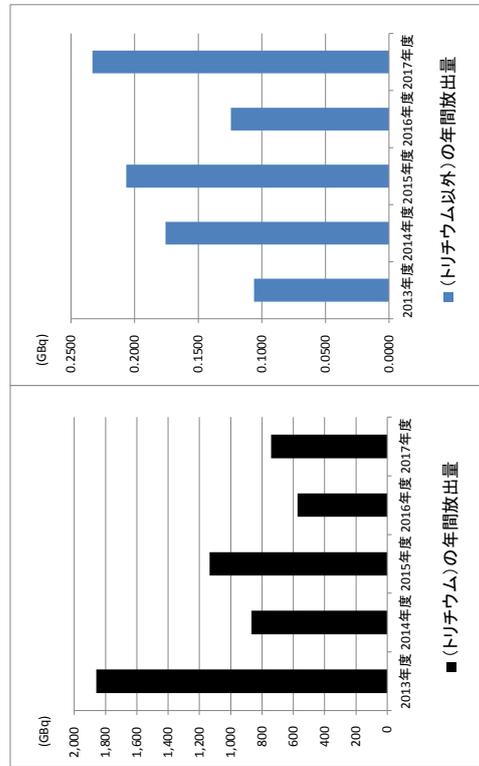
放射性気体廃棄物	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016
	(トリチウム)の年間放出量	537.6	1045.7	567.3	412.0	292.1
(放射性希ガス)の年間放出量	294.7	726.9	509.3	386.4	794.7	205.7
全粒子状物質	0.088	0.020	0.017	0.050	0.072	143.7
合計(GBq)	832.477	1772.621	1076.648	798.473	1086.889	136.1

放射性液体廃棄物	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016
	(トリチウム)の年間放出量	1859.1	867.9	1135.7	573.2	742.7
(トリチウム以外)の年間放出量	0.106	0.176	0.207	0.124	0.233	187.3
合計(GBq)	1859.192	868.098	1135.934	573.285	742.926	129.6

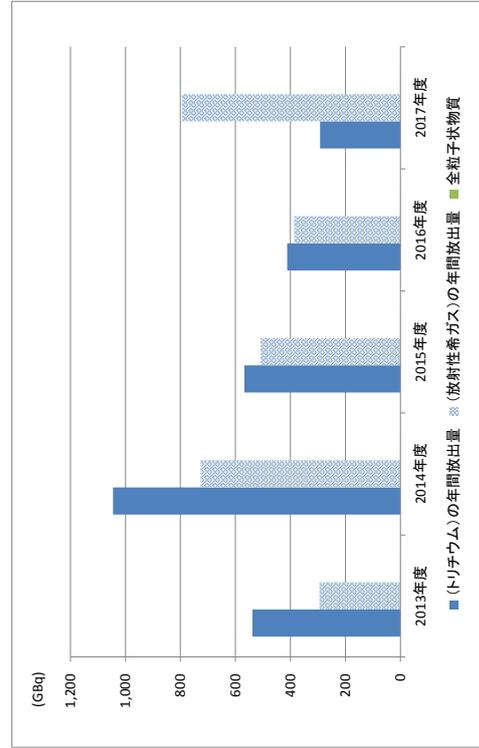
※放射性固体、気体、液体廃棄物すべての年度推移にOSTは含まれない。



放射性固体廃棄物年度推移



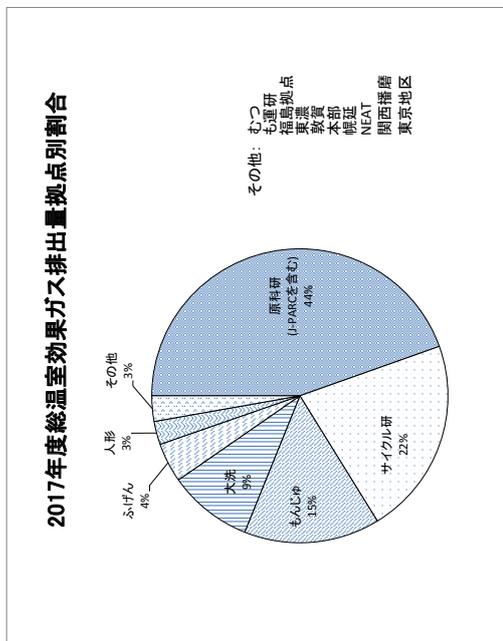
放射性液体廃棄物年度推移



放射性気体廃棄物年度推移

表1-4-1 総温室効果ガス排出量拠点別割合と年度推移(フロン排出抑制法に基づき集計したフロン漏えい量を含む)(2017年度)

拠点名	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016	全体に占める 割合(%)
原科研(J-PARCを含む)	158,341	160,603	101.4	44.5
サイクル研	81,393	78,217	96.1	21.7
もんじゅ	51,381	53,532	104.2	14.8
大洗	35,284	33,252	94.2	9.2
ふげん	14,930	15,645	104.8	4.3
人形	10,654	9,230	86.6	2.6
むつ	1,017	5,386	529.4	1.5
も運研	992	1,206	121.6	0.3
福島拠点	731	918	125.5	0.3
東濃	718	585	81.4	0.2
敦賀	385	471	122.4	0.1
本部	572	466	81.5	0.1
幌延	428	445	104.1	0.1
NEAT	408	318	77.9	0.1
関西播磨	127	165	130.1	0.0
東京地区	163	132	80.8	0.0
合計(t-CO ₂)	357,524	360,572	100.9	100.0



参考表 電気事業者別二酸化炭素排出係数(t-CO₂/kWh)

電気事業者	2015年度実績	2016年度実績	2016/2015実績
北海道電力	0.000689	0.000632	0.94
東北電力	0.000556	0.000545	0.98
東京電力エナジーパートナー(旧:東京電力)	0.000500	0.000486	0.97
中部電力	0.000486	0.000485	1.00
北陸電力	0.000627	0.000640	1.02
関西電力	0.000509	0.000509	1.00
中国電力	0.000697	0.000691	0.99
エネット	0.000418	0.000405	0.97
F-Power	0.000480	0.000493	1.35
エネサーブ	0.000364	0.000362	0.88
丸紅新電力(旧:丸紅)	0.000411	0.000362	0.88
平均	0.000520	0.000525	1.01

原科研(J-PARCを含む)

拠点名	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016	全体に占める 割合(%)
原科研	57,763	55,564	96.2	15.41
J-PARC	100,578	105,040	104.4	29.13

福島拠点

拠点名	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016	全体に占める 割合(%)
いわき	59	57	95.3	0.02
楡葉	352	294	83.3	0.08
三春	320	424	132.7	0.12
富岡	—	95	—	0.03
大熊	—	48	—	0.01

表1-4-2 エネルギー一起源CO₂排出量拠点別内訳(2017年度)

	拠点名	実CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	調整後CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
工学研究所	原科研(J-PARC含む)	143,416	140,046
	サイクル研	78,088	76,646
	もんじゅ	53,167	51,965
	大洗	33,162	32,432
	ふげん	15,583	15,202
	人形	9,219	9,254
	も運研	1,206	1,176
	むつ	965	1,003
	東濃	551	674
	幌延	443	447
	三春	424	426
	NEAT	318	379
	檜葉	291	390
	関西播磨	165	160
	富岡	95	96
	大熊	47	46
		(小計)	337,140
主として管理事務を 行う本社等	本部	466	557
	敦賀	398	388
	東京	76	74
	いわき	57	57
	柏	56	54
		(小計)	1,053
	合計(t-CO ₂)	338,193	331,472

表1-4-3 代替フロン等4ガスの拠点別割合と年推移(2017年)

拠点名	排出量(t-CO ₂)												対前年比(%) 2017/2016	
	2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		代替フロン全体	SF ₆ のみ		
	代替フロン全体	SF ₆ のみ	代替フロン全体	SF ₆ のみ	代替フロン全体	SF ₆ のみ	代替フロン全体	SF ₆ のみ	代替フロン全体	SF ₆ のみ				
むつ	18.09	17.90	0.19	0.00	0.23	0.00	11.99	11.75	4,418.32	4,418.18	36,864		37,591	
原科研(J-PARCを含む)	24,026.34	22,898.76	22,898.76		22,026.47		16,474.46		16,346.67		99			
原科研		23,975.06	22,847.77	22,774.85	21,810.16	21,722.52	16,350.98	16,022.52	16,144.26	15,905.52		99	99	
J-PARC		51.28	50.99	0.00	216.31	0.00	123.47	0.00	202.41	0.004		164	100	
サイクル研	33.49	0.00	34.20	0.00	48.35	0.00	48.35	0.00	48.35	0.00	100		0	
大洗	17.71	0.24	15.91	0.24	0.04	0.00	5.83	0.00	1.23	0.00	21		0	
東濃	841.28	841.28	7.17	7.17	2.85	2.85	2.28	2.28	5.02	5.02	220		220	
もんじゅ	170.70	103.49	160.69	103.49	176.87	98.72	129.48	0.00	142.60	0.00	110		0	
ふげん	16.78	16.78	16.78	16.78	16.01	16.01	16.01	16.01	16.01	16.01	100		100	
人形	0.02	0.02	0.02	0.02	0.14	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	100		100	
合計(t-CO ₂)	25,124.40	24,880.99	23,133.71	22,902.54	22,270.95	21,840.12	16,688.41	16,052.58	20,978.21	20,347.74	126		127	

※年推移にOSTIは含まれない。

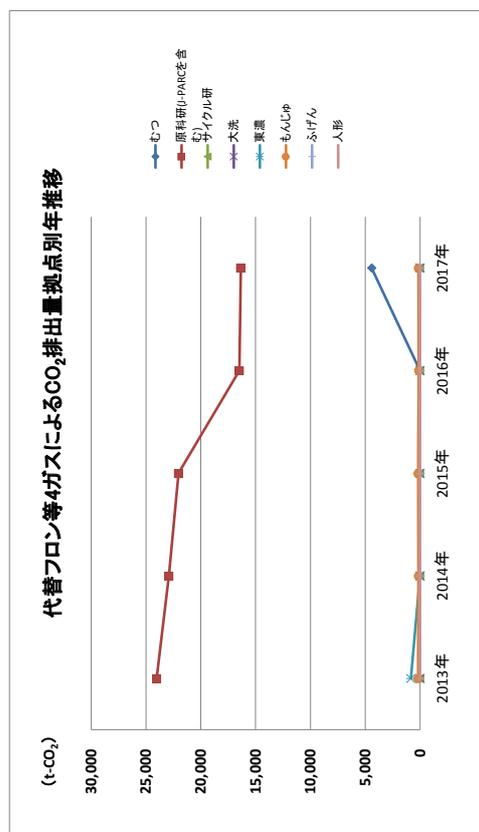
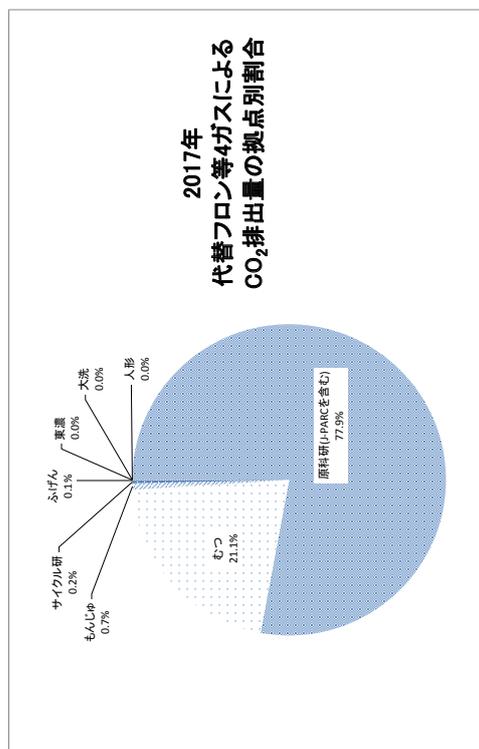


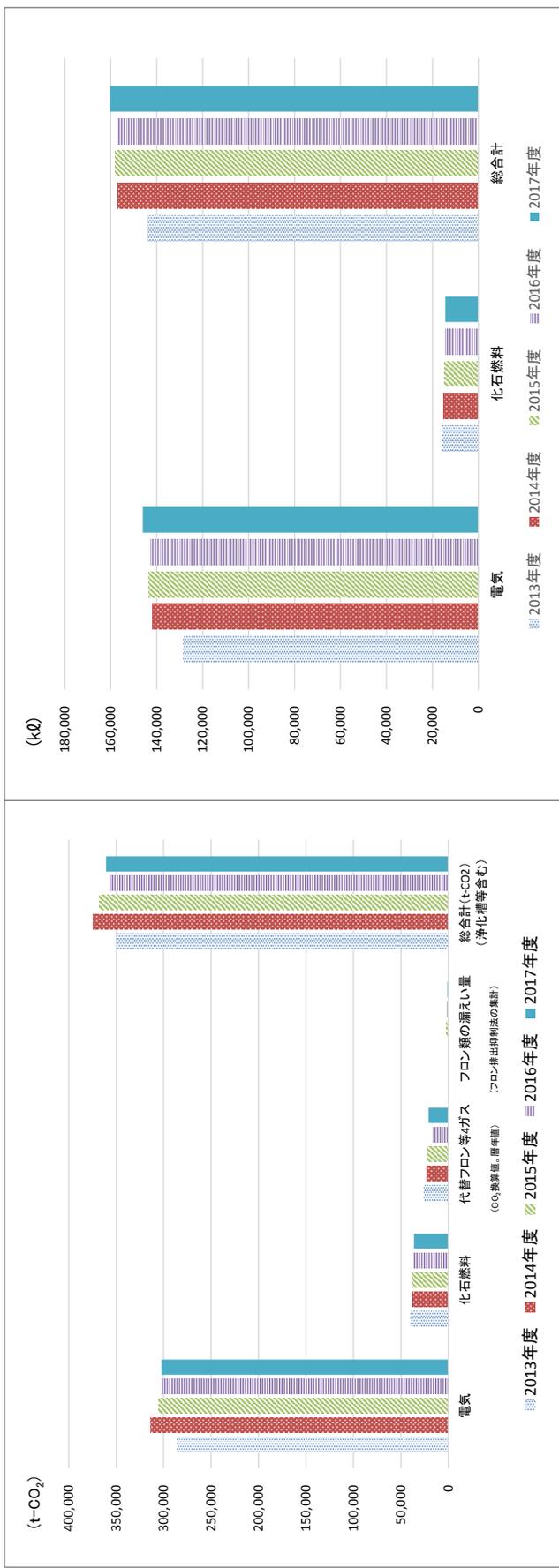
表1-4-4 代替フロン等4ガス増減の理由及び取組内容(2017年)

拠点名	増加の理由	減少の理由	削減のための取組み内容(ハード面)	削減のための取組み内容(ソフト面)	備考
むつ	加速器質量分析装置加速タンク電源貫通部からの絶縁ガス(SF ₆)の漏えい。(部品の経年劣化)	-	-	-	部品交換を実施(漏えいなし)
原科研	タンデム加速器において、2016年に対して2017年は増減なし	-	タンデム加速器において、継続的なリーク検査の実施	-	JRR-4ターボ冷凍機については冷媒量が確認できる計器が付いていないため、冷媒量を確認できない。冷媒を入れ替える等実際に冷媒を回収した際にのみ冷媒量を確認することができると。なお、2017年については冷媒の回収を実施していない。
J-PARC	MLF オーバーホールにより、増加した。	-	-	-	-
サイクル研	-	-	-	-	-
大洗	-	-	-	-	-
東濃	-	-	-	-	-
もんじゅ	-	冷凍機の補給用冷媒として2016年度の16%を補充した。	-	-	HFC-134a使用場所毎の保管量:A-101 空調用冷媒冷凍機(系統冷媒):1,600kg HFC-43-10mee 使用場所毎の保管量:A-101 空調用冷媒冷凍機(系統冷媒):1,300kg、A-224 補給用:4,800kg、A-111 補給用:1,200kg
ふげん	-	-	-	-	2008年度より増減なし
人形	-	-	-	-	SF ₆ は増減なし
権葉	-	-	-	-	-
三春	-	-	-	-	四半期毎に簡易点検実施
富岡	-	-	-	-	-

表1-4-5 総温室効果ガス放出量の放出源別年度推移

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016
電気	285,515	313,279	305,429	301,577	302,129	100.2
化石燃料	39,569	37,723	37,288	36,706	36,065	98.3
代替フロン等4ガス	25,125	23,134	22,271	16,688	20,978	125.7
フロン類の漏えい量	—	—	2,662	2,327	1,170	50.3
総合計(t-CO ₂) (浄化槽等含む)	350,418	374,341	367,880	357,524	360,572	100.9

※年度推移にQSTIは含まれない。



総温室効果ガス放出量の放出源別年度推移

投入エネルギー量の年度推移(原油換算値kℓ)

表1-4-6 拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量(2017年度)

フロン類の種類	R-11		R-22		R-134a		R-407C		R-410A		合計(t-CO ₂)	
	算定漏えい量 (t-CO ₂)	実漏えい量(kg)										
特定漏えい者 全体												
合計	411.350	86.600	162.267	89.650	382.811	267.700	183.956	103.930	29.887	14.300	1,170.271	
都道府県												
北海道												
青森県												
福島県												
茨城県												
千葉県												
東京都												
岐阜県												
福井県												
兵庫県												
岡山県												
特定漏えい者 全体												
合計	411.350	86.600	162.267	89.650	382.811	267.700	183.956	103.930	29.887	14.300	1,170.271	
拠点												
幌延	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
むつ	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
楢葉	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
三春	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
富岡	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
大熊	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
合計	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
原料研(J-PARCを含む)	411.350	86.600	0.000	0.000	186.115	130.150	165.371	93.430	0.000	0.000	762.836	
サイクル研	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	14.630	7.000	14.630	
大洗	0.000	0.000	48.092	26.570	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	48.092	
本部	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
NEAT茨城	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
合計	411.350	86.600	48.092	26.570	186.115	130.150	165.371	93.430	14.630	7.000	825.557	
柏	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
東京	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
東濃	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	18.585	10.500	7.106	3.400	25.691	
敦賀	0.000	0.000	73.088	40.380	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	73.088	
もんじゅ	0.000	0.000	13.575	7.500	196.697	137.550	0.000	0.000	0.000	0.000	210.272	
ふげん	0.000	0.000	27.512	15.200	0.000	0.000	0.000	0.000	8.151	3.900	35.663	
も運研	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
NEAT福井	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
合計	0.000	0.000	114.175	63.080	196.697	137.550	0.000	0.000	8.151	3.900	319.022	
関西播磨	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	
人形	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	

表1-4-7 フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量拠点別割合と年度推移(2017年度)

都道府県名	拠点名	算定漏えい量 (t-CO ₂)			対前年比 (%) 2017/2016
		2015年度	2016年度	2017年度	
茨城県	原料研(J-PARCを含む)	1,655.64	1,801.40	762.84	47.64
	原料研	1,420.08	1,404.11	674.34	48.03
	J-PARC	235.55	197.28	88.50	44.86
	サイクル研	43.09	42.51	14.63	34.41
	大洗	185.37	137.72	48.09	34.92
	茨城県計	1,884.10	1,781.63	825.56	46.337
岐阜県	東濃	0.00	3.01	25.69	853.81
	岐阜県計	0.00	3.01	25.69	853.81
福井県	敦賀	12.67	0.00	73.09	0.00
	もんじゅ	425.06	156.52	210.27	134.34
	ふげん	236.01	27.09	35.66	131.64
	も運研	13.76	78.92	0.00	0.00
	福井県計	687.50	262.53	319.02	121.52
岡山県	人形	90.50	279.90	0.00	0.00
	岡山県計	90.50	279.90	0.00	0.00
	合計	2,662.09	2,327.06	1,170.27	50.29

※年度推移にQSTは含まれない。

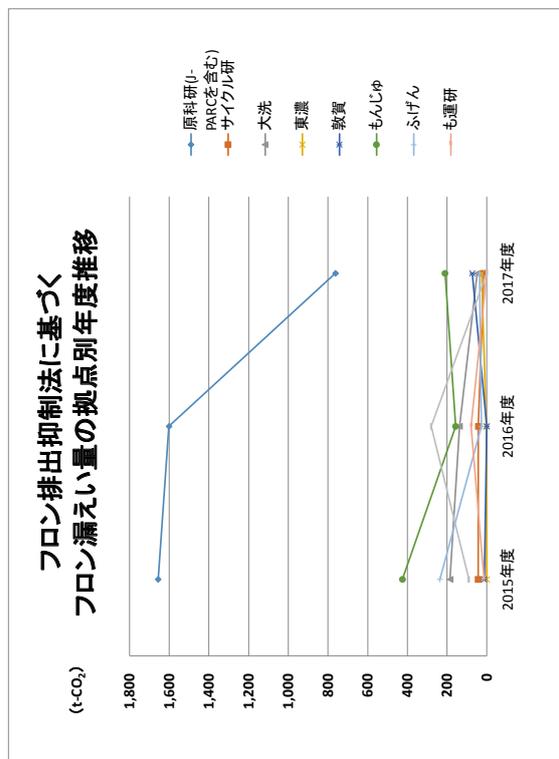
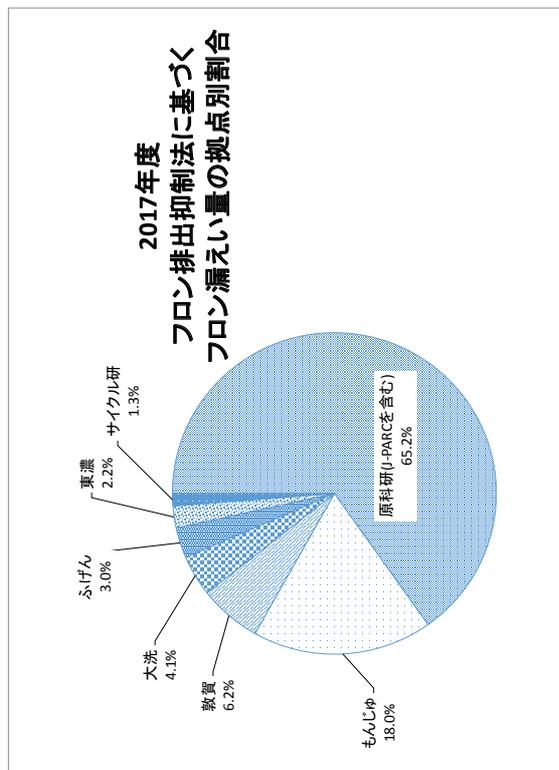


表1-5 ISO14001認証取得状況(2018年3月末時点)

拠点名	業務内容	認証取得日及び更新日	審査年度	審査の種類	総合評価	登録組織の業種	審査登録機関	活動参加人数
東濃	地層科学研究及び 関連施設の建設維持	2002年9月25日 認証取得	2002	取得審査	判定結果「合格」	11.核燃料、 34.エンジニアリング、 研究開発 JACO (日本環境認証機構)		149
			2003	維持審査	判定結果「合格」			
			2004	維持審査	判定結果「合格」			
		2005年8月24日 更新	2005	第1回更新審査	判定結果「合格」			
			2006	維持審査	判定結果「合格」			
			2007	維持審査	判定結果「合格」			
		2008年9月10日 更新	2008	第2回更新審査	判定結果「合格」			
			2009	維持審査	判定結果「合格」			
			2010	維持審査	判定結果「合格」			
		2011年9月7日 更新	2011	第3回更新審査	判定結果「合格」			
			2012	維持審査	判定結果「合格」			
			2013	維持審査	判定結果「合格」			
		2014年8月27日 更新	2014	第4回更新審査	判定結果「合格」			
			2015	維持審査	判定結果「合格」			
			2016	維持審査	判定結果「合格」			
2017年8月30日 更新	2017	第5回更新審査	判定結果「合格」					

表1-6 環境マネジメントシステム(EMS)の構築、運用状況(2017年度)

拠点名	環境マネジメントシステム(EMS)の構築、運用状況及びその評価並びにそれをふまえた今後の方向性
東濃	環境マネジメントシステム(EMS)の構築、運用状況及びその評価並びにそれをふまえた今後の方向性 環境管理システム運用開始から15年が経過しシステム改善がさらに進むとともに、外・内部監査によって指摘のあった事項については、環境管理システム運用以外の業務に顕・潜在するリスクの推定にも活かされるなど、他業務への応用も図られている。 品質保証(ルールと順守)は全ての業務に共通する重要事項であり、業務を確度高く進めるうえで有効な手段となるが、環境管理システムはその一モデルとしても有用と考える。また、同システム導入により取得しているISO14001認証については、東濃地科学センターが遂行する業務が第三者によるチェックを受けているという証左ともなるため、地域の方々の信頼をより得るためにも維持していく。

表1-7 環境に配慮したサプライチェーンマネジメントの状況(2017年度)

拠点名	環境に配慮したサプライチェーンマネジメントの状況 (サプライチェーンマネジメントに関する方針、基準、計画、実績等)
むつ	発注仕様書において、グリーン購入法の推進等を要求している。
東濃	発注仕様書において、グリーン購入法の推進等を要求している。

表1-8 清掃活動等のボランティア等への参加・貢献状況(2017年度)(1/2)

拠点名	タイトル	実施時期	協力者人数	場所	概要
幌延	2017年度「春のクリーン作戦」	2017年5月19日	10	町内公道	町内公道の清掃
	トナカイ観光牧場ノースガーデン フラワーボランティア	2017年6月30日	3	トナカイ観光牧場	ほろのベトナカイ観光牧場ノースガーデンにおける花壇の花植えや草取り等を行う。
	天塩川クリーンアップ大作戦	2017年7月2日	10	天塩川周辺	天塩川の清掃
	2017年度「秋のクリーン作戦」	2017年10月5日	8	町内公道	町内公道の清掃
	トナカイ観光牧場ノースガーデン フラワーボランティア	2017年10月23日	2	トナカイ観光牧場	ほろのベトナカイ観光牧場ノースガーデンにおける花壇の花植えや草取り等を行う。
むつ	青森研究開発センター周辺環境配慮活動	2017年7月11日	32	青森研究開発センター 周辺(関根地区)	青森研究開発センター周辺の空き缶、 ガラス片、ゴミくず等を清掃した。
	青森研究開発センター周辺環境配慮活動	2017年7月11日	20	青森研究開発センター 構内(大湊地区)	青森研究開発センター構内の空き缶、 ガラス片、ゴミくず等を清掃した。
	青森研究開発センター周辺環境配慮活動	2017年12月1日	21	青森研究開発センター 構内(関根地区)	青森研究開発センター構内の落ち葉拾 いを行った。
	青森研究開発センター周辺環境配慮活動	2017年12月4日	5	青森研究開発センター 構内(大湊地区)	青森研究開発センター構内の落ち葉・ 松ぼっくり・枯れ枝ひろい及び可燃・不 燃ごみひろいを行った。
楡葉	「ならばならではゴミ拾い」	2017年6月4日	11	楡葉センター周辺	楡葉センター周辺の清掃活動
本部	第3回 外来生物除去作戦	2017年6月10日	5	東海村 総合福祉セン ター「絆」	東海村中心部の貴重な緑地帯を守るた め、外来生物(オオキンケイギク、セイ タカアワダチソウ)を除去する。
本部 原科研 サイクル研	2017年度 東海村春のクリーン作戦	2017年5月31日	881	原科研、サイクル研周 辺、本部周辺	原子力科学研究所、核燃料サイクル工 学研究所、本部周辺の清掃
	2017年度 久慈川水系一斉クリーン作戦	2017年7月9日	128	久慈川流域	久慈川流域(石神外宿河川敷グラウン ド、石神内宿河川敷グラウンド)の清掃
	2017年度 東海村秋のクリーン作戦	2017年10月19日	839	原科研、サイクル研、本 部周辺	原子力科学研究所、核燃料サイクル工 学研究所、本部周辺の清掃
大洗	クリーンアップ大洗	2017年7月2日	99	大洗町	夏の海水浴シーズンに備えて海岸の清 掃を行うことにより、町の美化に貢献す るとともに地域との共生を深めた。
	昼休みボランティア清掃	2017年4月～2018年3月 (毎月1回程度)	495	銚田市、大洗町	大洗研究開発センター周辺の清掃活動
NEAT福井	クリーンアップふくい	2017年6月5日	5	支所周辺	支所周辺の清掃
東濃	道の駅「志野・織部」付近の植栽帯における 花植作業	2017年6月1日 2017年6月9日 2017年9月4日～9月15日 2017年11月9日 2017年11月16日	78	事務所周辺 (道の駅「志野・織部」付 近)	植栽帯の土づくり、花植作業を行った。
	散策路及び植栽の整備	2017年6月1日～ 2017年10月27日	85	事務所周辺(瑞浪超深 地層研究所付近)	散策路及び植栽の整備を行った。
	土岐川(狭間川)河川清掃への参加	2017年6月4日	28	事務所周辺 (サイエンスワールド付 近)	事務所近隣の河川岸の草刈り及びゴミ 回収を行った。
	賤洞町内会草刈への参加	2017年8月27日	4	土岐市泉町	東濃鉱山のある賤洞地区の道路周辺の 草刈と清掃を行った。
	賤洞町内会側溝清掃への参加	2018年3月11日	5	土岐市泉町	東濃鉱山のある賤洞地区の道路側溝の 清掃を行った。

表1-8 清掃活動等のボランティア等への参加・貢献状況(2017年度)(2/2)

拠点名	タイトル	実施時期	協力者人数	場所	概要
敦賀	クリーンアップふくい大作戦	2017年6月4日	15	敦賀市 松原海岸周辺	清掃活動 (松原海岸)
	クリーンアップふくい大作戦	2017年6月15日	50	本部事務所周辺	本部事務所周辺の清掃
	笹の川クリーン作戦	2017年9月24日	5	敦賀市 笹の川周辺	清掃活動 (笹の川周辺)
	小さな親切運動クリーン作戦	2017年9月24日	3	敦賀市	清掃活動 (金ヶ崎緑地公園清掃)
	本部事務所周辺清掃活動	2017年10月6日	50	本部事務所周辺	本部事務所周辺の清掃
ふげん	クリーンアップふくい大作戦	2017年6月4日	19	敦賀市 立石区及び浦底区	職場の周辺公共道路及び海岸を清掃し 環境美化に勤める。
	県道清掃	2017年6月14日	12	敦賀市 立石区及び浦底区	職場の周辺公共道路を清掃し環境美化 に勤める。
	水島清掃	2017年6月28日	22	敦賀市 水島	観光名所である水島を清掃し地域環境 の保全・美化に貢献するとともに、地域 の方々との交流を深める。
	県道清掃	2017年9月27日	12	敦賀市 立石区及び浦底区	職場の周辺公共道路を清掃し環境美化 に勤める。
人形	第1回ボランティア清掃活動	2017年5月20日	60	センター周辺及びセン ターから国道までの町 道	センター周辺及びセンターから国道まで の町道(3方向)の清掃活動を実施した。
	第2回ボランティア清掃活動	2017年10月21日	50	センター周辺及びセン ターから国道までの町 道	センター周辺及びセンターから国道まで の町道(3方向)の清掃活動を実施した。
原子力機構からの参加者・貢献者の人数		合計	3,072		

表1-9 緑化・植林・植樹・花壇の整備等の取組(2017年度)

拠点名	タイトル	実施時期(開始～終了)	概要
檜葉	檜葉遠隔技術開発センター 緑地維持管理作業	2017年8月1日	構内の植栽等の剪定を実施した。
富岡	国際共同研究棟敷地内緑化 管理	2017年11月1日	敷地内緑化管理業務として、芝生剪定(1,081㎡)、低木(ツツジ)剪定(ツツジ 421㎡)、消毒、施肥等の作業を実施
本部	構内緑地管理作業	2017年7月～2017年12月	構内環境美化のため、除草・剪定作業等を行った。(対象面積 36,990㎡)
	構内樹木の伐採・剪定	2017年7月～2018年1月	構内における樹木の倒木等による建屋及び人、電線等への被害防止等の ため、樹木剪定・伐採作業を行った。 (剪定対象樹木:250本)(伐採対象樹木:7本)
原科研	構内花壇整備	2017年4月～2018年3月	構内の花壇の植替え等を行った。(2,320本、322㎡)
	松枯れ対策	2017年11月～2018年3月	松くい虫による松枯れ対策として研究所構内の松枯れ調査を実施し、その 結果を基に、枯れ松の伐採及び樹幹注入を行い被害の拡大を防止した。
サイクル研	構内植栽管理作業	2017年5月～2018年12月	構内環境美化のため、樹木・寄植の剪定及び芝刈り並びに除草作業を行っ た(対象面積198,836㎡)。
	構内枯れ松の伐採	2018年2月	構内における枯れ松の倒木及び松くい虫の被害拡大を防ぐため、枯れ松の 伐採を行った(対象樹木本数144本)。
大洗	構内芝草刈作業	2017年6月～2018年1月	構内の屋外消防設備周辺や施設周辺の安全等を維持するために芝草刈作 業等を行った。
	松くい虫駆除のための薬剤 散布	2017年6月～2017年7月	松くい虫被害拡大を防止するため松くい虫防除薬剤の散布を行った。
	樹木の伐採作業	2017年10月～2017年11月	廃棄物管理施設の倒木及び北食堂の駐車場の安全性を確保するために樹 木の伐採作業を行った。
	枯松調査作業	2017年11月～2017年12月	災害の未然防止及び環境美化のための枯松伐採作業を行う前に枯松被害 状況を正確に把握するため行った。
	施設周辺草刈り作業	2017年12月～2018年2月	施設周辺の安全等を維持するために芝草刈作業を行った。
	植栽植樹等作業	2018年1月～2018年3月	構内の美観を維持し構内環境を良好に保つために植栽作業及び過年度ま でに行った枯松伐採作業により木々が疎らに存在している箇所について、森 林部再生のため植樹作業を行った。
	枯松の伐採作業	2018年2月～2018年3月	構内の安全確保及び松くい虫被害拡大を防止するために枯松等の伐採作 業を行った。
	植樹松の補修作業	2018年2月～2018年3月	構内の植樹した松の苗木が倒れていたため、松の補修作業を行った。
NEAT茨城	支援・研修センター敷地内の 植栽・緑化・花壇整備	2017年4月～2018年3月	・樹木、芝の定期的な剪定、刈りこみの実施 ・敷地内の環境美化の一環として花壇を整備 ・夏にはグリーンインベーションとしてゴーヤのカーテンによる遮熱
東濃	土岐地球年代学研究所構内 樹木の樹勢回復他作業	2017年10月～2017年11月	土岐地球年代学研究所の所内のツツジ 7本の植え替え等を行った。
人形	第9回「とっとり共生の森事 業」の森林保全活動	2017年5月20日	2012年7月12日、鳥取県からの要請によりレンガ加工工場跡地を「とっとり共生 の森事業」として参画することとなった。センターの安全等連絡協議会が主 催し、レンガ加工工場跡地に植樹された樹木について、積雪により倒れた木を 起こす作業及び施肥と水やり作業を実施した。
	第10回「とっとり共生の森事 業」の森林保全活動	2017年10月21日	2012年7月12日、鳥取県からの要請によりレンガ加工工場跡地を「とっとり共生 の森事業」として参画することとなった。センターの安全等連絡協議会が主 催し、森林の環境保全のための下草刈り作業を実施した。

表1-10 環境に関する拠点等の独自の活動、地道な取組等(2017年度)

拠点名	タイトル	概要
むつ	照明器具のLED化	むつ科学技術館の照明器具をLED化して節電に努めている。ロビー、制御展示室、トイレ等の照明器具をLEDに交換することにより5%の節電に努めた。
いわき	昼休み時の照明の消灯	昼休み時の居室内の消灯を徹底して行い、節電に努めている。
檜葉	昼休みの消灯及び不在時消灯の励行	休憩時間である昼休みを利用して、事務室の照明を消灯して節電に努めている。また、会議室等の不在時は消灯の励行をしている。
	印刷時の省資源活動	原則白黒印刷を促進している。また、両面印刷または裏紙利用の活用も併せて促進している。
	冷暖房温度の適正化	環境省の推奨する室温の目安に準じて、夏は28度・冬は20度の設定を心掛けている。
	クールビズ及びウォームビズの実施	クールビズは、ノーネクタイ等の軽装を推奨し、会議等も軽装での参加としている。ウォームビズは、重ね着等により暖房に頼らないワークスタイルを心掛けている。
本部	ペーパーレス会議の拡大	更なるペーパーレス会議利用推進のため、2017年度においては端末台数を9台増やすとともに(端末台数計34台)、本部従業員に対し、ペーパーレス会議の利用拡大についての啓蒙活動を実施した。
サイクル研	再処理現場指揮所LED化	再処理現場指揮所蛍光灯の安定器不調に伴う点検にあわせ、LED化を実施した。
	遮光ネット設置により居室内温度上昇を軽減	日差しが強くなる時期(6月～9月)において、直射日光による居室内温上昇を軽減するため、第三開発室(2階)ベランダに遮光ネットを設置し省エネに貢献している。
NEAT茨城	お昼休みの照明の消灯	日中のお昼休みの時間帯で照明を消灯して節電に努めている。
	グリーンカーテンの育成	日差しの強い支援棟1F居室窓側にゴーヤのグリーンカーテンを栽培し、遮断になるよう夏の節電対策とした。
東京	ペーパーレス会議の拡大	更なるペーパーレス会議利用推進のため、2017年度においては端末台数を7台増やすとともに(端末台数計32台)、事務所員に対し、ペーパーレス会議の利用拡大についての啓蒙活動を実施した。
もんじゅ	昼休み消灯の励行	昼休み(12:30～13:00)の間、もんじゅ事務所で消灯を実施している。
	可燃・不燃ごみの分別励行	もんじゅ事務所で可燃・不燃ごみのごみ箱を分けて設置し、分別の励行を実施
	プラスチック・ペットボトル等の分別励行	もんじゅ事務所でプラスチック・ペットボトル等のごみ箱を設置し、分別の励行を実施
人形	「業務目標(省資源・省エネ)」による管理	2013年度から「業務目標(省資源・省エネ)」の管理に移行し、「省エネ法に基づく定期報告書の過去5年間のエネルギー消費原単位の変化状況」により年平均1%削減の管理を実施している。 2013年度を基準年度とし、2014年度から2017年度の4年間では、年平均2.4%の減少となった。 2017年度の活動は、2016年度に滞留ウラン回収作業は終了し、2017年8月にEEF側の熱水配管に腐食が見つかり、熱水の供給を停止したため重油の使用量が減少した。
	「温室効果ガス排出の抑制等の実施計画」による管理	「温室効果ガス排出の抑制等の実施計画」は2013年度から2017年度の5年間に2012年度の温室効果ガス排出実績に対して5%の削減管理を実施している。 5ヶ年計画の5年目の活動を実施し、2017年度は5.4%の削減となったが、5年間の総排出量に対する5%の削減は、7.9%の増加となり、年平均1%の削減までは至らなかった。 要因は、2017年度は8月にEEF側の熱水配管の腐食の発見により、EEF側の熱水の供給を停止したため、5.4%の削減となった。また、年平均1%の削減目標に対しては、2014年度から2016年度に新規作業の滞留ウラン回収作業やEEFの解体撤去作業による電気及び重油の使用量の増加に伴い、温室効果ガス排出量が増加した。

表1-11 2017年度環境目標の結果と評価(1/2)

環境目標	環境目標項目	目標に対するやるべき(取り組むべき)実施内容 (計画内容)	2017年度の実施結果	各実施結果が妥当だったかどうか (結果の分析)	評価	今後の方策
省エネルギーの推進	【数値目標あり】 2013年度を前年比1%削減とし2017年度末に、エネルギー消費原単位を年平均1%以上削減、または電気需要削減、または省エネルギー削減率を2014年度を前年比1%以上削減	各拠点において、電力や化石燃料の使用量の削減及び電気需要削減のため、以下の施策を計画した。 ・空調温度の適正設定 ・クーリング、ウォームビズの推進 ・照明設備のLED化の計画的推進 ・省エネパナローラの実施 ・暖房、給湯設備等の合理的使用 ・設備の定期点検時期を夏・冬のピーク時期に設定 ・夏・冬の一斉休館期間中の設備機器の運転停止 ・省エネポスターの掲示やイントラへのエネルギー使用量の見える化等の省エネ意識の啓蒙 など	機構全体で省エネルギー推進のため不要な照明や屋休みの消灯、空調温度の適正化に努めた。また省エネ意識の啓蒙のための各種取り組みを実施した。 2017年度間の省エネルギー削減率は年平均100.4%、標準化原単位は年平均99.9%となり、どちらも目標の98%に届かず、目標は達成できなかった。	原単位を拠点別にみると、原研の原単位の増加が原子力機構全体の原単位に大きく影響している。原研の原単位の増加は、主にJ-PARCにおいて実験計画の遂行に伴ってエネルギー消費量が削減されたことによる。省エネポスターの取り組みの効果をモニタリングできるような、きめ細かい原単位の設定方法を検討する必要がある。	未達成である。省エネルギーの取り組みを推進できるような原単位の設定を検討する必要がある。	業務の遂行に伴ってエネルギー消費量が削減される観点について、原単位の設定の見直しを検討する。
活動施策	【数値目標なし】	やるべき内容、実施できる取り組み内容 (計画に記載した実施内容)	各取り組み内容を実施できたかどうか。 数値的目標等がある場合はその結果。	やるべき内容がどこまでできているか、どのような努力をしたか。できなかった場合は理由と理由の妥当性。	結果がそれぞれ妥当かどうか、総合的に評価	今後の方策
省エネルギーの推進	電気及び化石燃料の効率的・効果的な使用の検討と推進	各拠点において、電力や化石燃料の使用量の削減及び電気需要削減のため、以下の施策を計画した。 ・省エネパナローラの実施 ・暖房、給湯設備等の合理的使用 ・設備の定期点検時期を夏・冬のピーク時期に設定 ・夏・冬の省エネポスターの掲示やイントラへのエネルギー使用量の見える化等の省エネ意識の啓蒙 など	(電気の使用量) 2017年度の対前年度比:102.2% (化石燃料の使用量) 2017年度の対前年度比:98.5%	電気の使用量については、実験計画の遂行により使用量が増加した。 (J-PARCを除く)場合の電気の使用量) 2017年度の対前年度比:99.3%	良好	エネルギー使用量の削減努力を継続する。
省資源の推進	節水の推進	・節水の推進啓蒙・啓蒙 ・節水機器の導入 ・漏水の早期発見と補修	2017年度の対前年度比:106.4% 2017年度の過去5年度間平均値との比:101.2%	前年度の値、過去5年度間の平均値いずれも上回っており、良好とはいえない。これは、一部の拠点で設備の故障等により水の使用量が増加したためである。	良好ではない。設備の故障の早期発見などの改善が必要である。	設備故障の早期発見や劣化した設備の早期更新に努めることにも、拠点にさらなる節水を呼びかけ、節水意識の向上を図る。 投入資源の削減努力をターゲットとして工ジェクトと併せて工夫して継続する。
省資源の推進	コピー用紙の削減	・コピー用紙削減の啓蒙・啓蒙 ・紙資源不利用全議の奨励と実施 ・画面印刷や2アップ印刷の励行	2017年度の対前年度比:98.1% 2017年度の過去5年度間平均値との比:98.1%	各拠点の値、過去5年度間の平均値に対しては下回っており、良好とはいえない。これは、一部の拠点で設備の故障等により紙の使用量が増加したためである。	良好	設備故障の早期発見や劣化した設備の早期更新に努めることにも、拠点にさらなる節水を呼びかけ、節水意識の向上を図る。 投入資源の削減努力をターゲットとして工ジェクトと併せて工夫して継続する。

表1-11 2017年度環境目標の結果と評価(2/2)

活動施策	【数値目標なし】	やるべき内容、実施できる取り組み内容 (計画に記載した実施内容)	各取り組み内容を実施できたかどうか。 数値的目標等がある場合はその結果。	やるべき内容がどこまでできてきているか、どのような努力をしたか。	結果がそれぞれ妥当かどうか、総合的に評価	今後の方策
廃棄物の 低減	古紙リサイクルを推進	・使用後古紙の分別回収 ・古紙回収の啓蒙 ・紙資源回収実績の見える化	・コピー用紙回収箱の設置 ・新聞、雑誌、段ボール等ごとの分別回収 ・古紙回収のポスター掲示	・コピー用紙の回収箱は各事業単位で設置し、広く浸透(良好) ・拠点ごとに月ごとの分別回収を継続実施している(良好) ・啓蒙活動は各拠点で実施している(良好)	良好	「古紙は資源」の意識で継続して取り組む
	分別回収を徹底する とともに、有害物を回収	・分別回収箱の設置 ・分別回収の依頼の周知、啓蒙 ・定期的回収と搬出、売却	・不要物のうち、再利用した比率は52%(2016年度は64%) ・各拠点ごとに分別回収箱を設置 ・各拠点でイントラ等にて啓蒙情報等を掲載	・再利用率の減少は、設備の稼働に伴い分別が困難な廃棄物が発生したことなどによる。再利用した比率は減少したものの、各拠点において、再利用が可能な不燃物については下記のような努力を行っている(良好) ・拠点、連屋等ごとに分別回収箱を設置し、回収を実施 ・拠点における毎月等の定期的分別回収の徹底	良好	分別回収を徹底するなど、更なるリサイクルに向けて努力を継続する。
環境保全に 関する情報 発信の推進	放射性廃棄物の低減を推進	・管理区域内への不要物品持ち込みの制限、最小限化 ・機器工具等の再使用、合理化推進 ・放射性廃棄物の低減の教育と啓蒙 ・クリアランスの推進	・不要物品の持ち込み制限、最小限化の教育は随時作業者等に 실시 実施 ・約10%をクリアランス物として国の確認を受けた(人形)	・拠点にて放射性廃棄物低減につながる教育と啓蒙活動を実施している(良好) ・クリアランスの各種準備作業と再利用を各拠点で推進した(良好)	良好	クリアランスを継続して推進する。
	物量的な環境保全に関する情報発信の検討と推進	・イントラ等への環境配慮活動情報の掲載 ・環境レポートの発行 ・環境詳細情報JAEA-Reviewの発行 ・情報のタイムリーな発信	・本部、各拠点においてイントラへの環境配慮活動情報を掲載 ・原子力機構2017の発行(2017年10月) ・環境詳細情報JAEA-Reviewの発行(2018年3月)	・情報のイントラへの掲載は適宜実施している(良好) ・環境レポートを発行し、広く一般への公表情報を発信した(良好) ・各拠点で環境配慮情報等のページは各種環境情報や電気使用量等の省エネ情報が見える化されている(良好)	良好	更なる効果的な情報発信方法を検討して実施

This is a blank page.

2. 環境報告の詳細データ

表 リ ス ト

表 2-1-1	エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (2017 年度) ……	41
表 2-1-2	電気使用量増減の理由及び取組内容 (2017 年度) ……	69
表 2-1-3	化石燃料使用量増減の理由及び取組内容 (2017 年度) ……	71
表 2-1-4	総エネルギー投入量種類別割合 (2017 年度) ……	73
表 2-1-5	総エネルギー投入量拠点別割合 (2017 年度) ……	74
表 2-1-6	総エネルギー投入量種類別推移 (2017 年度) ……	75
表 2-1-7	総エネルギー投入量拠点別推移 (2017 年度) ……	76
表 2-1-8	電気使用量拠点別推移 (2017 年度) ……	77
表 2-1-9	化石エネルギー投入量拠点別推移 (2017 年度) ……	78
表 2-2-1	総温室効果ガス拠点別排出量 (2017 年度) ……	79
表 2-2-2	調整後総温室効果ガス拠点別排出量 (2017 年度) ……	80
表 2-2-3	総温室効果ガス排出量拠点別推移 (2017 年度) ……	81
表 2-2-4	調整後総温室効果ガス排出量拠点別推移 (2017 年度) ……	82
表 2-2-5	電気使用に伴う CO2 排出量拠点別推移 (2017 年度) ……	83
表 2-2-6	電気使用に伴う調整後 CO2 排出量拠点別推移 (2017 年度) ……	84
表 2-2-7	エネルギー起源 CO2 排出量種類別推移 (2017 年度) ……	85
表 2-2-8	調整後エネルギー起源 CO2 排出量種類別推移 (2017 年度) ……	86
表 2-2-9	一般・産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量 (2017 年度) ……	87
表 2-2-10	代替フロン等 4 ガス集計表 (2017 年) ……	88
表 2-2-11	代替フロン等 4 ガスによる温室効果ガス排出量の種類別推移 (2017 年) ……	95
表 2-2-12	代替フロン等 4 ガスによる温室効果ガス排出量の拠点別推移 (2017 年) ……	96
表 2-2-13	拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量 (2017 年度) ……	97
表 2-2-14	フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量拠点別推移 (2017 年度) ……	98
表 2-3-1	輸送量 (トンキロ) 総計表 (2017 年度) ……	99
表 2-3-2	輸送量 (トンキロ) (核燃料物質等) と (その他) (2017 年度) ……	100
表 2-4	コピー用紙投入量 (2017 年度) ……	105
表 2-5	特定調達品目 (物品・役務) 調達実績集計表 (2017 年度) ……	108
表 2-6	特定調達品目 (公共工事) 調達実績集計表 (2017 年度) ……	121
表 2-7	大気汚染物質の測定結果 (2017 年度) ……	122
表 2-8	ダイオキシン類の測定結果 (2017 年度) ……	124

表 2-9 水資源投入量及び排水量 (2017 年度)	125
表 2-10-1 水質測定結果 (水素イオン濃度等) (2017 年度)	126
表 2-10-2 水質測定結果 (カドミウム等) (2017 年度)	132
表 2-11 PRTR 法対象化学物質の排出・移動量 (2017 年度)	137
表 2-12 PCB 廃棄物保管量増減の理由及び取組内容 (2017 年度)	138
表 2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ (2017 年度)	139
表 2-13-2 拠点別廃棄物分類別集計表 (2017 年度)	161
表 2-13-3 拠点別一般廃棄物集計表 (2017 年度)	162
表 2-13-4 拠点別特別管理一般廃棄物集計表 (2017 年度)	163
表 2-13-5 拠点別産業廃棄物集計表 (2017 年度)	164
表 2-13-6 拠点別特別管理産業廃棄物集計表 (2017 年度)	165
表 2-13-7 産業廃棄物区分別割合 (2017 年度)	166
表 2-13-8 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) の状況 (2017 年度)	167
表 2-13-9 廃棄物増減の理由及び取組内容 (2017 年度)	168
表 2-14 有価物の払い出し量 (2017 年度)	170
表 2-15 建設リサイクル集計表 (2017 年度)	171
表 2-16-1 放射性固体廃棄物 (2017 年度)	172
表 2-16-2 放射性気体廃棄物の放出量 (再処理施設以外) (2017 年度)	174
表 2-16-3 放射性気体廃棄物の放出量 (再処理施設) (2017 年度)	176
表 2-16-4 放射性液体廃棄物の放出量 (再処理施設以外) (2017 年度)	177
表 2-16-5 放射性液体廃棄物の放出量 (再処理施設) (2017 年度)	178
表 2-17-1 騒音規制法に基づく測定 (2017 年度)	179
表 2-17-2 振動規制法に基づく測定 (2017 年度)	180
表 2-18 環境データ拠点別比較	181

注記)

※1 表中の数値は四捨五入による端数処理をして表記した。そのため、個々の数値を合算した数値と表記されている合計値とが一致しない場合がある。

図 リ ス ト

図 2-1 総エネルギー投入量の拠点別比較（2017 年度）	186
図 2-2 水資源投入量の拠点別比較（2017 年度）	187
図 2-3 コピー用紙投入量の拠点別比較（2017 年度）	188
図 2-4 総温室効果ガス排出量の拠点別比較（2017 年度）	189
図 2-5 一般・産業廃棄物発生量の拠点別比較（2017 年度）	190

注記)

※ 2015 年度までのデータには、「むつ」については「六ヶ所」が含まれ、「関西播磨」については「関西木津」が含まれる。

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (むつ) (2017年度) (2/28)

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kL)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考		
	一般電気事業者	その他の電気事業者														
電気	電気	一般電気事業者	屋間買電(平準化時間帯を含む)	285,271	372,999	658,270	0.00997	6,563	169	0.000545	359	0.000548	361	東北電力		
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	0	0	0	0			
		その他の電気事業者1	屋間買電(平準化時間帯を含む)	415,412	606,550	1,021,962	0.00987	10,189	263	0.000465	414	0.000441	451		エネット	
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	0	0	0	0			
		その他の電気事業者2	屋間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00987	0	0	0	0.000512	0	0.000512		0	
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	0	0	0	0		0	
	電気需要平準化時間帯のみの合計		335,188	712,723	1,047,911	0.00997	10,448	270								
	自家発電		0	0	0	0.00976	0	0	0							
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量				1,650,232		16,752	432						811		
	化石燃料	燃料	ガソリン	(kL)	0.10	0.15	0.25	34,6000	9	0	0.0671	1				
			灯油	(kL)	1.40	7.10	8.49	36,7000	312	8	0.0678	21				
			軽油	(kL)	0.16	0.79	0.96	37,7000	36	1	0.0686	2				
			A重油	(kL)	4.22	57.56	61.77	39,1000	2,415	62	0.0693	167				
			LPG	(t)	0.04	0.06	0.11	50,8000	5	0	0.0590	0				
LNG			(t)	0.00	0.00	0.00	54,6000	0	0	0.0495	0					
天然ガス			(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0					
都市ガス			(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0					
その他			-	0.00	0.00	0.00		0	0	0	0					
小計(2)								2,777	72			192				
むつ	排出量	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量				0.079		19,529	504		965		1,003			
		HFC	(kg)								0.133					
		PFC	(kg)									0.000				
		SF ₆	(kg)			193.780					22,800	4,418.184				
		NF ₃	(kg)			0.000					17,200	0.000				
		小計(3)										4,418.32				
		廃棄物焼却	焼却量	CO ₂	(t)								0.000			
				CH ₄	(t)								0.000			
				N ₂ O	(t)								25			
		小計(4)										298				
浄化槽	人数	CH ₄	(人)								2,118					
		N ₂ O	(人)			77		0.08		25						
											0.597					
小計(5)										298						
直接温室効果ガス排出量													2,714			
総合計(総温室効果ガス排出量)													4,613			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量													5,386			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計													0			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量													5,424			

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計一覧（福島拠点）（2017年度）（3/28）

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kcl)	実排出・ 換算係数	実温室 効果ガス 排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考	
	一般電気 事業者	その他 電気事業者1												
電気	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	430,543	696,171	1,126,714	0.00997	11,233	290	-	608	610		
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0		
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	303,735	500,351	804,086	0.00997	8,017	207	-	291	390		
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0		
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	0	0	0	0.00997	0	0	-	0	0		
	電気需要平準化時間帯のみの合計			383,520	950,648	1,334,168	0.00997	13,302	343	-	-	-		
	自家発電			0	0	0	0.00976	0	0	-	-	-		
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量					1,930,800		19,250	497	-	899	1,000		
	化石燃料	ガソリン		(kl)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0		
		灯油		(kl)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0		
		軽油		(kl)	0.00	0.36	0.36	37.7000	14	0	0.0686	1		
		A重油		(kl)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0		
		LPG		(t)	1.12	3.38	4.50	50.8000	229	6	0.0590	14		
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0		
		天然ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0		
都市ガス			(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
その他			-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
小計(2)								242	6	-	14			
福島拠点	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量							19,492	503	-	914	1,015		
	代替フロン 等4ガス	HFC		(kg)			0.000				-	0.000		
		PFC		(kg)			0.000				-	0.000		
		SF ₆		(kg)			0.000				22,800	0.000		
		NF ₃		(kg)			0.000				17,200	0.000		
	廃棄物焼却	焼却量	排出係数CH ₄ /t				0					CO ₂ 換算		
			排出係数N ₂ O/t									CO ₂ 換算		
			排出係数CH ₄ /人									25		
			排出係数N ₂ O/人									298		
	浄化槽	人数	排出係数CH ₄ /人				109					CO ₂ 換算		
排出係数N ₂ O/人											25			
排出係数CH ₄ /人											0.0011			
排出係数N ₂ O/人											0.000026			
小計(5)										3,842				
直接温室効果ガス排出量											18			
総合計(総温室効果ガス排出量)											918	1,019		
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											918	1,019		

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (いわき) (2017年度) (4/28)

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kcal)	実排出・ 換算係数	実温室 効果ガス 排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考
	一般電気 事業者	その他の 電気事業者1 その他の 電気事業者2										
電気	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	48,963	54,804	103,757	1,034	27	0.000548	57	57	東北電力
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	0	0	0	0	0	0.000000	0	0	
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	0	0	0	0	0	0.000000	0	0	
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	0	0	0	0	0	0.000000	0	0	
	電気需要平準化時間帯のみの合計	自家発電		26,143	39,577	65,720	655	17	0.000000	0	0	
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			0	0	0	0	0	0.000000	0	0	
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			0	0	0	0	0	0.000000	0	0	
	ガソリン		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0671	0	0	
	灯油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0678	0	0	
	軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0686	0	0	
	A重油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0693	0	0	
	LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0590	0	0	
	LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0495	0	0	
天然ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0510	0	0		
都市ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0489	0	0		
その他		-	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0		
小計(2)			0	0	0	0	0	0	0	0		
総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量			0	0	0	0	0	0	0	0		
代替フロン 等4ガス	HFC	排出量	(kg)						-	0.000	0.000	
	PFC		(kg)						-	0.000	0.000	
	SF ₆		(kg)						22,800	0.000	0.000	
	NF ₃		(kg)						17,200	0.000	0.000	
	小計(3)									0.000	0.000	
廃棄物焼却	CO ₂	焼却量	(t)						排出係数CH ₄ /t	CO ₂ 換算	0.000	
	CH ₄								0.000	25	0.000	
	N ₂ O								排出係数N ₂ O/t	CO ₂ 換算	0.000	
小計(4)								0.000	298	0.000		
浄化槽	CH ₄	人数	(人)						排出係数CH ₄ /人	CO ₂ 換算	0.000	
	N ₂ O								0.00	CO ₂ 換算	0.000	
	N ₂ O								排出係数N ₂ O/人	CO ₂ 換算	0.000	
小計(5)								0.00	0.000	0.000		
直接温室効果ガス排出量										0		
総合計(総温室効果ガス排出量)										57	57	
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量										0	0	
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計										57	57	

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ（摘要）(2017年度) (5/28)

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kcl)	実排出・ 換算係数	実温室 効果ガス 排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考	
	一般電気 事業者	その他の 電気事業者1												
電気	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	0	0	0	0.00997	0	0	0.000512	0	0		
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	0	0	0	0.00928	0	0	0.000485	0	0		
	その他の 電気事業者1	夜間買電	(kwh)	303.735	500.351	804.086	0.00997	8,017	207	0.000382	291	390	丸粒新電力	
	その他の 電気事業者2	夜間買電	(kwh)	0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0		
	電気需要平準化時間帯のみの合計			175,402	397,959	573,361	0.00997	5,718	147	0.000000	0	0		
	自家発電			0	0	0	0.00976	0	0	0.000000	0	0		
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			0	0	804,086	0.00976	8,017	207	0.000512	291	390		
	化石 燃料	ガソリン		(kl)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0	0	
		灯油		(kl)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0	0	
		軽油		(kl)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0	0	
		A重油		(kl)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0	0	
		LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0	0	
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0	0	
		天然ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0	0	
		都市ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0	0	
その他			-	0.00	0.00	0.00	0.0000	0	0	0.0000	0	0		
小計(2)				0.00	0.00	0.00	0.0000	0	0	0.0000	0	0		
楢葉	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量							8,017	207		291	390		
	代替フロン 等4ガス	HFC		(kg)	0.000	0.000	0.000				-	0.000	0.000	
		PFC		(kg)	0.000	0.000	0.000				-	0.000	0.000	
		SF ₆		(kg)	0.000	0.000	0.000				22,800	0.000	0.000	
		NF ₃		(kg)	0.000	0.000	0.000				17,200	0.000	0.000	
		小計(3)			0.000	0.000	0.000				40,000	0.000	0.000	
	廃棄物焼却	CO ₂		(t)							排出係数CH ₄ /t	CO ₂ 換算	0.000	
		CH ₄		(t)							0.000	25	0.000	
		N ₂ O		(t)							排出係数N ₂ O/t	CO ₂ 換算	0.000	
	小計(4)									0.000	298	0.000		
	浄化槽	CH ₄		(人)							排出係数CH ₄ /人	CO ₂ 換算	1.925	
		N ₂ O		(人)							0.0011	25	0.542	
		小計(5)									0.000026	298	2.467	
	直接温室効果ガス排出量											2		
	総合計(総温室効果ガス排出量)											294	392	
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											0			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											294	392		

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ（富岡）(2017年度) (7/28)

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー量 換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kcl)	実排出・ 換算係数	実温室 効果ガス 排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考			
	一般電気 事業者	その他の 電気事業者1														
富岡	電気	屋間買電(平準化時間帯を含む)	(kwh)	73,680	101,140	174,770	0.00997	1,742	45	0.000545	95	96	東北電力			
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0	0.000548	0	0				
		屋間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0				
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0				
		屋間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0				
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0				
		電気需要平準化時間帯のみの合計		40,670	71,620	112,290	0.00997	1,120	29							
		自家発電		0	0	0	0.00976									
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量						174,770	45						96	
		化石 燃料		ガソリン	(kcl)	0.00	0.00	0.00	34,6000	0	0	0.0671		0		
				灯油	(kcl)	0.00	0.00	0.00	36,7000	0	0	0.0678		0		
				軽油	(kcl)	0.00	0.00	0.00	37,7000	0	0	0.0686		0		
				A重油	(kcl)	0.00	0.00	0.00	39,1000	0	0	0.0693		0		
				LPG	(t)	0.00	0.00	0.00	50,8000	0	0	0.0590		0		
				LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,6000	0	0	0.0495		0		
天然ガス	(Nm ³)		0.00	0.00	0.00	0,0435	0	0	0.0510	0						
都市ガス	(Nm ³)		0.00	0.00	0.00	0,0448	0	0	0.0489	0						
その他	-		0.00	0.00	0.00		0	0								
小計(2)							1,742	45								
富岡	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量															
	代替フロン 等4ガス	HFC	(kg)			0.000										
		PFC	(kg)			0.000										
		SF ₆	(kg)			0.000					22,800					
		NF ₃	(kg)			0.000					17,200					
		排出量														
	廃棄物焼却	小計(3)														
		CO ₂	(t)													
		CH ₄	(t)													
		N ₂ O	(t)													
排出係数CH ₄ /t		CH ₄ 排出量														
浄化槽	小計(4)															
	CH ₄	(人)														
	N ₂ O	(人)														
	排出係数CH ₄ /人	CH ₄ 排出量														
	排出係数N ₂ O/人	N ₂ O排出量														
小計(5)																
直接温室効果ガス排出量																
総合計(総温室効果ガス排出量)																
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量																
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量																
フロン排出抑制法に基づきフロン排出による温室効果ガス排出量																
温室効果ガス排出量を加えた総合計																

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ（原研(J-PARCを含む)）(2017年度) (10/28)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kℓ)	実排出・換算係数	美温室効果ガス排出量 (t)	調整後 温室効果ガス排出量 (t)	備考	
電気	一般電気 事業者		71,688,614	95,013,879	166,702,493	0.00997	1,662,024	42,880	-	81,017	79,017		
	夜間買電(平準化時間帯を含む)		48,345,441	67,294,945	115,640,386	0.00928	1,073,143	27,687	-	56,201	54,814		
	その他の電気事業者1		54,142	86,774	140,916	0.00997	1,405	36	-	51	68		
	夜間買電	(kwh)	0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0		
	その他の電気事業者2		0	0	0	0.00997	0	0	-	0	0		
	夜間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0		
	電気需要平準化時間帯のみの合計		21,171,348	63,216,986	84,388,334	0.00997	841,352	21,707	-	-	-		
	自家発電		8,641	3,707	12,348	0.00976	2,736,572	70,604	-	-	-	133,899	
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量				282,496,143								
	化石燃料	ガソリン	(kℓ)	1.45	1.37	2.82	34,600	98	3	0.0671	7		
		灯油	(kℓ)	1.54	1.78	3.32	36,700	122	3	0.0678	8		
		軽油	(kℓ)	1.79	1.30	3.09	37,700	117	3	0.0686	8		
		A重油	(kℓ)	20.06	9.58	29.64	39,100	1,159	30	0.0693	80		
		LPG	(t)	5.49	8.08	13.57	50,800	689	18	0.0590	41		
		LNG	(t)	413.12	1,808.01	2,221.13	54,600	121,274	3,129	0.0495	6,003		
天然ガス		(Nm³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
都市ガス		(Nm³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0489	0			
その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
小計(2)					123,458		3,185			6,147			
原研(J-PARCを含む)	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量				2,860,029		73,789			143,416	140,046		
	HFC	(kg)			306,135					438,150			
	PFC	(kg)			0,000					0,000			
	SF ₆	(kg)			697,742				22,800	15,908,522			
	NF ₃	(kg)			0,000				17,200	0,000			
廃棄物焼却	小計(3)									16,346.67			
	CO ₂									0,000			
	CH ₄	(t)			0					0,000			
	N ₂ O									0,000			
	小計(4)									0,000			
浄化槽	小計(5)									0,000			
	CH ₄	(人)								60,418			
	N ₂ O				2,197		2.42		25	17,022			
	小計(5)									77,440			
	直接温室効果ガス排出量									22,571			
総合計(総温室効果ガス排出量)									159,841	156,470			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									763				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計									160,603	157,233			

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (原料研) (2017年度) (11/28)

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kℓ)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考	
	一般電気事業者	その他の電気事業者												
電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)		21,393,017	18,559,475	39,952,492	0.00997	398,326	10,277	0.000486	19,417	19,937	東京電力	
		夜間買電		13,780,619	13,103,628	26,884,247	0.00928	249,486	6,437		13,066	12,743	東京電力	
	その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)		54,142	86,774	140,916	0.00997	1,405	36		51	68	丸粒新電力	
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0	0		
	その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0		0	0		
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0	0		
	電気需要平準化時間帯のみの合計			12,238,099	12,530,142	24,768,241	0.00997	246,939	6,371					
	自家発電			8,634	3,707	12,341	0.00976	649,217	16,750			32,534	31,749	
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量					66,989,996								
	化石燃料	ガソリン		(ℓ)	1.45	1.37	2.82	34.6000	98	3	0.0671	7		
		灯油		(ℓ)	1.54	1.78	3.32	36.7000	122	3	0.0678	8		
		軽油		(ℓ)	1.79	1.30	3.09	37.7000	117	3	0.0686	8		
		A重油		(ℓ)	19.74	9.45	29.19	39.1000	1,141	29	0.0693	79		
		LPG		(t)	5.49	8.08	13.57	50.8000	689	18	0.0590	41		
LNG		(t)	413.12	1,808.01	2,221.13	54.6000	121,274	3,129	0.0495	6,003				
天然ガス		(Nm³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0				
都市ガス		(Nm³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0				
その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0				
小計(2)					167,390		772,657	19,935			38,679	37,895		
原料研	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量					167,390		772,657	19,935					
	代替フロン等4ガス	HFC	(kg)			0.000						235,744		
		PFC	(kg)			0.000						0.000		
		SF ₆	(kg)			697,742					22,800	15,908,518		
		NF ₃	(kg)			0.000					17,200	0.000		
	小計(3)					0.000						16,144.26		
	廃棄物焼却	CO ₂	(t)	焼却量			0					0.000		
		CH ₄	(t)				0.000				25	0.000		
		N ₂ O	(t)				0.000				298	0.000		
	小計(4)											0.000		
浄化槽	CH ₄	(人)	人数			1,873					51,508			
	N ₂ O	(人)				2.06				25	14,512			
						0.000026				298	674			
小計(5)											66,020			
直接温室効果ガス排出量											22,356			
総合計(総温室効果ガス排出量)											54,890			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											54,105			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											54,779			

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (J-PARC) (2017年度) (12/28)

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー量 換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kℓ)	実排出・ 換算係数	実温室 効果ガス 排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考		
	一般電気 事業者	その他の 電気事業者1													
電気	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	50,295,597	76,454,404	126,750,001	0.00997	1,263,898	32,603	0.000486	61,601	60,080	東京電力		
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電		34,564,822	54,191,317	88,756,139	0.00928	823,657	21,250	0.000474	43,135	42,070	東京電力		
	その他の 電気事業者1	夜間買電		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0			
	その他の 電気事業者2	夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0			
	電気需要平準化時間帯のみの合計			8,933,249	50,686,844	59,620,093	0.00997	594,412	15,336	0.000000	0	0			
	自家発電			7	0	7	0.00976								
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量					215,506,147		2,087,354	53,854			104,736	102,150		
	化石燃料														
	ガソリン			(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34,6000	0	0	0.0671	0	0		
	灯油			(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36,7000	0	0	0.0678	0	0		
軽油		(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37,7000	0	0	0.0686	0	0				
A重油		(kℓ)	0.32	0.13	0.45	39,1000	17	0	0.0693	1	0				
LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50,8000	0	0	0.0590	0	0				
LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54,6000	0	0	0.0495	0	0				
天然ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0,0435	0	0	0.0510	0	0				
都市ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0,0448	0	0	0.0499	0	0				
その他		-	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0				
小計(2)						17	0	0			1				
J-PARC	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量					138,745		2,087,372	53,854		104,737	102,151			
代替フロン 等4ガス	HFC	排出量	(kg)	0.00	0.00	0.00					202,407				
	PFC		(kg)	0.00	0.00	0.00					0.000				
	SF ₆		(kg)	0.00	0.00	0.00				22,800	0.004	0.000			
	NF ₃		(kg)	0.00	0.00	0.00				17,200	0.000	0.000			
	小計(3)						0.000					202,41			
廃棄物焼却	CO ₂	焼却量	(t)							CO ₂ 換算	0.000				
	CH ₄									CO ₂ 換算	0.000				
	N ₂ O										CO ₂ 換算	0.000			
小計(4)										0.000					
浄化槽	CH ₄	人数	(人)			324				CO ₂ 換算	8,910				
	N ₂ O									CO ₂ 換算	25				
	小計(5)						298					2,510			
	直接温室効果ガス排出量					11,420					215				
	総合計(総温室効果ガス排出量)										104,951	102,365			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量										89				
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計										105,040	102,453			

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (NEAT福井) (2017年度) (17/28)

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kcl)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考		
	一般電気事業者	電気													
NEAT福井	電気	屋間買電(平準化時間帯を含む)		109,524	87,492	197,016	0.00997	1,964	51	0.000640	126	123	北陸電力		
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0	0	0.000624	0			
		屋間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0	0.000000	0	0		
		夜間買電	(kwh)	0	0	0	0.00928	0	0	0	0.000000	0	0		
		屋間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0	0.000000	0	0		
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0	0	0.000000	0	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計		42,708	38,178	80,886	0.00997	806	21						
		自家発電		0	0	0	0.00976								
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量				197,016		1,964	51					123	
		化石燃料	ガソリン	(kcl)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0	0.0671	0		
	灯油		(kcl)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0	0.0678	0			
	軽油		(kcl)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0	0.0686	0			
	A重油		(kcl)	0.03	0.02	0.05	39.1000	2	0	0	0.0693	0			
	LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0	0.0590	0			
	LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0	0.0495	0			
	天然ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0	0.0510	0			
	都市ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0	0.0499	0			
	その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0	0		0			
	小計(2)							2	0	0					
	NEAT福井	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量						1,966	51			126	123		
代替フロン等4ガス		HFC	(kg)								-	0.000			
		PFC	(kg)								-	0.000			
		SF ₆	(kg)								22,800	0.000			
		NF ₃	(kg)								17,200	0.000			
		排出量													
廃棄物焼却		小計(3)													
		CO ₂	(t)												
		CH ₄	(t)												
		N ₂ O	(t)												
	排出係数CH ₄ /t	CH ₄ 排出量								CO ₂ 換算					
浄化槽	小計(4)														
	CH ₄	(人)													
	N ₂ O	(人)													
	排出係数CH ₄ /人	CH ₄ 排出量								CO ₂ 換算					
	排出係数N ₂ O/人	N ₂ O排出量								CO ₂ 換算					
小計(5)															
直接温室効果ガス排出量															
総合計(総温室効果ガス排出量)															
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量															
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量															
フロン排出抑制法に基づきフロン排出による温室効果ガス排出量															
温室効果ガス排出量を加えた総合計															

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ（東京）（2017年度）（19/28）

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kL)	実排出・換算係数	美温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考		
	一般電気事業者	その他電気事業者														
東京	電気	屋間買電(平準化時間帯を含む)	(kWh)	81,619	75,014	156,633	0.00997	1,562	40	0.000486	76	0.000474	74	東京電力		
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0	0	0	0	0		0	
		屋間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0		0	
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0	0	0	0	0		0	
		屋間買電(平準化時間帯を含む)		0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0		0	
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0	0	0	0	0		0	
		電気需要平準化時間帯のみの合計		28,176	48,139	76,315	0.00997	761	20	0.00997	20	0.000000	0		0.000000	0
		自家発電		0	0	0	0.00976	0	0	0.00976	0	0.000000	0		0.000000	0
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量				156,633		1,562	40		40		76			74
		化石燃料		ガソリン	(kL)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0	0.0671		0	
	灯油		(kL)	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0	0.0678	0				
	軽油		(kL)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0	0.0686	0				
	A重油		(kL)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0	0.0693	0				
	LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0	0.0590	0				
	LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0	0.0495	0					
天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0	0.0510	0						
都市ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0	0.0499	0						
その他	-	0.00	0.00	0.00		0	0	0		0						
小計(2)			0.00	0.00	0.00											
総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量							1,562	40			76		74			
代替フロン等4ガス	HFC	(kg)								-	0.000					
	PFC	(kg)								-	0.000					
	SF ₆	(kg)								22,800	0.000					
	NF ₃	(kg)								17,200	0.000					
	小計(3)										0.000					
	廃棄物焼却	CO ₂	(t)									0.000				
		CH ₄	(t)									0.000				
		N ₂ O	(t)									0.000				
	小計(4)										0.000					
	浄化槽	CH ₄	(人)									0.000				
N ₂ O		(人)									0.000					
小計(5)											0.000					
直接温室効果ガス排出量										0						
総合計(総温室効果ガス排出量)										76		74				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量										0		0				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量										76		74				
フロン排出抑制法に基づきフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計										76		74				

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (東濃) (2017年度) (21/28)

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kL)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考	
	一般電気事業者	その他電気事業者												
電気	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電		118,881	31,712	150,543	0.00997	1,501	39	0.000485	73	72	中部電力	
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0		0	0		
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	433,269	558,529	991,798	0.00997	9,888	255	0.000382	359	481	丸紅新電力	
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電		77,579	91,515	169,094	0.00997	1,886	43	0.000493	83	85	エネシー	
		夜間買電		0	0	0	0.00928	0	0					
	電気需要平準化時間帯のみの合計			340,785	475,752	816,537	0.00997	8,141	210					
		自家発電		0	0	0	0.00976							
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量					1,311,435		13,075	337			515	638	
	化石燃料	ガソリン		(kL)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0		
		灯油		(kL)	0.00	0.34	0.34	36.7000	13	0	0.0678	1		
		軽油		(kL)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0		
		A重油		(kL)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0		
		LPG		(t)	5.60	6.08	11.67	50.8000	593	15	0.0590	35		
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0		
天然ガス			(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
都市ガス			(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
その他				0.00	0.00	0.00		0	0					
小計(2)								605	16		36			
東濃	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量							13,680	353		551	674		
	代替フロン等4ガス	HFC		(kg)			0.000					0.000		
		PFC		(kg)			0.000					0.000		
		SF ₆		(kg)			0.220				22,800	5,016		
		NF ₃		(kg)			0.000				17,200	0.000		
	廃棄物焼却	小計(3)										5.02		
		CO ₂		(t)								0.000		
		CH ₄		(t)			0					0.000		
		N ₂ O		(t)								0.000		
	浄化槽	小計(4)										0.000		
CH ₄			(人)								0.000			
N ₂ O			(人)			76					2.090			
			(人)								0.589			
小計(5)											2,679			
直接温室効果ガス排出量											44			
総合計(総温室効果ガス排出量)											559	681		
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量											26			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											585	707		

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (もんじゅ) (2017年度) (23/28)

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kℓ)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
	一般電気事業者	その他電気事業者													
電気	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	22,291,560	21,737,544	44,029,104	0.00997	438,970	11,325	0.000640	28,179	0.000624	27,474	北陸電力	
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	15,748,440	15,375,216	31,123,656	0.00928	288,828	7,452	0.000000	19,919	0.000000	19,421	北陸電力	
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0		
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)	0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0.000000	0		
	電気需要平準化時間帯のみの合計			12,318,240	14,472,264	26,790,504	0.00997	267,101	6,891	0.000000	0	0.000000	0		
	自家発電			0	0	0	0.00976	0	0						
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量					75,152,760		727,798	18,777		48,098		46,895		
	化石燃料	ガソリン		(ℓ)	0.64	0.52	1.15	34,6000	40	1	0.0671	3			
		灯油		(ℓ)	3.85	3.55	6.90	36,7000	253	7	0.0678	17			
		軽油		(ℓ)	778.41	1,164.07	1,942.48	37,7000	73,232	1,889	0.0686	5,024			
		A重油		(ℓ)	0.00	0.00	0.00	39,1000	0	0	0.0693	0			
		LPG		(t)	4.10	4.48	8.58	50,8000	436	11	0.0590	26			
		LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54,6000	0	0	0.0495	0			
		天然ガス		(Nm³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス		(Nm³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
その他			-	0.00	0.00	0.00		0	0		5,069				
小計(2)						73,961		73,961	1,908		53,167		51,965		
もんじゅ	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量					89,000		801,758	20,685		142,600				
	代替フロン等4ガス	HFC	(kg)			0.000					0.000				
		PFC	(kg)			0.000					0.000				
		SF ₆	(kg)			0.000					22,800				
		NF ₃	(kg)			0.000					17,200				
廃棄物焼却	小計(3)					0.000					142.60				
	CO ₂	焼却量	排出係数CH ₄ /t	CH ₄ 排出量						CO ₂ 換算	0.080				
			排出係数N ₂ O/t	N ₂ O排出量	0.000076	0.003				CO ₂ 換算	25				
			排出係数H ₂ O/t	H ₂ O排出量	0.0000724	0.003				CO ₂ 換算	0.912				
	CH ₄	人数	排出係数tCH ₄ /人	CH ₄ 排出量						CO ₂ 換算	0.992				
排出係数tN ₂ O/人			N ₂ O排出量	0.0011	0.34				CO ₂ 換算	8.443					
N ₂ O	人数	排出係数tN ₂ O/人	N ₂ O排出量			307			CO ₂ 換算	2.379					
		排出係数tH ₂ O/人	H ₂ O排出量	0.000026	0.01				CO ₂ 換算	210					
小計(4)										10,821					
浄化槽	小計(5)										5,224				
	直接温室効果ガス排出量										53,321				
総合計(総温室効果ガス排出量)													52,119		
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量													52,329		
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計													52,329		

表2-1-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (全体) (2017年度) (28/28)

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kℓ)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考		
	一般電気事業者	その他電気事業者1														
電気	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電	(kwh)			332,202,074		3,312,055	85,451	-	172,259	-	169,150			
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電		248,522,445		2,306,288	59,502					128,174		125,117		
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電		3,901,525		38,898	1,004					1,613		2,067		
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電		432,230		4,011	103									
	屋間買電(平準化時間帯を含む)	夜間買電		169,094		1,886	43					83		85		
	電気需要平準化時間帯のみの合計			0		0										
	自家発電						186,426,820		1,888,675	47,954						
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量						28,040		5,662,938	146,104					295,408	
	化石燃料	ガソリン			(ℓ)			11,411		395	10					
		灯油			(ℓ)			255,371		9,372	242				635	
軽油			(ℓ)			2,009,521		75,759	1,955				5,197			
A重油			(ℓ)			8,776,339		343,157	8,853				23,781			
LPG			(t)			140,171		7,121	184				420			
LNG			(t)			2,221,131		121,274	3,129				6,003			
天然ガス			(Nm³)			0,000		0	0				0			
都市ガス			(Nm³)			661,301		30	1				1			
その他			-			0,000		0	0				0			
小計(2)								557,107	14,373					36,065		
全体	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO ₂ 排出量					429,610		6,220,045	160,477				331,472			
	代替フロン等4ガス	HFC	(kg)			0,000								630,463		
		PFC	(kg)			0,000								0,000		
		SF ₆	(kg)			892,445					22,800			20,347,742		
		NF ₃	(kg)			0,000					17,200			0,000		
	廃棄物焼却	小計(3)												20,978,211		
		CO ₂	(t)											0,000		
		CH ₄	(t)		焼却量		44,784							0,081		
		N ₂ O	(t)											0,923		
	浄化槽	小計(4)												1,004		
CH ₄		(人)		人数		6,493							178,558			
N ₂ O		(人)											50,308			
小計(5)													228,865			
直接温室効果ガス排出量													57,273			
総合計(総温室効果ガス排出量)													359,401			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量													1,170			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計													360,572			
調整後温室効果ガス排出量													353,851			

表2-1-2 電気使用量増減の理由及び取組内容(2017年度)(1/2)

拠点名	増加の理由	減少の理由	省エネの取組内容(ハード面)	省エネの取組内容(ソフト面)	備考
幌延	2016年度まで入っていないなかった国際交流施設の電気使用量を計算に入れたため。	—	—	—	—
むつ	—	—	—	—	—
いわき	2016年度から2017年度にかけ事務所の担当業務変更に伴い、一般広報業務が追加になったことからコピー使用量の増加、映像システムやパソコン等の増設、広報担当者の増員により電気使用量が増加したものと考える。	—	—	昼休みの消灯の徹底 冷暖房の設定温度を夏は28度、冬は20度に設定している。 休憩時間中の消灯及び定時後における省電力移行	—
楢葉	楢葉センターの利用者数が増加したため。	—	—	クールビズ、ウォームビズの推進	—
三春	・温度や湿度に影響される各種実験等の頻度増加に伴い、測定器、エアコン類の稼働時間も増加 ・空調設備に悪影響(エラー、警報)を及ぼすため、建屋空調(除湿機能なし)を2016年12月から24時間連続運転	—	クールビズ、ウォームビズの導入	夏季及び冬季における空調設定温度の周知	—
富岡	—	—	—	—	—
大熊	2018年3月1日より運用開始のため、2016年度データなし。	2018年3月1日より運用開始のため、2016年度データなし。	・トイレ、廊下等は人感センサー付きライトにより余分な消費電力を抑えている。 ・照明器具はLEDライトを使用することで省エネを図っている。	・会議室等は利用時以外照明を消すことで省エネを図っている。 ・冷暖房設備は中央監視により適切に管理することで省エネを図っている。	2018年3月1日より運用開始
本部	—	—	・温度設定、電源ON・OFFなどのこまめな空調の管理 ・昼休みの消灯の徹底 ・使用していない居室の空調機の停止、消灯の徹底	・業務時間外の消灯、PC機器等の省電力モード設定の推奨 ・クールビズ・ウォームビズ等の省エネ活動の励行	—
原科研	—	—	・建物付属設備(照明、空調機等)の更新、新設時には高効率機器を採用した。	・各部、センター、部門毎に省エネハローロールを実施し省エネ活動状況を確認した。 ・2017年度エネルギー管理実施計画に基づいて省エネ活動を実施した。 ・適切な温度管理並びに不使用機器の電源「断」を徹底した。 ・昼休みの冷房、暖房停止を実施した。	—
J-PARC	—	—	J-PARCに設置されている電磁石、加速空洞等は、世界最先端の機器であり、納入時点で最も省エネルギー効果の高いものを使用している。また、建屋、ビームダクト等は極めて機密性の高く、空調や真空引きの弊に無駄な電力を発生しない構造となっている。さらに制御システムも省エネルギー効果が最大限となるよう、熟慮して製作している。	J-PARCでは、共用運転時以外に、加速器の電磁石、加速空洞等を極力停止し、電力を節約している。また、加速器及び物質・生命科学実験施設の運転停止時は、空調、照明等も必要最低限のものだけを運転し、省エネに協力した。	—
サイクル研	—	—	—	—	—
大洗	—	—	省エネ型機器への交換等	消灯の徹底、空調・OA機器の省エネ運転、冷暖房温度設定の適正化、クールビズ・ウォームビズの推進、休日における機密設備や冷凍機等の停止、試験時間の調整による電力消費等	—

表2-1-2 電気使用量増減の理由及び取組内容(2017年度)(2/2)

拠点名	増加の理由	減少の理由	省エネの取組内容(ハード面)	省エネの取組内容(ソフト面)	備考
NEAT茨城	従業員の増加により電気使用量が増加した。	—	直射日光をささぎるためにグリーンカーテンを使用した。	—	—
NEAT福井	—	・不要な照明の消灯や空調の温度管理による節電効果	—	・不要な照明の消灯や空調の温度管理による節電効果	—
東京	—	・クーリング、ウォームビズ等の省エネ活動の励行 ・複合機、PCの省電力モードの設定促進 ・居室削減に伴う電気使用量の減少	・ブラインドの有効活用 ・温度設定、電源のON・OFFなどのこまめな空調の管理	・業務時間外の消灯、PC機器等の省電力モード設定推奨	・電気使用量：東京事務所が入居する富国生命ビルは、一括して管理を行っているためビルから提供されてデータ(財団法人省エネルギーセンター)の空調エネルギー推計ツールを用いて算出)に基づくもの。 ・電気使用量は原子力機構の賞借スペース面積で分となる。 ・電気需要平準化時間帯使用量：東京事務所が入居する富国生命ビルは、一括管理を行っているため、東京事務所のみでの使用量を算出することは不可能。財団法人省エネルギーセンターの空調エネルギーツールを使用して算出することも不可能。よって、平準化時間帯使用量は全時間使用量(昼間買電量)と同値とした。
柏	—	特になし。 電気使用量については、入居している東大柏の葉キャンパス駅前サテライトの建物全体の電気使用量を、入居している各団体組織の占有面積の比により割り出しているため、増減理由については原子力機構のみで明確になるものではないため。	—	—	—
東濃	—	—	—	—	—
敦賀	冬期間中の気温が例年より低く、積雪も多かったため、暖房使用が増加したものと推測する。	—	—	—	—
もんじゅ	プラントの点検工程により若干増加した。	—	最終退室者による個別エアコン停止及び照明消灯の徹底 原子炉施設の安全確保に及ぼさない範囲で照明の消灯、換気系の1台停止等の安全上の問題のない範囲での合理化策を抽出して実施	エネルギー使用状況推移の所内掲示 エネルギー使用に係る目標、方策等を所員へメール配信	—
ふげん	・2016年度は設備の不具合により運転しなかつた保物室換気系ターボ冷凍機を2017年度は夏季の間、運転を行ったため、2016年度に比べて電気使用量が増加した。	—	—	・停止しても業務上問題無い機器の停止を積極的に実施	—
も運研	—	—	—	—	—
関西播磨	—	—	—	—	—
人形	—	前年度にDP滞留ウラン回収作業が終了(12月未)したため、今年度は減少した。	—	・昼休憩時間の居室等の消灯、退勤時におけるパソコン・電気ポット・プリンター等の機器の電源OFFの徹底 ・各部屋に基準温度計を設置し、室温を夏は28度以上、冬は20度以下でエアコンの省エネ運転の徹底、啓発を継続	—

表2-1-3 化石燃料使用量増減の理由及び取組内容(2017年度)(1/2)

拠点名	増加の理由	減少の理由	省エネの取組内容(ハード面)	省エネの取組内容(ソフト面)	備考
幌延	2017年度より、国際交流施設の灯油も計算に入れたため(11月～3月)。	—	—	—	—
むつ	ガソリン増加理由：青森県庁出張の増加のため。 LPG増加理由：試料の前処理の増加のため。	灯油減少の理由：暖冬のため。	—	—	—
椿葉	—	LPGを使用する設備を移管したため。	—	—	—
三春	LPGに関しては各種実験等の頻度増加に伴い、実験器具の温水洗浄回数も増加	—	—	—	LPG使用量については約半年毎の請求となり、毎月月の使用量が特定できないため、請求量から均等割り算出
富岡	—	—	—	—	—
大熊	2018年3月1日より運用開始のため、2016年度データなし。	2018年3月1日より運用開始のため、2016年度データなし。	—	—	2018年3月1日より運用開始
本部	ガソリン、ガソリンを燃料とする専列り機を導入したことにより給油が必要となったため、ガソリンの使用量が2016年度と比べ、増加した。 A重油：2017年4月19日茨城地区における停電の発生に伴う非常用発電機の運転に伴い、2016年度と比べ、4月の使用量が増加した。	—	—	—	—
原科研	—	—	—	—	—
J-PARC	—	—	—	—	—
サイクル研	(プルセンター)【軽油】放射性廃棄物の運搬量の増加及び非常用機材(非常用発電機、高所作業車)分の軽油を購入したため、2016年度と比較して使用量が増加した。 (放管部)2017年度のガソリン使用量の増加は、所内計画停電作業及び安全管理係別乗点検作業時に係る非常用発電機使用のため増加したものである。 (再処理センター)LPGガス、新たに発電機を設置したため。	(プルセンター)【灯油】産業廃棄物処理施設(焼却炉)の運転を再開したため増加したが、第2種廃棄物の焼却炉において、計画に基づき放射性固体廃棄物の焼却運転試験の試験条件を変えていること、運転日数が減少したことにより2016年度と比較して使用量が減少した。 (放管部)2017年度の軽油使用量の減少については、所内のMP、ST及び環境監視室へ供給する自家発電機の軽油残量に見合ったものである。 (再処理センター)ガソリン、2016年度はナンバー付き公用車の燃料を除いた計算ができなかったため。 (再処理センター)灯油 IFの運転が減少したため。	—	—	(プルセンター)【灯油】産業廃棄物処理施設(焼却炉)の燃料、第2種放射性廃棄物の燃料に使用している。 (プルセンター)【軽油】ドライバイン積動トラック及びエンジン式フォークリフト(7t)、非常用機材(非常用発電機、高所作業車)、部材輸送用トラック(ナンバー取り外し)に使用している。 (プルセンター)【LPG】産業廃棄物処理施設(焼却炉)の着火に使用する。 (再処理センター)【前処理課】軽油：パワショベ(LPガス、発電機の燃料、【化学処理第1課】LPガス、発電機の燃料、【化学処理第3課】軽油：ボイラーの燃料 (再処理センター)【施設管理課】軽油：移動式発電機の燃料、【施設保全課】ガソリン：小型乗水運搬車、フォークリフトの燃料／軽油：トラック(再処理センター)【環境管理課】ガソリン：小型乗電機の月例点検、停電時のファックス等への給電／軽油：カストトラックの月例点検(2017年度給油なし) (再処理センター)【処理第2課】灯油：焼却施設の燃料

表2-1-3 化石燃料使用量増減の理由及び取組内容(2017年度)(2/2)

拠点名	増加の理由	減少の理由	省エネの取組内容(ハード面)	省エネの取組内容(ソフト面)	備考
大洗	—	—	—	—	—
NEAT茨城	非常用発電機の点検方法の変更により燃料使用量が増加	—	—	—	—
NEAT福井	—	電気工作物定期点検に伴う非常用発電機の運転時間が減少したため。	—	—	—
東濃	—	—	—	空調機使用時の室温の適切な設定等の取組	—
もんじゅ	補助ボイラの起動時間増加により、重油の使用量が増加した。	消費量削減によりガソリン、灯油、LPGは使用量が減少した。	原子炉施設の安全確保に影響を及ぼさない範囲で照明の消灯、換気系の1台停止等の安全上問題のない範囲での合理化策を抽出して実施している。	エネルギー使用状況推移の所内掲示	—
ふげん	灯油、ランドリ一運転回数の増加、蒸気濃縮器の検査等の作業により重油ボイラの運転時間が増加し2016年度に比べ使用量が増加した。 軽油、梱固体積物貯蔵庫の廃棄物内部点検作業により軽油車両の使用頻度が増加し2016年度に比べ使用量が増加した。	—	—	貴流ボイラの燃料である灯油の使用量を低減させるため、貴流ボイラは必要時以外、昼間帯のみ運転するよう調整している。	—
人形	灯油:2016年度は、焼却設備の故障により一時停止していたが、2017年度はフル稼働していたため、増加した。 LPG:冬季の極寒によりエアコンの使用日数(時間)が増加したため。	ガソリン・軽油:2016年度に比べ、除雪機の使用回数が減少したため。 A重油:2017年度は、濃縮工芸施設の熱水暖房の停止、2016年度にDP滞留ウラン回収作業(12月末)が終了したため。	濃縮工芸施設の技術管理棟に設置しているエアコンは、LPG仕様から電気仕様に変更(2017年11月)	各部屋に基準温度計を設置し、室温を夏は28度以上、冬は20度以下でエアコンの省エネ運転の徹底、啓発を継続	—

表2-1-4 総エネルギー投入量種別割合(2017年度)

種類別投入量(GJ)		割合(%)	用途
電気	5,662,938	91.04	
化石燃料	ガソリン	395	公用車、船舶、除雪
	灯油	9,372	ボイラー、焼却施設
	軽油	75,759	公用車、通勤バス、船舶、除雪、非常用発電機
	A重油	343,157	ボイラー、非常用発電機
	LPG	7,121	食堂、焼却炉、高減容処理施設
	LNG	121,274	ボイラー
	天然ガス	0	
	都市ガス	30	食堂、給湯
	その他	0	
	小計	557,107	8.96
合計(GJ)	6,220,045	100.00	

表2-1-5 総エネルギー投入量拠点別割合(2017年度)

拠点名	電気(GJ)	割合 (%)	化石燃料(GJ)	割合 (%)	総エネルギー投入量(GJ)	割合 (%)
幌延	5,141	0.09	1,670	0.30	6,811	0.11
むつ	16,752	0.30	2,777	0.50	19,529	0.31
福島拠点	19,250	0.34	242	0.04	19,492	0.31
いわき			0	0.00	1,034	0.02
楢葉			0	0.00	8,017	0.13
三春			242	0.04	7,739	0.12
富岡			0	0.00	1,742	0.03
大熊			0	0.00	960	0.02
本部	11,292	0.20	9	0.00	11,301	0.18
原科研(J-PARCを含む)	2,736,572	48.32	123,458	22.16	2,860,029	45.98
原科研			123,440	22.16	772,657	12.42
J-PARC			17	0.00	2,087,372	33.56
サイクル研	1,155,309	20.40	284,281	51.03	1,439,590	23.14
大洗	598,003	10.56	46,288	8.31	644,291	10.36
NEAT	7,051	0.12	41	0.01	7,092	0.11
NEAT茨城			39	0.01	5,126	0.08
NEAT福井			2	0.00	1,966	0.03
東京地区	2,705	0.05	0	0.00	2,705	0.04
東京			0	0.00	1,562	0.03
柏			0	0.00	1,144	0.02
東濃	13,075	0.23	605	0.11	13,680	0.22
敦賀	6,099	0.11	0	0.00	6,099	0.10
もんじゅ	727,798	12.85	73,961	13.28	801,758	12.89
ふげん	230,889	4.08	5,607	1.01	236,496	3.80
も運研	18,455	0.33	0	0.00	18,455	0.30
関西播磨	3,234	0.06	0	0.00	3,234	0.05
人形	111,314	1.97	18,167	3.26	129,481	2.08
合計(GJ)	5,662,938	100.00	557,107	100.00	6,220,045	100.00

表2-1-6 総エネルギー投入量種別推移(2017年度)

種類	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016
電気	5,661,530	6,169,641	6,331,262	5,538,677	5,662,938	102.24
ガソリン	507	472	457	431	395	91.66
灯油	19,794	15,364	13,836	9,450	9,372	99.18
軽油	77,940	74,222	83,605	65,323	75,759	115.98
A重油	408,580	395,158	389,211	363,854	343,157	94.31
LPG	15,624	8,094	7,980	7,378	7,121	96.51
LNG	121,509	124,301	113,554	119,255	121,274	101.69
天然ガス	0	0	0	0	0	0.00
都市ガス	557	498	538	32	30	93.18
その他	0	0	0	0	0	0.00
小計	644,512	618,110	609,179	565,722	557,107	98.48
合計(GJ)	6,306,042	6,787,751	6,940,442	6,104,399	6,220,045	101.89

化石燃料

表2-1-7 総エネルギー投入量拠点別推移(2017年度)

拠点名	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		対前年度比(%) 2017/2016
船延	6,432	5,698			6,232		6,255		6,811		108.88
青森	207,464	218,898			232,301		19,740		19,529		98.93
むつ	20,960	19,905		18,832		19,740			19,529		98.93
六ヶ所	186,504	188,993		213,469							
福島拠点	2,054	2,043		5,768		13,059		19,482		149.27	
いわき				915		1,064		1,034		97.21	
楢葉				2,674		6,269		8,017		127.89	
三春				2,179		5,726		7,739		135.15	
富岡								1,742		0.00	
大熊								960		0.00	
本部	9,152	7,835		10,943		11,640		11,301		97.09	
原科研(J-PARCを含む)	2,051,941	2,595,547		2,695,814		2,715,741		2,860,029		105.31	
原科研	826,120	757,178		751,821		777,723		772,657		99.35	
J-PARC	1,225,821	1,838,369		1,944,493		1,938,018		2,087,372		107.71	
サイクル研	1,490,224	1,475,751		1,440,564		1,465,391		1,439,590		96.24	
大洗	705,151	686,040		675,715		663,351		644,291		97.05	
那珂	315,641	301,490		386,286							
NEAT	7,166	6,647		6,796		7,506		7,092		94.49	
NEAT茨城	4,969	4,547		4,799		5,522		5,126		92.83	
NEAT福井	2,197	2,101		1,997		1,984		1,966		99.11	
高崎	150,541	143,583		149,789							
東京地区	4,210	4,081		3,761		3,254		2,705		83.13	
東京	2,485	2,541		2,286		2,090		1,562		74.70	
柏	1,725	1,540		1,475		1,164		1,144		98.26	
東濃	15,768	14,886		14,254		14,859		13,680		92.07	
敦賀	8,151	7,359		6,628		6,024		6,099		101.25	
もんじゅ	813,357	814,484		810,118		785,265		801,758		102.10	
ふげん	271,813	253,342		243,049		230,401		236,496		102.65	
北進研	13,891	14,261		14,701		14,169		18,455		130.25	
関西研	90,452	85,388		80,213		2,485		3,234		130.14	
関西木津	75,257	70,191		66,373							
関西播磨	15,195	15,197		13,840		2,485		3,234		130.14	
人形	142,634	150,409		157,511		144,758		129,481		89.45	
合計(GoJ)	6,306,042	6,787,751		6,940,442		6,104,399		6,220,045		101.89	

表2-1-8 電気使用量拠点別推移(2017年度)

拠点名	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016	電気事業者別の排出係数*1 (kg-CO ₂ /kWh)
幌延	521,793	461,239	514,210	508,570	522,871	102.81	北海道電力 0.632
むつ	1,823,271	1,714,146	1,613,613	1,686,589	1,680,232	99.62	東北電力 エネット 0.545 0.405
六ヶ所	18,988,613	20,249,918	21,688,049				
福島	177,115	178,927					
いわき			91,759	106,730	103,757	97.21	東北電力 0.545
楡葉			268,231	626,717	804,086	128.30	丸紅新電力 0.362
三春			191,500	563,600	751,887	133.41	東北電力 0.545
富岡					174,770		東北電力 0.545
大熊					96,300		東京電力 0.486
本部	933,307	801,950	1,104,475	1,174,533	1,155,970	98.42	東京電力 丸紅新電力 0.486 0.362
原科研	72,322,646	65,061,836	65,566,740	67,793,402	66,989,996	98.81	東京電力 丸紅新電力 0.486 0.362
J-PARC	126,462,585	189,748,507	200,755,827	200,491,938	215,506,147	107.49	東京電力 0.486
サイクル研	122,281,374	123,864,475	121,179,277	122,046,507	120,181,456	98.47	東京電力 0.486
大洗	66,181,794	65,327,191	64,442,553	63,289,044	61,690,787	97.47	東京電力 丸紅新電力 0.486 0.362
那珂	30,248,838	28,765,703	37,407,447				
NEAT茨城	494,388	463,360	489,284	562,017	522,341	92.94	丸紅新電力 0.362
NEAT福井	219,576	210,234	200,100	197,880	197,016	99.56	北陸電力 0.64
高崎	14,548,058	13,720,681	14,498,848				
東京	249,244	254,815	229,239	209,670	156,633	74.70	東京電力 0.486
柏	173,045	154,489	147,944	116,739	114,705	98.26	東京電力 0.486
東濃	1,517,553	1,435,981	1,377,525	1,429,608	1,311,435	91.73	中部電力 丸紅新電力 エネサーブ 0.485 0.362 0.493
敦賀	831,775	748,676	674,315	613,315	621,363	101.31	北陸電力 0.64
もんじゅ	76,086,000	76,597,680	75,306,840	74,487,120	75,152,760	100.89	北陸電力 0.64
ふげん	26,824,320	25,298,640	24,391,800	23,288,400	23,757,120	102.01	北陸電力 0.64
も運研	1,429,449	1,466,007	1,513,101	1,456,296	1,884,342	129.39	北陸電力 0.64
関西木津	7,771,550	7,249,260	6,849,850				
関西播磨	1,578,329	1,578,195	1,437,321	249,284	324,423	130.14	関西電力 0.509
人形	11,538,030	12,146,709	12,358,932	12,034,804	11,555,011	96.01	中国電力 0.691
合計(kWh)	583,202,653	637,498,619	654,298,780	572,932,763	585,255,408	102.15	

*1 「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer. 4. 3. 1」(2017年7月、環境省、経済産業省) 第Ⅱ編 参照

表2-1-9 化石エネルギー投入量拠点別推移(2017年度)

拠点名	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		対前年度比(%) 2017/2016	
幌延	1,230		1,099		1,177		1,263		1,670		132.21	
青森	5,574		5,645		6,116		2,925		2,777		94.95	
むつ		3,004		2,815		2,744		2,925		2,777		94.95
六ヶ所		2,570		2,830		3,372						
福島拠点	288		259		270		127		242		190.58	
楢葉						0		20		0		0.00
三春						270		107		242		226.84
本部	27				3		5		9		199.36	
原科研(J-PARCを含む)	124,793		126,506		115,915		121,526		123,458		101.59	
原科研		124,690		126,486		115,892		121,511		123,440		101.59
J-PARC		103		20		23		15		17		115.53
サイクル研	296,687		284,866		275,707		292,028		284,281		97.35	
大洗	63,426		52,346		51,117		50,382		46,288		91.87	
那珂	22,347		22,499		23,620							
NEAT	47		38		39		48		41		86.13	
NEAT茨城		40		34		37		37		39		106.37
NEAT福井		8		5		2		11		2		17.82
高崎	10,164		10,493		9,179							
東濃	638		570		520		606		605		99.92	
もんじゅ	76,439		72,662		80,821		63,908		73,961		115.73	
ふげん	11,168		7,507		6,011		4,076		5,607		137.56	
関西研	241		214		240							
関西木津		241		214		240						
人形	31,441		33,406		38,443		28,828		18,167		63.02	
合計(GJ)	644,512		618,110		609,179		565,722		557,107		98.48	

表2-2-1 総温室効果ガス拠点別排出量(2017年度)

拠点名	間接排出量(t-CO ₂)		直接排出量(t-CO ₂)										割合(%)	削減量(t-CO ₂)	削減率(%)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	割合(%)	
	電気	割合(%)	化石燃料	代替フロン等 4ガス	廃棄物焼却	浄化槽	合計	割合(%)	フロン排出削減法に基づく フロン排出による 温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		削減率(%)	削減量(t-CO ₂)						割合(%)
									削減量(t-CO ₂)	削減率(%)								
標延	330	0.11	113	0	0.000	2	114.69	0.20	445	0	0.12	445	0.12	443	0.13			
むつ	773	0.26	192	4418	0.000	3	4,612.90	8.05	5,386	0	1.50	5,386	1.49	965	0.29			
福島拠点	899	0.30	14	0	0.000	4	18.27	0.03	918	0	0.26	918	0.25	914	0.27			
いわき	57	0.02	0	0	0.000	0	0.00	0.00	57	0	0.02	57	0.02	57	0.02			
福島	291	0.10	0	0	0.000	2	2.47	0.00	294	0	0.08	294	0.08	291	0.09			
三春	410	0.14	14	0	0.000	0	14.43	0.03	424	0	0.12	424	0.12	424	0.13			
富岡	95	0.03	0	0	0.000	0	0.00	0.00	95	0	0.03	95	0.03	95	0.03			
大飯	47	0.02	0	0	0.000	1	1.37	0.00	48	0	0.01	48	0.01	47	0.01			
本部	466	0.15	1	0	0.000	0	0.68	0.00	466	0	0.13	466	0.13	466	0.14			
原料研(J-PARCを含む)	137,270	45.43	6,147	16,347	0.000	77	22,570.95	39.41	159,841	763	44.47	160,603	44.54	143,416	42.41			
原料研	32,554	10.77	6,146	16,144	0.000	66	22,355.91	39.03	54,980	674	15.27	55,654	15.41	38,679	11.44			
J-PARC	104,736	34.67	1	202	0.000	11	215.04	0.38	104,951	89	29.20	105,040	29.13	104,737	30.97			
サイクル研	58,408	19.33	19,680	48	0.007	66	19,794.66	34.56	78,203	15	21.76	78,217	21.69	78,008	23.09			
大洗	29,965	9.92	3,198	1	0.005	41	3,239.78	5.86	33,204	46	9.24	33,252	9.22	33,162	9.81			
NEAT	315	0.10	3	0	0.000	0	2.86	0.00	318	0	0.09	318	0.09	318	0.09			
NEAT茨城	169	0.06	0	0	0.000	0	2.72	0.00	192	0	0.05	192	0.05	192	0.06			
NEAT福井	126	0.04	0	0	0.000	0	0.14	0.00	126	0	0.04	126	0.04	126	0.04			
東京地区	132	0.04	0	0	0.000	0	0.00	0.00	132	0	0.04	132	0.04	132	0.04			
東京	76	0.03	0	0	0.000	0	0.00	0.00	76	0	0.02	76	0.02	76	0.02			
柏	56	0.02	0	0	0.000	0	0.00	0.00	56	0	0.02	56	0.02	56	0.02			
東葉	515	0.17	36	5	0.000	3	43.51	0.08	559	26	0.16	585	0.16	551	0.16			
飯賀	398	0.13	0	0	0.000	0	0.00	0.00	398	73	0.11	471	0.13	398	0.12			
もんじゅ	48,088	15.92	5,089	143	0.992	11	5,223.69	9.12	53,321	210	14.84	53,532	14.85	53,167	15.72			
ふげん	15,205	5.03	378	16	0.000	11	405.27	0.71	15,610	36	4.34	15,645	4.34	15,583	4.61			
も運研	1,206	0.40	0	0	0.000	0	0.00	0.00	1,206	0	0.34	1,206	0.33	1,206	0.36			
関西操盤	165	0.05	0	0	0.000	0	0.00	0.00	165	0	0.05	165	0.05	165	0.05			
人形	7,985	2.64	1,235	0	0.000	11	1,245.33	2.17	9,230	0	2.57	9,230	2.56	9,219	2.73			
合計(t-CO ₂)	302,129	100.00	36,065	20,978	1,004	229	57,272.60	100.00	359,401	1,170	100.00	360,572	100.00	338,193	100.00			
種類別割合(%)	84.06		10.03	5.84	0.00	0.06	15.84		100.00					94.10				

表2-2-2 調整後温室効果ガス拠点別排出量(2017年度)

拠点名	調整後直接排出量(t-CO ₂)										調整後間接排出量(t-CO ₂)										調整後総排出量(t-CO ₂)		削減率(%)		エネルギー起源									
	電気		割合(%)		化石燃料		代替フロン等 4ガス		廃棄物焼却		浄化槽		合計		割合(%)		調整後 総排出量 (t-CO ₂)		削減率(%)		フロン排出削減法に基づく フロン排出による 温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		削減率(%)		フロン排出削減法に基づく フロン排出を含まず 総排出量 (t-CO ₂)		削減率(%)		調整後CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)		割合(%)			
	57	390	0.13	0.02	113	0	0	0	0	0	2	114.69	0.20	449	0.13	449	0	449	0.13	449	0	449	0.13	449	0.13	140.046	0.17	447	0.13					
標証	811	0.27	0.02	192	0	0	0	0	0	3	4,612.90	8.05	5,424	1.54	5,424	0	5,424	1.54	5,424	0	5,424	0.29	1,019	0.29	1,019	0.30	1,003	0.30						
むつ	1,000	0.34	0.02	14	0	0	0	0	0	4	18.27	0.03	1,019	0.29	1,019	0	1,019	0.29	1,019	0	1,019	0.02	57	0.02	1,015	0.31	1,015	0.31						
福島県																																		
いわき																																		
楢葉																																		
三春																																		
富岡																																		
大熊																																		
本部	556	0.19	0.02	1	0	0	0	0	0	0	0.68	0.00	557	0.16	557	0	557	0.16	557	0	557	0.01	47	0.01	557	0.17	557	0.17						
原料研(J-PARCを含む)	133,899	45.33	0.04	6,147	16,347	16,144	0	0	0	77	22,570.95	39.41	156,470	44.37	157,233	763	157,233	44.43	157,233	763	157,233	29.02	89	29.02	102,151	30.82	102,151	30.82						
原料研	31,749	10.75	0.04	6,146	16,144	16,144	0	0	0	66	22,355.91	39.03	154,105	44.37	154,105	763	154,105	44.37	154,105	763	154,105	29.02	89	29.02	102,151	30.82	102,151	30.82						
J-PARC	102,150	34.58	0.04	1	202	202	0	0	0	11	215.04	0.38	102,365	29.02	102,365	89	102,365	29.02	102,365	89	102,365	29.02	89	29.02	102,151	30.82	102,151	30.82						
サイクル研	96,866	19.28	0.04	19,680	48	48	0	0	0	66	19,794.66	34.56	76,761	21.76	76,761	15	76,761	21.76	76,761	15	76,761	21.76	15	21.76	76,646	23.12	76,646	23.12						
大売	29,235	9.90	0.04	3,198	1	1	0	0	0	41	3,239.78	5.66	32,475	9.21	32,475	48	32,475	9.21	32,475	48	32,475	9.21	48	9.21	32,432	9.78	32,432	9.78						
NEAT	376	0.13	0.04	3	0	0	0	0	0	0	2.86	0.00	379	0.11	379	0	379	0.11	379	0	379	0.07	0	0.07	379	0.11	379	0.11						
NEAT茨城	253	0.09	0.04	0	0	0	0	0	0	0	2.72	0.00	256	0.07	256	0	256	0.07	256	0	256	0.07	0	0.07	256	0.08	256	0.08						
NEAT福井	123	0.04	0.04	0	0	0	0	0	0	0	0.14	0.00	123	0.03	123	0	123	0.03	123	0	123	0.03	0	0.03	123	0.04	123	0.04						
東京都	129	0.04	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	129	0.04	129	0	129	0.04	129	0	129	0.02	74	0.02	129	0.04	129	0.04						
東京	74	0.03	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	74	0.02	74	0	74	0.02	74	0	74	0.02	74	0.02	74	0.02	74	0.02						
相	54	0.02	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	54	0.02	54	0	54	0.02	54	0	54	0.02	54	0.02	54	0.02	54	0.02						
東葉	638	0.22	0.02	36	5	5	0	0	0	3	43.51	0.08	681	0.19	681	26	707	0.20	707	26	707	0.19	707	0.20	674	0.20	674	0.20						
敦賀	388	0.13	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	388	0.11	388	73	461	0.13	461	73	461	0.11	461	0.13	388	0.12	388	0.12						
もんじゅ	46,895	15.87	0.02	5,889	143	143	0	0	0	11	5,223.89	9.12	52,119	14.78	52,119	210	52,229	14.79	52,229	210	52,229	14.78	52,229	14.79	51,865	15.68	51,865	15.68						
ふげん	14,824	5.02	0.02	378	16	16	0	0	0	11	495.27	0.71	15,230	4.32	15,230	36	15,266	4.31	15,266	36	15,266	4.32	15,266	4.31	15,202	4.59	15,202	4.59						
も運研	1,176	0.40	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	1,176	0.33	1,176	0	1,176	0.33	1,176	0	1,176	0.33	1,176	0.35	1,176	0.35								
関西福井	160	0.05	0.02	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	160	0.05	160	0	160	0.05	160	0	160	0.05	160	0.05	160	0.05	160	0.05						
人形	8,019	2.71	0.02	1,235	0	0	0	0	0	11	1,245.33	2.17	9,265	2.63	9,265	0	9,265	2.62	9,265	0	9,265	2.63	9,265	2.79	9,254	2.79								
合計(t-CO ₂)	295,408	100.00	0.04	36,065	20,978	20,978	0	0	0	229	57,272.60	100.00	352,680	100.00	352,680	1,170	353,851	100.00	353,851	1,170	353,851	100.00	353,851	100.00	331,472	100.00	331,472	100.00						
種別別割合(%)	85.78			10.23	5.95	5.95	0.00	0.00	0.00	0.06	16.22		100.00		100.00		100.00		100.00		100.00		100.00		93.99		93.99							

表2-2-3 総温室効果ガス排出量拠点別推移(2017年度)

拠点名	2013年度		2014年度		2015年度*		2016年度*		2017年度*		対前年度比(%) 2017/2016
順延	445		389		433		428		445		104.12
青森	12,716		13,203		13,611		1,017		5,386		529.44
むつ		1,141		1,039		992		1,017		5,386	
六ヶ所		11,575		12,164		12,619					
福島拠点	121		119		331		731		918		125.46
いわき						52		59		57	95.29
楢葉						155		352		294	83.28
三春						123		320		424	132.70
富岡										95	
大熊										48	
本部	492		425		470		572		486		81.51
原科研(J-PARCを含む)	134,678		164,292		164,020		158,341		160,603		101.43
原科研		68,217		63,663		62,175		57,763		55,564	96.19
J-PARC		66,461		100,629		101,845		100,578		105,040	104.44
サイクル研	84,765		85,430		80,443		81,393		76,217		96.10
大洗	39,129		38,209		34,976		35,284		33,252		94.24
那珂	17,785		17,161		20,903						
NEAT	408		381		379		408		318		77.87
NEAT茨城		262		248		250		284		192	67.64
NEAT福井		146		133		130		125		126	101.11
高崎	9,094		14,923		9,122						
東京地区	222		217		190		163		132		80.80
東京		131		135		116		105		76	72.61
柏		91		82		75		58		56	95.51
東濃	1,664		780		721		718		585		81.45
敦賀	529		456		434		385		471		122.42
もんじゅ	55,864		53,409		54,877		51,381		53,532		104.19
ふげん	18,564		16,469		16,447		14,930		15,645		104.79
も連研	909		867		935		992		1,206		121.57
関西研	4,845		4,627		4,473		127		165		130.14
関西木津		4,033		3,803		3,710					
関西播磨		812		824		763		127		165	130.14
人形	10,677		11,033		11,468		10,654		9,230		86.63
合計(t-CO ₂)	392,905		422,392		414,309		357,524		360,572		100.85

*2015年度より、フロン排出抑制法に基づき算出したフロン漏えいによる温室効果ガス排出量を含む。

表2-2-4 調整後総温室効果ガス排出量拠点別推移(2017年度)

拠点名	2013年度		2014年度		2015年度*		2016年度*		2017年度*		対前年度比(%) 2017/2016
順延	440		391		436		431		449		104.23
青森	11,924		13,181		13,739		1,042		5,424		520.47
むつ		1,109		1,058		1,001		1,042		5,424	
六ヶ所		10,815		12,123		12,738					
福島拠点	114		118		332		735		1,019		138.51
いわき						53		60		57	95.30
楢葉						156		354		392	110.75
三春						123		321		426	132.71
富岡										96	
大熊										47	
本部	414		418		589		473		557		117.72
原科研(J-PARCを含む)	111,026		162,004		161,623		155,926		157,233		100.84
原科研		59,613		63,082		61,585		57,153		54,779	95.85
J-PARC		51,412		98,921		100,038		98,774		102,453	103.73
サイクル研	74,961		84,325		79,353		80,294		76,775		95.62
大洗	31,274		37,637		33,197		34,723		32,523		93.66
那珂	14,190		16,903		20,567						
NEAT	312		376		373		401		379		94.55
NEAT茨城		203		244		245		279		256	91.94
NEAT福井		109		132		128		122		123	100.50
高崎	7,363		15,188		8,310		160		129		80.25
東京地区	171		213		187						
東京		101		133		114		103		74	72.12
柏		70		80		73		57		54	94.86
東濃	1,447		774		717		673		707		105.08
敦賀	404		456		431		377		461		122.17
もんじゅ	43,005		53,256		54,350		50,487		52,329		103.65
ふげん	14,030		16,419		16,276		14,651		15,265		104.20
も連研	695		870		929		975		1,176		120.66
関西研	4,480		4,574		4,407		124		160		129.35
関西木津		3,730		3,759		3,655					
関西播磨		750		814		752		124		160	129.35
人形	9,915		11,009		11,505		10,690		9,265		86.66
合計(t-CO ₂)	326,167		418,122		407,320		352,163		353,851		100.48

*2015年度より、フロン排出抑制法に基づき算出したフロン漏えいによる温室効果ガス排出量を含む。

表2-2-5 電気使用に伴うCO₂排出量拠点別推移(2017年度)

拠点名	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		対前年度比(%) 2017/2016
帆延	359	313		351		340		330		97.13	
青森	12,306	12,810		13,183		800		773		96.55	
むつ	913		843		799		800		773	96.55	
六ヶ所	11,393		11,968		12,384						
福島拠点	106	106		315		721		899		124.72	
いわき					52		58		57	95.29	
楡葉					153		348		291	83.53	
三春					109		313		410	130.77	
富岡									95		
大熊									47		
本部	480	425		470		572		466		81.44	
原科研(J-PARCを含む)	104,351	135,027		134,487		134,137		137,270		102.34	
原科研	37,958		34,461		33,105		33,891		32,534	96.00	
J-PARC	66,393		100,567		101,382		100,246		104,736	104.48	
サイクル研	64,198	65,615		61,196		61,023		58,408		95.71	
大洗	34,695	34,544		31,224		31,623		29,965		94.76	
那珂	15,862	15,223		18,874							
NEAT	405	378		377		405		315		77.81	
NEAT茨城	260		246		247		281		189	67.29	
NEAT福井	146		132		129		124		126	101.63	
高崎	7,638	5,804		6,582							
東京地区	222	217		190		163		132		80.80	
東京	131		135		116		105		76	72.61	
柏	91		82		75		58		56	95.51	
東濃	783	737		685		674		515		76.47	
敦賀	529	456		421		385		398		103.41	
もんじゅ	50,445	48,257		48,724		46,703		48,098		102.99	
ふげん	17,785	15,938		15,781		14,602		15,205		104.13	
も連研	909	867		921		913		1,206		132.08	
関西研	4,806	4,608		4,400		127		165		130.14	
関西本津	3,995		3,784		3,637						
関西蒲島	811		824		763		127		165	130.14	
人形	8,515	8,733		8,725		8,388		7,985		95.19	
合計(t-CO ₂)	324,402	350,058		346,907		301,577		302,129		100.18	

表2-2-6 電気使用に伴う調整後CO₂排出量拠点別推移(2017年度)

拠点名	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		対前年度比(%) 2017/2016
横延	355		314		354		344		335		97.34
青森	11,514		12,789		13,236		825		811		96.32
むつ		880		862		809		825		811	98.32
六ヶ所		10,634		11,927		12,427					
福島拠点	99		105		316		725		1,000		137.96
いわき						53		60		57	95.30
楢葉						154		350		390	111.32
三春						110		315		412	130.78
富岡										96	
大熊										46	
原料研(J-PARCを含む)	80,698		132,739		132,090		131,722		133,899		101.65
原料研		29,354		33,880		32,515		33,281		31,749	95.40
J-PARC		51,344		98,859		99,575		98,442		102,150	103.77
サイクル研	54,394		64,509		60,105		59,925		56,966		95.06
大洗	26,840		33,972		29,445		31,062		29,235		94.12
那珂	12,266		14,965		18,537						
NEAT	309		373		371		398		376		94.63
NEAT茨城		201		241		243		276		253	91.80
NEAT福井		108		132		128		122		123	101.02
高崎	5,907		6,078		5,771						
東京地区	171		213		187		160		129		80.25
東京		101		133		114		103		74	72.12
柏		70		80		73		57		54	94.86
東海	566		731		680		629		638		101.39
敦賀	404		456		418		377		388		102.79
もんじゅ	37,586		48,103		48,196		45,910		46,895		102.37
ふげん	13,251		15,888		15,611		14,322		14,824		103.51
も連研	695		870		915		896		1,176		131.29
関西研	4,441		4,555		4,334		124		160		126.35
関西木津		3,691		3,741		3,582					
関西播磨		750		814		752		124		160	129.35
人形	7,754		8,709		8,762		8,424		8,019		95.19
合計(t-CO ₂)	257,864		345,788		339,917		296,216		295,408		99.73

表2-2-7 エネルギー起源CO₂排出量種類別推移(2017年度)

種類	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016	
電気	324,402	350,058	346,907	301,577	302,129	100.18	
化石燃料	ガソリン	34	32	31	29	27	91.86
	灯油	1,342	1,042	938	641	635	99.19
	軽油	5,347	5,092	5,735	4,481	5,197	115.97
	A重油	28,315	27,384	26,972	25,215	23,781	94.31
	LPG	922	478	471	435	420	96.51
	LNG	6,015	6,153	5,621	5,903	6,003	101.69
	天然ガス	0	0	0	0	0	0.00
	都市ガス	28	25	27	2	1	92.45
	その他	0	0	0	0	0	0.00
	小計	42,002	40,205	39,795	36,706	36,065	98.25
合計(t-CO ₂)	366,404	390,263	386,702	338,283	338,193	99.97	

表2-2-8 調整後エネルギー起源CO₂排出量種類別推移(2017年度)

種類	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	対前年度比(%) 2017/2016	
電気(調整後排出量)	257,664	345,788	339,917	296,216	295,408	99.73	
化石燃料	ガソリン	34	32	31	29	27	91.86
	灯油	1,342	1,042	938	641	635	99.19
	軽油	5,347	5,092	5,735	4,481	5,197	115.97
	A重油	28,315	27,384	26,972	25,215	23,781	94.31
	LPG	922	478	471	435	420	96.51
	LNG	6,015	6,153	5,621	5,903	6,003	101.69
	天然ガス	0	0	0	0	0	0.00
	都市ガス	28	25	27	2	1	92.45
	その他	0	0	0	0	0	0.00
	小計	42,002	40,205	39,795	36,706	36,065	98.25
合計(t-CO ₂)	299,666	385,993	379,712	332,922	331,472	99.56	

表2-2-9 一般・産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量(2017年度)

拠点名	設備名等	①施設の種類	②主な焼却物	焼却量(t)	CO ₂		CH ₄		N ₂ O			総CO ₂ 排出量(t)
					③排出係数 tCO ₂ /t	CO ₂ 排出量(t)	④排出係数 tCH ₄ /t	CH ₄ 排出量(t)	CO ₂ 換算値 ×25	⑤排出係数 tN ₂ O/t	N ₂ O排出量(t)	
サイクル研	産業廃棄物処理施設(焼却炉)	—	焼却物が紙くずの場合	2.318	—	—	—	—	—	0.00001	0.000	0.007
大洗	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	バッチ燃焼式	主な焼却物が紙くずの場合	0.216	—	0.000076	0.000	0.000	0.0000724	0.000	0.000	0.005
もんじゅ	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	バッチ燃焼式	主な焼却物が紙くずの場合	42.250	—	0.000076	0.003	0.080	0.0000724	0.003	0.912	0.992
合 計				44.784	—	0.000	0.003	0.081	0.003	0.923	1.004	

表2-2-10 代替フロン等4ガス集計表(2017年)(2/7)

代替フロン等4ガス	CO ₂ 係数	相違				三巻				
		使用場所	使用目的	(1)充填量 (%)	CO ₂ 量 (t-kg)	CO ₂ 量 (t-kg)	CO ₂ 量 (t-kg)	(1)充填量 (%)	CO ₂ 量 (t-kg)	CO ₂ 量 (t-kg)
トリフルオロメタン	14.800			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
ジフルオロメタン	6.75			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
フルオロメタン	92			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	3.500			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,1,2,2,2-テトラフルオロエタン	11.00			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,1,1,1,2-テトラフルオロエタン	14.30			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,1,1,2-トリフルオロエタン	353			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,1,1,1-トリフルオロエタン	4470			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,2-ジフルオロエタン	53			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,1-ジフルオロエタン	124			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
フルオロエタン	12			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,1,1,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	3220			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,1,1,2,2,3-ヘキサフルオロプロパン	1340			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,1,1,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	1370			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,1,1,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	9.810			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
ペンタフルオロプロパン	693			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,1,1,1,3,3-ペンタフルオロプロパン	1030			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
ペンタフルオロプロパン	794			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
1,1,1,2,3,4,4,5,5-オクタフルオロプロパン	1.640			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
パーフルオロメタン	7390			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
パーフルオロエタン	12200			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
パーフルオロプロパン	8830			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
パーフルオロブタン	8860			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
パーフルオロシクロブタン	10300			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
パーフルオロペンタン	9160			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
パーフルオロヘキサン	9300			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
パーフルオロヘプタン	7500			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
パーフルオロオクタノール	17340			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
六フッ化硫黄	22.800			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
三フッ化窒素	17.200			0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
合計										

(1)充填量=ポンベ、充填等に計入(計入)されている量。
 (2)漏れ量(自然漏れ)の計算値又は推定値。
 ①(計入量)=ポンベ、充填等に計入(計入)されている量。漏れ量(自然漏れ)が推定できない場合は、推定値として計入した。②(実測値)=ポンベ、充填等に計入(計入)されている量。漏れ量(自然漏れ)が推定できない場合は、実測値として計入した。
 (3)放出量=充填作業時の排出量と明らかに漏れ量(自然漏れ)が把握できる場合。

表2-2-10 代替フロン等4ガス集計表(2017年)(5/7)

代替フロン等4ガス	CO ₂ 係数	サイクル埠				丸洗							
		使用場所	使用目的	(1)充填量 (kg)	(2)回収量 (kg)	(3)残量 (kg)	CO ₂ 量 (kg)	使用場所	使用目的	(1)充填量 (kg)	(2)回収量 (kg)	(3)残量 (kg)	CO ₂ 量 (kg)
トリフルオロメタン	14.800												0.000
ジフルオロメタン	6.75												195.750
フルオロメタン	92												0.000
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	3.500												13.000
1,1,2,2,2-ペントラフルオロエタン	1,100												13.000
1,1,1,2,2-ペントラフルオロエタン	1,430	プラニール検査分析用機器、圧縮機、LVP、C220、MS-C200検査分析用機器、圧縮機、CFP、応用試験機、ユニティライオン、プラニール検査機器	冷凍高圧ガス充填施設の冷蔵、冷蔵庫内に使用、プロセス冷凍機の冷蔵として使用、冷蔵庫内に使用、建屋内の空調、業務用冷凍空調気調和機、ターボ冷凍機、ターボ冷凍機	3,381.000	33.810		48,948.300						0.000
1,1,1,2,2-トリフルオロエタン	353												0.000
1,1,1,1,1-ペンタフルオロエタン	4,470												0.000
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	53												0.000
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	124												0.000
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	12												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	3,220												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	1,340												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	1,370												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	9,810												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	693												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	10,300												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	794												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	1,640												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	7,390												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	12,200												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	8,830												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	8,860												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	10,300												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	9,160												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	9,300												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	7,500												0.000
1,1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	17,340												0.000
六フッ化硫黄	SF ₆												0.000
六フッ化硫黄	SF ₆	22,800											0.000
三フッ化窒素	NF ₃	17,200											0.000
合計													1,431,750

(1)充填量=ポンペ、機器等に注入(充填)されている量。
 (2)回収量(自然減)は計算値又は実測値。
 (3)残量=充填量-回収量
 ①(計算値)=ポンペ、機器等に振り付けられているメーター等の稼働値、実測により算出した量。
 ②(実測値)=ポンペ、機器等に振り付けられているメーター等の稼働値、実測により算出した量。
 (3)放出量=充填作業時の排出量と明らかに異なる量に属する場合は、

表2-2-10 代替フロン等4ガス集計表(2017年)(6/7)

代替フロン等4ガス	CO ₂ 係数	取源				もろじゆ			
		使用場所	使用目的	(1)原燃物 量(kg)	CO ₂ 量 (kg)	使用場所	使用目的	(1)原燃物 量(kg)	CO ₂ 量 (kg)
トリフルオロメタン	14,800				0.000				0.000
ジフルオロメタン	675				0.000				0.000
フルオロメタン	92				0.000				0.000
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	3,500				0.000				0.000
1,1,1,2,2-テトラフルオロエタン	1,100				0.000				0.000
1,1,1,1,2-ペントラフルオロエタン	1,430				0.000	系統冷媒 A-101	系統冷媒	1,800,000	22,840,000
1,1,1,2-トリフルオロエタン	353				0.000				0.000
1,1,1,1-トリフルオロエタン	4,470				0.000				0.000
1,2-ジフルオロエタン	53				0.000				0.000
1,1-ジフルオロエタン	124				0.000				0.000
フルオロエタン	12				0.000				0.000
1,1,1,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	3,220				0.000				0.000
1,1,1,2,2,3-ヘキサフルオロプロパン	1,340				0.000				0.000
1,1,1,1,3,3-ヘキサフルオロプロパン	1,370				0.000				0.000
1,1,1,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	9,810				0.000				0.000
1,1,1,3,3-ペンタフルオロプロパン	693				0.000				0.000
1,1,1,3-ペンタフルオロプロパン	10,300				0.000				0.000
1,1,1,2,3,4,4,5,5-ヘプタフルオロプロパン	794				0.000				0.000
1,1,1,2,3,4,4,5,5-ヘプタフルオロプロパン	1,640				0.000	系統冷媒、精製用、精製用	系統冷媒、精製用、精製用	7,500,000	119,720,000
パーフルオロメタン	7,390				0.000				0.000
パーフルオロエタン	12,200				0.000				0.000
パーフルオロプロパン	8,830				0.000				0.000
パーフルオロブタン	8,660				0.000				0.000
パーフルオロシクロブタン	10,300				0.000				0.000
パーフルオロペンタン	9,160				0.000				0.000
パーフルオロヘキサン	9,300				0.000				0.000
パーフルオロヘプタン	7,500				0.000				0.000
パーフルオロシクロブタン	17,340				0.000				0.000
六フッ化硫黄	22,800		ペント年代測定機		20,000	0.020	加温器電気エネルギー		5,016,000
三フッ化窒素	17,200								5,016,000
合計									142,000,000

(1)原燃物=ポンベ、機器等に計入(計入)されている量。
 (2)漏れ量(自然漏れ)の計算値又は推定値。
 ①(計量値)=ポンベ、機器等に計り付けられているメータ等が壊れ、実測により漏れ量が把握できない場合、保管量をもとに計量により算出した量を記載したか、(計算値=初期貯存量×排出係数)
 ②(実測値)=ポンベ、機器等に計り付けられているメータ等の稼働値、実測により算出した量。
 (3)放出量=充填作業時等の排出量と明らかに漏れした量が把握できる場合。

表2-2-10 代替フロン等4ガス集計表(2017年)(7/7)

代替フロン等4ガス	CO ₂ 係数	フロン		人形	
		使用場所	使用目的	使用場所	使用目的
		(1)原燃物 (%)	(2)加工 品 (kg)	(1)原燃物 (%)	(2)加工 品 (kg)
		CO ₂ 量 (kg)	CO ₂ 量 (kg)	CO ₂ 量 (kg)	CO ₂ 量 (kg)
トリフルオロメタン	14.800		0.000		0.000
ジフルオロメタン	6.75		0.000		0.000
フルオロメタン	92		0.000		0.000
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	3.500		0.000		0.000
1,1,2,2,2-テトラフルオロエタン	1.100		0.000		0.000
1,1,1,1,2-ペントラフルオロエタン	14.30	空車系ターボ冷凍機(廃止済)		同冷凍機用冷媒	
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	353		0.000		0.000
1,1,1,1,2-ペンタフルオロエタン	4.470		0.000		0.000
1,1,2,2,2-ペンタフルオロエタン	53		0.000		0.000
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	124		0.000		0.000
1,1,1,1,2-ペンタフルオロエタン	12		0.000		0.000
1,1,1,2,2,3-ヘキサフルオロプロパン	3.220		0.000		0.000
1,1,1,2,2,3-ヘキサフルオロプロパン	1.340		0.000		0.000
1,1,1,1,2,3-ヘキサフルオロプロパン	1.370		0.000		0.000
1,1,1,1,3,3-ヘキサフルオロプロパン	9.810		0.000		0.000
1,1,1,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	693		0.000		0.000
1,1,1,1,3,3-ヘキサフルオロプロパン	10.30		0.000		0.000
1,1,1,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	794		0.000		0.000
1,1,1,2,3,4,4,5,5-ヘプタフルオロプロパン	1.640		0.000		0.000
パーフルオロメタン	7.390		0.000		0.000
パーフルオロエタン	12.200		0.000		0.000
パーフルオロプロパン	8.830		0.000		0.000
パーフルオロブタン	8.660		0.000		0.000
パーフルオロシクロブタン	10.300		0.000		0.000
パーフルオロペンタン	9.160		0.000		0.000
パーフルオロヘキサン	9.300		0.000		0.000
パーフルオロヘプタン	7.500		0.000		0.000
パーフルオロシクロペンタン	17.340		0.000		0.000
六フッ化硫黄	22.800	ガス絶縁開閉器		ガス絶縁開閉器	
			702.000	0.702	0.000
					16.605.600
					16.605.600
三フッ化窒素	17.200		0.000		0.000
合計					14.706

(1)原燃物=ポンベ、機器等に封入貯蔵されている量。
 (2)加工品(自燃焼しない)の計算値又は実測値。
 ①(計算値)=ポンベ、機器等に封入貯蔵されているメーター等が無く、実測により測定できない量(実測できない場合、保管量をもとに計算により算出した値を記載した)。②(実測値)=ポンベ、機器等に封入貯蔵されているメーター等の取組、実測により算出した量。
 (3)加工品=充填作業時の排出量と明らかに測定した量が把握できる場合。

表2-2-11 代替フロン等4ガスによる温室効果ガス排出量の種類別推移(2017年)

種類	排出量 (t-CO ₂)					対前年比 (%) 2017/2016
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	
HFC	266	245	446	636	630	99.16
PFC	0	0	0	0	0	0.00
SF ₆	26,003	31,654	24,070	16,053	20,348	126.76
NF ₃	0	0	0	0	0	0.00
合計(t-CO ₂)	26,269	31,900	24,516	16,688	20,978	125.71

表2-2-12 代替フロン等4ガスによる温室効果ガス排出量の拠点別推移(2017年)

拠点名	排出量(t-CO ₂)							対前年比(%)	
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2017/2016	2017/2016		
青森	21	0	3	12	4,418	36,864.22			
むつ	18	0	0	0	12	4,418			
六ヶ所	3	0	3						36,864.22
福島拠点			0	0	0	0.00			
楢葉			0	0	0	0.00			0.00
福島			0	0					
三春					0	0.00			0.00
富岡						0			0.00
原科研(J-PARCを含む)	24,026	22,899	22,026	16,474	16,347	99.22			
原科研	23,975	22,848	21,810	16,351	16,144	98.74			
J-PARC	51	51	216	123	202	163.93			
サイクル研	33	34	48	48	48	100.00			
大洗	18	16	0	6	1	21.11			
郡珂	366	370	353						
高崎	748	8,387	1,878						
東濃	841	7	3	2	5	220.00			
もんじゅ	171	161	177	129	143	110.13			
ふげん	17	17	16	16	16	100.00			
関西研	27	8	11						
関西木津	27		8	11					
関西播磨	0								
人形	0	0	0	0	0	100.00			
合計(t-CO ₂)	26,269	31,900	24,516	16,688	20,978	125.71			

表2-2-14 フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量拠点別推移(2017年度)

都道府県名	拠点名	算定漏えい量 (t-CO ₂)			対前年度比 (%) 2017/2016	
		2015年度	2016年度	2017年度		
北海道	幌延	0.000	0.000	0.000		
	青森	75.240	0.000	0.000	0.00	
青森県	むつ	0.000	0.000	0.000	0.00	
	六ヶ所	75.240	0.000	0.000	0.00	
福島県	福島拠点	0.000	0.000	0.000	0.00	
	いわき	0.000	0.000	0.000	0.00	
	楢葉	0.000	0.000	0.000	0.00	
	三春	0.000	0.000	0.000	0.00	
	富岡	0.000	0.000	0.000	0.00	
	大熊	0.000	0.000	0.000	0.00	
	原科研(J-PARCを含む)	1,655.636	1,601.397	762.836	47.64	
茨城県	原科研	1,420.082	1,404.113	674.336	48.03	
	J-PARC	235.555	197.284	88.500	44.86	
	サイクル研	43.090	42.511	14.630	34.41	
	大洗	185.370	137.718	48.092	34.92	
	那珂	29.503	0.000	0.000	0.00	
	本部	0.000	0.000	0.000	0.00	
	NEAT茨城	0.000	0.000	0.000	0.00	
	茨城県計	1,913.598	1,781.626	825.557	116.97	
	群馬県	高崎	19.583	0.000	0.000	0.00
	千葉県	柏	0.000	0.000	0.000	
東京都	東京	0.000	0.000	0.000		
	東濃	0.000	3.009	25.691	853.81	
岐阜県	敦賀	12.670	0.000	73.088	0.00	
	もんじゅ	425.060	156.520	210.272	134.34	
	ふげん	236.013	27.091	35.663	131.64	
	も運研	13.756	78.916	0.000	0.00	
	NEAT福井	0.000	0.000	0.000	0.00	
福井県	福井県計	687.499	262.527	319.022	121.52	
	関西研	49.956	0.000	0.000	0.00	
京都府	関西本津	49.956	0.000	0.000	0.00	
兵庫県	関西播磨	0.000	0.000	0.000	0.00	
岡山県	人形	90.500	279.900	0.000	0.00	
	合計 (t-CO ₂)	2,836	2,327	1,170	50.29	

表2-3-1 輸送量(トンキロ)総計表(2017年度)

項目	拠点名	朝延	むつ	福島拠点	三春			高岡	本部	原科研(J- PAROを含む)	サイクル研	大洗	NEAT		(単位:トンキロ)
					楡葉	三春	富岡						NEAT茨城	NEAT福井	
核燃料物質等			0						3,396	0	8				
	759	959	154					209	24,984	49,107	6,670	125			
一般・産業廃棄物					43	105	6						0	125	
									0	0	0				
その他															
合計	759	959	154			105	6	209	28,380	49,107	6,678	125			
					43	105	6						0	125	

項目	拠点名	東京地区		柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	も運研	人形	2013年度				2017年度				(単位:万トンキロ)
		東京	柏								2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度				
核燃料物質等					0		0	79		17	2.09	2.06	0.34	0.31	0.35				
	1,174				669	411	9,845	4,658	471	1,344	19.57	13.01	8.80	7.52	10.15				
一般・産業廃棄物		1,174	0				0	0		70	0.01	0.17	0.01	0.01	0.01				
その他																			
合計	1,174		0		669	411	9,845	4,736	471	1,431	21.67	15.23	9.15	7.84	10.51				
		1,174	0																

表2-3-2 輸送量(トンキロ)(核燃料物質等)と(その他)(2017年度)(1/5)

1.核燃料物質等	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	過去最大輸送回数	輸送量 kg・km (a)×(b)×(c)	
1.核燃料物質等 原科研(J- PARCを含む)	核燃料物質	L型輸送物	2	1	1		2	
	核燃料物質	L型輸送物	5	1	1		5	
	核燃料物質	L型輸送物	1	7	1		7	
	核燃料物質	L型輸送物	1	130	1		130	
	核燃料物質	L型輸送物	1	130	1		130	
	核燃料物質	L型輸送物	1	270	1		270	
	核燃料物質	L型輸送物	1	270	1		270	
	核燃料物質	L型輸送物	1	270	1		270	
	核燃料物質	L型輸送物	1	663	1		663	
	核燃料物質	L型輸送物	1	677	1		677	
	核燃料物質	L型輸送物	1	760	1		760	
	核燃料物質	L型輸送物	1	760	1		760	
	核燃料物質	L型輸送物	12	130	1		1,560	
	核燃料物質	A型輸送物	8	137	1		1,096	
	核燃料物質	A型輸送物	60	25	1		1,500	
	核燃料物質	A型輸送物	17	137	1		2,329	
	RI	L型輸送物	L型輸送物	1	24	1		24
	RI	L型輸送物	L型輸送物	2	24	1		48
	RI	L型輸送物	L型輸送物	1	75	1		75
	RI	L型輸送物	L型輸送物	3	170	1		510
	RI	L型輸送物	L型輸送物	1	180	4		720
	RI	L型輸送物	L型輸送物	2	130	1		260
	RI	L型輸送物	L型輸送物	2	130	1		260
	RI	L型輸送物	L型輸送物	2	140	2		560
	RI	L型輸送物	L型輸送物	2	150	1		300
	RI	L型輸送物	L型輸送物	3	130	1		390
	RI	L型輸送物	L型輸送物	4	130	1		520
	RI	L型輸送物	L型輸送物	4	140	1		560
	RI	L型輸送物	L型輸送物	1	663	1		663

表2-3-2 輸送量(トンキ口)(核燃料物質等)と(その他)(2017年度)(2/5)

1.核燃料物質等	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	過去最大輸送回数	輸送量 kg・km (a) × (b) × (c)
1.核燃料物質等 原科研(J- PARCを含む)	RI	L型輸送物	6	130	1		780
	RI	L型輸送物	2	560	1		1,120
	RI	L型輸送物	30	270	1		8,100
	RI	L型輸送物	20	815	1		16,300
	RI	A型輸送物	2	130	1		260
	RI	A型輸送物	2	150	1		300
	RI	A型輸送物	9	130	1		1,170
	RI	A型輸送物	10	130	1		1,300
	RI	A型輸送物	17	120	1		2,040
	RI	A型輸送物	24	130	2		6,240
	RI	A型輸送物	24	130	2		6,240
	RI	A型輸送物	7	625	1		4,375
	RI	A型輸送物	35	130	1		4,550
	RI	A型輸送物	35	150	8		42,000
	RI	A型輸送物	20	270	2		10,800
	RI	A型輸送物	48	130	2		12,480
	RI	A型輸送物	48	130	2		12,480
	RI	A型輸送物	48	150	1		7,200
	RI	A型輸送物	74	130	1		9,620
	RI	A型輸送物	96	130	1		12,480
RI	A型輸送物	96	130	2		24,960	
RI	A型輸送物	100	130	1		13,000	
RI	A型輸送物	106	130	1		13,780	
RI	A型輸送物	120	130	1		15,600	
RI	A型輸送物	120	130	4		62,400	
RI	A型輸送物	120	150	1		18,000	
RI	A型輸送物	25	740	1		18,500	
RI	A型輸送物	25	740	1		18,500	
RI	A型輸送物	144	130	2		37,440	

表2-3-2 輸送量(トンキ口)(核燃料物質等)と(その他)(2017年度)(3/5)

1.核燃料物質等	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	過去最大輸送回数	輸送量 kg・km (a) × (b) × (c)
1.核燃料物質等 原科研(J- PARCを含む)	RI	A型輸送物	144	130	3		56,160
	RI	A型輸送物	144	150	1		21,600
	RI	A型輸送物	168	130	4		87,360
	RI	A型輸送物	170	130	2		44,200
	RI	A型輸送物	175	130	6		136,500
	RI	A型輸送物	192	130	3		74,880
	RI	A型輸送物	192	130	4		99,840
	RI	A型輸送物	168	150	1		25,200
	RI	A型輸送物	194	130	1		25,220
	RI	A型輸送物	208	130	1		27,040
	RI	A型輸送物	216	130	2		56,160
	RI	A型輸送物	216	130	3		84,240
	RI	A型輸送物	218	130	1		28,340
	RI	A型輸送物	240	130	2		62,400
	RI	A型輸送物	208	150	1		31,200
	RI	A型輸送物	240	130	6		187,200
	RI	A型輸送物	264	130	5		171,600
	RI	A型輸送物	264	130	6		205,920
	RI	A型輸送物	266	130	1		34,580
	RI	A型輸送物	240	150	1		36,000
RI	A型輸送物	285	130	1		37,050	
RI	A型輸送物	288	130	3		112,320	
RI	A型輸送物	288	130	5		187,200	
RI	A型輸送物	312	130	3		121,680	
RI	A型輸送物	312	130	5		202,800	
RI	A型輸送物	314	130	1		40,820	
RI	A型輸送物	288	150	2		86,400	
RI	A型輸送物	290	150	2		87,000	
RI	A型輸送物	336	130	1		43,680	

表2-3-2 輸送量(トンキ口)(核燃料物質等)と(その他)(2017年度)(4/5)

拠点名	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	過去最大輸送回数	輸送量 kg・km (a) × (b) × (c)	
1.核燃料物質等	RI	A型輸送物	336	130	2		87,360	
	RI	A型輸送物	348	130	1		45,240	
	RI	A型輸送物	312	150	1		46,800	
	RI	A型輸送物	336	150	1		50,400	
	RI	A型輸送物	1,522	130	1		197,860	
	空輸送容器	空容器	35	135	9		42,525	
	空輸送容器	空容器	175	130	5		113,750	
		総計					3,395,859	
		核燃料物質	A型輸送物	18	162	1		2,867
		核燃料物質	L型輸送物	0	589	1		7
大洗	核燃料物質	A型輸送物	18	162	1		2,867	
	核燃料物質	L型輸送物	0	589	1		7	
	核燃料物質	A型輸送物	7	162	1		1,199	
	核燃料物質	L型輸送物	0	589	1		1	
	核燃料物質	L型輸送物	0	589	1		1	
	核燃料物質	A型輸送物	5	28	1		140	
	RI	L型輸送物	0	2	2		0	
	空輸送容器	A型輸送物	6	162	1		972	
		総計					8,062	
	ふげん	RI	金属材料試験片	80	484	2	1	77,440
RI		金属材料試験片	1	628	2	5	1,256	
	総計					78,696		
人形	核燃料物質	酸化ウラン	2	800	1	0	1,200	
	RI	L型輸送物	20	814	1	0	16,280	
	総計					17,480		

表2-3-2 輸送量(トンキロ)(核燃料物質等)と(その他)(2017年度)(5/5)

拠点名	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	過去最大輸送回数	輸送量 kg・km (a) × (b) × (c)	
2.その他	その他	ウランガラス原料	721	6	1	1	4,398	
	その他	計測器(リーダー)校正	26	500	2	2	26,000	
	その他	絶縁抵抗計校正	1	126	1	1	126	
	その他	パルス発生器校正	2	107	1	2	214	
	その他	放射線測定器校正	10	859	3	3	25,770	
	その他	放射線測定器校正	5	859	1	1	4,295	
	その他	ウラン線源校正	2	679	1	0	1,358	
	その他	記録計の修理	5	102	1	0	510	
	その他	ラドン濃度測定器校正	10	560	1	0	5,600	
	その他	環境試料送付	3	491	1	0	1,473	
		総計						69,744

表2-4 コピー用紙投入量(2017年度)(1/3)

拠点名	A4 1箱の重さ(kg)		A4用紙(枚)		A3用紙(枚)		B5用紙(枚)		B4用紙(枚)		A4換算値(枚)		A4換算値(kg)	
嘱延	10.00		140,000		3,500		0		0		147,000		588.00	
	10.00		796,500		6,000		0		0		808,500		3,234.00	
福島拠点	10.00		910,000		29,000		0		0		968,000		3,872.00	
		10.00		382,500		15,000		0		0		412,500		1,650.00
檜葉	10.00			255,000		12,000		0		0		279,000		1,116.00
	10.00			180,000		2,000		0		0		184,000		736.00
富岡	10.00			92,500		0		0		0		92,500		370.00
	10.00			0		0		0		0		0		0.00
本部	11.00		1,768,500		79,000		1,000		0		1,927,200		8,480.00	
	10.00		5,444,000		0		0		0		5,444,000		21,776.00	
サイクル研	10.00		4,502,500		229,500		22,500		45,000		5,040,250		20,161.00	
	10.00		3,815,000		64,500		2,500		2,500		3,949,250		15,798.00	
NEAT	10.00		112,500		3,000		0		0		118,500		474.00	
		10.00		105,000		3,000		0		0		111,000		444.00
NEAT福井	10.00			7,500		0		0				7,500		30.00
		10.00												
東京地区	11.00		593,000		24,000		0		0		641,000		2,819.00	
		11.00		557,500		24,000		0		0		605,500		2,664.00
東濃	11.00			35,500		0		0				35,500		155.00
		11.00												
敦賀	11.00		155,000		6,000		0		0		167,000		735.00	
		11.00		479,500		38,000		0		0		555,500		2,444.00
ふげん	10.70		2,700,000		370,000		0		0		3,440,000		14,723.00	
		10.70		731,500		17,500		500		0		766,850		3,282.00
関西権磨	10.00		300,000		36,000		0		0		372,000		1,488.00	
		10.00		61,000		0		0		0		61,000		244.00
人形	11.00		710,000		26,500		500		5,000		770,350		3,390.00	
			23,219,000		932,500		27,000		52,500		25,176,400		103,508.00	
合計														

表2-4 コピー用紙投入量(2017年度)(2/3)

拠点名	A4 1箱の重さ(kg)		A4用紙(枚)		A3用紙(枚)		B5用紙(枚)		B4用紙(枚)		A4換算値(枚)		A4換算値(kg)		
嘱延	10.00		119,000		2,000		0		0		123,000		492.00		
	10.00		430,500		21,000		0		0		472,500		1,890.00		
福島拠点	10.00		916,000		28,000		0		0		972,000		3,888.00		
		10.00		428,500		12,000		0		0		452,500		1,810.00	
檜葉	10.00			252,500		13,500		0		0		279,500		1,118.00	
	10.00			175,000		2,500		0		0		180,000		720.00	
富岡	10.00			60,000		0		0		0		60,000		240.00	
	10.00			0		0		0		0		0		0.00	
本部	11.00		1,629,000		83,500		0		0		1,796,000		7,902.00		
	10.00		5,715,000		0		0		0		5,715,000		22,860.00		
サイクル研	10.00		4,670,000		300,000		2,500		15,000		5,292,750		21,171.00		
	10.00		3,883,500		101,000		0		3,500		4,090,400		16,362.00		
NEAT	10.00		147,500		6,000		0		0		159,500		638.00		
		10.00		140,000		6,000		0		0		152,000		608.00	
NEAT福井	10.00			7,500		0		0			7,500		30.00		
		11.00	941,000		47,000		0		0		1,035,000		4,553.00		
東京地区		11.00		892,500		46,500		0		0		985,500		4,336.00	
		11.00		48,500		500		0		0		49,500		217.00	
東濃	11.00		179,000		4,500		0		0		188,000		828.00		
	11.00		661,500		50,500		0		0		762,500		3,355.00		
もんじゅ	10.70		2,725,000		247,500		0		0		3,220,000		13,781.00		
	10.70		775,500		21,000		0		0		817,500		3,497.00		
も運研	10.00		400,000		36,000		0		0		472,000		1,888.00		
	10.00		50,000		0		0		0		50,000		200.00		
関西権磨	11.00		675,000		36,500		0		0		748,000		3,291.00		
			23,917,500		984,500		2,500		18,500		25,914,150		106,596.00		
合計															

2017年度下期

表2-4 コピー用紙投入量(2017年度)(3/3)

2017年度合計	拠点名	A4換算値(枚)		A4換算値(kg)	各拠点の占める割合(%)	
		2017年度	2016年度		2017年度	2016年度
	幌延	270,000		1,080		0.51
	むつ	1,281,000		5,124		2.44
	福島拠点	1,940,000		7,760		3.69
	いわき		865,000		3,460	1.65
	楢葉		558,500		2,234	1.06
	三春		364,000		1,456	0.69
	富岡		152,500		610	0.29
	大熊		0		0	0.00
	本部	3,723,200		16,382		7.80
	原科研(J-PARCを含む)	11,159,000		44,636		21.24
	サイクル研	10,333,000		41,332		19.67
	大洗	8,039,650		32,160		15.31
	NEAT	278,000		1,112		0.53
	NEAT茨城		263,000		1,052	0.50
	NEAT福井		15,000		60	0.03
	東京地区	1,676,000		7,372		3.51
	東京		1,591,000		7,000	3.33
	柏		85,000		372	0.18
	東濃	355,000		1,563		0.74
	敦賀	1,318,000		5,799		2.76
	もんじゅ	6,660,000		28,504		13.57
	ふげん	1,584,350		6,779		3.23
	も運研	844,000		3,376		1.61
	関西播磨	111,000		444		0.21
	人形	1,518,350		6,681		3.18
	合計	51,090,550		210,104		100.00

用紙投入量推移

年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
投入用紙(枚)	58,694,900	59,864,100	55,082,300	49,736,550	51,090,550
投入用紙(kg)	242,471	246,921	227,342	204,752	210,104

※2013年度～2015年度はQSTを含む。

表2-5 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2017年度)(1/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑫備考
							⑥調達量 ③の内数	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例 ⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	
紙類(7)	コピー用紙	100%	1928293 kg	192753.3 kg	100%	100%	627 tkg	基準の高い物品を優先的に選択した	78 kg PA-A3	機能・性能上の必要性		
	フォーム用紙	100%	217.1 kg	217.1 kg	100%	100%	0 tkg		0 kg			
	インクジェットカラープリンター用紙	100%	174.26 kg	174.26 kg	100%	100%	0 tkg		0 kg			
	差工されていない印刷用紙	100%	777.7 kg	777.7 kg	100%	100%	0 tkg		0 kg			
	差工されている印刷用紙	100%	92.52 kg	91.52 kg	99%	99%	0 tkg		1 kg WPA60PRO	機能・性能上の必要性		
	トレックペーパー	100%	18596.6 kg	18596.6 kg	100%	100%	59.2 tkg	基準の高い物品を優先的に選択した	0 kg			
	ティッシュペーパー	100%	4765.08 kg	4763.4 kg	100%	100%	0 tkg		1.68 kg N062J	機能・性能上の必要性		
	シャープペンシル	100%	4755 本	4755 本	100%	100%	90 本	基準の高い物品を優先的に選択した	0 本			
	シャープペンシル替芯	100%	475 個	475 個	100%	100%	40 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個			
	ボールペン	100%	6043 本	6043 本	100%	100%	160 本	基準の高い物品を優先的に選択した	0 本			
文具類(83)	マージングペン	100%	11888 本	11888 本	100%	100%	160 本	基準の高い物品を優先的に選択した	10 本 PM-B-D	機能・性能上の必要性		
	鉛筆	100%	266 本	266 本	100%	100%	0 本		0 本			
	スタンプ台	100%	17 個	17 個	100%	100%	0 個		0 個			
	朱肉	100%	108 個	108 個	100%	100%	5 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個			
	印章セット	100%	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個			
	印箱	100%	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個			
	公印	100%	1 個	1 個	100%	100%	0 個		0 個			
	ゴム印	100%	329 個	327 個	99%	99%	35 個	基準の高い物品を優先的に選択した	2 個 角型1602型	機能・性能上の必要性		
	回転ゴム印	100%	25 個	23 個	92%	92%	0 個		2 個 KH-2471、3863	仕様を満たす製品が調達品ではなかったため		
	定規	100%	77 個	68 個	88%	88%	0 個		9 個 KSO1BL-220	機能・性能上の必要性		
消耗品	トレー	100%	120 個	110 個	92%	92%	0 個		10 個 A4	廉価な物を選択		
	消しゴム	100%	858 個	858 個	100%	100%	80 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個			
	ステープラー(汎用型)	100%	175 個	175 個	100%	100%	3 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個			
	ステープラー(汎用型以外)	100%	51 個	51 個	100%	100%	0 個		0 個			
	ステープラー(射打ムバー)	100%	68 個	68 個	100%	100%	0 個		0 個			
	運前式クリップ(本体)	100%	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個			
	事務用修正具(テープ)	100%	242 個	242 個	100%	100%	10 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個			
	事務用修正具(液状)	100%	76 個	76 個	100%	100%	0 個		0 個			
	クラフトテープ	100%	427 個	427 個	100%	100%	30 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個			

表2-5 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2017年度)(2/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑫備考
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	
	粘着テープ(布粘着)	100%	952個	952個	100%	100%	45個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個			
	両面粘着紙テープ	100%	826個	826個	100%	100%	32個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個			
	製本テープ	100%	509個	509個	100%	100%	300個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個			
	ブックスタンド	100%	4個	4個	100%	100%	0個		0個			
	ペンスタンド	100%	5個	0個	0%	0%	0個		5個 H40BK	環境基準に近いものを選択	廉価な物を選択	
	クリップケース	100%	19個	19個	100%	100%	10個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個			
	はさみ	100%	237個	232個	98%	98%	0個		5個 EA440HA-31A	環境基準に近いものを選択	廉価な物を選択	
	マグネット(玉)	100%	319個	313個	98%	98%	12個	基準の高い物品を優先的に選択した	6個 DWP2B、30R	環境基準に近いものを選択	廉価な物を選択	
	マグネット(バー)	100%	551個	551個	100%	100%	0個		0個			
	テープカッター	100%	21個	21個	100%	100%	0個		0個			
	ハンチ(手動)	100%	51個	49個	96%	96%	0個		2個 DP-35-R	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	モルトケース(紙めぐり用スポンジケース)	100%	1個	1個	100%	100%	0個		0個			
	紙めぐりクリウム	100%	0個	0個	%	%	0個		0個			
	鉛筆削(手動)	100%	0個	0個	%	%	0個		0個			
	OAクリヤー(ウエットタイプ)	100%	260個	260個	100%	100%	10個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個			
	OAクリヤー(液タイプ)	100%	36個	36個	100%	100%	0個		0個			
	ダストプロロー	100%	528個	528個	100%	100%	0個		0個			
	レターケース	100%	15個	7個	47%	47%	0個		8個 LT-500MYE	環境基準に近いものを選択	廉価な物を選択	
	メテアケース	100%	282個	122個	43%	43%	0個		160個 FCD-PN30BK	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	マウスパッド	100%	149個	120個	81%	81%	0個		29個 MUP-007BK	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性	
	OAフィルタ(特約)	100%	0個	0個	%	%	0個		0個			
	丸刃式紙断機	100%	3台	3台	100%	100%	0台		0台			
	カッターナイフ	100%	67個	67個	100%	100%	10個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個			
	カッチングマット	100%	24個	24個	100%	100%	0個		0個			
	チスクマット	100%	36個	36個	100%	100%	1個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個			
	OHPフィルム	100%	521個	521個	100%	100%	0個		0個			
	絵筆	100%	0個	0個	%	%	0個		0個			
	線の具	100%	0個	0個	%	%	0個		0個			

文庫類(83)

表2-5 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2017年度)(3/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部③①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合			判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑫備考			
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧の内数	③の内数	⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容		⑨具体的な仕様の主な例		⑪主な理由
														⑩環境への配慮の内容	⑩環境への配慮の内容	
	果汁	100%	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個							
	のり(液体)(補充用を含む。)	100%	165 個	165 個	100%	100%	3 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個							
	のり(固体のり)(補充用を含む。)	100%	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個							
	のり(固形)(補充用を含む。)	100%	1717 個	1717 個	100%	100%	50 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個							
	のり(テープ)	100%	311 個	311 個	100%	100%	30 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個							
	ファイナル	100%	734602 冊	734652 冊	100%	100%	240 冊	基準の高い物品を優先的に選択した	50 冊	フーS100B	機能・性能上の必要性					
	ハイランダー	100%	1036 冊	1036 冊	100%	100%	586 冊	基準の高い物品を優先的に選択した	0 冊							
	ファイリング用品	100%	22858 個	22858 個	100%	100%	115 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個							
	アルハム(台紙を含む。)	100%	1 個	1 個	100%	100%	0 個		0 個							
	つづりいも	100%	614 個	614 個	100%	100%	0 個		0 個							
	カードケース	100%	2577 個	2557 個	99%	99%	0 個		0 個	0HA-5	廉価な物を選択					
	事務用封筒(紙製)	100%	78868 枚	78868 枚	100%	100%	3000 枚	基準の高い物品を優先的に選択した	0 枚							
	窓付き封筒(紙製)	100%	2830 枚	2830 枚	100%	100%	0 枚		0 枚							
	白い紙・起票用紙	100%	20 個	20 個	100%	100%	0 個		0 個							
	ノート	100%	2983 冊	2983 冊	100%	100%	90 冊	基準の高い物品を優先的に選択した	0 冊							
	ハンチラベル	100%	27 個	27 個	100%	100%	0 個		0 個							
	タックラベル	100%	813 個	813 個	100%	100%	0 個		0 個							
	インデックス	100%	2939 個	2939 個	100%	100%	0 個		0 個							
	付箋紙	100%	6904 個	6879 個	100%	100%	508 個	基準の高い物品を優先的に選択した	25 個	HS8001	機能・性能上の必要性					
	付箋フィルム	100%	126 個	126 個	100%	100%	0 個		0 個							
	黒紙粘	100%	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個							
	ホワイトボード用レーザー	100%	51 個	51 個	100%	100%	0 個		0 個							
	緑線	100%	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個							
	ごみ箱	100%	173 個	171 個	99%	99%	0 個		0 個							
	リサイクルボックス	100%	50 個	50 個	100%	100%	0 個		0 個							
	缶・ボトルつぶし機(手動)	100%	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個							
	名札(紙上用)	100%	60 個	60 個	100%	100%	0 個		0 個							
	名札(衣服取付型・肩下げ型)	100%	1843 個	1798 個	98%	98%	0 個		0 個	EAS85VA-121	廉価な物を選択					
	鍵かけワックを含む。)	100%	3 個	3 個	100%	100%	0 個		0 個							
	チョコレート	100%	0 本	0 本	%	%	0 本		0 本							

文具類(83)

表2-5 特定調達品目(物品-役務)調達実績集計表(2017年度)(4/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満たさない物品等を調達した場合		⑫備考
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例 ⑩環境への配慮の内容	
文具類(83)	グラウンド用白線	100%	0 kg	0 kg	%	%	0 kg		0 kg		
	染色用バンド	100%	101個	101個	100%	100%	100個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個		
オフィス家具等(10)	いす	100%	591脚	590脚	100%	100%	0脚		1脚	ISO-SHC19BK	機能・性能上の必要性
	机	100%	294台	294台	100%	100%	0台		0台		
	棚	100%	90連	90連	100%	100%	0連		0連		
	収納用什器(棚以外)	100%	538台	537台	100%	100%	7台	基準の高い物品を優先的に選択した	1台	LPS-T108N	機能・性能上の必要性
	ローバーティンゴン	100%	270台	270台	100%	100%	0台		0台		
	コートハンガー	100%	7台	7台	100%	100%	0台		0台		
	傘立て	100%	5台	5台	100%	100%	0台		0台		
	掲示板	100%	7個	7個	100%	100%	0個		0個		
	黒板	100%	2個	2個	100%	100%	0個		0個		
	ホワイトボード	100%	53個	53個	100%	100%	0個		0個		
画像機器等(10)	購入	100%	7台	7台	100%	100%	0台		0台		
	コピー機等合計		13台	13台			0台		0台		
	リースレンタル(新規)		48台	48台							
	リースレンタル(継続)		1台	1台							
	購入		0台	0台							
	リースレンタル(新規)		13台	13台							
	リースレンタル(継続)		5台	5台							
	複合機		13台	13台							
	リースレンタル(新規)		34台	34台							
	リースレンタル(継続)		1台	1台							
コピー機等	複合機		0台	0台							
	拡張性デジタルコピー機		1台	1台							
	リースレンタル(新規)		97台	97台							
	リースレンタル(継続)		27台	27台							
プリンタ等(10)	購入	100%	77台	77台	100%	100%	2台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台		
	リースレンタル(新規)		27台	27台			0台		0台		
	リースレンタル(継続)		77台	77台							
	プリンタ等合計		77台	77台							

表2-5 特定調達品目(物品-役務)調達実績集計表(2017年度)(5/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満たさない物品等を調達した場合		⑫備考
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例 ⑩環境への配慮の内容	
画像機器等 (10)	プリンタ		91台	91台			2台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台		
	リース-レンズ付(新規)		22台	22台			0台		0台		
	リース-レンズ付(継続)		72台	72台							
	購入		6台	6台			0台		0台		
	リース-レンズ付(新規)		5台	5台			0台		0台		
	リース-レンズ付(継続)		5台	5台							
	購入		2台	1台	50%		0台	Panasonic KX-PD566DL-W 環境基準に近いものを選択 入手できなかった	1台		
	リース-レンズ付(新規)		0台	0台	50%		0台		0台		
	リース-レンズ付(継続)		3台	3台					0台		
	購入		20台	20台	100%		0台		0台		
スキャナ	リース-レンズ付(新規)		7台	7台			0台		0台		
	リース-レンズ付(継続)		1台	1台					0台		
	購入		25台	22台	88%		1台	基準の高い物品を優先的に選択した	3台	Canon M-11 環境基準に近いものを選択 機能・性能上の必要性	
	リース-レンズ付(新規)		1台	1台			0台		0台		
プロジェクタ	リース-レンズ付(継続)		2台	2台					0台		
	購入		1670個	1611個	96%		4個	基準の高い物品を優先的に選択した	59個	TNR-G3L 仕様を満たす製品が調達品ではなかったため	
電子計算機 (4)	インクカートリッジ		1300個	1300個	100%		13個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個		
	電子計算機 合計		1226台	1225台	100%		6台	基準の高い物品を優先的に選択した	1台	HDD、ディスプレイ、無線LAN付 機能・性能上の必要性	
	リース-レンズ付(新規)		1170台	1170台	100%		20台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台		
	リース-レンズ付(継続)		1320台	1320台					0台		
	購入		184台	184台			2台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台		
	リース-レンズ付(新規)		54台	54台			0台		0台		
	リース-レンズ付(継続)		75台	75台					0台		
	購入		731台	730台			4台	基準の高い物品を優先的に選択した	1台	HDD、ディスプレイ、無線LAN付 機能・性能上の必要性	
	リース-レンズ付(新規)		1073台	1073台			0台		0台		
	リース-レンズ付(継続)		1160台	1160台					0台		
電子計算機 (4)	購入		284台	284台			0台		0台		
	リース-レンズ付(新規)		43台	43台			10台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台		
	リース-レンズ付(継続)		78台	78台					0台		
	購入										

表2-5 特定調達品目(物品-役務)調達実績集計表(2017年度)(6/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満たさない物品等を調達した場合		⑫備考
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例 ⑩環境への配慮の内容	
電子計算機等 (4)	電子計算機 ①クライアント ②その他の 電子計算機 ③合計		27台	27台			0台				
	購入		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(新規)		7台	7台							
	リース-レンタル(継続)										
	購入	100%	257台	254台	99%	99%	21台	基準の高い物品を優先的に選択した	MOBYH0010BSL-PESN	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性
	購入		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(新規)		19台	19台							
	リース-レンタル(継続)		502台	502台	100%	100%	3台	基準の高い物品を優先的に選択した			
	購入	100%	217台	217台	100%	100%	0台				
	リース-レンタル(新規)		724台	724台							
リース-レンタル(継続)											
オフィス機器等 (5)	記録用メディア	100%	5149個	5144個	100%	100%	0個				
	購入		22台	22台	100%	100%	1台	基準の高い物品を優先的に選択した			
	リース-レンタル(新規)		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(継続)		0台	0台							
	購入	100%	2台	2台	100%	100%	0台				
	リース-レンタル(新規)		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(継続)		0台	0台							
	購入	100%	19個	17個	89%	89%	0個				
	リース-レンタル(新規)		34個	34個	100%	100%	0個				
	リース-レンタル(継続)		41872個	41872個	100%	100%	420個	基準の高い物品を優先的に選択した			
携帯電話等 (3)	携帯電話	100%	116個	116個	100%	100%	0個				
	購入		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(新規)		450台	450台	100%	100%	0台				
	リース-レンタル(継続)		0台	0台							
	購入	100%	184台	184台	100%	100%	0台				
	リース-レンタル(新規)		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(継続)		0台	0台							
	購入	100%	15台	15台	100%	100%	0台				
	リース-レンタル(新規)		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(継続)		0台	0台							

表2-5 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2017年度)(7/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部③①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満たさない物品等を調達した場合		⑫備考	
							⑥調達量	⑦具体的仕様	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例		⑩環境への配慮の内容
家電製品(6)	電気冷蔵庫・洗濯機・外置乾燥機	100%	59台	57台	97%	97%	0台		2台	JR-NFZ70A		
			0台	0台			0台		0台			
			1台	1台						0台		
	テレビジョン受像機	100%	22台	22台	100%	100%	0台		0台			
			0台	0台			0台		0台			
			3台	3台					0台			
	電気便座	100%	2台	2台	100%	100%	0台		0台			
			0台	0台			0台		0台			
			0台	0台					0台			
	電子レンジ	100%	6台	6台	100%	100%	0台		0台			
			0台	0台			0台		0台			
			0台	0台					0台			
エアコンディショナー等(5)	エアコンディショナー	100%	64台	64台	100%	100%	0台		0台			
			0台	0台			0台		0台			
			0台	0台					0台			
	ガスヒートポンプ式冷暖房機	100%	4台	4台	100%	100%	0台		0台			
			0台	0台			0台		0台			
			0台	0台					0台			
	ストーブ	100%	8台	8台	100%	100%	0台		0台			
			28台	28台	100%	100%	0台		0台			
			0台	0台			0台		0台			
	ヒートポンプ式電気給湯器	100%	4台	4台	100%	100%	0台		0台			
			0台	0台			0台		0台			
			0台	0台					0台			
湯水器等(4)	100%	0台	0台					0台				
		0台	0台			0台		0台				
		0台	0台					0台				
石油温水機器	100%	0台	0台					0台				
		0台	0台			0台		0台				
		0台	0台					0台				

表2-5 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2017年度)(8/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部③①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満たさない物品等を調達した場合		⑫備考
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例 ⑩環境への配慮の内容	
温水器等(4)	購入	100%	0台	0台	%	%	0台				
	リース-レンタル(新規)		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(継続)		0台	0台			0台				
蛍光灯照明器具	施設用		53台	53台	100%	100%	0台				
	家庭用	100%	0台	0台			0台				
	卓上スタンド用		11台	11台			0台				
照明(5)	LED照明器具	100%	558台	557台	100%	100%	3台	基準の高い物品を優先的に選択した	ESL-W2801AC	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性
	LEDを光源とした内照式表示灯	100%	1台	1台	100%	100%	0台				
	高周波点灯専用形(H)		1720本	1720本	100%	100%	0本				
	コンパクト形スター形	100%	3103本	3103本	100%	100%	7本	基準の高い物品を優先的に選択した			
	電球形LEDランプ		93個	93個	100%	100%	0個				
自動車等(6)	電球形のランプ	100%	9008個	9008個	100%	100%	0個				
	一般公用車 合計	100%	3台	3台	100%	100%	0台				
	購入		12台	12台			0台				
	リース-レンタル(新規)		43台	43台			0台				
	リース-レンタル(継続)		0台	0台			0台				
	電気自動車		0台	0台			0台				
	購入		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(新規)		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(継続)		0台	0台			0台				
	天然ガス自動車		0台	0台			0台				
自動車等(6)	購入		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(新規)		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(継続)		0台	0台			0台				
	購入		0台	0台			0台				
自動車等(6)	ハイブリッド自動車		2台	2台	100%	100%	0台				
	購入		10台	10台			0台				
	リース-レンタル(新規)		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(継続)		0台	0台			0台				
自動車等(6)	プラグインハイブリッド自動車		0台	0台			0台				
	購入		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(新規)		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(継続)		0台	0台			0台				
自動車等(6)	燃料電池自動車		0台	0台			0台				
	購入		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(新規)		0台	0台			0台				
	リース-レンタル(継続)		0台	0台			0台				

表2-5 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2017年度)(9/13)

分野	品目	①目標値		②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満たさない物品等を調達した場合			⑫備考			
		①目標値	②総調達量					⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容		⑪主な理由		
															③の内数	③の内容
自動車等(5)	一般 公用 車 以外	水素自動車	購入	0台	0台	%										
			リース-レンタカー(新規)	0台	0台											
			リース-レンタカー(継続)	0台	0台											
		クリーン自動車(乗用車)	購入	0台	0台	100%										
			リース-レンタカー(新規)	1台	1台											
			リース-レンタカー(継続)	0台	0台											
		乗用車(乗用車を除く) ガソリン自動車	購入	3台	3台	100%										
			リース-レンタカー(新規)	9台	9台											
			リース-レンタカー(継続)	33台	33台											
		一般公用車以外	水素自動車	購入	1台	1台	100%									
				リース-レンタカー(新規)	2台	2台										
				リース-レンタカー(継続)	19台	19台										
		電気自動車	購入	0台	0台	%										
			リース-レンタカー(新規)	0台	0台											
			リース-レンタカー(継続)	1台	1台											
天然ガス自動車	購入	0台	0台													
	リース-レンタカー(新規)	0台	0台	%												
	リース-レンタカー(継続)	0台	0台													
ハイブリッド自動車	購入	1台	1台	100%												
	リース-レンタカー(新規)	0台	0台													
	リース-レンタカー(継続)	1台	1台													
プラグインハイブリッド自動車	購入	0台	0台	%												
	リース-レンタカー(新規)	0台	0台													
	リース-レンタカー(継続)	0台	0台													
燃料電池自動車	購入	0台	0台													
	リース-レンタカー(新規)	0台	0台	%												
	リース-レンタカー(継続)	0台	0台													

表2-5 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2017年度)(10/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部③①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満たさない物品等を調達した場合		⑫備考
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例 ⑩環境への配慮の内容	
自動車等(6)	水素自動車		0台	0台	%						
	リース-レンタカー(新規)		0台	0台							
	リース-レンタカー(継続)		0台	0台							
	タクシー		0台	0台							
	タクシー(乗車定員10人以下の乗用車)		0台	0台							
	乗用車(中古を除くガソリン自動車)	0%	0台	0台	%				0台		調達予定はありません
	リース-レンタカー(新規)		0台	0台					0台		
	リース-レンタカー(継続)		9台	9台					0台		
	購入		0台	0台					0台		
	リース-レンタカー(新規)	0%	2台	2台	100%				0台		調達予定はありません
自動車以外	リース-レンタカー(継続)		0台	0台					0台		
	購入		0台	0台	%				0台		調達予定はありません
	リース-レンタカー(新規)		0台	0台					0台		
	リース-レンタカー(継続)		6台	6台					0台		
	購入		0台	0台					0台		
	リース-レンタカー(新規)		0台	0台	%				0台		調達予定はありません
	リース-レンタカー(継続)		1台	1台					0台		
	購入		0台	0台					0台		
	リース-レンタカー(新規)		0台	0台					0台		
	リース-レンタカー(継続)		1台	1台					0台		
ETC対応車載器	購入	0個	3個	3個	100%						
	リース-レンタカー(新規)	0個	3個	3個	100%						
カーナビゲーションシステム	購入	100%	24本	24本	100%			0本			
	リース-レンタカー(継続)	100%	271 ^{1/2}	265 ^{1/2}	98%			2 ^{1/2}	基準の高い物品を優先的に選択した	6 ^{1/2}	クルマTGI 仕様基準に近いものを選択 仕様を満たす製品が調達品ではなかったため
消火器	購入	100%	126本	126本	100%			2本	基準の高い物品を優先的に選択した	0本	
	リース-レンタカー(継続)	100%	182着	182着	100%			6着	基準の高い物品を優先的に選択した	0着	
制服・作業服等(4)	購入	100%	1185着	1185着	100%			0着			
	リース-レンタカー(継続)										

表2-5 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2017年度)(11/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満たさない物品等を調達した場合		⑫備考	
							⑥調達量	⑦具体的仕様	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例		
制服・作業服等 (4)	帽子	100%	3点	3点	100%	100%	0点		0点			
	靴	100%	241足	241足	100%	100%	0足		0足			
	カーテン	100%	1枚	1枚	100%	100%	0枚		0枚			
	布製フライド	100%	2枚	2枚	100%	100%	0枚		0枚			
インテリア・環境 装置(11)	金庫扉フライド	100%	5点	5点	100%	100%	0点		0点			
	タフテッドカーペット	100%	0㎡	0㎡	%	%	0㎡		0㎡			
	タイルカーペット	100%	2822㎡	2822㎡	100%	100%	0㎡		0㎡			
	織じゆうたん	100%	0㎡	0㎡	%	%	0㎡		0㎡			
	ニードルパンチカーペット	100%	0㎡	0㎡	%	%	0㎡		0㎡			
	毛布 (災害備用品を含む)	購入	100%	4枚	4枚	100%	100%	0枚		0枚		
		リースレンタル(新規)		0枚	0枚			0枚		0枚		
		リースレンタル(継続)		0枚	0枚							
	ふとん	購入	100%	8枚	8枚	100%	100%	0枚		0枚		
		リースレンタル(新規)		0枚	0枚			0枚		0枚		
リースレンタル(継続)			0枚	0枚								
ベッドフレーム	購入	100%	0台	0台	%	%	0台		0台			
	リースレンタル(新規)		0台	0台			0台		0台			
	リースレンタル(継続)		0台	0台								
マットレス	購入	100%	0個	0個	%	%	0個		0個			
	リースレンタル(新規)		0個	0個			0個		0個			
	リースレンタル(継続)		3個	3個								
作業手袋(1)	作業手袋(災害備用品を含む)		100%	5344組	5314組	99%	0組		30組	TGL-29231002995	機能・性能上の必要性	
	購入		4台	4台	100%	100%	0台		0台			
その他繊維製品 (7)	兼金用シート(災害備用品を含む)		100%	0台	0台		0台		0台			
	リースレンタル(新規)		0台	0台								
	リースレンタル(継続)		0台	0台								
ブルーシート (災害備用品を含む)	購入	100%	32枚	32枚	100%	100%	0枚		0枚			
	リースレンタル(新規)		0枚	0枚			0枚		0枚			
	リースレンタル(継続)		0枚	0枚								

表2-5 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2017年度)(12/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部③①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合			判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑫備考		
							⑥調達量	⑦具体的仕様	⑧の内数	⑨具体的仕様の内容	⑩調達量	⑪具体的な理由		⑩環境への配慮の内容	
														環境への配慮の内容	環境への配慮の内容
その他機械品 (7)	防球ネット	100%	0枚	0枚	%	%	0枚		0枚						
	旗	100%	10枚	10枚	100%	100%	0枚		0枚						
	のぼり	100%	0枚	0枚	%	%	0枚		0枚						
	幕	100%	1枚	1枚	100%	100%	0枚		0枚						
	モップ	購入	100%	0点	0点	%	%	0点		0点					
		リース-レンタル(新規)		0点	0点	%	%	0点		0点					
		リース-レンタル(継続)		0点	0点			0点		0点					
	太陽光発電システム	0kw	0kw	0kw	%	%	0kw		0kw						
	太陽熱利用システム	0m ²	0m ²	0m ²	%	%	0m ²		0m ²						
	燃料電池	0kw	0kw	0kw	%	%	0kw		0kw						
エネルギー管理システム	0件	0件	0件	%	%	0件		0件							
設備(7)	食堂事業者が設置		0台	0台	%	%	0台		0台						
	生ゴミ処理機	購入	0台	0台	%	%	0台		0台						
		自ら設置		0台	0台	%	%	0台		0台					
		リース-レンタル(新規)		0台	0台	%	%	0台		0台					
リース-レンタル(継続)		0台	0台			0台		0台							
排水機器	0%	1個	0個	0%	0%	0個		0個		1個	PP4-1S-15	機能・性能上の必要性	調達予定はありません		
日新調剤フィルム	0%	0m	0m	%	%	0m		0m		0m			調達予定はありません		
災害備蓄用品 (既存品目以外の11品目)	ペットボトル飲料水	100%	1368本	1368本	100%	100%	528本	基準の高い物品を優先的に選択した	0本						
	アルファ化米	100%	700個	700個	100%	100%	0個		0個						
	保存パン	100%	336個	336個	100%	100%	0個		0個						
	乾パン	100%	241個	241個	100%	100%	0個		0個						
	缶詰	100%	0個	0個	%	%	0個		0個						
	レトルト食品等	100%	20個	20個	100%	100%	0個		0個						
	栄養調整食品	100%	0個	0個	%	%	0個		0個						
	フリーズドライ食品	100%	300個	300個	100%	100%	0個		0個						
	非常用携帯燃料	100%	0個	0個	%	%	0個		0個						
	携帯発電機	100%	1個	1個	100%	100%	0個		0個						
非常用携帯電源	100%	6個	6個	100%	100%	0個		0個							

表2-5 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2017年度)(13/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満たさない物品等を調達した場合		⑩備考	
							⑥調達量	⑦具体的仕様	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例		
公共工事(69)	別途	0件	0件	0件	%	%						
	省エネルギー診断	100%	74件	74件	100%	100%	55件	基準の高い物品を優先的に選択した	0件			
	印刷	生ゴミ処理機設置	3件	0件	0件	100%	33%					
		処理委託		1件	1件							
	食堂	更生タイヤ(トレット)	0件	0件	0件	%	%					
		リググループ	0件	0件	0件							
	自動車整備	自動車整備	100%	7件	7件	100%	100%	0件		0件		
		部品交換に伴う整備(リユース・リビルド部品)		1件	1件							
	清掃	判断基準を案件として求めて発注したもの	100%	7件	0件							
		エンジン洗浄		0件	0件							
	役務(18)	庁舎管理	100%	31件	31件	100%	100%	0件		0件		
		機材管理	100%	20件	20件	100%	100%	1件	基準の高い物品を優先的に選択した	0件		
		清掃	100%	15件	15件	100%	100%	1件	基準の高い物品を優先的に選択した	0件		
		機密文書処理	100%	1件	1件	100%	100%	0件		0件		
		害虫防除	100%	3件	3件	100%	100%	0件		0件		
		輸配送	100%	19件	19件	100%	100%	6件	基準の高い物品を優先的に選択した	0件		
		旅客輸送	100%	0件	0件	%	%	0件		0件		
		蛍光灯機能提供業務	0件	0件	0件	%	%	0件		0件		
		庁舎等において営業を行う小売業務	0件	0件	0件	%	%	0件		0件		
		クリーニング	クリーニング	100%	361件	15件	4%	4%	0件	カセットクリーニング	346件	トレンの回収
飲料自動販売機設置	缶・ボトル飲料自動販売機		0台	0台			0台		0台			
	紙容器飲料自動販売機		100%	0台	0台	%	%	0台		0台		
	カップ式飲料自動販売機			0台	0台			0台		0台		
引越輸送	100%		8件	8件	100%	100%	0件		0件			
会議運営	100%	0件	0件	%	%	0件		0件				

表2-6 特定調達品目(公共工事)調達実績集計表(2017年度)

品目分類	品目名	単位	数量			数量割合(%)	備考
			特定調達物品等	類似品等	合計		
1	建設汚泥から再生した処理土	m ³	191				
2	土工用水砕スラグ	m ³	0				
3	盛土材等	m ³	0	0	191	100	
4	鋼スラグを用いたケーソン中詰め材	m ³	0				
	フェロニッケルスラグを用いたケーソン中詰め材	m ³	0				
5	地盤改良材	m ³	0	0	0	—	
6	再生加熱アスファルト混合物	t	509				
7	アスファルト混合物	t	0	0	509	100	
8	中温化アスファルト混合物	t	0				
9	高炉スラグ骨材	m ³	0				
10	コンクリート用スラグ骨材	m ³	0				
11	鉄鋼スラグ骨材	m ³	0	0	0	—	
12	電気炉酸化スラグ骨材	m ³	0				
13	路盤材	m ³	0	2,100	2,632	20	
14	再生骨材等	m ³	532				
15	小径丸太	m ³	0				
16	混合セメント	t	24				
17	フライアッシュセメント	t	0	0	24	100	
16-1	生コンクリート(高炉)	m ³	58				
17-1	生コンクリート(フライアッシュ)	m ³	0	0	58	100	
18	セメント	個	161				集計対象は、コンクリート2次製品
19	コンクリート及びコンクリート製品	m ³	0				
19-1	透水性コンクリート2次製品	個	0				
20	鉄鋼スラグ水和固化体	kg	0	0	0	—	
21	吹付けコンクリート	m ³	0	0	0	—	
22	下塗用塗料(重防食)	kg	0	0	0	—	
23	塗料	m ²	0	0	0	—	
24	高日射反射率塗料	m ²	270		270	100	
25	防水	m ²	0	0	0	—	
26	舗装材	m ²	0				
27	再生材料を用いた舗装用ブロック(焼成)	m ²	0				
27	再生材料を用いた舗装用ブロック類(プレキャスト無筋コンクリート製品)	m ²	6	0	6	100	
28	園芸資材	kg	0				
29	下水汚泥を用いた汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト)	kg	0	0	0	—	
30	道路照明	台	50	0	50	100	
31	中央分離帯ブロック	個	0	0	0	—	
32	タイル	m ²	28	0	28	100	
33	建具	工事数	0				
34	製材	m ³	1				
35	集成材	m ³	0				
36	製材等	m ²	7				
37	合板	m ³	0				
38	単板積層材	m ³	0				
38	直交集成板	m ³	0				
39	フローリング	m ²	33	0	33	100	
40	再生木質ボード	m ²	0	0	0	—	
41	繊維板	m ²	0	0	0	—	
42	木質系セメント板	m ²	132	0	132	100	
43	ビニル系床材	m ²	705	0	705	100	
44	断熱材	工事数	148				
45	照明制御システム	工事数	18	0	18	100	
46	変圧器	台	7	0	7	100	
47	吸収冷温水機	台	0	0	0	—	
48	永蓄熱式空調機器	台	1	0	1	100	
49	空調用機器	台	0	0	0	—	
50	送風機	台	5	0	5	100	
51	ポンプ	台	16	0	16	100	
52	配管材	m	44	5	49	90	
53	自動水栓	工事数	1	0	1	100	
54	衛生器具	工事数	1	0	1	100	
55	洋風便器	工事数	2	0	2	100	
56	コンクリート用型枠	工事数	2				
57	合板型枠	工事数	62				
58	建設機械	工事数	49	0	49	100	
59	低騒音型建設機械	工事数	42	0	42	100	
60	建設発生土有効利用工法	工事数	0	0	0	—	
61	建設汚泥再生処理工法	工事数	1	0	1	100	
62	コンクリート塊再生処理工法	工事数	0	0	0	—	
63	舗装(表層)	工事数	2				
63	路上表層再生工法	m ²	11				
64	舗装(路盤)	工事数	2				
64	路上再生路盤工法	m ²	11				
65	法面緑化工法	工事数	0	0	0	—	
65	伐採材又は建設発生土を活用した法面緑化工法	m ²	0	0	0	—	
66	山留め工法	工事数	0	0	0	—	
66	泥土低減型ソイルセメント柱列壁工法	工事数	0	0	0	—	
67	高機能舗装	m ²	11				
68	排水性舗装	m ²	0				
69	透水性舗装	m ²	0				
69	屋上緑化	m ²	0				

表2-7 大気汚染物質の測定結果(2017年度)(1/2)

拠点名 (台数)	設備名	NOx濃度(ppm)		SOx濃度(Nm ³ /h)		ばいじん濃度(g/Nm ³)		測定日その他	規制値の根拠		
		規制値	実測値	実測比率(%)	規制値	実測値	実測比率(%)			規制値	実測値
幌延 (1台)	ゆめ地創館ボイラ	180	60	33.33	2.4	<0.01	0.3	<0.01	—	2017/12/11	
		180	69		2.4	<0.01	0.3	<0.01		2018/2/20	
むつ (2台)	真空ボイラ (むつ・動力棟) 真空ボイラ2 (むつ・保管建屋)	180	74	41.11	6.48	0.02	0.3	0.0047	1.57	2018/2/7	
		180	93	51.67	1.82	0.01	0.3	0.0079	2.63	2018/2/7	
富岡 (1台)	ばい煙発生装置	180	0	0.0	0.15	0	0.2	0	0.0	2018/3/22	大防法にかかると自治体 (富岡町)の規制値 K =17.5 (いずれの実測 値も定置下限値未満)
	熱媒ボイラ	150	28	24.67	5.14	<0.01	0.05	<0.005	—	2017/7/10	
原科研(J- PARCを含む) (6台)	構内第2ボイラ1	150	51	47.33	5.4	<0.01	1	<0.005	—	2017/8/31	
		150	71		5.4	<0.01	1	<0.005	—	2018/2/7	
	構内第2ボイラ2	150	51	51.33	5.4	<0.01	1	<0.005	—	2017/8/31	
		150	77		5.4	<0.01	1	<0.005	—	2018/2/7	
	構内第2ボイラ3	150	49	46.67	5.4	<0.01	1	<0.005	—	2017/8/31	
		150	70		5.4	<0.01	1	<0.005	—	2018/2/7	
	構内第2ボイラ4	150	47	45.33	5.4	<0.01	1	<0.005	—	2017/8/31	
		150	68		5.4	<0.01	1	<0.005	—	2018/2/7	
	構内第2ボイラ5	150	38	43.33	5.4	<0.01	1	<0.005	—	2017/8/31	
		150	65		5.4	<0.01	1	<0.005	—	2018/2/7	
サイクル研 (3台)	ボイラ(B-1)	150	43~62	41.33	56.99 *1	0.11~0.29	0.25	<0.004~0.007	2.8	—	大気汚染防止法 *1:茨城県指導値
	ボイラ(B-2)	150	50~63	42.0	56.99 *1	0.12~0.26	0.25	<0.005	—	—	
	ボイラ(B-3)	150	54~68	45.33	56.99 *1	0.1~0.25	0.25	<0.004~0.006	2.4	—	
大洗 (11台)	JMTR No.1ボイラ	180	85	47.22	5.1	0.12	0.3	0.01	3.33	2017/12/18	大気汚染防止法
		180	57		5.1	0.1	0.3	0.01		2018/2/27	
	JMTR No.2ボイラ	180	82	45.56	5.3	0.12	0.3	0.01	3.33	2017/12/18	
		180	33		5.2	0.07	0.3	0.01		2018/2/27	
	「常陽」 No.1ボイラ	250	37	22.0	7.513	0.025	0.3	0.005	1.67	2017/6/26	
		250	55		7.88	0.048	0.3	0.002		2017/12/25	
「常陽」 No.2ボイラ	250	52	22.8	7.506	0.026	0.3	0.004	1.33	2017/6/26		
	250	57		7.513	0.04	0.3	0.002		2017/12/25		

表2-7 大気汚染物質の測定結果(2017年度)(2/2)

拠点名 (台数)	設備名	NOx濃度(ppm)		SOx濃度(Nm ³ /h)		ばいじん濃度(g/Nm ³)		測定日その他	規制値の根拠			
		規制値	実測値	実測比率(%)	規制値	実測値	実測比率(%)			規制値	実測値	実測比率(%)
大洗 (11台)	「常陽」No.3ボイラ	250	36	21.6	7.549	0.02	0.62	0.3	0.005	1.67	2017/6/26	大気汚染防止法
		250	54		7.557	0.047		0.3	0.003		2017/12/25	
	構内 No.1ボイラ	180	88	48.89	6.126	0.073	1.19	0.3	0.006	2.0	2018/2/5	
		180	82	45.56	5.996	0.037	0.62	0.3	0.007	2.33	2018/2/5	
		180	77	42.78	6.152	0.046	0.75	0.3	0.01	3.33	2018/2/5	
	処理棟 No.1ボイラ	180	62	34.44	4.48	0.048	1.07	0.3	0.004	1.33	2017/5/22	
		180	49		4.48	0.017		0.3	0.001		2018/2/13	
	処理棟 No.2ボイラ	180	62	34.44	4.54	0.055	1.21	0.3	0.002	0.67	2017/5/22	
		180	61		4.48	0.012		0.3	0.001		2018/2/13	
	燃研棟 ボイラ	180	65	36.11	0.544	0.014	2.57	0.3	0.015	5.0	2018/1/16	
	もんじゅ (2台)	補助ボイラA号機	150	74~77	51.33	18.5~18.9	<0.049~ <0.053	—	0.25	0.0010~ 0.0013	0.52	
150			71~88	58.67	18.1~18.3	<0.045~ <0.047	—	0.25	0.0012~ 0.0013	0.52	2017/7/12 2017/12/22	
人形 (3台)	2号ボイラ	180	120	72.22	4.2	0.36	8.57	0.3	0.02	6.67	2017/5/15	
		180	130		4.3	0.35		0.3	0.02		2017/11/15	
	3号ボイラ	180	83	61.11	4.2	0.37	9.3	0.3	0.02	6.67	2017/5/15	
		180	110		4.3	0.4		0.3	0.02		2017/11/15	
	4号ボイラ	180	110	61.11	4.2	0.25	5.95	0.3	0.02	10.0	2017/5/15	
		180	110		4.2	0.2		0.3	0.03		2017/11/15	

表2-8 ダイオキシン類の測定結果(2017年度)

拠点名	設備名等	主な焼却物	焼却量等 (t)	大気(ng-TEQ/Nm ³)		水域(pg-TEQ/l)		焼却能力	測定頻度
				規制値	実測値	規制値	実測値		
サイクル研	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	紙くず、雑芥	0	5	-	-	-	焼却能力:500kg/h 火床面積:21m ² 火格子:なし	測定(1回/年)
	一般廃棄物処理施設(熔融炉)	焼却灰	0	5	-	-	-	焼却能力:500kg/h 火床面積:15m ² 火格子:なし	測定(1回/年)
	産業廃棄物処理施設(焼却炉)	紙・布・木材・ゴム・廃プラ等	2.318	10	0.11	10	0.66	焼却能力:62.5kg/h 火床面積:3.3m ² 火格子:なし	測定(1回/年)
大洗	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	紙・布・木材・プラスチック等	0.216	10	0.38	-	-	焼却能力:30kg/h 火床面積:1.68m ² 火格子:なし	測定(1回/年)
もんじゅ	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	紙くず、雑芥	42.25	10	0.02	-	-	焼却能力:70kg/h 火床面積:4.7m ² 火格子:なし	測定(1回/年)
合計			44.784						

表2-9 水資源投入量及び排水量(2017年度)

拠点名/項目	2017年度 投入量							2017年度 排水量						
	上水道(m³)	工業用水(m³)	地下水・井戸水(m³)	河川水・湖沼(m³)	投入量(m³)	各拠点の割合(%)	下水道(m³)	公共用水域			排水量(m³)	各拠点の割合(%)		
								非管理区域排水(m³)	管理区域排水(m³)	管理区域排水(m³)				
喫煙	2,137.0	0.0	0.0	0.0	2,137.0	0.10	0.0	57,857.0	0.0	0.0	57,857.0	1.41		
むつ	1,275.0	0.0	11,954.0	0.0	13,229.0	0.61	0.0	13,229.0	0.0	0.0	13,229.0	0.32		
福島拠点	2,676.2	1,796.6	0.0	0.0	4,472.8	0.21	4,472.8	0.0	0.0	0.0	4,472.8	0.11		
総量	1,137.8	1,796.6	0.0	0.0	2,934.4	0.14	2,934.4	0.0	0.0	0.0	2,934.4	0.07		
三善	1,131.0	0.0	0.0	0.0	1,131.0	0.05	1,131.0	0.0	0.0	0.0	1,131.0	0.03		
富岡	287.0	0.0	0.0	0.0	287.0	0.01	287.0	0.0	0.0	0.0	287.0	0.01		
大熊	140.4	0.0	0.0	0.0	140.4	0.01	140.4	0.0	0.0	0.0	140.4	0.00		
本部	3,493.0	0.0	0.0	0.0	3,493.0	0.16	3,493.0	0.0	0.0	0.0	3,493.0	0.09		
原料研(ジョパFCを含む)	58,780.0	1,316,446.0	0.0	0.0	1,375,226.0	63.36	66,031.7	2,655,928.9	6,246.0	2,728,206.5	66.50			
サイクル研	40,807.0	257,396.0	0.0	0.0	298,203.0	13.74	0.0	190,795.0	893.0	191,688.0	4.67			
大洗	0.0	0.0	261,457.0	19,440.0	280,897.0	12.94	0.0	374,787.2	4,448.0	375,232.0	9.15			
NEAT	1,285.0	0.0	4,849.8	0.0	6,134.8	0.28	6,134.8	0.0	0.0	6,134.8	0.15			
NEAT茨城	1,285.0	0.0	0.0	0.0	1,285.0	0.06	1,285.0	0.0	0.0	1,285.0	0.03			
NEAT福井	0.0	0.0	4,849.8	0.0	4,849.8	0.22	4,849.8	0.0	0.0	4,849.8	0.12			
東濃	3,327.0	0.0	0.0	0.0	3,327.0	0.15	2,741.0	287,144.0	0.0	289,885.0	7.07			
敦賀	1,797.0	0.0	0.0	0.0	1,797.0	0.08	1,797.0	0.0	0.0	1,797.0	0.04			
もんじゅ	0.0	0.0	0.0	53,036.0	53,036.0	2.44	0.0	46,997.6	1,256.3	48,244.0	1.18			
ふげん	0.0	0.0	0.0	96,923.0	96,923.0	4.47	0.0	94,676.8	2,044.2	96,923.0	2.36			
も連研	346.0	0.0	0.0	2,557.0	2,903.0	0.13	2,903.0	0.0	0.0	2,903.0	0.07			
人形	0.0	0.0	28,558.3	0.0	28,558.3	1.32	8,585.4	273,988.1	161.8	282,735.3	6.89			
合計(m³)	115,923.2	1,575,638.6	306,819.1	171,956.0	2,170,336.9	100.00	96,158.8	3,995,595.6	11,046.1	4,102,800.4	100.00			
総量に対する種別の割合(%)	5.34	72.60	14.14	7.92			2.34	97.93	0.27					
個々の種別の合計(m³)		1,691,561.9		478,775.1			96,158.8		4,006,641.7					
個々の種別の割合(%)		77.94		22.06			2.34		97.66					

表2-10-1 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2017年度)(1/6)

拠点名	採取箇所	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)		化学的酸素要求量 (COD)				浮遊物質 (SS)				窒素						
		規制値	実測値	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 (kg/日)	規制値 (kg/日)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	総量 (kg/日)	規制対象外水域	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	総量 (kg/日)	規制対象外水域	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	総量 (kg/日)
岐阜	排水処理施設の排出管	5.8~8.6	7.3~8.4	160(120)	0.8~3.5	規制対象外水域	3.5~7.0	-	200(180)	<1~2	-	-	規制対象外水域	13~28	-	-	-	-	-	-
	管理棟浄化槽排水	5.8~8.6	6.1~7.5	20	1.8~7.5	規制対象外水域	26~31	-	20	1~5	-	-	規制対象外水域	12~29	-	-	-	-	-	-
むつ	研究棟管理区域排水(大濠)	5.8~8.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	研究棟非管理区域排水(大濠)	5.8~8.6	7.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	管理区域排水(副棟)	5.8~8.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	非管理区域排水(副棟)	5.8~8.6	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
原料研(μ-PARCを含む)	第1排水溝	5.0~9.0(海域)	7.2~7.9	10(15)*1	<0.5~2	10(15)*1	1.6~10	-	20(25)*1	1.4~5.5	-	-	120(日間平均60)	-	-	-	-	-	-	-
	第2排水溝	5.0~9.0(海域)	7.5~8.2	10(15)*1	<0.5~8.1	10(15)*1	0.6~6.4	-	20(25)*1	1.0~9.8	-	-	120(日間平均60)	-	-	-	-	-	-	-
	第3排水溝	5.0~9.0(海域)	7.2~7.7	10(15)*1	<0.5~1.4	10(15)*1	2.4~6.0	-	20(25)*1	<0.5~2.2	-	-	120(日間平均60)	-	-	-	-	-	-	-
サイクル研	第1排水溝	5.8~8.6 *1	7.2~7.8	25(20)*2	<0.5~0.8	20	-	-	40(30)*2	0.6~6.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第2排水溝	海域5.0~9.0 *1	7.0~7.9	20	<1.0	20 *2	<0.2~4.9	-	30 *2	<10~100	-	-	100 *1	1.2~6.8	-	-	-	-	-	-
大洗	再処理施設海中放出管	海域5.0~9.0 *1	6.6~7.9	20	<1.0~1.0	20 *2	<2.0~0.78	-	30 *2	<10~5.9	-	-	-	<0.5~1.6	-	-	-	-	-	-
	一般排水溝	5.0~9.0(海域)	7.6~8.0	25(20)*1	<0.5~5.8	25(20)*1	3.0~8.0	-	40(30)*1	<1~7	-	-	規制対象外水域	0.8~1.5	-	-	-	-	-	-

表2-10-1 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2017年度)(2/6)

拠点名	採取箇所	リン				大腸菌群数		ノルマルヘキササン抽出物質含有量(鉱油類)		ノルマルヘキササン抽出物質含有量(動植物油脂類)		フェノール類含有量		銅含有量		亜鉛含有量	
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 規制値 (kg/日)	総量 (kg/日)	規制値 (個)	実測値 (個)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)
岐阜	排水処理施設の排出管	規制対象外 水域	0.11~0.26	-	-	3000	0	-	<0.5	-	<0.5	-	0.01	-	-	<0.03~0.06	-
	管理棟浄化槽排水	規制対象外 水域	1.5~3.1	-	-	3000	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
むつ	研究棟管理区域排水(大溝)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	研究棟非管理区域排水(大溝)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	管理区排水(副槽)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	非管理区域排水(副槽)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
原料研(J-PAFCを含む)	第1排水溝	-	<0.1	-	-	3000	0	3(鉱油類)*2	<1	-	-	0.5	<0.005	3	<0.005	5	<0.05~0.14
	第2排水溝	-	<0.1	-	-	3000	0	3(鉱油類)*2	<1	-	-	0.5	<0.005	3	<0.005	5	<0.05~0.15
	第3排水溝	-	<0.1	-	-	3000	0	3(鉱油類)*2	<1	-	-	0.5	<0.005	3	<0.005	5	<0.05~0.16
サイクル研	第1排水溝	-	-	-	-	3000*1	0	5*2	<1.0	10*2	<1.0	-	<0.005	3	<0.005	2	0.15~0.66
	第2排水溝	-	-	-	-	-	-	5	<0.5	-	-	-	<0.007~0.0085	3	<0.007	2	<0.04~0.16
大洗	再処理施設海中放出管	-	-	-	-	-	-	5	<0.5	-	-	-	<0.007	3	<0.007	2	<0.04~0.062
	一般排水溝	規制対象外 水域	0.2~2.4	-	-	3000	<30~300	5	<1	10*1	<1	-	<0.01~0.36	-	-	-	0.12~1.3

表2-10-1 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2017年度)(3/6)

拠点名	採取箇所	溶解性鉄含有量		溶解性マンガン含有量		クロム含有量		規制値の根拠等
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	
岐阜	排水処理施設の排水管	-	<0.2	-	<0.1	-	<0.02	*水質汚濁防止法・BOD及びSSの規制値の記述法・最大(日間平均)
	管理棟浄化槽排水	-	-	-	-	-	-	-北のまい、漁業協同組合との確認書に記載の基準値
むつ	研究棟管理区域排水(大洗)	-	-	-	-	-	-	*自主測定
	研究棟非管理区域排水(大洗)	-	-	-	-	-	-	*自主測定
	管理区域排水(関根)	-	-	-	-	-	-	*自主測定
	非管理区域排水(関根)	-	-	-	-	-	-	*自主測定
原科研(J-PARCを含む)	第1排水溝	10	<0.05~0.08	1	<0.05	1	<0.05	*水質汚濁防止法・1水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県条例第11号)・BOD、COD及びSSの規制値の記述法・最大(日間平均) * 2県条例の規制値には、鉱油類(5)、動植物油脂類(3)があり、規制値のきびしい、鉱油類で管理している。
	第2排水溝	10	<0.05~0.08	1	<0.05	1	<0.05	注1) (1)海洋への排水の場合はCODのみ適用。県条例第3条(3)に定められています。(2)県央地先水場への排水の場合、窒素、磷は除くとなります。特別の排水基準茨城県公害防止条例において、水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づき適用される排水基準(上乗せ基準)が定められています。
	第3排水溝	10	<0.05~0.05	1	<0.05	1	<0.05	注1) (1)海洋への排水の場合はCODのみ適用。県条例第3条(3)に定められています。(2)県央地先水場への排水の場合、窒素、磷は除くとなります。特別の排水基準茨城県公害防止条例において、水質汚濁防止法第3条第3項の規定に基づき適用される排水基準(上乗せ基準)が定められています。
	第1排水溝	10	0.05~0.15	1	<0.005	1	<0.005	*1水質汚濁防止法 * 2水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県条例第11号)・BOD、COD及びSSの規制値の記述法・最大(日間平均)
サイクル研	第2排水溝	10	0.012~0.047	1	0.0032~0.16	1	<0.007~0.044	*1水質汚濁防止法 * 2水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県条例第11号)・BOD、COD及びSSの規制値の記述法・最大(日間平均)
	再処理施設海中排水管	10	<0.01~0.018	1	<0.001	1	<0.007	*1水質汚濁防止法 * 2水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県条例第11号)・BOD、COD及びSSの規制値の記述法・最大(日間平均)
大洗	一発排水溝	-	0.07~0.21	-	<0.01~0.02	-	<0.01	*水質汚濁防止法(排水基準を定める省令) * 1水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県条例第11号)・BOD、COD及びSSの規制値の記述法・最大(日間平均)

表2-10-1 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2017年度)(4/6)

拠点名	採取箇所	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)		化学的酸素要求量 (COD)				浮遊物質 (SS)				窒素			
		規制値	実測値	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 (kg/日)	総量規制値 (kg/日)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 (kg/日)	総量規制値 (kg/日)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 (kg/日)	総量規制値 (kg/日)
東濃	瑞浪超濃地質研究所の排水口	6.5~8.5	7.0~7.2	-	-	-	-	-	-	25以下	2	-	-	-	-	-	-
		5.8~8.6	6.7~7.8	-	-	20	1.7~3.0	-	-	80 (日間平均70)	0.8~1.2	-	-	-	-	-	-
		5.8~8.6	-	-	-	20	-	-	-	200 (日間平均150)	-	-	-	-	-	-	-
		5.0~9.0(海城)	7.1~7.6	-	-	≤50	4.4~4.5	2587	0.19~0.32 *1	≤70	<1	3621	<0.10 *1	-	-	-	-
もろじゅ	排水処理設備出口	5.0~9.0(海城)	6.5~7.2	-	-	≤50	1.7~5.4	160	0.19~0.24 *1 *2	<1	224	<0.10~0.14 *1 *2	-	-	-	-	
		-	-	-	-	≤50	<0.5	160	-	<0.1~0.2	224	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	≤50	46.3~48.1	160	-	≤70	28.0~57.2	224	-	-	-	-	-
		5.0~9.0(海城)	-	-	-	≤160	-	-	-	≤200	-	-	-	-	-	-	-
ふけん	浦底浄水(取水口側)	5.0~9.0	8.2	-	-	40	3.2	13.7	0.11	<1	15.3	0.08	120	2.1	-	-	
		5.0~9.0	8.3	-	-	40	1	13.7	2.55	80	2	15.3	3.16	0.1	-	-	
人形	放流水槽	5.8~8.6	6.9~7.8	10 *1	0.09~1.1	15 *1	0.6~5.3	8198	<0.66~6.62	10 *1	<0.1~0.7	-	0.11~1.09	20 *1	<0.5~2.2	48.96	<0.4 ~
		5.8~8.6	6.9~7.6	3.0 *1	0.25~1.1	4.6 *1	1.3~3.1	0.12	0.0003~0.0032	15 *1	0.5~3.1	-	0.0002~0.0026	1.0 *1	<0.5	0.24	0.0001~0.0011
		5.8~8.6	6.6~7.6	15 *1	0.13~7.1	20 *1	0.82~14.0	4.5	0.03~0.52	15 *1	1.8~9.2	-	0.02~0.25	60 *1	0.9~2.2	4.5	0.01~0.61

表2-10-1 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2017年度)(5/6)

拠点名	採取箇所	リン				大腸菌群数		ノルマルヘキサゴン抽出物質含有量(鉱油類)		ノルマルヘキサゴン抽出物質含有量(動物油脂類)		フェノール類含有量		銅含有量		亜鉛含有量	
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 規制値 (kg/日)	総量 (kg/日)	規制値 (個)	実測値 (個)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)
東濃	神浪超濃地質研究所の排水口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	センター総合排水のマンホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東濃鉱山沈殿池の排水口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
もろじゅ	排水口	-	-	-	-	-	-	5	<0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	排水処理設備出口	-	-	-	-	-	-	5	<0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	廃液モニタタンク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	洗濯廃液モニタタンク	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	白木仮設用浄化槽	-	-	-	-	3000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ふげん	浦底浄池(取水口側)	16	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	若狭浄池(排水口側)	-	<0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人形	放流水槽	3 * 1	<0.10~0.15	4.89	<0.07~0.43	3000	<300	1.0 * 1	<1.0	-	-	<0.025	-	<0.05	-	<0.05	<0.05
	車庫排水	1.0 * 1	<0.10	0.012	<0.0003	3000	<300	1.0 * 1	<1.0	-	-	<0.025	-	<0.05	-	<0.05	<0.05
	生活排水	6 * 1	0.15~2.15	0.45	0.002~0.05	3000	<300	1.0 * 1	<1.0	-	-	<0.025	-	<0.05	-	<0.05~0.09	<0.05~0.09

表2-10-1 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2017年度)(6/6)

地点名	採取箇所	溶解性鉄含有量		溶解性マンガン含有量		クロム含有量		規制値の根拠等
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	-	-	-	-	-	-	*瑞浪超深地層研究所に関する環境保全協定・水質汚濁防止法に基づく排水基準を定める単車条例(SS)・SSの規制値の記述法・最大(日間平均)
	センター総合排水のマンホール	-	-	-	-	-	-	*水質汚濁防止法・化学的酸素消費量に係る総量規制基準(岐阜県告示)(COD)・水質汚濁防止法に基づく排水基準を定める岐阜県条例(SS)・SSの規制値の記述法・最大(日間平均)・センター総合排水マンホールは排水水量が50立方メートル/日以下のため排水基準が適用されず、同基準を自主に自主的に管理している。
	東濃 狐山洗酸池の排水口	-	-	-	-	-	-	*狐山保安法・化学的酸素消費量に係る総量規制基準(岐阜県告示)(COD)・SSの規制値の記述法・最大(日間平均)
	排水口	-	-	-	-	-	-	*中及びノリルマヘキサン抽出物含有量・水質汚濁防止法・上記以外の項目：福井県公害防止条例(排水基準) *1: 月間平均値
もんじゅ	排水処理設備出口	-	-	-	-	-	-	*中及びノリルマヘキサン抽出物含有量・水質汚濁防止法・上記以外の項目：福井県公害防止条例(排水基準) *1: 月間平均値 *2: 排水処理設備排水、廃液モニタタンク、洗濯酸液モニタタンク3つの合計値
	廃液モニタタンク	-	-	-	-	-	-	*福井県公害防止条例(排水基準)
	洗濯酸液モニタタンク	-	-	-	-	-	-	*福井県公害防止条例(排水基準)
	白木仮設用地浄化槽	-	-	-	-	-	-	*福井県条例(排水基準) *1環境基準
ふげん	浦底溝(取水口側)	-	-	-	-	-	-	水質汚濁防止法及び福井県公害防止条例に基づく排水基準
	若狭湾側(放水口側)	-	-	-	-	-	-	水質汚濁防止法及び福井県公害防止条例に基づく排水基準
人形	放流水槽	-	<0.1	-	<0.1	-	<0.1	*水質汚濁防止法 *1瀬戸内海環境保全特別措置法(届出値の最大値)
	車庫排水	-	0.1~0.3	-	<0.1	-	<0.1	*水質汚濁防止法 *1瀬戸内海環境保全特別措置法(届出値の最大値)
	生活排水	-	0.4~1.3	-	<0.1~0.1	-	<0.1	*水質汚濁防止法 *1瀬戸内海環境保全特別措置法(届出値の最大値)

表2-10-2 水質測定結果(カドミウム等)(2017年度)(1/5)

拠点名	採取箇所	カドミウム及びその化合物		シアン化合物		有機磷化合物		鉛及びその化合物		六価クロム化合物		砒素及びその化合物	
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)
幌延	排水処理施設の排出管	0.03	<0.01	1	<0.1	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.02	0.1	<0.01
	第1排水溝	0.03	<0.001	0.5	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.01
	第2排水溝	0.03	<0.001	0.5	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.01
	第3排水溝	0.03	<0.001	0.5	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.01
サイクル研	第1排水溝(工務技術室)	0.03 * 1	<0.001	0.5 * 2	<0.01	1 * 1	<0.1	0.1 * 1	<0.01	0.5 * 1	<0.01	0.1 * 1	<0.01
	第2排水溝(Puセンター)	0.03 * 1	<0.01	0.5 * 2	<0.01	-	-	0.1 * 1	<0.07	-	-	0.1 * 1	<0.001
	再処理施設海中放出管	0.03 * 1	<0.01	0.5 * 2	<0.01	-	-	0.1 * 1	<0.07	-	-	0.1 * 1	<0.001
大洗	一般排水溝	0.03	<0.003	0.5 * 1	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.005
	瑞浪起深地層研究所の排水口	0.003	0.003未満	検出されないこと	ND	検出されないこと	ND	0.01	0.005未満	0.05	0.04未満	0.01	0.005未満
東濃	センター総合排水のマンホール	0.03	0.01未満	1	0.01未満	-	-	0.1	0.01未満	0.5	0.01未満	0.1	0.005未満
	東濃鉱山洗酸池の排水口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	浦底湾側(取水口側)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ふげん	若狭湾側(放水口側)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	放流水槽	0.03	<0.003	1	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.02	0.1	<0.005
人形	車庫排水	0.03	<0.003	1	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.02	0.1	<0.005
	生活排水	0.03	<0.003	1	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.02	0.1	<0.005

表2-10-2 水質測定結果(カドミウム等)(2017年度)(2/5)

拠点名	採取箇所	フッ素及びその化合物		水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		ポリ塩化ビフェニル		トリクロロエチレン		テトラクロロエチレン		ジクロロメタン	
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)
幌延	排水処理施設の排出管	8	<0.8	-	不検出	-	<0.0005	-	<0.003	-	<0.001	-	<0.02
	第1排水溝	8	<0.1	0.005	<0.0005	0.003	<0.0005	0.3	<0.0005	0.1	<0.0005	0.2	<0.001
	第2排水溝	8	<0.1	0.005	<0.0005	0.003	<0.0005	0.3	<0.0005	0.1	<0.0005	0.2	<0.001
	第3排水溝	8	<0.1	0.005	<0.0005	0.003	<0.0005	0.3	<0.0005	0.1	<0.0005	0.2	<0.001
サイクル研	第1排水溝(工務技術室)	8 *1	<0.1~0.1	0.005	<0.0005	0.003	<0.0005	0.3	<0.0005	0.1	<0.0005	0.2	<0.001
	第2排水溝(Puセンター)	8 *1	<0.1~3.7	0.005	<0.0005~ 0.0020	-	-	-	-	-	-	-	-
	再処理施設海中放出管	8 *1	<0.1	0.005	<0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-
大洗	一般排水溝	8 *1	<0.15	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002
	瑞浪起深地層研究所の排水口	0.8	0.65	-	ND	-	ND	-	0.002未満	-	0.0005未満	-	0.002未満
東濃	センター総合排水のマンホール	8	0.12~1.20	-	0.0002未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	東濃鉱山洗酸池の排水口	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	浦底湾側(取水口側)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<0.0005	-	-
ふげん	若狭湾側(放水口側)	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	<0.0005	-	-
	放流水槽	0.5	<0.05~0.08	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.001	-	<0.0005	-	<0.002
人形	車庫排水	0.5	<0.05	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.001	-	<0.0005	-	<0.002
	生活排水	0.5	<0.05	-	<0.0005	-	<0.0005	-	<0.001	-	<0.0005	-	<0.002

表2-10-2 水質測定結果(カドミウム等)(2017年度)(3/5)

拠点名	採取箇所	四塩化炭素		1.2-ジクロロエタン		1.1-ジクロロエチレン		1.2-ジクロロエチレン		1.1.1-トリクロロエタン		1.1.2-トリクロロエタン	
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)
幌延	排水処理施設の排出管	-	<0.002	-	<0.004	-	<0.02	-	<0.04	-	<0.001	-	<0.006
原科研(J-PARCを含む)	第1排水溝	0.02	<0.0002	0.04	<0.0004	1	<0.001	0.4	<0.001	3	<0.0005	0.06	<0.0006
	第2排水溝	0.02	<0.0002	0.04	<0.0004	1	<0.001	0.4	<0.001	3	<0.0005	0.06	<0.0006
	第3排水溝	0.02	<0.0002	0.04	<0.0004	1	<0.001	0.4	<0.001	3	<0.0005	0.06	<0.0006
サイクル研	第1排水溝(工務技術室)	0.02	<0.0002	0.04	<0.0004	1	<0.001	0.4	<0.001	3	<0.0005	0.06	<0.0006
	第2排水溝(Puセンター)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再処理施設海中放出管	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大洗	一般排水溝	-	<0.0002	-	<0.0002	1	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002	-	<0.0002
東濃	瑞浪起深地層研究所の排水口	-	0.0002未満	-	0.0004未満	-	0.002未満	-	0.004未満	-	0.0005未満	-	0.0006未満
	センター総合排水のマンホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東濃鉱山沈殿池の排水口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ふげん	浦底湾側(取水口側)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	若狭湾側(放水口側)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人形	放流水槽	-	<0.0002	-	<0.0004	-	<0.002	-	<0.004	-	<0.0005	-	<0.0006
	車庫排水	-	<0.0002	-	<0.0004	-	<0.002	-	<0.004	-	<0.0005	-	<0.0006
	生活排水	-	<0.0002	-	<0.0004	-	<0.002	-	<0.004	-	<0.0005	-	<0.0006

表2-10-2 水質測定結果(カドミウム等)(2017年度)(4/5)

拠点名	採取箇所	1,3-ジクロロプロペン		テトラメチルチウラム ジスルไฟド (別名チウラム)		2-クロロ-4,6-ピス (エチルアミノ)メトリアジン (別名シマジン)		S-4-クロロベンジル N-N-ジエチルチオカルバマート (別名チオベンカルブ)		ベンゼン		セレン及びその化合物	
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	12.5	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)
幌延	排水処理施設の排出管	-	<0.002	-	<0.006	-	<0.003	-	<0.02	-	<0.01	-	<0.01
	第1排水溝	0.02	<0.0002	0.06	<0.001	0.03	<0.001	0.2	<0.001	0.1	<0.001	0.1	<0.01
	第2排水溝	0.02	<0.0002	0.06	<0.001	0.03	<0.001	0.2	<0.001	0.1	<0.001	0.1	<0.01
サイクル研	第1排水溝	0.02	<0.0002	0.06	<0.001	0.03	<0.001	0.2	<0.001	0.1	<0.001	0.1	<0.01
	第2排水溝(Puセンター)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再処理施設海中放出管	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大洗	一般排水溝	-	<0.0002	-	<0.001	-	<0.001	-	<0.002	-	<0.002	-	<0.005
	瑞浪超深地層研究所の排水口	-	0.0002未満	-	0.0006未満	-	0.0003未満	-	0.002未満	-	0.001未満	-	0.002未満
東濃	センター総合排水のマンホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東濃鉱山沈殿池の排水口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	浦底湾側(取水口側)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ふげん	若狭湾側(放水口側)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	放流水槽	-	<0.0002	-	<0.0006	-	<0.0003	-	<0.002	-	<0.001	-	<0.005
人形	車庫排水	-	<0.0002	-	<0.0006	-	<0.0003	-	<0.002	-	<0.001	-	<0.005
	生活排水	-	<0.0002	-	<0.0006	-	<0.0003	-	<0.002	-	<0.001	-	<0.005

表2-10-2 水質測定結果(カドミウム等)(2017年度)(5/5)

地点名	採取箇所	ほう素及びその化合物		アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		塩化ビニルモノマー		1,4-ジオキサン		規制値の根拠等
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	
幌延	排水処理施設の排水管	-	0.2~1.6	-	10~25	-	-	-	<0.05	・水質汚濁防止法
原科研(J-PARCを含む)	第1排水溝	-	<0.05	100	1.24~9.02	-	<0.002	-	<0.05	・茨城県生活環境の保全等に関する条例施行規則第17条及び水質汚濁防止法第3条第1項
	第2排水溝	-	<0.05	100	1.34~6.08	-	<0.002	-	<0.05	・茨城県生活環境の保全等に関する条例施行規則第17条及び水質汚濁防止法第3条第1項
	第3排水溝	-	<0.05	100	1.94~3.14	-	<0.002	-	<0.05	・茨城県生活環境の保全等に関する条例施行規則第17条及び水質汚濁防止法第3条第1項
サイクル研	第1排水溝(工務技術室)	10	<0.05~0.07	100	2.8~16	-	-	-	<0.05	*1水質汚濁防止法 *2水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県)
	第2排水溝(Puセンター)	-	-	100	1.2~6.8	-	-	-	-	*1水質汚濁防止法 *2水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県)
	再処理施設海中放出管	230	<0.02~0.074	100	-	-	-	-	-	*1水質汚濁防止法 *2水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県)
大洗	一般排水溝	-	<0.02~0.18	-	<1~11	-	-	-	<0.05	*1水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例その他は、水質汚濁防止法(排水基準を定める省令)
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	-	0.64	-	0.24	-	-	-	0.005未満	
	センター総合排水のマンホール	-	0.1未満	-	0.4~9	-	-	-	-	
	東濃鉱山洗酸池の排水口	-	-	-	-	-	-	-	-	
ふげん	浦底湾側(取水口側)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	若狭湾側(放水口側)	-	-	-	-	-	-	-	-	水質汚濁防止法及び福井県公害防止条例に基づき排水基準
人形	放流水槽	-	<0.1	-	<1.0	-	<0.002	-	<0.05	フッ素は岡山県との環境保全協定値、その他は水質汚濁防止法に基づく排水基準値
	車庫排水	-	<0.1	-	<1.0	-	<0.002	-	<0.05	フッ素は岡山県との環境保全協定値、その他は水質汚濁防止法に基づく排水基準値
	生活排水	-	<0.1	-	2.6~7.3	-	<0.002	-	<0.05	フッ素は岡山県との環境保全協定値、その他は水質汚濁防止法に基づく排水基準値

表2-11 PRTR法対象化学物質の排出・移動量(2017年度)

拠点	物質名 (注1)	特定第1種	取扱量 [t]	排出量 (注2)			移動量 (注2)		主な使用、発生用途
				大気	公共用水域	土壌	埋立処分	下水道	
サイクル研	ダイオキシン類 ■	○		0.013mg-TEQ	0.00098mg-TEQ	-	-	-	焼却炉運転による。
	メチルナフタレン		73.5	370kg	-	-	-	-	ボイラーの燃料(A重油)として使用
大洗	ダイオキシン類 ■	○		0.0021mg-TEQ	-	-	-	-	専用焼却炉の運転
	メチルナフタレン		13.7	68kg	-	-	-	-	A重油(非常発電用、暖房用)の成分 燃焼排ガス中の残留物
もんじゅ	ダイオキシン類 ■	○		0.011mg-TEQ	-	-	-	0.017mg-TEQ	一般廃棄物の焼却
ふげん	キシレン		1.6	-	-	-	-	-	構内給油所・貫流ボイラー燃料
	1, 2, 4-トリメチルベンゼン		1.9	-	-	-	-	-	構内給油所・貫流ボイラー燃料
人形 (注3)	ふっ化水素及びその水溶性塩 ▲			-	7.3kg	-	-	-	
	マンガン及びその化合物 ▲			-	91.0kg	-	-	-	
	メチルナフタレン		4.43	22.0kg	-	-	-	-	A重油

注1) ▲：鉱山保安法の対象施設の場合
 ■：ダイオキシン類対策特別措置法上の特定施設の場合
 それ以外は第1種指定化学物質の年間取扱量1t以上の場合。ただし特定第1種指定化学物質の場合は年間取扱量0.5t以上の場合
 注2) 単位: kg (ダイオキシンはmg-TEQ)
 注3) 人形峠鉱山では、上記以外にも届出を行っているが、排出量、移動量はすべて検出していないことを確認している。

表2-12 PCB廃棄物保管量増減の理由及び取組内容(2017年度)

拠点名	増加の理由	減少の理由	備考
むつ	—	—	—
原科研(J-PARCを含む)	トランス(低濃度)の更新作業に伴い、その他(低濃度)として新たにトランス油5台、汚染物1台、金属汚染物1台が増加した。48台(41+7=48)	トランス(低濃度)の更新作業に伴い、1台減少した。38台(39-1=38) 安定器は2017年度中の処理処分により76台減少した。2,116台(2,192-76=2,116)	—
サイクル研	・2017年度に実施した所内PCB調査において、新たに2台(工務技術部)が発見された。	・2016年度まで保有していた162台については、2017年度に処分完了した。(2017年度に実施した所内PCB調査において、新たに20台(放射線管理部18台、環境センター2台)が発見された。)	・その他(総数1)の内訳:トレー(1個) ・使用中の高圧トランス(低濃度)5台及び低圧トランス(低濃度)2台は、上記データに含まれない。
大洗	・分析の結果、一般会計分の整流器が高濃度ではなく低濃度だったため、その他の項目が増減した。 ・分析のためのサンプルの余りが発生したため、特別会計分のその他の高濃度が増えた。	・コンデンサ1台を処分したため減少	・安定器は全て「高濃度」に分類した。
人形	トランス(低濃度)3台(製錬転換施設(2台)、共通施設倉庫(1台))は、PCB混入の有無の分析結果に基づき、PCB廃棄物と判明したため、2016年度より増加した。	—	—

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（幌延）（2017年度）(1/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物	3,008			
	外部委託	可燃物	0		0	
		不燃物	0		0	
	自治体及び外部委託の総量		3,008		0	
	再生 利用	古紙	1,332		0	自治体(幌延町)が回収
		金属類	79		0	自治体(幌延町)が回収
		プラスチック類	247		0	自治体(幌延町)が回収
		その他	295		0	ビン・缶・ペットボトル(自治体(幌延町) が回収)
		再生利用総量	1,952		0	
一般廃棄物総量		4,961		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0		
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)	0	0	0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0		
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0		
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		4,961		0		
産業廃棄物	燃えがら			0		
	汚泥	2,440	311	759		
	廃油			0		
	廃酸	1	311	0		
	廃アルカリ			0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)			0		
	紙くず			0		
	木くず			0		
	繊維くず			0		
	動植物性残さ			0		
	動物系固形不要物			0		
	ゴムくず			0		
	金属くず			0		
	ガラス及び陶磁器くず			0		
	鋳さい			0		
	がれき類			0		
	ばいじん			0		
	その他			0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		2,441		759	
	再生利用	金属類			0	
プラスチック				0		
その他				0		
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		2,441		759		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油			0		
	pH2.0以下の廃酸			0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ			0		
	感染性産業廃棄物			0		
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)			0		
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)			0		
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)			0		
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)			0		
	特別管理産業廃棄物排出総量	0		0		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		2,441		759		
全ての廃棄物 排出総量		7,401		759		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（むつ）（2017年度）(2/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考		
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0				
		不燃物	0				
	外部委託	可燃物	12,200		0		
		不燃物	490		0		
	自治体及び外部委託の総量		12,690		0		
	再生 利用	古紙	0	0	0		
		金属類	0	0	0		
		プラスチック類	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		再生利用総量	0		0		
一般廃棄物総量		12,690		0			
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0			
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)	0	0	0			
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0			
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0			
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0			
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		12,690		0			
産業廃棄物	燃えがら		0	0	0		
	汚泥		53	複数あり	103		
	廃油		307	複数あり	596		
	廃酸		126	複数あり	244		
	廃アルカリ		7	複数あり	13		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		3,000	0	0		
	紙くず		0	0	0		
	木くず		0	0	0		
	繊維くず		0	0	0		
	動植物性残さ		0	0	0		
	動物系固形不燃物		0	0	0		
	ゴムくず		0	0	0		
	金属くず		2,000	0	0		
	ガラス及び陶磁器くず		0	0	0		
	鉱さい		0	0	0		
	がれき類		0	0	0		
	ばいじん		0	0	0		
	その他		1,502	複数あり	4		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		6,995		959		
	再生利用	金属類		0	0	0	
		プラスチック		0	0	0	
その他		0	0	0			
産業廃棄物再生利用総量		0		0			
産業廃棄物排出総量		6,995		959			
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油		0	0	0		
	pH2.0以下の廃酸		0	0	0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ		0	0	0		
	感染性産業廃棄物		0	0	0		
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)		0	0	0		
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)		0	0	0		
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)		0	0	0		
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)		0	0	0		
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		6,995		959			
全ての廃棄物 排出総量		19,685		959			

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（福島拠点）（2017年度）(3/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0		
		不燃物	0		
	外部委託	可燃物	6,060	14	46
		不燃物	310	8	2
	自治体及び外部委託の総量		6,370		49
	再生 利用	古紙	0	0	0
		金属類	0	0	0
		プラスチック類	0	0	0
		その他	0	0	0
		再生利用総量	0		0
一般廃棄物総量		6,370		49	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)	0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		6,370		49	
産業廃棄物	燃えがら	0	0	0	
	汚泥	10	45	0	
	廃油	0	0	0	
	廃酸	0	0	0	
	廃アルカリ	0	0	0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	1,500	45	68	
	紙くず	0	0	0	
	木くず	0	0	0	
	繊維くず	0	0	0	
	動植物性残さ	0	0	0	
	動物系固形不燃物	0	0	0	
	ゴムくず	0	0	0	
	金属くず	40	79	3	
	ガラス及び陶磁器くず	10	45	0	
	鉱さい	0	0	0	
	がれき類	0	0	0	
	ばいじん	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		1,560		72
	再生利用	金属類	0	0	0
		プラスチック	0	0	0
その他		0	0	0	
産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		1,560		72	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	20	79	2	
	pH2.0以下の廃酸	400	79	32	
	pHが12.5以上の廃アルカリ	0	0	0	
	感染性産業廃棄物	0	0	0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)	0	0	0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)	0	0	0	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)	0	0	0	
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)	0	0	0	
特別管理産業廃棄物排出総量		420		33	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		1,980		105	
全ての廃棄物 排出総量		8,350		154	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（櫛葉）（2017年度）(4/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	5,040	8	40	
		不燃物	310	8	2	
	自治体及び外部委託の総量		5,350		43	
	再生 利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
一般廃棄物総量		5,350		43		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		5,350		43		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)				0	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不燃物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず				0	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		0		0	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		0		0		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)				0	
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		0		0		
全ての廃棄物 排出総量		5,350		43		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（三春）（2017年度）(5/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	0		0	
		不燃物	0		0	
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生 利用	古紙	0		0	
		金属類	0		0	
		プラスチック類	0		0	
		その他	0		0	
		再生利用総量	0		0	
一般廃棄物総量		0		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)		0		0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)		0		0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)		0		0	
	感染性一般(8号廃棄物)		0		0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		0		0		
産業廃棄物	燃えがら		0		0	
	汚泥		10	45	0	
	廃油		0		0	
	廃酸		0		0	
	廃アルカリ		0		0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		1,500	45	68	
	紙くず		0		0	
	木くず		0		0	
	繊維くず		0		0	
	動植物性残さ		0		0	
	動物系固形不燃物		0		0	
	ゴムくず		0		0	
	金属くず		40	79	3	
	ガラス及び陶磁器くず		10	45	0	
	鉱さい		0		0	
	がれき類		0		0	
	ばいじん		0		0	
	その他		0		0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		1,560		72	
	再生利用	金属類		0		0
		プラスチック		0		0
		その他		0		0
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		1,560		72		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油		20	79	2	
	pH2.0以下の廃酸		400	79	32	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		0		0	
	感染性産業廃棄物		0		0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)		0		0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)		0		0	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)		0		0	
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)		0		0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		420		33	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		1,980		105		
全ての廃棄物 排出総量		1,980		105		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（富岡）（2017年度）(6/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	1,020	6	6	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		1,020		6	
	再生 利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
一般廃棄物総量		1,020		6		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		1,020		6		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)				0	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず				0	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鋸さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		0		0	
	再生利用	金属類				0
		プラスチック				0
		その他				0
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		0		0		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)				0	
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		0		0		
全ての廃棄物 排出総量		1,020		6		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（本部）（2017年度）(7/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0		
		不燃物	0		
	外部委託	可燃物	5,578	15	84
		不燃物	0	0	0
	自治体及び外部委託の総量		5,578		84
	再生 利用	古紙	0	0	0
		金属類	0	0	0
		プラスチック類	0	0	0
		その他	0	0	0
		再生利用総量	0		0
一般廃棄物総量		5,578		84	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)	0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		5,578		84	
産業廃棄物	燃えがら	0	0	0	
	汚泥	0	0	0	
	廃油	0	0	0	
	廃酸	0	0	0	
	廃アルカリ	0	0	0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	250	40	10	
	紙くず	0	0	0	
	木くず	0	0	0	
	繊維くず	0	0	0	
	動植物性残さ	0	0	0	
	動物系固形不要物	0	0	0	
	ゴムくず	0	0	0	
	金属くず	360	複数あり	55	
	ガラス及び陶磁器くず	68	複数あり	60	
	鉱さい	0	0	0	
	がれき類	0	0	0	
	ばいじん	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		678		125
	再生利用	金属類	0	0	0
		プラスチック	0	0	0
その他		0	0	0	
産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		678		125	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	0	0	0	
	pH2.0以下の廃酸	0	0	0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ	0	0	0	
	感染性産業廃棄物	0	0	0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)	0	0	0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)	0	0	0	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)	0	0	0	
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)	0	0	0	
	特別管理産業廃棄物排出総量	0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		678		125	
全ての廃棄物 排出総量		6,256		209	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（原科研(J-PARCを含む)）（2017年度）(8/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	3,377	4	14	グリーストラップ汚泥
		不燃物	8,109	2	16	浄化槽汚泥
	自治体及び外部委託の総量		11,486		30	
	再生 利用	古紙	0	0	0	有価物に投入
		金属類	0	0	0	有価物に投入
		プラスチック類	9,700	7	71	廃プラスチック
		その他	47,085	19	895	伐採草木(41,200kg)、残飯(5,885kg)
		再生利用総量	56,785		965	
一般廃棄物総量		68,271		995		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0		
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)	0	0	0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0		
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0		
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		68,271		995		
産業廃棄物	燃えがら	0	0	0		
	汚泥	3,873	206	798	汚泥	
	廃油	890	7	6	廃油	
	廃酸	420	7	3	廃薬品	
	廃アルカリ	210	7	1	廃薬品	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	16,370	7	115	OA機器	
	紙くず	0	0	0		
	木くず	10,550	7	74	木くず	
	繊維くず	0	0	0		
	動植物性残さ	0	0	0		
	動物系固形不要物	0	0	0		
	ゴムくず	0	0	0		
	金属くず	108,572	60	6,514	金属くず	
	ガラス及び陶磁器くず	1,370	130	178	蛍光灯、水銀灯、窓ガラス	
	鉱さい	0	0	0		
	がれき類	1,420	7	10		
	ばいじん	0	0	0		
	その他	194,467	複数あり	16,485	混合物、混合物(廃プラスチック、金属くず)	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		338,142		24,185	
	再生利用	金属類	0	0	0	
		プラスチック	0	0	0	
その他		0	0	0		
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		338,142		24,185		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	400	7	3	廃油	
	pH2.0以下の廃酸	1,673	150	251	廃薬品	
	pHが12.5以上の廃アルカリ	84	210	18	廃薬品	
	感染性産業廃棄物	0	0	0		
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)	30	110	3	廃石綿	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)	0	0	0		
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)	348	930	324	廃PCB	
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)	101	220	22	有害汚泥	
特別管理産業廃棄物排出総量		2,636		621		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		340,778		24,805		
全ての廃棄物 排出総量		409,049		25,800		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（サイクル研）（2017年度）(9/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)					
		可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	22,970	7	161	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		22,970		161	
	再生 利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
再生利用総量		0		0		
一般廃棄物総量		22,970		161		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		22,970		161		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥		487	1,154	562	
	廃油		346	1,154	399	
	廃酸		499	1,154	576	
	廃アルカリ		20,107	1,154	23,203	・原水槽の廃液処分
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		13,510	1,106	14,942	
	紙くず				0	
	木くず		2,590	7	18	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不燃物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		20	1,106	22	
	ガラス及び陶磁器くず		1,050	1,106	1,161	
	鋸さい				0	
	がれき類		3,950	1,106	4,369	・試験装置がれき撤去
	ばいじん				0	
	その他		13,440	153	2,056	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		55,999		47,309	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		55,999		47,309		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油		221	1,154	255	
	pH2.0以下の廃酸		422	1,154	487	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		19	1,154	22	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)		944	908	857	・高濃度PCB廃棄物(944kg)処分
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)		14	1,106	15	・試験等に使用した有害鉛(約10kg)処分 ・試験等に使用した有害汚泥(約4kg)処分
	特別管理産業廃棄物排出総量		1,620		1,637	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		57,619		48,946		
全ての廃棄物 排出総量		80,589		49,107		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（大洗）（2017年度）（10/22）

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	35,555	3	107	対前年度比152.7%の増加
		不燃物	0	0	0	
	自治体及び外部委託の総量		35,555		107	
	再生 利用	古紙	0	0	0	
		金属類	0	0	0	
		プラスチック類	1,258	10	13	対前年度比106.7%の増加
		その他	455	10	5	対前年度比106.6%の増加
		再生利用総量	1,713		17	
一般廃棄物総量		37,268		124		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0		
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)	0	0	0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0		
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0		
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		37,268		124		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥	110,351	複数あり	4,448		
	廃油	390	複数あり	26		
	廃酸			0		
	廃アルカリ			0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	360	23	8		
	紙くず			0		
	木くず	1,170	45	53		
	繊維くず			0		
	動植物性残さ			0		
	動物系固形不燃物			0		
	ゴムくず			0		
	金属くず	4,770	複数あり	232		
	ガラス及び陶磁器くず	1,550	88	136		
	鋸さい			0		
	がれき類	16,380	複数あり	921		
	ばいじん			0		
	その他			0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		134,971		5,825	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		134,971		5,825		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	1,490	89	133		
	pH2.0以下の廃酸	3	123	0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ			0		
	感染性産業廃棄物	78	88	7		
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)	60	48	3		
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)	41	123	5		
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)	610	939	573		
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)	5	123	1		
	特別管理産業廃棄物排出総量	2,287		721		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		137,258		6,546		
全ての廃棄物 排出総量		174,526		6,670		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ (NEAT) (2017年度)(11/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	9,367	0	0	
		不燃物	0	0	0	
	自治体及び外部委託の総量		9,367		0	
	再生 利用	古紙	1,408	0	0	
		金属類	0	0	0	
		プラスチック類	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		再生利用総量	1,408		0	
一般廃棄物総量		10,775		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0		
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)	0	0	0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0		
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0		
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		10,775		0		
産業廃棄物	燃えがら	0	0	0		
	汚泥	0	0	0		
	廃油	0	0	0		
	廃酸	0	0	0		
	廃アルカリ	0	0	0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	1,728	69	119	特殊車両用タイヤ	
	紙くず	0	0	0		
	木くず	0	0	0		
	繊維くず	0	0	0		
	動植物性残さ	0	0	0		
	動物系固形不燃物	0	0	0		
	ゴムくず	0	0	0		
	金属くず	3,112	69	6	PC、OA機器	
	ガラス及び陶磁器くず	0	0	0		
	鋸さい	0	0	0		
	がれき類	0	0	0		
	ばいじん	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		4,840		125	
	再生利用	金属類	0	0	0	
		プラスチック	0	0	0	
その他		0	0	0		
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		4,840		125		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	0	0	0		
	pH2.0以下の廃酸	0	0	0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ	0	0	0		
	感染性産業廃棄物	0	0	0		
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)	0	0	0		
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)	0	0	0		
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)	0	0	0		
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)	0	0	0		
	特別管理産業廃棄物排出総量	0		0		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		4,840		125		
全ての廃棄物 排出総量		15,615		125		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ (NEAT茨城) (2017年度)(12/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	9,367		0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		9,367		0	
	再生 利用	古紙	1,408		0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	1,408		0	
一般廃棄物総量		10,775		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		10,775		0		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		0		0	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不燃物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		3,030		0	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鉱さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		3,030		0	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		3,030		0		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)				0	
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		3,030		0		
全ての廃棄物 排出総量		13,805		0		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ (NEAT福井) (2017年度)(13/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物			0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生 利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
一般廃棄物総量		0		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)			0		
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)			0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)			0		
	感染性一般(8号廃棄物)			0		
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		0		0		
産業廃棄物	燃えがら			0		
	汚泥			0		
	廃油			0		
	廃酸			0		
	廃アルカリ			0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	1,728	69	119	特殊車両用タイヤ	
	紙くず			0		
	木くず			0		
	繊維くず			0		
	動植物性残さ			0		
	動物系固形不燃物			0		
	ゴムくず			0		
	金属くず	82	69	6	PC、OA機器	
	ガラス及び陶磁器くず			0		
	鋸さい			0		
	がれき類			0		
	ばいじん			0		
	その他			0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		1,810		125	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		1,810		125		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油			0		
	pH2.0以下の廃酸			0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ			0		
	感染性産業廃棄物			0		
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)			0		
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)			0		
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)			0		
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)			0		
	特別管理産業廃棄物排出総量	0		0		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		1,810		125		
全ての廃棄物 排出総量		1,810		125		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（東京地区）（2017年度）（14/22）

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0		
		不燃物	0		
	外部委託	可燃物	1,731	0	0
		不燃物	0	0	0
	自治体及び外部委託の総量		1,731		0
	再生 利用	古紙	0	0	0
		金属類	0	0	0
		プラスチック類	0	0	0
		その他	0	0	0
		再生利用総量	0		0
一般廃棄物総量		1,731		0	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)	0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		1,731		0	
産業廃棄物	燃えがら	0	0	0	
	汚泥	0	0	0	
	廃油	0	0	0	
	廃酸	0	0	0	
	廃アルカリ	0	0	0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	15,000	24	360	
	紙くず	0	0	0	
	木くず	0	0	0	
	繊維くず	0	0	0	
	動植物性残さ	0	0	0	
	動物系固形不要物	0	0	0	
	ゴムくず	0	0	0	
	金属くず	33,200	24	797	
	ガラス及び陶磁器くず	0	0	0	
	鋸さい	0	0	0	
	がれき類	0	0	0	
	ばいじん	0	0	0	
	その他	880	26	17	廃プラスチック類、金属くず、ガラス・陶磁器くず等の混合
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		49,080		1,174
	再生利用	金属類	0	0	0
プラスチック		0	0	0	
その他		0	0	0	
産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		49,080		1,174	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	0	0	0	
	pH2.0以下の廃酸	0	0	0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ	0	0	0	
	感染性産業廃棄物	0	0	0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)	0	0	0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)	0	0	0	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)	0	0	0	
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)	0	0	0	
	特別管理産業廃棄物排出総量	0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		49,080		1,174	
全ての廃棄物 排出総量		50,811		1,174	

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（東京）（2017年度）(15/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物			0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生 利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
一般廃棄物総量		0		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		0		0		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		15,000	24	360	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不燃物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		33,200	24	797	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鋸さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他		700	24	17	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		48,900		1,174	
	再生利用	金属類				0
		プラスチック				0
		その他				0
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		48,900		1,174		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)				0	
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		48,900		1,174		
全ての廃棄物 排出総量		48,900		1,174		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（柏）（2017年度）（16/22）

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	1,731	0	0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		1,731		0	
	再生 利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
一般廃棄物総量		1,731		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		1,731		0		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥				0	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)				0	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不燃物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず				0	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鋸さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他		180	2	0	廃プラスチック類、金属くず、ガラス・陶磁器くず等の混合
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		180		0	
	再生利用	金属類				0
プラスチック				0		
その他				0		
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		180		0		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)				0	
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)				0	
特別管理産業廃棄物排出総量		0		0		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		180		0		
全ての廃棄物 排出総量		1,911		0		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（東濃）（2017年度）(17/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	9,875	2	20	
		不燃物	801	11	9	
	自治体及び外部委託の総量		10,676		29	
	再生 利用	古紙	7,480	30	224	
		金属類			0	該当なし
		プラスチック類			0	該当なし
		その他			0	該当なし
		再生利用総量	7,480		224	
一般廃棄物総量		18,156		253		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	該当なし
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	該当なし
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	該当なし
	感染性一般(8号廃棄物)				0	該当なし
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		18,156		253		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥	60	複数あり	12	うち60kgは混載物として処分したため、 金属くずを含む。	
	廃油	19	1,650	31		
	廃酸			0		
	廃アルカリ			0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		8,141	複数あり	167	うち8,140kgは混載物として処分したため、 木くず・金属くず・ガラス、コンクリート 陶磁器くずを含む。
	紙くず			0		
	木くず			0		
	繊維くず			0		
	動植物性残さ			0		
	動物系固形不要物			0		
	ゴムくず			0		
	金属くず	40	1,773	71		
	ガラス及び陶磁器くず	2	1,773	4		
	鉢さい			0		
	がれき類			0		
	ばいじん			0		
	その他			0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		8,262		285	
	再生利用	金属類			0	
プラスチック				0		
その他				0		
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		8,262		285		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸	410	236	97		
	pHが12.5以上の廃アルカリ	20	236	5		
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)		10	1,773	18	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)				0	
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)		50	236	12	砒素またはその化合物、シアン化合物
	特別管理産業廃棄物排出総量		490		131	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		8,752		416		
全ての廃棄物 排出総量		26,908		669		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（敦賀）（2017年度）(18/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考		
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	9,744				
		不燃物	1,152				
	外部委託	可燃物			0	該当なし	
		不燃物			0	該当なし	
	自治体及び外部委託の総量		10,896		0		
	再生 利用	古紙	560		0		
		金属類			0	該当なし	
		プラスチック類			0	該当なし	
		その他			0	該当なし	
		再生利用総量	560		0		
一般廃棄物総量		11,456		0			
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	該当なし	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	該当なし	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	該当なし	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	該当なし	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		11,456		0			
産業廃棄物	燃えがら				0		
	汚泥				0		
	廃油		144	110	16		
	廃酸				0		
	廃アルカリ				0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		4,070	複数あり	149		
	紙くず				0		
	木くず		2,550	45	115		
	繊維くず				0		
	動植物性残さ				0		
	動物系固形不燃物				0		
	ゴムくず				0		
	金属くず		3,380	複数あり	120		
	ガラス及び陶磁器くず		250	45	11		
	鋸さい				0		
	がれき類				0		
	ばいじん				0		
	その他				0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		10,394		411		
	再生利用	金属類				0	
		プラスチック				0	
		その他				0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		10,394		411			
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0		
	pH2.0以下の廃酸				0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0		
	感染性産業廃棄物				0		
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)				0		
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)				0		
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)				0		
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)				0		
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		10,394		411			
全ての廃棄物 排出総量		21,850		411			

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ (もんじゅ) (2017年度)(19/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	0	0	0	
		不燃物	0	0	0	
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生 利用	古紙	23,200	210	4,872	コピー用紙
		金属類	0	0	0	
		プラスチック類	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		再生利用総量	23,200		4,872	
一般廃棄物総量		23,200		4,872		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0		
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)	0	0	0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0		
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0		
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		23,200		4,872		
産業廃棄物	燃えがら	5,620	99	556	埋立処分	
	汚泥	6,410	99	635	埋立処分	
	廃油	465	55	26	産廃業者で混合調製または油水分離後、スラグ化し再利用	
	廃酸	0	0	0		
	廃アルカリ	0	0	0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	24,830	99	2,458	産廃業者で焼却後、スラグ化し再利用	
	紙くず	0	0	0		
	木くず	200	99	20	特になし。	
	繊維くず	0	0	0		
	動植物性残さ	0	0	0		
	動物系固形不要物	0	0	0		
	ゴムくず	0	0	0		
	金属くず	17,410	55	958	点検作業増加のため、排出量増加	
	ガラス及び陶磁器くず	5,620	55	309	産廃業者で焼却後、埋立処分	
	鋸さい	0	0	0		
	がれき類	0	0	0		
	ばいじん	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		60,555		4,961	
	再生利用	金属類	0	0	0	今年度は、発生なし。
		プラスチック	0	0	0	
その他		0	0	0		
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		60,555		4,961		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	0	0	0		
	pH2.0以下の廃酸	0	0	0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ	0	0	0		
	感染性産業廃棄物	120	99	12	医療廃棄物	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)	0	0	0		
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)	0	0	0		
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)	0	0	0		
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)	0	0	0		
特別管理産業廃棄物排出総量		120		12		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		60,675		4,973		
全ての廃棄物 排出総量		83,875		9,845		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（ふげん）（2017年度）(20/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	21,327			
		不燃物	3,617			
	外部委託	可燃物			0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		24,944		0	
	再生 利用	古紙	4,200		0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	4,200		0	
一般廃棄物総量		29,144		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)			0		
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)			0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)			0		
	感染性一般(8号廃棄物)			0		
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		29,144		0		
産業廃棄物	燃えがら			0		
	汚泥			0		
	廃油			0		
	廃酸			0		
	廃アルカリ			0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	9,680	52	503	放水口清掃にて廃プラスチックを回収し 廃棄した。	
	紙くず			0		
	木くず	4,780	52	249	放水口清掃にて木くずを回収し 廃棄した。	
	繊維くず			0		
	動植物性残さ			0		
	動物系固形不要物			0		
	ゴムくず			0		
	金属くず	39,080	複数あり	3,244	ディーゼル室換気系(A系)解体により 多量の金属くずが発生した。	
	ガラス及び陶磁器くず	328	複数あり	42		
	鉱さい			0		
	がれき類			0		
	ばいじん			0		
	その他			0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		53,868		4,038	
	再生利用	金属類			0	
プラスチック				0		
その他				0		
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		53,868		4,038		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油			0		
	pH2.0以下の廃酸	4,200	52	218	硫酸貯槽開放点検に伴い貯槽内の硫酸を 廃棄した。	
	pHが12.5以上の廃アルカリ	7,700	52	400	苛性ソーダ貯槽開放点検に伴い貯槽内の 苛性ソーダを廃棄した。	
	感染性産業廃棄物	18	52	1		
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)			0		
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)			0		
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)			0		
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)			0		
特別管理産業廃棄物排出総量		11,918		620		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		65,786		4,658		
全ての廃棄物 排出総量		94,930		4,658		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ (も運研) (2017年度) (21/22)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)					
		可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物		0		
		不燃物		0		
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
再生利用総量		0		0		
一般廃棄物総量		0		0		
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		0		0		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥		1	384	0	
	廃油				0	
	廃酸		2	424	1	
	廃アルカリ		3,840	53	202	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		620	53	33	
	紙くず				0	
	木くず		660	53	35	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不燃物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		1,570	50	79	2カ所への搬出のため、距離は加重平均で求めた。
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鋳さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他		3,330	18	60	安定型混合廃棄物
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		10,023		409	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
その他				0		
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		10,023		409		
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		316	195	62	2カ所への搬出のため、距離は加重平均で求めた。
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)				0	
	特定有害産業廃棄物(廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		316		62	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		10,339		471		
全ての廃棄物 排出総量		10,339		471		

表2-13-1 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（人形）（2017年度）(22/22)

廃棄物の分類	品名等		排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	5,840				
		不燃物					
	外部委託	可燃物			0		
		不燃物			0		
	自治体及び外部委託の総量		5,840		0		
	再生 利用	古紙			0		
		金属類			0		
		プラスチック類	51		0		
		その他			0		
		再生利用総量	51		0		
一般廃棄物総量		5,891		0			
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0		
	廃水銀等(1号の2及び1号の3廃棄物)				0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0		
	感染性一般(8号廃棄物)				0		
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		5,891		0			
産業廃棄物	燃えがら				0		
	汚泥		235	232	55		
	廃油		314	複数あり	68		
	廃酸		305	180	55		
	廃アルカリ				0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		3,555	複数あり	669		
	紙くず				0		
	木くず		600	100	60		
	繊維くず				0		
	動植物性残さ				0		
	動物系固形不燃物				0		
	ゴムくず				0		
	金属くず		662	複数あり	77		
	ガラス及び陶磁器くず		1,310	複数あり	354		
	鋸さい				0		
	がれき類				0		
	ばいじん				0		
	その他				0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		6,981		1,337		
	再生利用	金属類				0	
		プラスチック				0	
その他				0			
産業廃棄物再生利用総量		0		0			
産業廃棄物排出総量		6,981		1,337			
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0		
	pH2.0以下の廃酸				0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0		
	感染性産業廃棄物		29	232	7		
	特定有害産業廃棄物(廃石綿)				0		
	特定有害産業廃棄物(廃水銀)				0		
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)				0		
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)				0		
	特別管理産業廃棄物排出総量		29		7		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		7,010		1,344			
全ての廃棄物 排出総量		12,901		1,344			

表2-13-2 拠点別廃棄物分類集計表(2017年度)

種別	拠点	幌延			むつ			福島拠点			三春			富岡			本部	原料研(←PARCを含む)	サイクル研	大洗	NEAT	NEAT茨城
		NEAT福井	東京地区	東京	柏	東濃	秋賀	もんじゅ	ふげん	も連研	人形	合計(kg)	割合(%)									
一般	一般廃棄物	4,961	12,690	6,370								5,578	68,271	22,970	37,268	10,775					10,775	
	特別管理一般廃棄物	0	0	0	5,350	0	1,020					0	0	0	0	0					0	
	小計	4,961	12,690	6,370	5,350	0	1,020					5,578	68,271	22,970	37,268	10,775					10,775	
産廃	産業廃棄物	2,441	6,995	1,560								678	338,142	55,999	134,971	4,840					4,840	
	特別管理産業廃棄物	0	0	420	0	1,560	0					0	2,636	1,620	2,287	0					0	
	小計	2,441	6,995	1,980	0	1,980	0					678	340,778	57,619	137,258	4,840					4,840	
合計(kg)		7,401	19,685	8,350	5,350	1,980	1,020				6,256	409,049	80,589	174,526	15,615						15,615	
割合(%)		0.72	1.92	0.82	0.52	0.19	0.10				0.61	39.98	7.88	17.06	1.53						1.35	

種別	拠点	NEAT福井			東京地区			東京			柏			東濃	秋賀	もんじゅ	ふげん	も連研	人形	合計(kg)	割合(%)
		NEAT福井	東京地区	東京	柏	東濃	秋賀	もんじゅ	ふげん	も連研	人形	合計(kg)	割合(%)								
一般	一般廃棄物	0	1,731	0								18,156	11,456	23,200	29,144	0	5,891	258,460	25.26		
	特別管理一般廃棄物	0	0	0	1,731	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	小計	0	1,731	0	1,731	18,156	11,456	23,200	29,144	0	5,891	258,460									
産廃	産業廃棄物	1,810	49,080	48,900								8,262	10,394	60,555	53,868	10,023	6,981	744,788	72.80		
	特別管理産業廃棄物	0	0	0	180	490	0					120	11,918	316	29	19,836	1.94				
	小計	1,810	49,080	48,900	180	8,752	10,394	60,675	65,786	10,339	7,010	764,624									
合計(kg)		1,810	50,811	48,900	1,911	26,908	21,850	83,875	94,930	10,339	12,901	1,023,084	100.00								
割合(%)		0.18	4.97	4.78	0.19	2.63	2.14	8.20	9.28	1.01	1.26	100.00									

表2-13-3 拠点別一般廃棄物集計表(2017年度)

種別	拠点											NEAT茨城	
	市	町	村	幌延	むつ	檜葉	三春	富岡	本部	原科研(J- PARCを含む)	サイクル研		大洗
可燃物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不燃物	3,008	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	3,008	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
可燃物	0	12,200	5,040	0	1,020	5,578	3,377	22,970	35,555	9,367	0	0	0
不燃物	0	490	310	0	0	0	8,109	0	0	0	0	0	0
小計	0	12,690	5,350	0	1,020	5,578	11,486	22,970	35,555	9,367	0	0	0
古紙	1,332	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,408
金属類	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プラスチック類	247	0	0	0	0	0	0	0	9,700	0	1,258	0	0
その他	295	0	0	0	0	0	0	0	47,085	0	455	0	0
小計	1,952	0	0	0	0	0	0	0	56,785	0	1,713	0	1,408
合計(kg)	4,961	12,690	5,350	0	1,020	5,578	68,271	22,970	37,268	10,775	0	0	0

種別	拠点											合計(kg)	
	市	町	村	NEAT福井	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	も運研		人形
可燃物	0	0	0	0	0	0	9,744	0	0	21,327	0	5,840	36,910
不燃物	0	0	0	0	0	0	1,152	0	0	3,617	0	0	7,778
小計	0	0	0	0	0	0	10,896	0	0	24,944	0	5,840	44,688
可燃物	0	0	0	0	0	1,731	0	9,875	0	0	0	0	106,713
不燃物	0	0	0	0	0	0	801	0	0	0	0	0	9,710
小計	0	0	0	0	0	1,731	10,676	0	0	0	0	0	116,423
古紙	0	0	0	0	0	0	7,480	560	23,200	4,200	0	0	38,179
金属類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79
プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	11,256
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47,835
小計	0	0	0	0	0	0	7,480	560	23,200	4,200	0	51	97,349
合計(kg)	0	0	0	0	0	1,731	18,156	11,456	23,200	29,144	0	5,891	258,460

表2-13-4 拠点別特別管理一般廃棄物集計表(2017年度)

拠点 種別	NEAT福井										NEAT茨城							
	福井	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	も運研	大洗	NEAT茨城	福井	三春	富岡	本部	原研研(J- PARCを含む)	サイクル研	大洗	NEAT茨城
POB 使用部品 (1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等 (1号の2及び1号の3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん、 ダイオキシン類含 有物(燃え殻等) (2号~7号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性一般 廃棄物 (8号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点 種別	NEAT福井										NEAT茨城							
POB 使用部品 (1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃水銀等 (1号の2及び1号の3)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん、 ダイオキシン類含 有物(燃え殻等) (2号~7号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性一般 廃棄物 (8号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(kg)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表2-13-5 拠点別産業廃棄物集計表(2017年度)

種別	拠点	船延	むつ	榨葉	三春	富岡	本部	原料研 (J-PARC を含む)	サイクル 研	大洗	NEAT 茨城	NEAT 福井	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	も運研	人形	合計(kg)
	燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,620	0	0	0	5,620
	汚泥	2,440	53	0	10	0	0	3,873	487	110,351	0	0	0	0	60	0	6,410	0	1	235	123,920
	廃油	0	307	0	0	0	0	890	346	390	0	0	0	0	19	144	465	0	0	314	2,875
	廃酸	1	126	0	0	0	0	420	499	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	305	1,352
	廃アルカリ	0	7	0	0	0	0	210	20,107	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,840	0	24,164
	廃プラスチック	0	3,000	0	1,500	0	250	16,370	13,510	360	0	1,728	15,000	0	8,141	4,070	24,830	9,680	620	3,555	102,614
	紙くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木くず	0	0	0	0	0	0	10,550	2,590	1,170	0	0	0	0	0	2,550	200	4,780	660	600	23,100
	繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	金属くず	0	2,000	0	40	0	360	108,572	20	4,770	3,030	82	33,200	0	40	3,380	17,410	39,080	1,570	662	214,216
	ガラス及び 陶磁器くず	0	0	0	10	0	68	1,370	1,050	1,550	0	0	0	0	2	250	5,620	328	0	1,310	11,558
	紙さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	がれき類	0	0	0	0	0	0	1,420	3,950	16,380	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,750
	ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	1,502	0	0	0	0	194,467	13,440	0	0	0	700	180	0	0	0	0	3,330	0	213,619
	小計(kg)	2,441	6,995	0	1,560	0	678	338,142	55,999	134,971	3,030	1,810	48,900	180	8,262	10,394	60,555	53,868	10,023	6,981	744,788
再生 利用	金属類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計(kg)	2,441	6,995	0	1,560	0	678	338,142	55,999	134,971	3,030	1,810	48,900	180	8,262	10,394	60,555	53,868	10,023	6,981	744,788

表2-13-6 拠点別特別管理産業廃棄物集計表(2017年度)

種別	拠点	帳延	むつ	檜葉	三春	富岡	本部	原科研(J- PARCを含む)	サイクル研	大洗	NEAT茨城
産業 特定 廃棄 有害 物	廃油	0	0	0	20	0	0	400	221	1,490	0
	廃酸	0	0	0	400	0	0	1,673	422	3	0
	廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	84	19	0	0
	感染性	0	0	0	0	0	0	0	0	78	0
	廃PCB等	0	0	0	0	0	0	348	944	610	0
	廃石綿等	0	0	0	0	0	0	30	0	60	0
	廃水銀等	0	0	0	0	0	0	0	0	41	0
	廃PCB・廃石綿・ 廃水銀以外	0	0	0	0	0	0	101	14	5	0
	合計(kg)	0	0	0	420	0	0	2,636	1,620	2,287	0

種別	拠点	NEAT福井	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	も運研	人形	合計(kg)
産業 特定 廃棄 有害 物	廃油	0	0	0	0	0	0	0	316	0	2,447
	廃酸	0	0	0	410	0	0	4,200	0	0	7,108
	廃アルカリ	0	0	0	20	0	0	7,700	0	0	7,823
	感染性	0	0	0	0	0	120	18	0	29	245
	廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,902
	廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90
	廃水銀等	0	0	0	10	0	0	0	0	0	51
	廃PCB・廃石綿・ 廃水銀以外	0	0	0	50	0	0	0	0	0	170
	合計(kg)	0	0	0	490	0	120	11,918	316	29	19,836

表2-13-7 産業廃棄物区分別割合(2017年度)

	項目	排出量
特別管理 産業廃棄物	pHが12.5以上の廃アルカリ	7,823.00
	pH2.0以下の廃酸	7,108.00
	燃えやすい廃油	2,447.00
	特定有害産業廃棄物(廃PCB等)	1,902.00
	感染性産業廃棄物	245.00
	特定有害産業廃棄物 (廃石綿・廃水銀・廃PCB以外)	170.10
	特定有害産業廃棄物(廃石綿等)	90.00
	特定有害産業廃棄物(廃水銀等)	50.60
	合計(kg)	19,835.70

	項目	排出量
産業廃棄物 (再生利用を除く)	金属くず	214,216.00
	汚泥	123,919.98
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	102,614.00
	廃アルカリ	24,163.76
	木くず	23,100.00
	がれき類	21,750.00
	ガラス及び陶磁器くず	11,558.00
	燃えがら	5,620.00
	廃油	2,874.99
	廃酸	1,352.09
	その他	213,619.20
	合計(kg)	744,788.02

	項目	排出量
再生利用		0.00
	合計(kg)	0.00

表2-13-8 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の状況(2017年度)

拠点名	マニフェスト 交付の有無*1	産業廃棄物			特別管理産業廃棄物			合計*2(枚)
		年度内に 回収した 枚数	年度内に 未回収	小計	年度内に 回収した 枚数	年度内に 未回収	小計	
幌延	○	3	0	3	0	0	0	3 (0)
むつ	○	42	0	42	11	0	11	53 (0)
檜葉	×	0	0	0	0	0	0	0 (0)
三春	○	8	0	8	2	0	2	10 (0)
富岡	×	0	0	0	0	0	0	0 (0)
本部	○	6	0	6	0	0	0	6 (0)
原科研 (J-PARCを含む)	○	135	0	135	19	0	19	154 (0)
サイクル研	○	30	0	30	13	0	13	43 (0)
大洗	○	36	0	36	18	0	18	54 (0)
NEAT茨城	○	3	0	3	0	0	0	3 (0)
NEAT福井	○	1	0	1	0	0	0	1 (0)
東京	○	6	0	6	0	0	0	6 (0)
柏	○	1	0	1	0	0	0	1 (0)
東濃	○	17	0	17	8	0	8	25 (0)
敦賀	○	14	0	14	0	0	0	14 (0)
もんじゅ	○	35	0	35	0	0	0	35 (0)
ふげん	○	25	0	25	3	0	3	28 (0)
も運研	○	19	0	19	0	0	0	19 (0)
人形	○	16	0	16	2	0	2	18 (0)
合計(枚)		397	0	397	76	0	76	473 (0)

*1 有:○、無:× *2 ()内の数値は、同時に記入している枚数

表2-13-9 廃棄物増減の理由及び取組内容(2017年度)(1/2)

拠点名	一般廃棄物の増減理由、低減対策	産業廃棄物の増減理由、低減対策	調査項目の調査できない項目とその理由	備考
幌延	書類整理の為、雜誌類の処分が多くなってしまったため	-	-	-
むつ	可燃ごみは、書類整理等で破棄する書類等が増加した。 ・2018年3月に大熊センター施設管理棟運用開始に伴い、楢葉に駐在していた大熊センター所屬職員の移転が発生したため、書類等の整理を行った。 ・楢葉センター施設利用の大幅な増加に伴い、一般廃棄物が多く発生したこと。	2016年度は産業廃棄物の処分を行わなかったため増加した。	-	-
楢葉		-	-	-
三春	-	-	一般廃棄物については、清掃業者が一括して回収を行っているため排出量を把握するのは困難である。	-
富岡	2017年度より稼働のため2016年度は排出なし。	-	-	-
本部	-	低減理由:2016年度は新本部建屋への引越に伴い発生した不要什器類を処分したことにより、産業廃棄物量が増加した。2017年度は減少数値となる。 低減対策:処分にあたっては、モニファエイトによる適正な処分を実施	-	-
原科研 (J-PARCを含む)	個別項目として増減はあるが、平年並みの発生量となっている。	(1)2017年度の産廃発生量はNSRR等より発生した廃棄物により、2016年度に比べて約16%増加した。 (2)特別管理産業廃棄物については、大型実験機器に分析等で薬品を使用して廃棄したが、約15%削減削減できた。 低減対策 金属・パソコン等の回収の徹底により金属等を再資源化していき、廃プラスチック、金属くずの混合物の分別徹底を今後も継続していく。	-	-
サイクル研	-	(廃アルカリの増加)原水槽の廃液処分のため(環境センター福島部) (がれき類の増加)試験装置がれき撤去のため(環境センター基礎部) (廃POBの増加)高濃度PCB廃棄物(944kg)処分のため(所内各施設で発生した高濃度PCB廃棄物) (特定有害産業廃棄物の増加)試験等に使用した有害鉛(約10kg)処分のため(環境センター福島部)、試験等に使用した有害汚泥(約4kg)処分のため(環境センター基礎部)	-	-
大洗	-	-	-	-

表2-13-9 廃棄物増減の理由及び取組内容(2017年度)(2/2)

拠点名	一般廃棄物の増減理由、低減対策	産業廃棄物の増減理由、低減対策	調査項目の調査できない項目とその理由	備考
NEAT茨城	従業員が増加したため総量が増加した。	低減化の意識向上を図るための掲示を行う。	-	-
NEAT福井	-	増加した理由は、不要機器類の処分をまとめて行ったためであり、経常的に排出されるものではない。	-	-
東京	-	増加：入居先建物(富国生命ビル)のリニューアル工事に伴い、什器等を廃棄処分したため 低減対策：処分にあたっては、マニフェストによる適正な処分を実施	項目：一般廃棄物総量 理由：東京事務所が入居する富国生命ビルは、一括して一般廃棄物の収集・管理を行っているため、東京事務所のみの廃棄物量を算出することは不可能	-
柏	-	2016年度は組織の一部を原科研に移し居室の賃借スペースを縮小したことから不要となつた機器等の廃棄を行ったため、廃棄量が特段に多かった。2017年度は、大きなレイアウト変更等は無く、不要PC等を処分した。	-	一般廃棄物のうち、不燃物及び共有部分(廊下、エレベーターフロア、給湯室、トイレ)にて発生する可燃物はフェューチャーセンター推進機構が回収し一括処理を行っているため、回収量が把握できない。 原子力機構が清掃業者と清掃契約を結んで回収量を把握している可燃物については、その分量を記載している。
東濃	増加理由 古紙回収の増加(2,600kg→7,480kgで、4,880kg増)は、東濃鉱山倉庫の整理に伴う廃棄書類の発生によるもの。 低減対策 引き続き、再生利用可能な缶・ビン・ペットボトルの分別収集を推進する。	減少理由 2016年度は不要機器類等の処分をまとめて行ったため増加し、それがなかった2017年度は例年並みに減少したことによるもの。 低減対策 引き続き、スポット的な作業が無い限りは、リサイクルに努め、排出量を削減する。	-	-
敦賀	低減対策として、新聞、雑誌、段ボール等の分別回収を継続する。	新製品の廃止に伴う整理・処分及びレジャー研実験室内の整理・処分を行ったことから、排出量が2016年度と比べ増加している。	-	-
もんじゅ	会議等のペーパーレス化を徐々に図ってきているため、コピー用紙の削減が出来たと思われる。また、裏紙を使用するなど再利用化も所内で行っているため、削減できたと思われる。今後も定常化して低減に努められるよう徹底する。	廃止措置に伴い現場にて配管の撤去作業等が増加したため、産業廃棄物が増加した。2018年度以降も産業廃棄物は、引き続き発生すると考える。	-	-
ふげん	業務効率化の推進等により廃棄物も減少したと思われる。	放水口清掃、ディーゼル室換気設備(A系)解体の実施に伴い産業廃棄物発生量が増加した。また、薬品貯槽(硫酸・苛性ソーダ)開放点検の実施に伴い特別管理産業廃棄物発生量が増加した。	-	-
も運研	-	-	-	-
人形	不要物の分別処分が進んだため、廃棄物の発生量が2016年度より減少した。今後も、廃棄物の低減化に努める。	分別回収を行ったことにより金属類を有価物として処理したため、2016年度に比べ産業廃棄物の発生量が減少した。今後も分別、リサイクルを推進し、産業廃棄物の低減化に努める。	-	-

表2-14 有価物の払い出し量(2017年度)

拠点名	金属類		古紙	ペットボトル	プラスチック	その他	拠点合計(t)	
幌延	0		0	0	0	0	0	0
むつ	0		0	0	0	0	0	0
福島拠点	0		0	0	0	0	0	0
楢葉		0					0	0
富岡		0					0	0
本部	0		13.9	0	0	0	13.9	
原科研(J-PARCを含む)	288.16		95	0	0	0.1	383.26	
サイクル研	110.19		66.36	0.34	0.1	0	176.99	
大洗	170.876		52.337	0	0	0	223.213	
NEAT	0		0	0	0	0	0	
NEAT茨城		0					0	0
NEAT福井		0					0	0
東濃	11		0	0	0	0	11	
もんじゅ	0		0	0	0	0	0	
ふげん	43.05		0	0	0	0	43.05	
人形	33.34		9.3	0	0	0	42.64	
合計(t)	656.616		236.897	0.34	0.1	0.1	894.053	

表2-15 建設リサイクル集計表(2017年度)

拠点名	発生量 (kg)	処理依销量 (現場外搬出 量) (kg)	マニフェスト 処理件数 (件)	建設リサイクル品目と再生資源利用促進量(kg)						合計(kg)	主な件名		
				コンクリート塊		アスファルト・ コンクリート塊		その他					
				%	%	%	%	%	%				
むつ	8,603	8,603	31	90	0.01	0	0.00	0	0.00	7,883	0.60	7,973	大湊施設外周フェンス更新工事
大熊	5,585,923	5,585,923	380	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	27福島 分析・研究施設 施設管理棟他新築工事 28福島 分析・研究施設 第1棟他新築工事
原科研 (J-PARCを含む)	928,330	928,650	243	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	
サイクル研	765,352	765,352	136	130,030	9.90	125,140	90.82	0	0.00	0	0.00	255,170	「2LASWS外装改修工事」、「AS1屋上改修他工事」、「河川法に基づく真砂橋補修工事」、「南東地区 駐車場整備工事」
大洗	730,675	730,586	187	213,630	16.26	7,000	5.08	24,585	96.85	56,876	4.36	302,091	
東濃	1,286,010	1,286,010	156	70,780	5.39	2,000	1.45	800	3.15	1,188,750	91.05	1,262,330	27東濃 瑞浪超深地層研究所研究坑道掘削工事(A工区その7) 27東濃 瑞浪超深地層研究所研究坑道掘削工事(B工区その7) 東濃鉱山構内措置工事(2)
敦賀	11,149	11,149	10	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	29敦賀 技術実証試験・交流棟建築新築工事
もんじゅ	4,050	4,050	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0ボイラ建物新築工事
ふげん	16,880	16,880	8	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0水中タンク基礎工事
人形	955,072	955,072	144	899,260	68.45	3,650	2.65	0	0.00	52,162	4.00	955,072	(1)夜次養生たい積場排水路更新工事、(2)夜次鉱さいたい積場山腹排水路補修工事、(3)旧ヒーローリングトンネル施設排水路改修工事、(4)EEF北側コンクリート掘補強土のう設置工事、(5)濃縮工学施設増築棟建築解体工事、(6)車庫内車固固縛対策工事、(7)閉発試験棟南側舗装工事、(8)NO. 5、6サンドフィルター屋根更新工事
合計	10,291,844	10,292,076	1,296	1,313,790		137,790		25,385		1,305,671		2,782,636	

表2-16-1 放射性固体廃棄物(2017年度)(1/2)

単位:本(2000ドラム缶換算値)

拠点	再処理施設				原子炉施設				使用施設			
	年間発生量	年間減少量	年度末保管量	年間発生量	年間減少量	年度末保管量	政令第41条 該当施設		政令第41条 非該当施設			
							年間発生量	年間減少量	年間発生量	年間減少量		
むつ	1	2	1,087	1,982注1)	2	1,087						
原科研	1,982	2,198	128,575	1,982注1)	2,198注13)	128,575注2)		注3)	注4)	注3)	注4)	注4)
サイクル研			低レベル									
			141,244									
			189									
			高レベル									
			6,770									
	938	710					718注5)	540注5)	64,377注5)		注6)	注6)
			小計									
			148,014									
			205									
			83,319									
大洗北	636	14	32,631	0注7)	0注7)	1,478注7)	202注8)	0注8)	202注8)		注8)	注8)
大洗南				58注9)	39注9)	19注9)		194注10)	174注10)		注10)	注10)
大洗(小計)	636	14	32,631									
もんじゅ	313	7	6,865		313	6,865						
ふげん	521	12	19,362	521注11)	236注11)	19,362注11)						
人形	20	0	16,847					9	15,287	0	0	0
合計(本)	4,391	100	353,381	2,797	2,436	157,367	205	727	565	0	0	0

注1) 原子炉施設以外からの年間発生量を含む。
 注2) 原子炉施設以外から発生した廃棄物の保管量を含む。
 注3) 原子炉施設の年間発生量に含まれる。
 注4) 原子炉施設の年度末保管量に含まれる。
 注5) 政令第41条に該当しない核燃料物質使用施設から発生した廃棄物を含む。
 注6) 政令第41条該当施設の量に含まれる。
 注7) イオン交換樹脂の廃棄物の量。イオン交換樹脂以外は廃棄物管理施設へ全て引き渡している。
 注8) 廃棄物管理施設へ全て引き渡している。
 注9) 一時保管。北地区の廃棄物管理施設にて処理管理。
 注10) 北地区の廃棄物管理施設にて処理保管。
 注11) R施設から発生した廃棄物を含む。
 注12) 原子炉施設の量に含まれる。
 注13) 原子炉施設以外からの年間減少量を含む。
 注14) 原子炉施設の年間減少量に含まれる。

表2-16-1 放射性固体廃棄物(2017年度)(2/2)

単位:本(2000tラム換算値)

拠点	廃棄物管理施設			加工施設			R1施設			核原料施設		
	年間発生量	年間減少量	年度末保管量	年間発生量	年間減少量	年度末保管量	年間発生量	年間減少量	年度末保管量	年間発生量	年間減少量	年度末保管量
むつ												
原科研							注3)	注4)	注4)			
サイクル研							15	10	318			
大洗北	182	2	30,758						注8)			
大洗南									注10)			
大洗(小計)												
もんじゅ												
ふげん							12 注12)	0 注12)	1,684 注12)			
人形				11	2	631				0	0	929
合計(本)	182	2	30,758	11	2	631	15	10	318	0	0	929

注1) 原子炉施設以外からの年間発生量を含む。
 注2) 原子炉施設以外から発生した廃棄物の保管量を含む。
 注3) 原子炉施設の年間発生量に含まれる。
 注4) 原子炉施設の年度末保管量に含まれる。
 注5) 政令第41条に該当しない核燃料物質使用施設から発生した廃棄物を含む。
 注6) 政令第41条該当施設の量に含まれる。
 注7) イオン交換樹脂の廃棄物の量。イオン交換樹脂以外は廃棄物管理施設へ全て引き渡している。
 注8) 廃棄物管理施設へ全て引き渡している。
 注9) 一時保管。北地区の廃棄物管理施設にて処理管理。
 注10) 北地区の廃棄物管理施設にて処理保管。
 注11) R1施設から発生した廃棄物を含む。
 注12) 原子炉施設の量に含まれる。
 注13) 原子炉施設以外からの年間減少量を含む。
 注14) 原子炉施設の年間減少量に含まれる。

表2-16-2 放射性気体廃棄物の放出量(再処理施設以外)(2017年度)(1/2)

拠点名	施設名(国への報告の施設分類名)	トリウム(²³² Th)		放射性希ガス		ヨウ素 (¹³¹ I)		全粒子状物質		管理目標値に対する拡大比率(%)	備考
		年間放出量 (G Bq/年)	管理目標値 (G Bq/年)	比率(%)	年間放出量 (G Bq/年)	管理目標値 (G Bq/年)	比率(%)	年間放出量 (G Bq/年)	管理目標値 (G Bq/年)		
むつ	原子力第1号原子炉施設 (炉施設)	3.0E+03	-	-	-	-	-	-	-	-	全粒子状物質は濃度管理
	JRR-2 (炉施設)	-	2.4E+02	-	-	-	-	-	-	-	
	JRR-3 (炉施設)	-	7.4E+03	-	6.2E+04	-	-	-	-	-	
	JRR-3 (炉施設)	*	*	-	*	-	*	-	-	-	
	JRR-4 (炉施設)	-	-	-	9.0E+02	-	-	-	-	-	
	JRR-4 (炉施設)	*	-	-	*	-	-	-	-	-	
	NSRR (炉施設)	-	-	-	4.4E+04	-	4.8E+00	-	-	-	
	NSRR (炉施設)	*	-	-	*	-	-	-	-	-	
	TCA (炉施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	FCA (炉施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	FCA (炉施設)	*	-	-	*	-	-	-	-	-	
	STACY TRACY (炉施設)	-	-	-	8.1E+04	-	1.5E+01	-	-	-	
	フルトニウム研究1号機 (使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	再処理特別研究棟 (使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ホットラボ (使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	燃料試験施設 (使用施設)	-	-	-	2.7E+00	-	1.3E+01	-	-	-	
	廃棄物安全試験施設 (使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	バックエンド研究施設 (使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	放射性廃棄物処理棟(炉施設・使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第4研究棟	ND	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	
	再処理棟	ND	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	
	トリウムプロセス研究棟	1.0E+01	-	-	ND	-	-	-	-	-	
	FNS	4.3E+00	-	-	ND	-	-	-	-	-	
	J-PARC リニアック施設	ND	-	-	1.1E+02	-	-	-	-	-	放射性希ガス核種(Ar-41) 全粒子状物質核種(Ba-7)
	J-PARC 30GeVシンクロトロン施設	ND	-	-	4.3E+01	-	-	-	3.5E+04	-	放射性希ガス核種(Ar-41) 全粒子状物質核種(Hg-197)
	J-PARC 50GeVシンクロトロン施設	ND	-	-	1.0E+01	-	-	-	1.5E+03	-	放射性希ガス核種(Ar-41) 全粒子状物質核種(Hg-197)
	J-PARC 物質生命科学実験施設	1.0E+01	-	-	5.9E+02	-	-	-	1.0E+02	-	放射性希ガス核種(Ar-41) 全粒子状物質核種(Hg-197)
	J-PARC ハドロン実験施設	ND	-	-	1.0E+01	-	-	-	5.9E+05	-	放射性希ガス核種(Ar-41) 全粒子状物質核種(Hg-197)
	J-PARC ニュートリノ実験施設	2.9E+01	-	-	2.3E+01	-	-	-	5.4E+02	-	放射性希ガス核種(Ar-41) 全粒子状物質核種(Hg-197)
	拠点小計	6.7E+01	-	-	7.9E+02	-	-	-	7.9E+02	-	

表2-16-2 放射性気体廃棄物の放出量(再処理施設以外)(2017年度)(2/2)

拠点名	施設名(国への報告の施設分類名)	トリウム(²³² Th)		放射性希ガス		ヨウ素(¹³¹ I)		全粒子体物質		備考
		年間放出量 (G Bq/年)	比率(%)	年間放出量 (G Bq/年)	比率(%)	年間放出量 (G Bq/年)	比率(%)	年間放出量 (G Bq/年)	比率(%)	
サイ イ ク ル 研	高レベル放射性物質研究施設(使用施設)	1.6E+03	-	2.7E+03	-	1.3E+00	-	-	-	全粒子体物質、放射性希ガス以外は濃度管理
	プルトニウム取扱施設(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	濃度管理
	ウラン取扱施設(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	濃度管理
	拠点小計	-	-	-	-	-	-	-	-	
北 北 区	廃棄物管理施設	-	-	-	-	-	-	-	-	
	JMTR排気筒(炉施設)	-	-	1.3E+05	-	-	-	-	-	濃度管理である。原子炉分は原子炉以外の施設を、使用施設は使用以外の施設の放出量を含む。
	HTR排気筒(炉施設)	*	-	-	-	-	-	-	-	濃度管理である。原子炉分は原子炉以外の施設を、使用施設は使用以外の施設の放出量を含む。
	HTR排気筒(炉施設)	-	-	3.7E+04	-	3.2E+00	-	-	-	濃度管理である。原子炉分は原子炉以外の施設を、使用施設は使用以外の施設の放出量を含む。
	HTR排気筒(炉施設)	*	-	-	-	-	-	*	-	濃度管理である。原子炉分は原子炉以外の施設を、使用施設は使用以外の施設の放出量を含む。
	ホットラボ(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	濃度管理である。
	燃料研究棟(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	濃度管理である。
	重水同位体実験装置(DCA)(炉施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	高速実験炉排気筒(炉施設)	-	-	3.4E+04	-	-	-	-	-	
	ACF(使用施設)	-	-	3.1E+03	-	5.2E+02	-	-	-	
南 地 区	MMF(使用施設)	-	-	3.0E+01	-	5.8E+03	-	-	-	
	MMF-2(使用施設)	-	-	3.0E+03	-	5.8E+02	-	-	-	
	FMF排気筒(使用施設)	-	-	2.0E+04	-	6.9E+02	-	-	-	
	固体廃棄物前処理施設(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	廃棄物処理建屋(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	照射装置組立検査施設(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	照射装置組立検査施設(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	照射装置組立検査施設(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	照射装置組立検査施設(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	
	照射装置組立検査施設(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	
拠点小計	-	-	-	-	-	-	-	-		
もんじゅ	原子炉施設合計(炉施設)	1.3E+02	-	8.2E+04	-	1.5E+01	-	ND	-	放出放射能は濃度に排気量を乗じて求めている。
	主排気筒	1.8E+01	0.1286	ND	-	ND	-	ND	-	
	廃棄物処理建屋排気筒	ND	~0	ND	-	ND	-	ND	-	
	原子炉施設合計(炉施設)	1.8E+01	0.1286	ND	-	ND	-	6.0E+00	-	
	重水精製装置排気筒(内施設)	6.8E+00	1.2593	ND	-	ND	-	ND	-	
拠点小計	2.5E+01	-	ND	-	ND	-	ND	-		
人 形	ウラン濃縮原形プラント(加工施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	規制委員会からの報告書は「J」のみ記載。トリチウムや希ガスのデータなし。濃度管理である。
	製錬施設施設 ウラン濃縮原形プラント(DOP-2)(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	規制委員会からの報告書は「J」のみ記載。トリチウムや希ガスのデータなし。濃度管理である。
	製錬施設施設 製錬施設施設	-	-	-	-	-	-	-	-	規制委員会からの報告書は「J」のみ記載。トリチウムや希ガスのデータなし。濃度管理である。

*: 一つの施設で炉施設と使用施設の両方の許可を取得している場合の使用施設の値(国への報告値)は炉施設の値(国への報告値)と同じ。
ND: 対象値は検出されなかった。

表2-16-3 放射性気体廃棄物の放出量(再処理施設)(2017年度)

放射性物質の種類	年間放出管理目標値 (GBq/年)	放出量 (GBq/年)	管理目標値に対する 放出量の比率(%)
クリプトン-85 (⁸⁵ Kr)	8.9E+07	ND	~0
トリチウム (³ H)	5.6E+05	2.0E+02	0.0357
炭素-14 (¹⁴ C)	5.1E+03	1.9E+01	0.3725
ヨウ素-131 (¹³¹ I)	1.6E+01	ND	~0
ヨウ素-129 (¹²⁹ I)	1.7E+00	ND	~0
全粒子状物質	全α	2.8E-05	
	全βγ	ND	

ND : 放出放射能濃度が検出限界未満

※再処理施設の全粒子物質の放出管理目標値は濃度管理目標値であり、総量ではない。

表2-16-4 放射性液体廃棄物の放出量(再処理施設以外)(2017年度)

拠点名	施設名	トリウム (G Bq/年)	年間放出管理 基準または目標値 (GBq/年)	年間放出管理基準 または目標値に対する比率 (%)	トリウム以外の 核種総量 (GBq/年)	年間放出管理 基準または目標値 (GBq/年)	年間放出管理基準 または目標値に対する比率 (%)	備考
むつ	原子炉施設	-	-	-	-	-	-	放出実績なし。
原科研	原子炉施設	3.4E+01	/	/	2.3E-02	-	-	原子炉施設以外の施設の放出量を含む。
	核燃料使用施設	2.1E+02	2.5E+04	0.84	2.1E-01	1.8E+01	1.167	使用施設以外の施設の放出量を含む。 東電福島第一原発事故の影響を含む。
サイクル研	核燃料使用施設	-	1.9E+00	-	9.1E-05	2.1E+00	0.004	トリウムは濃度管理 41条非該当施設分も含む。
大洗 (北地区)	廃棄物管理施設	7.2E-01	3.7E+03	0.019	-	-	-	トリウム以外は濃度管理
	原子炉施設 (HTTRのみ。他は廃棄物管理施設へ)	2.0E-03	-	-	-	-	-	トリウム以外は濃度管理
	核燃料使用施設	7.2E-01	3.7E+03	0.019	-	2.2E+00	-	トリウム以外は濃度管理
大洗 (南地区)	原子炉施設、核燃料使用施設 [常陽]は、北地区へ移送 その他はなし。	/	/	/	-	3.7E-01	-	一般排水として北地区へ移送した。濃度管理
もんじゅ	原子炉施設	2.1E-02	9.2E+03	0.0002	ND	5.5E+00	~0	濃度に排水量を乗じて求めている。
ふげん	原子炉施設	6.7E+01	8.5E+03	0.788	ND	2.8E-01	~0	濃度に排水量を乗じて求めている。
	重水精製施設	2.3E-01	1.3E+03	0.0177	-	-	-	

ND : 検出限界未満

表2-16-5 放射性液体廃棄物の放出量(再処理施設)(2017年度)

放射性物質の種類	年間放出管理目標値 (GBq/年)	年間放出量 (GBq/年)	年間放出管理目標値に対する比率 (%)
全α放射能	4.1E+00	ND	~0
全β放射能 (³Hを除く)	9.6E+02	ND	~0
ストロンチウム-89 (⁸⁹ Sr)	1.6E+01	ND	~0
ストロンチウム-90 (⁹⁰ Sr)	3.2E+01	ND	~0
ジルコニウム-95-ニオブ-95 (⁹⁵ Zr- ⁹⁵ NB)	4.1E+01	ND	~0
ルテニウム-103 (¹⁰³ Ru)	6.4E+01	ND	~0
ルテニウム-106-ロジウム-106 (¹⁰⁶ Ru- ¹⁰⁶ Rh)	5.1E+02	ND	~0
セシウム-134 (¹³⁴ Cs)	6.0E+01	ND	~0
セシウム-137 (¹³⁷ Cs)	5.5E+01	ND	~0
セリウム-141 (¹⁴¹ Ce)	5.9E+00	ND	~0
セリウム-144-プラセオジム-144 (¹⁴⁴ Ce- ¹⁴⁴ Pr)	1.2E+02	ND	~0
トリチウム (³H)	1.9E+06	4.3E+02	0.0226
ヨウ素-129 (¹²⁹ I)	2.7E+01	ND	~0
ヨウ素-131 (¹³¹ I)	1.2E+02	ND	~0
プルトニウム (Pu(α))	2.3E+00	ND	~0

ND：対象核種は検出されなかった。

表2-17-1 騒音規制法に基づく測定(2017年度)

拠点名	測定場所 (複数あれば箇所ごとに記載)	特定施設 ^{※1}	測定時間帯 ^{※2}	規制基準 (dB)	実測値 (敷地境界線の 最大値) (dB)	規制区域	法令根拠等
NEAT茨城	騒音発生源から居住までの 直線状の敷地境界線を測定	空気圧縮機 及び送風機	朝～夜間 (8:00～18:00)	65	43.1	第3種区域	茨城県生活環境の 保全に関する条例
					45.8		
東濃	瑞浪超深地層研究所敷地境界(南)	コンクリートプラント (特定建設作業)	(8:00～翌8:00)	85	67	第2種区域	—
もんじゅ	敷地境界	空気圧縮機 及び送風機	朝	55	52	その他の区域	福井県公害防止条例
			昼(8:00～19:00)	60	51		
			夕	55	52		
			夜間	55	52		
ふげん	敷地境界	空気圧縮機 及び送風機	朝(6:00～8:00)	55	52	その他の区域	福井県公害防止条例
			昼(8:00～19:00)	60	52		
			夕(19:00～22:00)	55	47		
			夜間(22:00～6:00)	55	46		

※1 騒音規制法施行令第1条(特設施設)により、原動機の定格出力が7.5kW以上のものが該当する。

※2 朝・昼・夕方・夜間によって規制基準がそれぞれ異なる。

表2-17-2 振動規制法に基づく測定(2017年度)

視点名	測定場所 (複数あれば箇所ごとに記載)	特定施設の種類 ※1	測定時間帯	規制基準 (dB)	実測値 (敷地境界線の 最大値) (dB)	規制区域 ※2	法令根拠等
東濃	瑞浪超深地層研究所敷地境界(南)	該当なし	昼間	75	27	※3	振動規制法岐阜県公害防止条例
			夜間	45	18		
もんじゅ	港岸壁南端	空気圧縮機 及び送風機	昼間	65	<30	※4	振動規制法
			夜間	60	<30		

※1 振動規制法施行令第1条(特定施設)により、原動機の定格出力が7.5kW以上のものが該当する。
 ※2 第1種区域:特に静謐の保持を必要とされる区域及び住居の用に供されているため静謐の保持を必要とする区域
 第2種区域:住居、商業・工業の用に供されている区域
 ※3 指定区域に該当せず規制対象外(「第1種区域」の値を自主管理基準としている。)
 ※4 指定区域に該当せず規制対象外(「第2種区域」の値を自主管理基準としている。)
 注1) 振動規制法に係る特定施設については、政令で定める施設としては、1.金属加工機械、2.空気圧縮機及び送風機、3.土石用又は鉱物用の破砕機・磨砕機ふるい及びび分級機、4.織機、5.コンクリートブロックマシン・コンクリート管製造機械・コンクリート柱製造機械、6.木材加工機械、7.印刷機械、8.ゴム精錬用または合成樹脂用のローラー機、9.合成樹脂用射出成型機、10.鋳造型機

表2-18 環境データ拠点別比較 (1/5)

2017 年度データ

拠点等	①幌延	②むつ	③福島拠点	④本部	⑤原科研	⑥サイクル研	⑦大洗	⑧NEAT
従業員等概数 ^{*1} (人)	60	80	260	310	2,200	1,880	1,070	70
延床面積概数 (m ²)	6,400	17,800	22,400	14,700	323,800	395,400	214,300	5,200
総エネルギー投入量 (TJ)	6.8	20	19	11	2,900	1,400	640	7.1
水資源投入量 (万m ³)	0.21	1.3	0.45	0.35	140	30	28	0.61
コピー用紙投入量 (t)	1.1	5.1	7.8	16	45	41	32	1.1
総温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	450	5,400	920	470	160,000	78,000	33,000	320
総廃棄物発生量(t)	7.4	20	8.4	6.3	410	81	170	16

拠点等	⑨東京地区	⑩東濃	⑪敦賀	⑫もんじゅ	⑬ふげん	⑭も運研	⑮関西播磨	⑯人形	計
従業員等概数 ^{*1} (人)	160	130	110	530	180	120	30	270	7,460
延床面積概数 (m ²)	—	6,500	3,600	104,700	42,800	9,600	1,100	71,000	1,240,000
総エネルギー投入量 (TJ)	2.7	14	6.1	800	240	18	3.2	130	6,200
水資源投入量 (万m ³)	— ^{*2}	0.33	0.18	5.3	9.7	0.29	— ^{*2}	2.9	220
コピー用紙投入量 (t)	7.4	1.6	5.8	29	6.8	3.4	0.44	6.7	210
総温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	130	590	470	54,000	16,000	1,200	170	9,200	360,000
総廃棄物発生量 (t)	51	27	22	84	95	10	— ^{*2}	13	1,000

*1: 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を示す。

*2: データなし。

表2-18 環境データ拠点別比較 (2/5)

(参考) 2016 年度データ

拠点等	① 岬延	② むつ	③ 福島拠点	④ 本部	⑤ 原科研	⑥ サイクル研	⑦ 大洗	⑧ NEAT
従業員等概数 ^{*1} (人)	60	80	250	340	2,180	1,800	1,190	60
延床面積概数 (m ²)	6,400	17,800	14,700	15,000	319,100	394,600	214,300	5,200
総エネルギー投入量(TJ)	6.3	20	13	12	2,700	1,500	660	7.5
水資源投入量(万m ³)	0.2	0.93	0.29	0.33	140	29	20	0.22
コピー用紙投入量(t)	1.3	6.4	6.9	17	45	38	29	0.82
総温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	430	1,000	730	570	160,000	81,000	35,000	410
総廃棄物発生量(t)	6.4	13	6.5	15	280	60	230	11

拠点等	⑨ 東京地区	⑩ 東濃	⑪ 敦賀	⑫ もんじゅ	⑬ ふげん	⑭ も運研	⑮ 関西播磨	⑯ 人形	計
従業員等概数 ^{*1} (人)	170	130	120	560	190	120	30	290	7,550
延床面積概数 (m ²)	—	7,300	3,600	104,700	52,500	9,600	1,000	71,000	1,237,500
総エネルギー投入量(TJ)	3.3	15	6	790	230	14	2.5	140	6,100
水資源投入量(万m ³)	— ^{*2}	0.36	0.15	5.2	7.6	0.22	— ^{*2}	2.9	200
コピー用紙投入量(t)	6.9	1.8	5.4	30	6	3	1.3	7.3	200
総温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	160	720	380	51,000	15,000	990	130	11,000	360,000
総廃棄物発生量(t)	14	48	14	62	32	13	— ^{*2}	21	830

*1: 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を表す。

*2: データなし。

表2-18 環境データ拠点別比較 (3/5)

(参考) 2015 年度データ

拠点等	①梶延	②青森	③福島	④本部	⑤原科研	⑥サイクル研	⑦大洗	⑧那珂	⑨NEAT
従業員等概数*(人)	70	190	260	320	2,160	2,000	1,190	440	50
延床面積概数(m ²)	6,400	30,500	15,000	15,000	319,400	398,400	214,300	100,900	5,200
総エネルギー投入量(TJ)	6.2	230	5.8	11	2,700	1,400	680	390	6.8
水資源投入量(万m ³)	0.2	1.5	0.16	0.37	140	28	27	5	0.2
コピー用紙投入量(t)	1.3	6.3	7.7	17	45	39	30	8.8	0.95
総温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	430	14,000	330	470	160,000	80,000	35,000	21,000	380
総廃棄物発生量(t)	8.5	22	2.7	37	310	68	210	230	9.9

拠点等	⑩高崎	⑪東京地区	⑫東濃	⑬敦賀	⑭もんじゅ	⑮ふげん	⑯も運研	⑰関西研	⑱人形	計
従業員等概数*(人)	220	190	140	120	550	180	140	200	280	8,740
延床面積概数(m ²)	48,800	-	7,300	3,600	104,700	52,500	9,600	26,600	71,000	1,429,800
総エネルギー投入量(TJ)	150	3.8	14	6.6	810	240	15	80	160	6,900
水資源投入量(万m ³)	6.7	-*2	0.38	0.47	5.3	7.7	0.28	1	3.2	230
コピー用紙投入量(t)	3.1	7.6	2.3	5.5	34	5.2	4.1	3.5	7.1	230
総温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	9,100	190	720	430	55,000	16,000	940	4,500	11,000	410,000
総廃棄物発生量(t)	74	3.9	55	14	78	44	11	67	58	1,300

*1: 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を表す。

*2: 東京はビルオーナー側で管理、相模駅前サテライトに移転後は水道データは共益費に含まれるためデータなし。

表2-18 環境データ拠点別比較 (4/5)

(参考) 2014 年度データ

拠点等	①幌延	②青森	③福島	④本部	⑤原科研	⑥サイクル研	⑦大洗	⑧那珂	⑨NEAT
従業員等概数 ^{*1} (人)	70	200	110	240	2,260	1,980	1,180	480	50
延床面積概数 (m ²)	6,400	27,600	1,700	5,600	316,400	401,400	214,300	100,900	5,200
総エネルギー投入量 (TJ)	5.7	220	2	7.8	2,600	1,500	690	300	6.6
水資源投入量 (万m ³)	0.19	1.7	0.027 ^{*2}	0.28	140	29	37	4.2	0.28
コピー用紙投入量 (t)	1.6	6.5	2.2	12	53	47	32	12	1.3
総温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	390	13,000	120	430	160,000	85,000	38,000	17,000	380
総廃棄物発生量 (t)	9.5	17	1.1	18	230	120	170	120	10

拠点等	⑩高崎	⑪東京地区	⑫東濃	⑬敦賀	⑭もんじゅ	⑮ふげん	⑯もろせ研 (旧国際セ)	⑰関西研	⑱人形	計
従業員等概数 ^{*1} (人)	240	250	140	120	600	200	110	200	280	8,690
延床面積概数 (m ²)	48,800	-	7,300	3,600	104,700	52,500	9,600	26,600	71,000	1,404,500
総エネルギー投入量 (TJ)	140	4.1	15	7.4	810	250	14	85	150	6,800
水資源投入量 (万m ³)	7.7	0.011 ^{*3}	0.44	0.31	5.4	8.5	0.31	1	2.7	240
コピー用紙投入量 (t)	3.6	11	2.5	6.1	35	6	4.6	3.5	7.5	250
総温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	15,000	220	780	460	53,000	16,000	870	4,600	11,000	420,000
総廃棄物発生量 (t)	99	7.9	96	22	75	40	10	49	15	1,100

*1: 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を表す。

*2: 笹木野分析所のみの水資源投入量。

*3: 柏のみの数値であり、東京はビルオーナー側で管理している。

表2-18 環境データ拠点別比較 (5/5)

(参考) 2013 年度データ

拠点等	①梶延	②青森	③福島	④本部	⑤原科研	⑥サイクル研	⑦大洗	⑧那珂	⑨NEAT
従業員等概数*(人)	80	190	120	260	2,210	2,010	1,220	470	40
延床面積概数 (m ²)	6,400	27,600	1,300	5,600	315,900	404,300	214,300	98,200	5,200
総エネルギー投入量 (TJ)	6.4	210	2.1	9.2	2,100	1,500	710	320	7.2
水資源投入量 (万m ³)	0.2	1.9	0.016**2	0.33	130	29	39	4.4	0.33
コピー用紙投入量 (t)	1.5	4.6	3.8	13	54	44	30	12	0.83
総温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	450	13,000	120	490	130,000	85,000	39,000	18,000	410
総廃棄物発生量 (t)	10	19	0*3	33	320	130	270	110	14

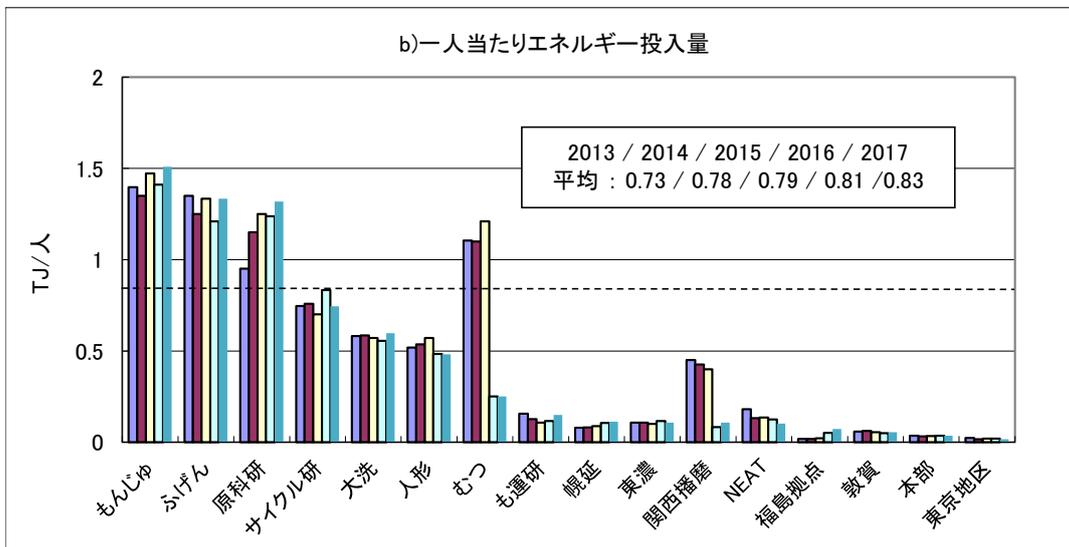
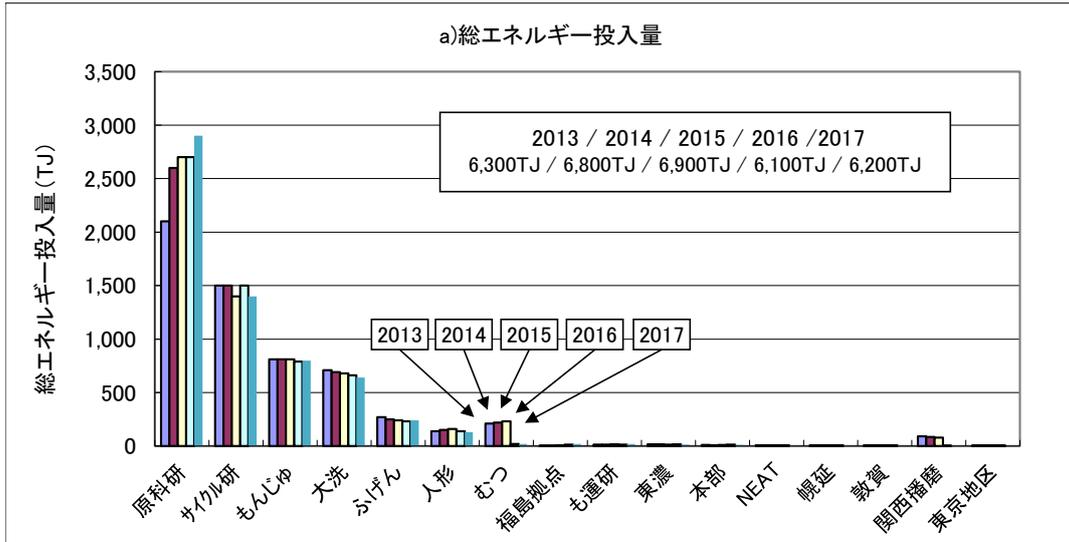
拠点等	⑩高崎	⑪東京地区	⑫東濃	⑬敦賀	⑭もんじゅ	⑮ふげん	⑯国際七	⑰関西研	⑱人形	計
従業員等概数*(人)	230	180	150	140	580	200	90	200	270	8,630
延床面積概数 (m ²)	43,200	-	7,300	3,600	104,700	52,700	8,400	26,600	71,000	1,397,200
総エネルギー投入量 (TJ)	150	4.2	16	8.2	810	270	14	90	140	6,300
水資源投入量 (万m ³)	7.9	0.021**4	0.71	0.24	6.7	9.1	0.22	1.3	2.5	230
コピー用紙投入量 (t)	3.7	11	2.7	8.6	33	6.2	2.3	3.7	7.5	240
総温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	9,100	220	1,700	530	56,000	19,000	910	4,800	11,000	390,000
総廃棄物発生量 (t)	120	6.5	89	26	82	53	8.8	59	12	1,400

*1: 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を表す。

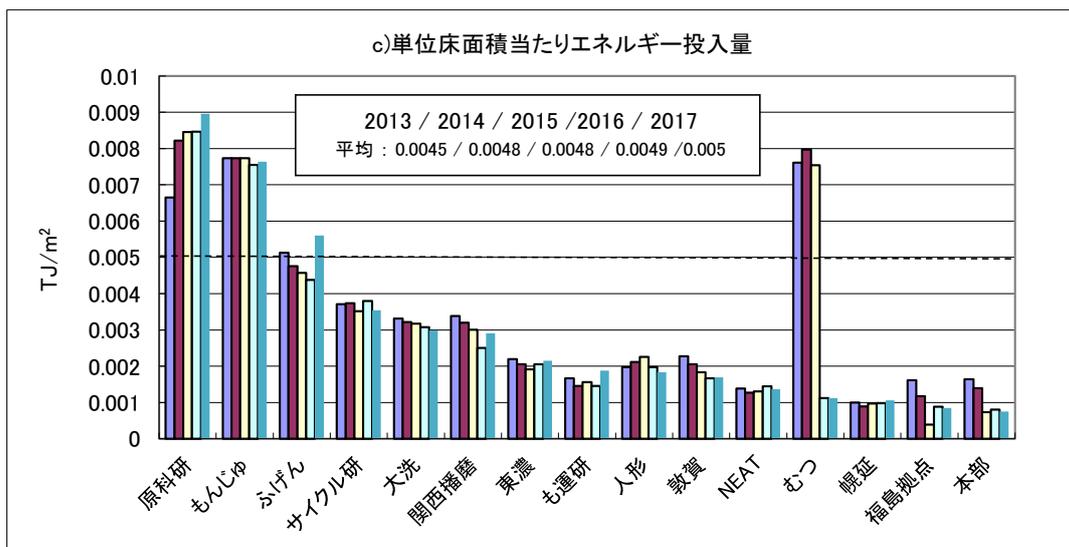
*2: 笹野分析所のみ水資源投入量。

*3: ビルオーナー側で管理している。

*4: 柏のみの数値であり、東京はビルオーナー側で管理している。

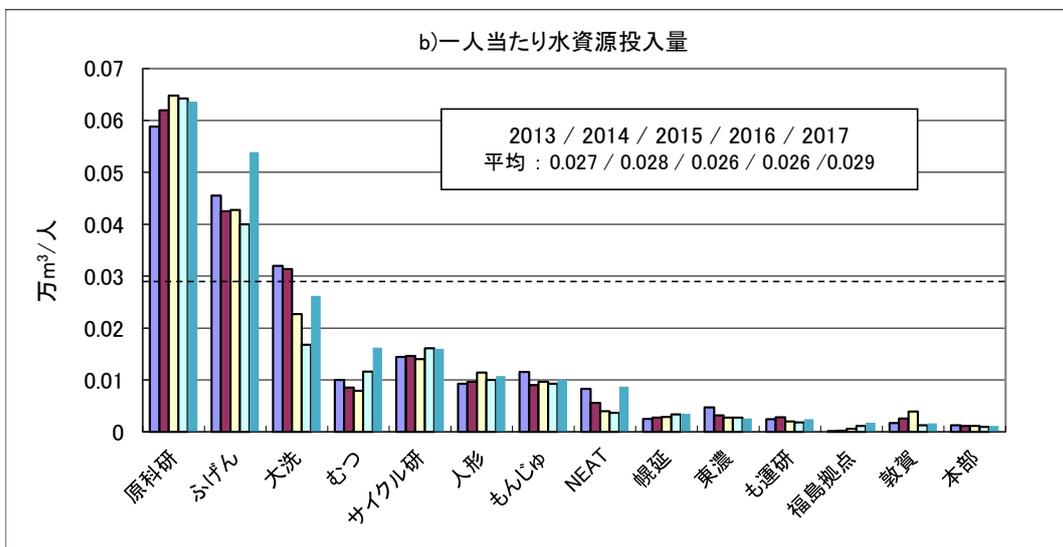
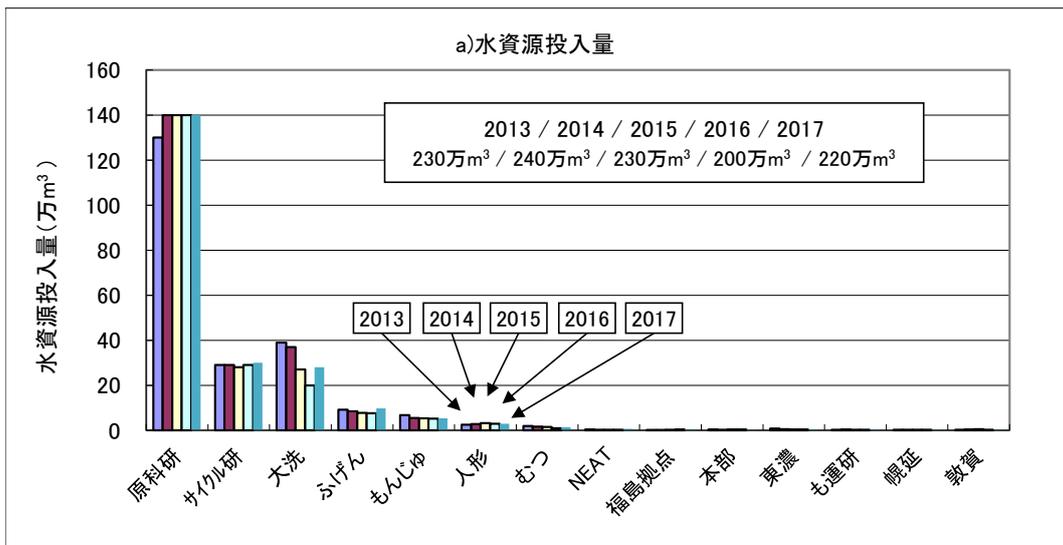


注) 図中の点線 = (2017年度の原子力機構の総エネルギー投入量) / (2017年度の原子力機構の総従業員数)

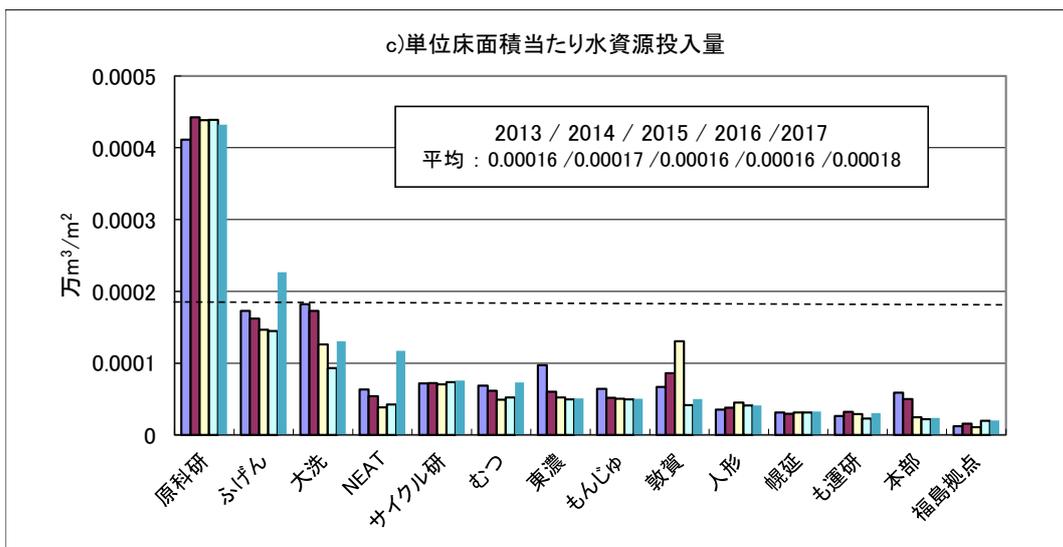


注) 図中の点線 = (2017年度の原子力機構の総エネルギー投入量) / (2017年度の原子力機構の総床面積)

図2-1 総エネルギー投入量の拠点別比較(2017年度)

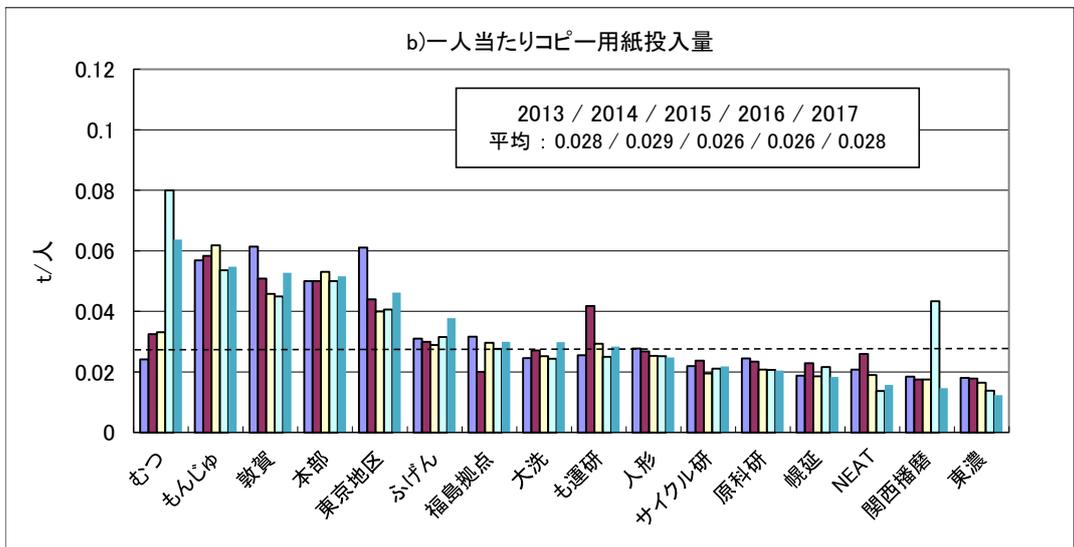
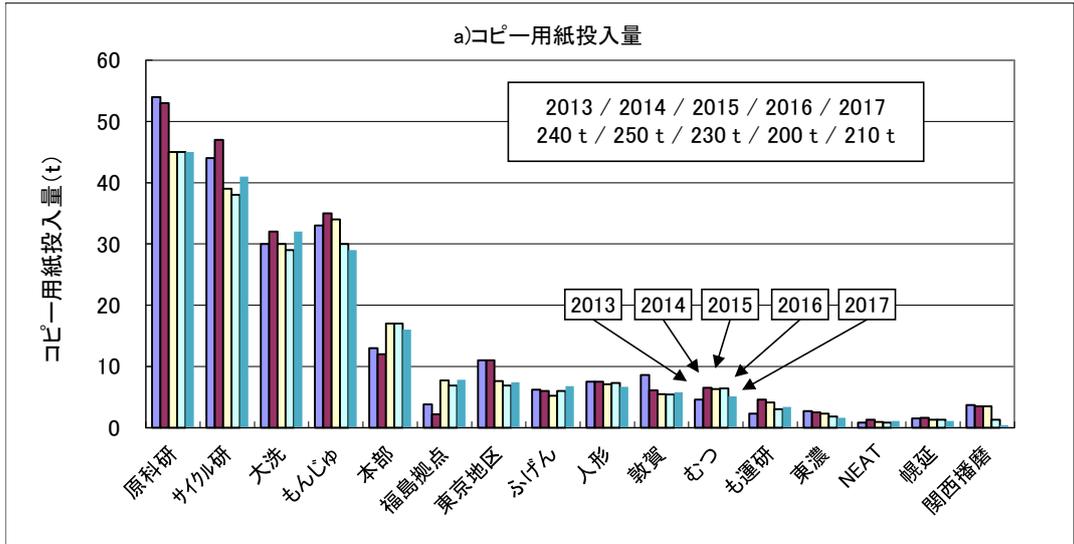


注) 図中の点線 = (2017年度の原子力機構の水資源投入量) / (2017年度の原子力機構の総従業員数)

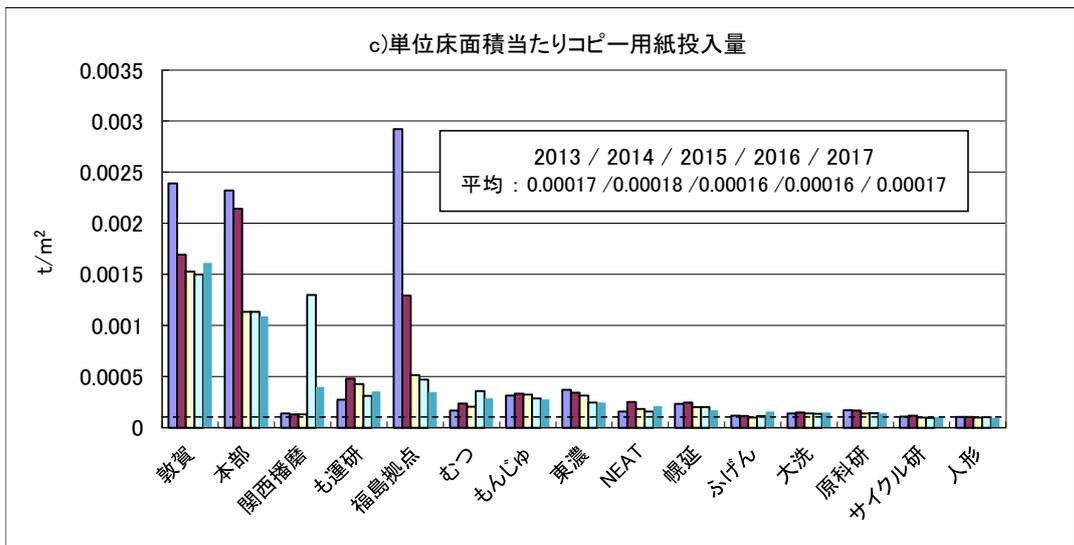


注) 図中の点線 = (2017年度の原子力機構の水資源投入量) / (2017年度の原子力機構の総床面積)

図2-2 水資源投入量の拠点別比較(2017年度)

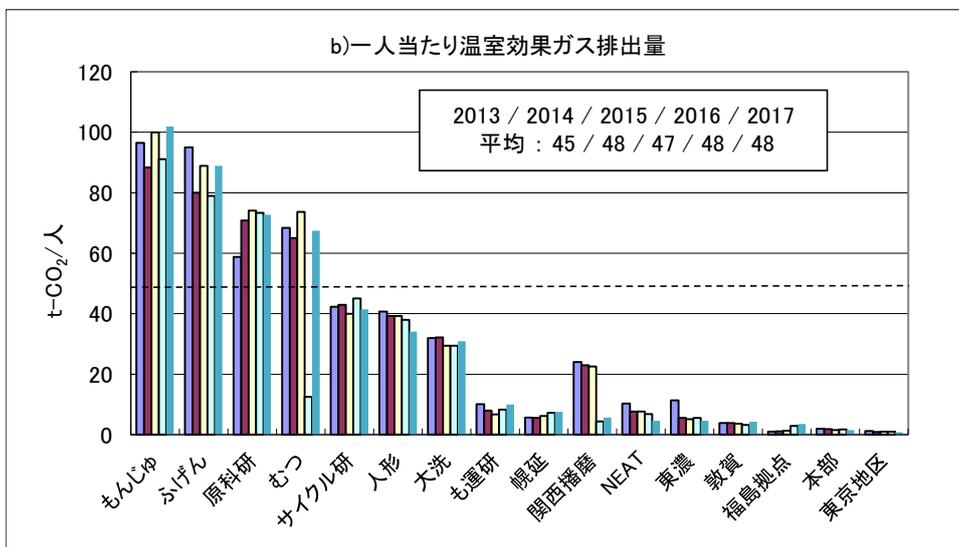
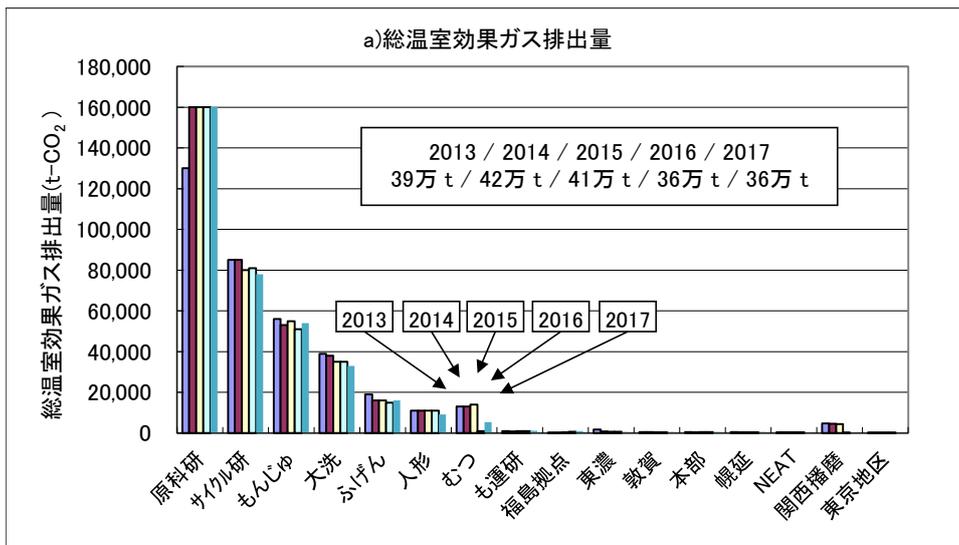


注) 図中の点線 = (2017年度の原子力機構のコピー用紙投入量) / (2017年度の原子力機構の総従業員数)

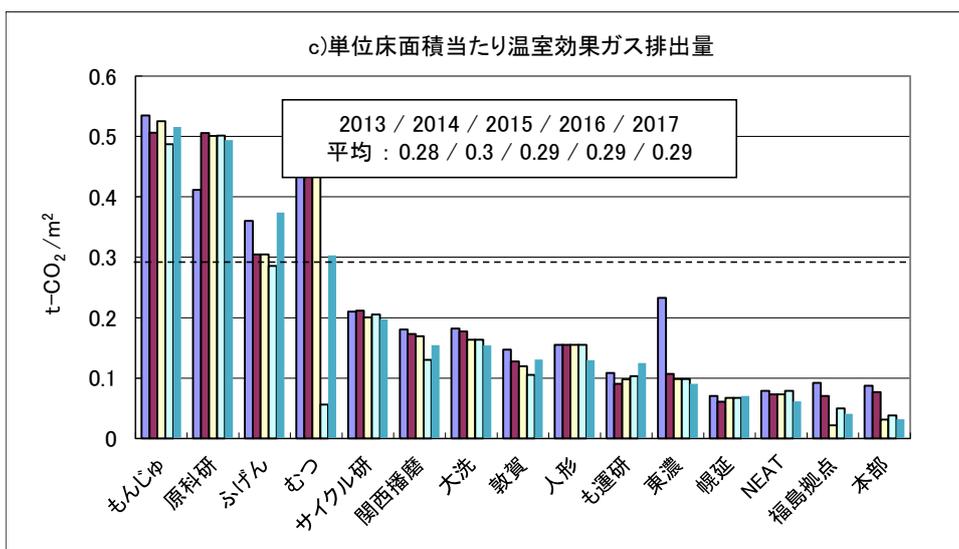


注) 図中の点線 = (2017年度の原子力機構のコピー用紙投入量) / (2017年度の原子力機構の総床面積)

図2-3 コピー用紙投入量の拠点別比較(2017年度)

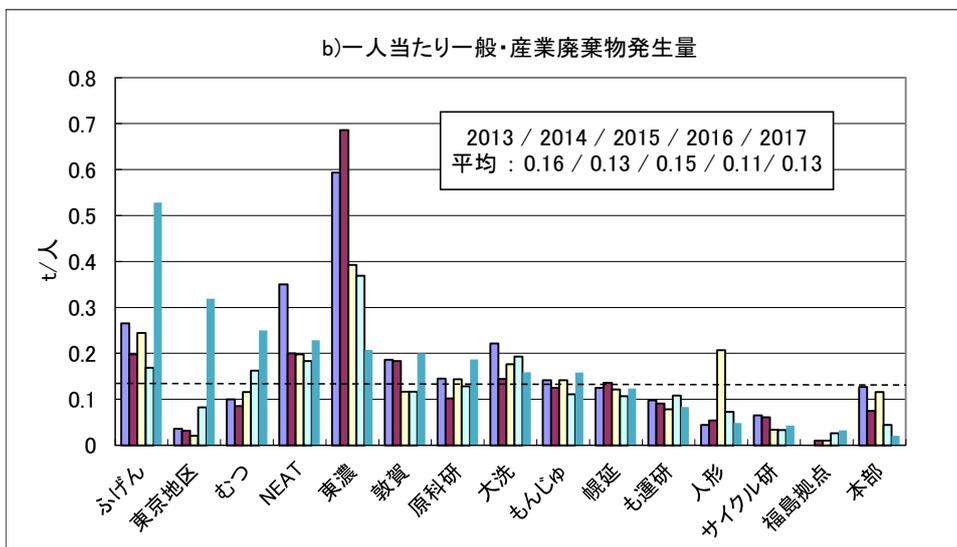
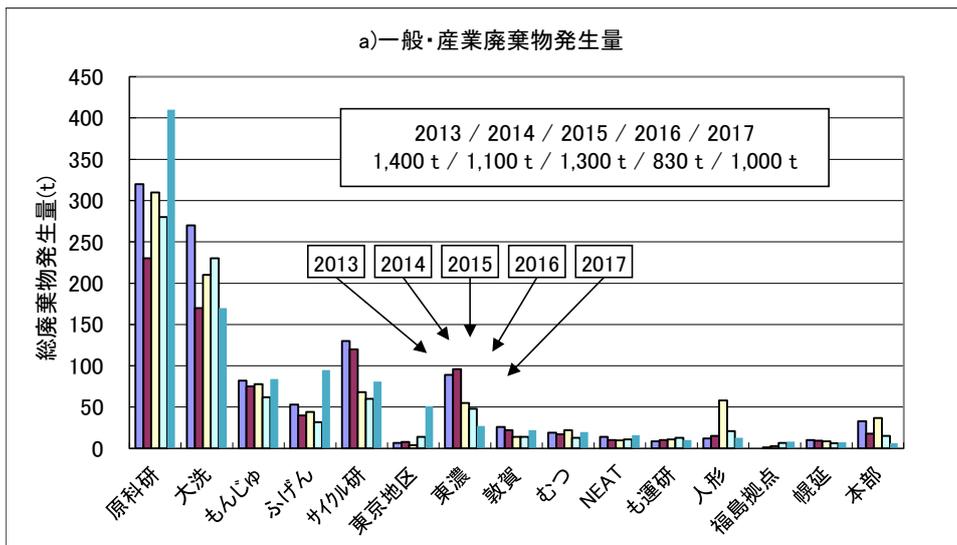


注) 図中の点線 = (2017年度の原子力機構の総温室効果ガス排出量) / (2017年度の原子力機構の総従業員数)

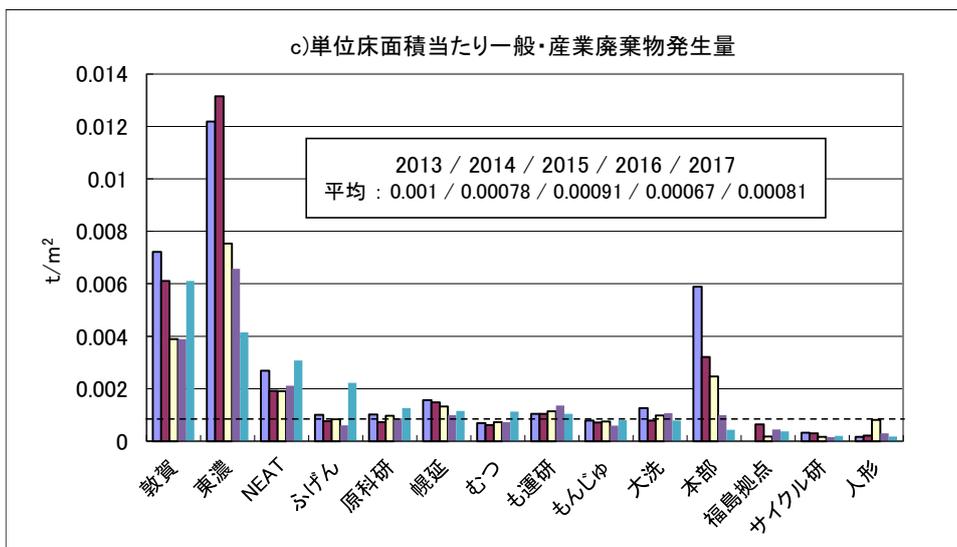


注) 図中の点線 = (2017年度の原子力機構の総温室効果ガス排出量) / (2017年度の原子力機構の総床面積)

図2-4 総温室効果ガス排出量の拠点別比較(2017年度)



注) 図中の点線 = (2017年度の原子力機構の一般・産業廃棄物発生量) / (2017年度の原子力機構の総従業員数)



注) 図中の点線 = (2017年度の原子力機構の一般・産業廃棄物発生量) / (2017年度の原子力機構の総床面積)

図2-5 一般・産業廃棄物発生量の拠点別比較(2017年度)

3. 電気事業者別のCO₂排出係数(2016年度実績)(2017年12月21日環境省公表)(1/5)

2018年7月13日一部追加・修正(下線部は追加・修正箇所)

【小売電気事業者】

登録番号	電気事業者名	基準排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	備考	各事業者の 調整率(%)	把握できなかった理由
A0001	(株)F-Power	0.000476	0.000467		100.00	
A0002	イーレックス(株)	0.000501	0.000679		99.99	前年度実績排出係数を持たない新規参入事業者からの受電のため。
A0003	リエスパワー(株)	0.000538	0.000000		100.00	
A0004	イーレックス・スパーク・マーケティング(株)	0.000583	0.000547	排出係数更新	100.00	
A0005	イーレックス・スパーク・エリアマーケティング(株)	0.000525	0.000489	排出係数更新	100.00	
A0007	(株)SEウイングス	0.000454	0.000419		100.00	
A0008	(株)イーセル	0.000577	0.000592		100.00	
A0009	(株)エネット	0.000405	メニューA 0.000000 メニューB 0.000350 メニューC(発表) 0.000441 メニューD(発表) 0.000441 <small>(参考値) 事業者全体</small>	メニュー別追加 注	99.74	前年度実績排出係数を持たない新規参入事業者からの受電のため。
A0011	須賀川瓦斯(株)	0.000377	0.000466		100.00	
A0012	昭和シェル石油(株)	0.000302	0.000459		100.00	
A0013	(株)ケイ・オブティコム	0.000590	0.000544		100.00	
A0014	エネサーブ(株)	0.000493	0.000500		100.00	
A0015	(株)サイサン	0.000494	0.000494		100.00	
A0016	ミツウロコグリーンエネルギー(株)	0.000419	メニューA 0.000440 メニューB 0.000000 <small>(参考値) 事業者全体</small>	メニュー別追加 注	100.00	
A0018	ネクストパワーやまと(株)	0.000471	0.000542	排出係数更新	100.00	
A0019	日本テック(株)	0.000401	0.000447		100.00	
A0020	中央電力エナジー(株)	0.000536	0.000504		100.00	
A0021	(株)Loop	0.000503	メニューA 0.000000 メニューB 0.000349 <small>(参考値) 事業者全体</small>	メニュー別追加 注	100.00	
A0023	(株)ナフエナジー	0.000544	0.000552		100.00	
A0024	静岡ガス&パワー(株)	0.000497	0.000462	排出係数更新	100.00	
A0025	住原環境プラント(株)	0.000081	メニューA 0.000000 メニューB 0.000266 メニューC 0.000321 メニューD 0.000328 メニューE 0.000352 メニューF 0.000373 メニューG 0.000395 メニューH 0.000476 メニューI(発表) 0.000456 <small>(参考値) 事業者全体</small>	メニュー別追加 注	100.00	
A0026	東京エコサービス(株)	0.000050	0.000117		100.00	
A0027	ダイヤモンドパワー(株)	0.000487	0.000547		100.00	
A0028	出光グリーンパワー(株)	0.000158	0.000581		100.00	
A0029	プレミアムグリーンパワー(株)	0.000040	0.000000		100.00	
A0031	(株)新出光	0.000518	0.000459		100.00	
A0032	中央セントラルガス(株)	0.000330	0.000294	排出係数更新	100.00	
A0033	にちほくラウド電力(株)	0.000514	0.000560		100.00	
A0034	(一財)泉佐野電力	0.000461	0.000475		100.00	
A0035	総合エネルギー(株)	0.000743	0.000707		100.00	
A0036	(株)グリーンサークル	0.000023	0.000547	排出係数更新	100.00	
A0037	(株)ウエスト電力	0.000489	0.000539		100.00	
A0039	北海道瓦斯(株)	0.000628	0.000753		100.00	
A0042	新エネルギー開発(株)	0.000523	0.000517	排出係数更新	100.00	
A0043	伊藤忠エネクス(株)	0.000570	メニューA 0.000200 <small>(参考値) 事業者全体</small>	メニュー別追加 注	100.00	
A0045	(株)V-power	0.000464	0.000524		100.00	
A0046	大和エネルギー(株)	0.000381	0.000345		100.00	
A0048	大阪瓦斯(株)	0.000394	0.000385		100.00	
A0049	エフビットコミュニケーションズ(株)	0.000562	0.000548	排出係数更新	99.33	バランスンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0050	JXエネルギー(株)	0.000491	0.000459		100.00	
A0051	真庭バイオエネルギー(株)	0.000056	0.000575	排出係数更新	100.00	
A0052	三井物産(株)	0.000660	0.000831		100.00	
A0053	オリックス(株)	0.000577	メニューA 0.000399 <small>(参考値) 事業者全体</small>	メニュー別追加 注	100.00	
A0054	(株)エネサン関東	0.000308	0.000272		100.00	
A0055	みんな電力(株)	0.000273	0.000460		100.00	
A0056	(株)洗機電機	0.000592	0.000605		99.76	前年度の実績が数(排出係数に代替値を用いる事業者との取引のため)。
A0057	(株)サニックス	0.000481	0.000551		100.00	
A0058	(株)コンシェルジュ	0.000239	0.000227		98.36	発電・バランスンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0060	(株)アイ・グリッド・ソリューションズ	0.000587	0.000552		100.00	
A0061	サミットエナジー(株)	0.000591	0.000569		100.00	
A0062	リコージャパン(株)	0.000607	メニューA 0.000000 メニューB 0.000370 <small>(参考値) 事業者全体</small>	メニュー別追加 注	100.00	
A0063	(株)エネルギーソリューション・アンド・サービス	0.000725	0.000689	排出係数更新	100.00	
A0064	東京ガス(株)	0.000413	0.000382	排出係数更新	100.00	
A0065	テス・エンジニアリング(株)	0.000262	0.000496		99.05	発電・バランスンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0066	青梅ガス(株)	0.000516	0.000516		100.00	
A0067	(株)イーネットワークシステムズ	0.000411	0.000375		100.00	
A0068	(株)エネアーク関東(日)伊藤忠エネクスホームライフ関東(株)	0.000489	0.000453		100.00	
A0069	(株)東急パワーサプライ	0.000637	0.000601		100.00	
A0070	王子・伊藤忠エネクス電力販売(株)	0.000265	0.000563		100.00	
A0071	伊藤忠商事(株)	0.000661	0.000618		100.00	
A0072	(株)エコスタイル	0.000488	0.000540	排出係数更新	100.00	
A0073	入間ガス(株)	0.000516	0.000516		100.00	
A0074	テココカスタマーサービス(株)	0.000508	メニューA 0.000000 <small>(参考値) 事業者全体</small>	メニュー別追加 注	100.00	

3. 電気事業者別のCO₂排出係数(2016年度実績)(2017年12月21日環境省公表)(2/5)

2018年7月13日一部追加・修正(下線部は追加・修正箇所)

【小売電気事業者】

登録番号	電気事業者名	基準排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	備考	各事業者の 排出率(%)	把握できなかった理由
A0075	(株)とんでん	0.000406	0.000530		98.51	発電・バラシンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0076	新日鉄住金エンジニアリング(株)	0.000643	0.000639		100.00	
A0077	KDDI(株)	<u>0.000644</u>	<u>0.000667</u>	排出係数更新	99.08	需要・バラシンググループ内の融通受電のため。
A0079	イワタニ関東(株)	0.000544	0.000509		100.00	
A0080	イワタニ首都圏(株)	0.000532	0.000497		100.00	
A0081	サーラエナジー(株)	0.000322	0.000442		100.00	
A0082	(株)地球クラブ	0.000410	0.000510		100.00	
A0083	(株)エコア	0.000489	0.000453		100.00	
A0084	西部瓦斯(株)	0.000665	0.000629		100.00	
A0085	東邦ガス(株)	<u>0.000414</u>	<u>0.000378</u>	排出係数更新	100.00	
A0086	シナネン(株)	0.000503	メニューA 0.000000 注 0.000449	メニュー別追加	100.00	
A0087	(株)シナジヤパワー	<u>0.000484</u>	<u>0.000449</u>	排出係数更新	100.00	
A0088	川重商事(株)	0.000555	0.000519		100.00	
A0089	大一ガス(株)	0.000500	0.000551		100.00	
A0090	(株)リミックスポイント	0.000560	0.000524		99.95	バラシンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0091	大阪いずみ市民生活協同組合	0.000395	0.000359		100.00	
A0092	(株)中海テレビ放送	<u>0.000402</u>	<u>0.000493</u>	排出係数更新	100.00	
A0093	パシフィックパワー(株)	0.000394	0.000592		100.00	
A0094	(株)いちたかガスワン	0.000557	0.000621		98.95	発電・バラシンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0095	(株)ジェイコム足立	0.000585	0.000638		100.00	
A0096	(株)ジェイコムイースト	0.000585	0.000636		100.00	
A0097	(株)ジェイコム市川	0.000585	0.000638		100.00	
A0098	(株)ジェイコムウエスト	0.000590	0.000643		100.00	
A0099	(株)ジェイコム大田	0.000585	0.000637		100.00	
A0101	(株)ジェイコム川口戸田	0.000585	0.000638		100.00	
A0102	(株)ジェイコム北関東	0.000585	0.000637		100.00	
A0103	(株)ジェイコムさいたま	0.000585	0.000637		100.00	
A0104	(株)ジェイコム札幌	0.000595	0.000649		100.00	
A0105	(株)ジェイコム湘南	0.000585	0.000637		100.00	
A0106	(株)ジェイコム多摩	0.000585	0.000638		100.00	
A0107	(株)ジェイコム千葉	0.000585	0.000638		100.00	
A0108	(株)ジェイコム千葉セントラル	0.000585	0.000638		100.00	
A0109	(株)ジェイコム東葛葛飾	0.000585	0.000637		100.00	
A0110	(株)ジェイコム東京	0.000585	0.000637		100.00	
A0111	(株)ジェイコム東京北	0.000585	0.000638		100.00	
A0112	(株)ジェイコム中野	0.000585	0.000638		100.00	
A0113	(株)ジェイコム八王子	0.000585	0.000638		100.00	
A0114	(株)ジェイコム日野	<u>0.000586</u>	0.000638	排出係数更新(基礎排出係数)	100.00	
A0115	(株)ジェイコム船橋習志野	0.000585	0.000637		100.00	
A0116	(株)ジェイコム港新宿	0.000585	0.000638		100.00	
A0117	(株)ジェイコム南横浜	0.000585	0.000638		100.00	
A0118	(株)ジェイコム武蔵野三鷹	0.000585	0.000638		100.00	
A0119	土浦ケーブルテレビ(株)	0.000595	0.000638		100.00	
A0120	鹿角島電力(株)	<u>0.000560</u>	<u>0.000525</u>	排出係数更新	86.55	バラシンググループ内の融通受電のため。
A0121	太陽ガス(株)	0.000574	0.000553		100.00	
A0122	アーバンエナジー(株)	0.000387	メニューA 0.000000 メニューB <u>0.000293</u> 注 0.000458	メニュー別追加	100.00	
A0123	パワーシェアリング(株)	<u>0.000587</u>	<u>0.000551</u>	排出係数更新	(※)	
A0124	合同会社北上新電力	0.000357	0.000509		100.00	
A0125	パーパススマートパワー(株)	<u>0.000490</u>	<u>0.000454</u>	排出係数更新	100.00	
A0126	(株)タクマエナジー	0.000351	メニューA 0.000000 注 0.000437	メニュー別追加	100.00	
A0127	(株)スマートテック	<u>0.000562</u>	<u>0.000526</u>	排出係数更新	100.00	
A0128	水戸電力(株)	0.000405	0.000389		100.00	
A0130	丸紅新電力(株)	0.000362	0.000485		100.00	
A0133	奈良電力(株)	<u>0.000590</u>	<u>0.000555</u>	排出係数更新	100.00	
A0134	日立造船(株)	0.000203	メニューA 0.000000 注 0.000085	メニュー別追加	100.00	
A0135	大東ガス(株)	0.000516	0.000516		100.00	
A0136	パナソニック(株)	0.000353	0.000559		100.00	
A0137	アストモスエネルギー(株)	0.000633	0.000597		100.00	
A0138	(株)関西エネギソリューション	0.000443	メニューA 0.000000 注 0.000441	メニュー別追加	100.00	
A0140	MCリールエナジー(株)	0.000516	0.000516		100.00	
A0141	(株)北九州パワー	0.000164	0.000128		100.00	
A0142	武州瓦斯(株)	0.000516	0.000516		100.00	
A0143	(株)みらい電力	0.000401	0.000521		100.00	
A0144	大垣ガス(株)	0.000313	0.000439		100.00	
A0145	(株)藤田商店	0.000579	0.000543		100.00	
A0146	(株)ケーブルネット下関	0.000598	0.000652		100.00	
A0147	(株)ジェイコム九州	0.000595	0.000649		100.00	
A0149	(株)グローバルエンジニアリング	0.000544	0.000522		100.00	
A0150	九州エナジー(株)	<u>0.000510</u>	<u>0.000501</u>	排出係数更新	100.00	
A0151	株トヨタタービンシステム	0.000538	0.000503		100.00	
A0152	(株)S-CORE	0.000118	0.000000		97.61	発電・バラシンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0153	(株)エナリス・パワー・マーケティング	0.000488	0.000479		98.74	発電・バラシンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0154	(株)エヌパワー南九州	<u>0.000505</u>	<u>0.000480</u>	新規追加	100.00	
A0155	みやまスマートエネルギー(株)	0.000464	0.000579		100.00	
A0157	(株)生活クラブエナジー	0.000199	0.000334		100.00	
A0158	生活協同組合コープこうべ	0.000285	0.000541		98.72	バラシンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0159	(株)シーエナジー	0.000421	0.000480		100.00	
A0160	角栄ガス(株)	0.000516	0.000516		100.00	

3. 電気事業者別のCO₂排出係数(2016年度実績)(2017年12月21日環境省公表)(3/5)

2018年7月13日一部追加・修正(下線部は追加・修正箇所)

【小売電気事業者】						
登録番号	電気事業者名	最終排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	備考	最終年度の 発電率(%)	把握できなかった理由
A0161	京葉瓦斯(株)	0.000487	0.000566		98.33	発電・バラシシンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0162	凸版印刷(株)	0.000518	0.000482		100.00	
A0163	伊勢崎ガス(株)	0.000516	0.000516		100.00	
A0164	キヤノンマーケティングジャパン(株)	0.000516	0.000516		100.00	
A0165	(株)とっとり市民電力	0.000522	0.000562		100.00	
A0166	(株)イーエムアイ	0.000809	0.000773		100.00	
A0167	佐野瓦斯(株)	0.000516	0.000516		100.00	
A0168	桐生瓦斯(株)	0.000516	0.000516		100.00	
A0169	森の電力(株)	0.000071	0.000552		100.00	
A0170	大和ハウス工業(株)	0.000585	メニューA 0.000000 メニューB 0.000286 <small>(※原則)調整後係数</small> 0.000579	メニュー別追加 注	100.00	
A0171	(株)早稲田環境研究所	0.000536	0.000500	排出係数更新	100.00	
A0172	HTBエナジー(株)	0.000543	0.000507		100.00	
A0173	(株)アシストワンエナジー	0.000641	0.000396		100.00	
A0174	(株)サン・ビーム	0.000551	0.000515	排出係数更新	100.00	
A0175	(株)ソコウエナジー	0.000567	0.000531		100.00	
A0176	(株)日本エコシステム	0.000418	0.000382	排出係数更新(調整後排出係数)	100.00	
A0177	湘南電力(株)	0.000497	0.000565		97.10	発電・バラシシンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0178	大東エナジー(株)	0.000710	0.000687		100.00	
A0179	アンフィニ(株)	0.000443	0.000483		100.00	
A0180	(株)バイサイドエナジー	0.000584	0.000548		100.00	
A0181	鈴与商事(株)	0.000466	メニューA 0.000450 <small>(※原則)調整後係数</small> 0.000500	メニュー別追加 注	100.00	
A0183	(株)バランスハーツ	0.000556	0.000520		100.00	
A0184	フタミアーム&エナジー(株)	0.000570	0.000540		100.00	
A0185	(株)バルシシステム電力	0.000182	0.000701		100.00	
A0186	SBパワー(株)	0.000396	0.000601		100.00	
A0187	NFパワーサービス(株)	0.000554	0.000518		100.00	
A0188	ひおき地域エネルギー(株)	0.000534	0.000503	排出係数更新(基礎排出係数)	96.94	発電・バラシシンググループ内の融通受電であり、電源が特定できないため。
A0189	和歌山電力(株)	0.000577	0.000541		100.00	
A0190	(株)エナジードリーム	0.000554	0.000519		100.00	
A0191	(株)ドック電力	0.000156	0.000581	排出係数更新	100.00	
A0192	MBエナジー(株)	0.000954	0.000918		100.00	
A0193	丸電みらいエナジー(株)	0.000593	0.000497	排出係数更新	100.00	
A0194	(株)ミツロココージェッセル(旧:(株)ミツロコ)	0.000535	0.000500		100.00	
A0195	(株)フォレストパワー	0.000000	0.000507		100.00	
A0196	日高都市ガス(株)	0.000516	0.000516		100.00	
A0197	(株)アドベンテック	0.000472	0.000485		100.00	
A0199	ローカルエナジー(株)	0.000476	0.000743	排出係数更新	100.00	
A0200	エネックス(株)	0.000571	0.000545		100.00	
A0202	(株)G-Power	0.000000	0.000000		100.00	
A0203	(株)地域電力(旧:(株)SBN)	0.000545	0.000513	排出係数更新	100.00	
A0204	なでしこ電力(株)(旧:佐伯森林資源(株))	0.000086	0.000642	排出係数更新	100.00	
A0205	NECファンシティーズ(株)	0.000550	0.000514	排出係数更新	100.00	
A0206	日田グリーン電力(株)	0.000178	0.000710	排出係数更新	100.00	
A0207	(株)津軽あつぷるパワー	0.000054	0.000555		100.00	
A0208	(株)花巻銀河パワー	0.000181	0.000643	排出係数更新	100.00	
A0209	埼玉ガス(株)	0.000516	0.000516		100.00	
A0210	宮崎パワーライン(株)	0.000003	0.000495		100.00	
A0211	緑新電力(株)	0.000532	0.000496		100.00	
A0213	(株)USEN NETWORKS(旧:(株)U-NEXT)	0.000671	0.000635	排出係数更新	100.00	
A0214	(株)ITSパワー	0.000543	0.000501	新規追加	100.00	
A0215	(株)パネイル	0.000599	0.000563	排出係数更新	100.00	
A0216	(株)岩手ウインドパワー	0.000131	0.000449		100.00	
A0217	里山パワーワークス(株)	0.000095	0.000570	排出係数更新	100.00	
A0218	(株)中之条パワー	0.000317	0.000523		100.00	
A0219	(株)TOSMO	0.000585	0.000549	排出係数更新	100.00	
A0220	日産トレーディング(株)	0.000418	0.000455		98.55	発電・バラシシンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0221	JAG国際エナジー(株)	0.000572	0.000536	排出係数更新	97.86	バラシシンググループ融通分を代替しているため。
A0222	(株)長谷エアネクス	0.000451	0.000440		100.00	
A0223	伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株)	0.000489	0.000453		100.00	
A0224	(株)エネコブ	0.000558	0.000522	排出係数更新	100.00	
A0225	(株)東芝	0.000392	0.000526		97.49	発電・バラシシンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0226	ネクストエナジー・アンド・リソース(株)	0.000504	0.000000		96.30	バラシシンググループからの発電のため。
A0227	はりま電力(株)	0.000553	0.000525		99.12	発電・バラシシンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0228	(株)浜松新電力	0.000241	0.000689	排出係数更新	100.00	
A0229	せりふワットパワー(株)	0.000245	0.000000	新規追加	100.00	
A0231	(株)やまがた新電力	0.000297	0.000779	排出係数更新	100.00	
A0232	(一社)東松島みらいとし機構	0.000561	0.000525	排出係数更新	100.00	
A0233	志賀高原リゾート開発(株)	0.000000	0.000552		100.00	
A0234	(株)グリーンパワー大東	0.000366	0.000397	排出係数更新	100.00	
A0235	(株)Kenesエネルギーサービス	0.000388	0.000581	排出係数更新	100.00	
A0236	愛知電力(株)	0.000414	0.000516		100.00	
A0237	御所野織文電力(株)	0.000057	0.000539		100.00	
A0238	御所野織文パワー(株)	0.000094	0.000617	排出係数更新	100.00	
A0239	宮古新電力(株)	0.000395	0.000459	排出係数更新	100.00	
A0240	長崎地域電力(株)	0.000348	0.000545		100.00	
A0241	(株)エネアーク関西(旧:伊藤忠エネクスホームライフ関西(株))	0.000489	0.000453		100.00	
A0242	(株)NTTファシティーズ	0.000805	メニューA 0.000376 <small>(※原則)調整後係数</small> 0.000769	メニュー別追加 排出係数更新	100.00	
A0243	近畿電力(株)	0.000575	0.000539		100.00	
A0245	新電力おおいだ(株)	0.000358	0.000564		100.00	
A0246	(株)日本セレモニー	0.000695	0.000701		98.20	発電・バラシシンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。

3. 電気事業者別のCO₂排出係数(2016年度実績)(2017年12月21日環境省公表)(4/5)

2018年7月13日一部追加・修正(下線部は追加・修正箇所)

【小売電気事業者】

登録番号	電気事業者名	基準排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	備考	各事業者の 調整率(%)	把握できなかった理由
A0247	(株)ルポ	0.000617	0.000581		100.00	
A0248	(株)池見石油店	0.000705	0.000669		100.00	
A0249	滋賀電力(株)	0.000547	0.000511		100.00	
A0250	芝浦電力(株)	0.000376	0.000708		100.00	
A0251	本田技研工業(株)	0.000542	0.000507		98.29	発電・バランスグループ内の融通で電量が特定出来ないため。
A0252	エコエンジニアリング(株)	0.000550	0.000514		100.00	
A0253	いこま電力(株)	0.000535	0.000500		100.00	
A0254	スズキ電工(株)	0.000580	0.000544	排出係数更新	100.00	
A0256	(株)エーコーサービス	0.000156	0.000528		100.00	
A0257	サンロン(株)	0.000495	0.000459		100.00	
A0258	(株)富崎ガスリビング	0.000378	0.000514	排出係数更新	100.00	
A0259	山陰エレキ・アライアンス(株)	0.000399	0.000363	排出係数更新	100.00	
A0260	昭和商事(株)	0.000517	0.000475	新規追加	100.00	
A0261	ミライフ東日本(株)	0.000655	0.000619	排出係数更新	100.00	
A0264	山陰融雪工業(株)	0.000600	0.000558	新規追加	100.00	
A0265	武蔵ガス(株)	0.000516	0.000509	新規追加	100.00	
A0266	ツネインバリュース(株)	0.000197	0.000594	排出係数更新	99.78	バランスグループからの融通発電のため。
A0267	北海道電力(株)	0.000632	0.000640		100.00	
A0268	東北電力(株)	0.000545	0.000548		100.00	
A0269	東京電力エナジーパートナー(株)	0.000486	メニューA 0.000000 メニュー別追加 0.000474 注		100.00	
A0270	中部電力(株)	0.000495	0.000480		100.00	
A0271	北陸電力(株)	0.000640	0.000624		100.00	
A0272	関西電力(株)	0.000509	0.000493		100.00	
A0273	中国電力(株)	0.000691	0.000694		100.00	
A0274	四国電力(株)	0.000510	0.000529		100.00	
A0275	九州電力(株)	0.000462	0.000483		100.00	
A0276	沖縄電力(株)	0.000799	0.000789		100.00	
A0277	北日本石油(株)	0.000538	0.000503	排出係数更新	100.00	
A0278	千葉電力(株)	0.000555	0.000526	排出係数更新	100.00	
A0279	(株)坊っちゃん電力	0.000541	0.000514	排出係数更新	100.00	
A0281	(株)ネオインターナショナル	0.000537	0.000501		100.00	
A0282	(株)エナジー北海道	0.000489	0.000453		100.00	
A0283	足利ガス(株)	0.000516	0.000516		100.00	
A0284	(株)Misumi	0.000411	0.000375		100.00	
A0285	米子瓦斯(株)	0.000600	0.000558	新規追加	100.00	
A0286	(株)エルピオ	0.000607	0.000571	排出係数更新	100.00	
A0287	浜田ガス(株)	0.000600	0.000558	新規追加	100.00	
A0288	(株)アムティ電力	0.000532	0.000496	排出係数更新	100.00	
A0289	新電力フロンティア(株)	0.000633	0.000597	排出係数更新	100.00	
A0290	ふくのしま電力(株)	0.000626	0.000590	排出係数更新	99.76	バランスグループ内の融通発電であるため。
A0292	岡田建設(株)	0.000556	0.000520	排出係数更新	97.74	バランスグループ内の融通発電のため。
A0293	出雲ガス(株)	0.000600	0.000558	新規追加	100.00	
A0294	富山電力(株)	0.000629	0.000593	排出係数更新	100.00	
A0295	(一社)グリーン・市民電力	0.000411	0.000375		100.00	
A0296	(公財)東京都環境公社	0.000113	0.000586	排出係数更新	100.00	
A0300	(株)ファミリーネット・ジャパン	0.000557	0.000521	排出係数更新	100.00	
A0303	MKステーションズ(株)(旧:マンション高圧化ステーションズ(株))	0.000466	0.000430	排出係数更新	100.00	
A0305	フラー電力(株)	0.000601	0.000565	排出係数更新	100.00	
A0306	(株)NTBコミュニケーションデザイン	0.000529	0.000510	新規追加	100.00	
A0308	積水化学工業(株)	0.000300	0.000518	排出係数更新	100.00	
A0309	(株)ユニーエナジー	0.000637	0.000603	排出係数更新	100.00	
A0310	全農エネルギー(株)	0.000326	0.000290	排出係数更新	100.00	
A0311	(株)ハルエネ	0.000594	0.000559	排出係数更新	100.00	
A0312	三菱石油(株)	0.000526	0.000484	新規追加	100.00	
A0313	(株)リケン工業	0.000573	0.000538	排出係数更新	97.02	バランスグループ内の融通発電のため。
A0314	(株)ピロピロ	0.000558	0.000516	新規追加	100.00	
A0315	(株)おた電力	0.000516	0.000516		100.00	
A0317	伊藤忠プラントック(株)	0.000538	0.000502	排出係数更新	100.00	
A0318	(株)オカモト	0.000480	0.000444	排出係数更新	100.00	
A0320	熊本電力(株)	0.000644	0.000656	新規追加	100.00	
A0323	キタコー(株)	0.000384	0.000349		100.00	
A0324	生活協同組合コープしが	0.000395	0.000359		100.00	
A0327	東海電力(株)	0.000499	0.000463	排出係数更新	100.00	
A0328	西日本電力(株)	0.000499	0.000463	排出係数更新	100.00	
A0329	福岡電力(株)	0.000499	0.000463	排出係数更新	100.00	
A0330	香川電力(株)	0.000621	0.000586	排出係数更新	83.25	電気事業者には該当しない会社を通じて電気を融通したため。
A0331	札幌電力(株)	0.000499	0.000463	排出係数更新	100.00	
A0332	柱とうち電力(株)	0.000499	0.000457	新規追加	100.00	
A0333	東日本電力(株)	0.000499	0.000463	排出係数更新	100.00	
A0334	広島電力(株)	0.000499	0.000463	排出係数更新	100.00	
A0335	宮城電力(株)	0.000499	0.000463	排出係数更新	100.00	
A0336	(株)沖縄ガスニューパワー	0.000372	0.000647	排出係数更新	100.00	
A0337	諏訪瓦斯(株)	0.000313	0.000428	新規追加	100.00	
A0338	(株)アイキューフォーメーション	0.000522	0.000481	新規追加	100.00	
A0339	(株)ナカシマ	0.000546	0.000510	排出係数更新	100.00	
A0340	(株)エージーピー	0.000422	0.000386	排出係数更新	100.00	
A0342	(株)いちき串木野電力	0.000535	0.000521	排出係数更新	100.00	
A0343	四つ葉電力(株)	0.000543	0.000549	新規追加	100.00	
A0344	西武ガス(株)	0.000516	0.000509	新規追加	100.00	
A0345	松本ガス(株)	0.000313	0.000428	新規追加	100.00	
A0347	FTエナジー(株)	0.000556	0.000520	排出係数更新	100.00	
A0348	南部だんだんエナジー(株)	0.000202	0.000166	排出係数更新	100.00	
A0349	(株)エフエネ(旧:(株)エフティエナジー)	0.000633	0.000597	排出係数更新	95.62	バランスグループ内の融通で電量特定出来ないため。

3. 電気事業者別のCO₂排出係数(2016年度実績)(2017年12月21日環境省公表)(5/5)

2018年7月13日一部追加・修正(下線部は追加・修正箇所)

【小売電気事業者】

登録番号	電気事業者名	基準排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	備考	各事業者の把握率(%)	把握できなかった理由
A0350	こなんウルトラパワー(株)	0.000418	0.000383	排出係数更新	100.00	
A0351	(株)CHIBAむつざわエナジー	0.000421	0.000387	排出係数更新	100.00	
A0352	(株)関西空調	0.000589	0.000553	排出係数更新	53.33	排出係数を公表していない事業者からの受電のため。
A0353	奥出雲電力(株)	0.000198	0.000339	排出係数更新	100.00	
A0354	清水建設(株)	0.000560	0.000524	排出係数更新	100.00	
A0355	中央電力(株)	0.000606	0.000571	排出係数更新	100.00	
A0356	(株)成田善取エネルギー	0.000329	0.000460	排出係数更新	100.00	
A0359	東播磨事(株)	0.000468	0.000432	排出係数更新	100.00	
A0360	グローバルソリューションサービス(株)	0.000544	0.000502	新規追加	100.00	
A0362	(株)CWS	0.000349	0.000358	排出係数更新	100.00	
A0364	ふくしま新電力(株)	0.000556	0.000520	排出係数更新	100.00	
A0365	ズームエナジージャパン合同会社	0.000545	0.000551	新規追加	100.00	
A0366	(株)エクスライフサービス	0.000489	0.000453		100.00	
A0367	ネイチャーエナジー小国(株)	0.000334	0.000307	排出係数更新	100.00	
A0368	リエスパワーネクス(株)	0.000548	0.000420	排出係数更新(調整後排出係数)	100.00	
A0369	京都生活協同組合	0.000535	0.000494	新規追加	100.00	
A0371	関西エネルギーパワー(株)	0.000575	0.000546	排出係数更新	100.00	
A0372	(株)グリムスパワ	0.000657	0.000621	排出係数更新	97.50	需要パワリンググループ内の融通受電のため。
A0373	日本フアンティソリューション(株)	0.000525	0.000483	新規追加	100.00	
A0374	(株)登米電力	0.000574	0.000545	新規追加	100.00	
A0376	自然電力(株)	0.000517	0.000000	メニューA	89.42	パワリンググループ内の融通で電源が特定出来ないため。
A0378	本庄ガス(株)	0.000516	0.000509	新規追加	100.00	
A0379	(株)フイット	0.000607	0.000611	新規追加	100.00	
A0380	青森県民エナジー(株)(旧:未来エナジーホールディングス(株))	0.000026	0.000577	新規追加	100.00	
A0381	国際航空(株)	0.000577	0.000583	新規追加	100.00	
A0382	ローカルでんき(株)	0.000572	0.000564	新規追加	100.00	
A0383	(株)阿治産業	0.000485	0.000446	新規追加	100.00	
A0384	福島電力(株)	0.000569	0.000543	新規追加	100.00	
A0385	岡山電力(株)	0.000511	0.000509	新規追加	96.97	前年度実績排出係数を持たない新規参入事業者からの受電のため。パワリンググループ内の融通で電源が特定できなかったため。
A0386	ミライフ(株)	0.000607	0.000607	新規追加	100.00	
A0387	(株)源光トッパライン	0.000543	0.000549	新規追加	100.00	
A0388	美天(株)	0.000633	0.000591	新規追加	100.00	
A0389	うすきエネルギー(株)	0.000545	0.000537	新規追加	100.00	
A0391	富士見森のエネルギー(株)	0.000416	0.000408	新規追加	100.00	
A0392	岐阜電力(株)	0.000669	0.000686	新規追加	100.00	
A0393	格安電力(株)	0.000700	0.000718	新規追加	100.00	
A0395	テクノエフアンドシー(株)	0.000505	0.000463	新規追加	100.00	
A0396	(株)エスケウエナジー	0.000474	0.000470	新規追加	100.00	
A0397	名南共同エネルギー(株)	0.000655	0.000639	新規追加	100.00	
A0398	Apaman Energy(株)	0.000583	0.000600	新規追加	100.00	
A0399	アマリーエナジー合同会社	0.000781	0.000786	新規追加	100.00	
A0400	AG Energy(株)	0.000723	0.000726	新規追加	100.00	
A0401	アンビントエナジー・ジャパン合同会社	0.000543	0.000549	新規追加	100.00	
A0402	(株)JOKYO油電力	0.000628	0.000638	新規追加	100.00	
A0403	大分ケーブルテレコム(株)	0.000521	0.000604	新規追加	100.00	
A0405	Just Energy Japan合同会社	0.000814	0.000772	新規追加	100.00	
A0406	生活協同組合コープみらい	0.000531	0.000489	新規追加	100.00	
A0407	豊厚川電力(株)	0.000681	0.000697	新規追加	100.00	
A0408	(株)広島一電	0.000560	0.000555	新規追加	100.00	
A0409	大阪府民電力(株)	0.000676	0.000693	新規追加	100.00	
A0410	石川電力(株)	0.000694	0.000716	新規追加	100.00	
A0414	(株)Optimized Energy	0.000512	0.000470	新規追加	(※)	
A0415	せと電力(株)	0.000507	0.000505	新規追加	100.00	
A0416	(株)ネクシース・ゼロ	0.000543	0.000549	新規追加	100.00	
A0417	地元電力(株)	0.000543	0.000549	新規追加	100.00	
A0418	横浜ウオーター(株)	0.000348	0.000554	新規追加	100.00	
A0419	スマートエナジー静岡(株)	0.000387	0.000345	新規追加	100.00	
A0420	そろましがらみ合同会社	0.000420	0.000382	新規追加	100.00	
A0424	新潟県民電力(株)	0.000512	0.000638	新規追加	100.00	
A0427	Mシティ電力(株)	0.000711	0.000733	新規追加	100.00	
A0428	(株)トーセキ	0.000887	0.000918	新規追加	100.00	
A0433	あくびコミュニケーションズ(株)	0.000512	0.000678	新規追加	100.00	
A0435	いこま市民パワー(株)	0.000457	0.000435	新規追加	100.00	
A0436	(株)コープでんき東北	0.000382	0.000320	新規追加	100.00	
A0438	長野都市ガス(株)	0.000314	0.000428	新規追加	100.00	
A0439	上田ガス(株)	0.000313	0.000428	新規追加	100.00	
A0440	(株)エネネット	0.000676	0.000634	新規追加	100.00	
A0451	Coopテラスたがわ(株)	0.000446	0.000416	新規追加	100.00	
A0454	(株)まち未来製作所	0.000342	0.000543	新規追加	100.00	

(※) 通達に定める方法によって算定することが困難であるため代替値を使用した

【一般送配電事業者】

番号	電気事業者名	基準排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	備考	各事業者の把握率(%)	把握できなかった理由
1	北海道電力(株)	0.000518	0.000518		—	—
2	東北電力(株)	0.000518	0.000518		—	—
3	東京電力パワーグリッド(株)	0.000518	0.000518		—	—
4	中部電力(株)	0.000518	0.000518		—	—
5	北陸電力(株)	0.000518	0.000518		—	—
6	関西電力(株)	0.000518	0.000518		—	—
7	中国電力(株)	0.000518	0.000518		—	—
8	四国電力(株)	0.000518	0.000518		—	—
9	九州電力(株)	0.000518	0.000518		—	—
10	沖縄電力(株)	0.000705	0.000706		100.00	—

※ 沖縄電力以外の一般送配電事業者は全国平均係数を代用して報告・公表

※ 「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)ー平成28年度実績ーH29.12.21環境省・経済産業省公表」(環境省)(https://ghg-santekohya.env.go.jp/files/calc/h30_coefficient_rev.pdf)を参照して作成

代替値	0.000512
-----	----------

参考：電気事業者別CO₂排出係数年度推移 (t-CO₂/kWh)

使用年度 電気事業者	2013年度版 実排出	2013年度版 調整後排出	2014年度版 実排出	2014年度版 調整後排出	2015年度版 実排出	2015年度版 調整後排出	2016年度版 実排出	2016年度版 調整後排出	2017年度版 実排出	2017年度版 調整後排出	2017/2016 実排出	2017/2016 調整後排出
北海道電力(株)	0.000688	0.000680	0.000678	0.000681	0.000683	0.000688	0.000669	0.000676	0.000632	0.000640	94%	95%
東北電力(株)	0.000600	0.000560	0.000591	0.000589	0.000571	0.000573	0.000556	0.000559	0.000545	0.000548	98%	98%
東京電力エナジーパートナー(株)	0.000525	0.000406	0.000531	0.000522	0.000505	0.000496	0.000500	0.000491	0.000486	0.000474	97%	97%
中部電力(株)	0.000516	0.000373	0.000513	0.000509	0.000497	0.000494	0.000486	0.000482	0.000485	0.000480	100%	100%
北陸電力(株)	0.000663	0.000494	0.000630	0.000628	0.000647	0.000640	0.000627	0.000615	0.000640	0.000624	102%	101%
関西電力(株)	0.000514	0.000475	0.000522	0.000516	0.000531	0.000523	0.000509	0.000496	0.000509	0.000493	100%	99%
中国電力(株)	0.000738	0.000672	0.000719	0.000717	0.000706	0.000709	0.000697	0.000700	0.000691	0.000694	99%	99%
丸紅新電力(株)	0.000378	0.000324	0.000389	0.000418	0.000482	0.000487	0.000411	0.000493	0.000362	0.000485	88%	98%
(株)エネット	0.000429	0.000427	0.000423	0.000443	0.000454	0.000462	0.000418	0.000441	0.000405	0.000441	97%	100%
エネサーブ(株)	0.000616	0.000482	0.000617	0.000245	0.000634	0.000206	0.000364	0.000130	0.000493	0.000500	135%	385%
(株)F-Power	0.000525	0.000445	0.000491	0.000401	0.000454	0.000398	0.000480	0.000358	0.000476	0.000467	-	-
日本ロジテック協同組合	0.000486	0.000256	0.000405	0.000290	0.000386	0.000552	-	-	-	-	-	-
平均(合計/当該電気事業者数)	0.000558	0.000486	0.000555	0.000558	0.000538	0.000547	0.000520	0.000495	0.000525	0.000538	101%	109%

※網掛けの部分は、その年度に原子力機構では契約していない電気事業者である。

※「電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)ー平成28年度実績ー H29.12.1環境省・経済産業省公表」
(環境省) (https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calculations/h30_coefficient_rev.pdf)を編集して作成

国際単位系 (SI)

表1. SI基本単位

基本量	SI基本単位	
	名称	記号
長さ	メートル	m
質量	キログラム	kg
時間	秒	s
電流	アンペア	A
熱力学温度	ケルビン	K
物質량	モル	mol
光度	カンデラ	cd

表2. 基本単位を用いて表されるSI組立単位の例

組立量	SI組立単位	
	名称	記号
面積	平方メートル	m ²
体積	立方メートル	m ³
速度	メートル毎秒	m/s
加速度	メートル毎秒毎秒	m/s ²
波数	毎メートル	m ⁻¹
密度, 質量密度	キログラム毎立方メートル	kg/m ³
面積密度	キログラム毎平方メートル	kg/m ²
比体積	立方メートル毎キログラム	m ³ /kg
電流密度	アンペア毎平方メートル	A/m ²
磁界の強さ	アンペア毎メートル	A/m
量濃度 ^(a) , 濃度	モル毎立方メートル	mol/m ³
質量濃度	キログラム毎立方メートル	kg/m ³
輝度	カンデラ毎平方メートル	cd/m ²
屈折率 ^(b)	(数字の)	1
比透磁率 ^(b)	(数字の)	1

(a) 量濃度 (amount concentration) は臨床化学の分野では物質濃度 (substance concentration) ともよばれる。
 (b) これらは無次元量あるいは次元1をもつ量であるが、そのことを表す単位記号である数字の1は通常は表記しない。

表3. 固有の名称と記号で表されるSI組立単位

組立量	SI組立単位			
	名称	記号	他のSI単位による表し方	SI基本単位による表し方
平面角	ラジアン ^(b)	rad	1 ^(b)	m/m
立体角	ステラジアン ^(b)	sr ^(e)	1 ^(b)	m ² /m ²
周波数	ヘルツ ^(d)	Hz		s ⁻¹
力	ニュートン	N		m kg s ⁻²
圧力, 応力	パスカル	Pa	N/m ²	m ⁻¹ kg s ⁻²
エネルギー, 仕事, 熱量	ジュール	J	N m	m ² kg s ⁻²
仕事率, 工率, 放射束	ワット	W	J/s	m ² kg s ⁻³
電荷, 電気量	クーロン	C		s A
電位差 (電圧), 起電力	ボルト	V	W/A	m ² kg s ⁻³ A ⁻¹
静電容量	ファラド	F	C/V	m ² kg ⁻¹ s ⁴ A ²
電気抵抗	オーム	Ω	V/A	m ² kg s ⁻³ A ⁻²
コンダクタンス	ジーメン	S	A/V	m ² kg ⁻¹ s ³ A ²
磁束	ウェーバ	Wb	Vs	m ² kg s ⁻² A ⁻¹
磁束密度	テスラ	T	Wb/m ²	kg s ⁻² A ⁻¹
インダクタンス	ヘンリー	H	Wb/A	m ² kg s ⁻² A ⁻²
セルシウス温度	セルシウス度 ^(e)	°C		K
光路長	ルーメン	lm	cd sr ^(e)	cd
放射線量	ルクス	lx	lm/m ²	m ⁻² cd
放射性核種の放射能 ^(f)	ベクレル ^(d)	Bq		s ⁻¹
吸収線量, 比エネルギー分与, カーマ	グレイ	Gy	J/kg	m ² s ⁻²
線量当量, 周辺線量当量, 方向性線量当量, 個人線量当量	シーベルト ^(g)	Sv	J/kg	m ² s ⁻²
酸素活性化	カタール	kat		s ⁻¹ mol

(a) SI接頭語は固有の名称と記号を持つ組立単位と組み合わせても使用できる。しかし接頭語を付した単位はもはやコヒーレントではない。
 (b) ラジアンとステラジアンは数字の1に対する単位の特別な名称で、量についての情報をつたえるために使われる。実際には、使用する時には記号rad及びsrが用いられるが、習慣として組立単位としての記号である数字の1は明示されない。
 (c) 測光学ではステラジアンという名称と記号srを単位の表し方の中に、そのまま維持している。
 (d) ヘルツは周期現象についてのみ、ベクレルは放射性核種の統計的過程についてのみ使用される。
 (e) セルシウス度はケルビンの特別な名称で、セルシウス温度を表すために使用される。セルシウス度とケルビンの単位の大きさは同一である。したがって、温度差や温度間隔を表す数値はどちらの単位で表しても同じである。
 (f) 放射性核種の放射能 (activity referred to a radionuclide) は、しばしば誤った用語で"radioactivity"と記される。
 (g) 単位シーベルト (PV, 2002, 70, 205) についてはCIPM勧告2 (CI-2002) を参照。

表4. 単位の中に固有の名称と記号を含むSI組立単位の例

組立量	SI組立単位		
	名称	記号	SI基本単位による表し方
粘力のモーメント	パスカル秒	Pa s	m ⁻¹ kg s ⁻¹
表面張力	ニュートンメートル	N m	m ² kg s ⁻²
角速度	ニュートン毎メートル	N/m	kg s ⁻²
角加速度	ラジアン毎秒	rad/s	m m ⁻¹ s ⁻¹ = s ⁻¹
熱流密度, 放射照度	ラジアン毎秒毎秒	rad/s ²	m m ⁻¹ s ⁻² = s ⁻²
熱容量, エントロピー	ワット毎平方メートル	W/m ²	kg s ⁻³
比熱容量, 比エントロピー	ジュール毎ケルビン	J/K	m ² kg s ⁻² K ⁻¹
比エネルギー	ジュール毎キログラム毎ケルビン	J/(kg K)	m ² s ⁻² K ⁻¹
熱伝導率	ジュール毎キログラム	J/kg	m ² s ⁻²
体積エネルギー	ワット毎メートル毎ケルビン	W/(m K)	m kg s ⁻³ K ⁻¹
電界の強さ	ジュール毎立方メートル	J/m ³	m ⁻¹ kg s ⁻²
電荷密度	ジュール毎立方メートル	V/m	m kg s ⁻³ A ⁻¹
電表面電荷	クーロン毎立方メートル	C/m ³	m ⁻³ s A
電束密度, 電気変位	クーロン毎平方メートル	C/m ²	m ⁻² s A
誘電率	クーロン毎平方メートル	C/m ²	m ² s A
透磁率	ファラド毎メートル	F/m	m ³ kg ⁻¹ s ⁴ A ²
モルエネルギー	ヘンリー毎メートル	H/m	m kg s ⁻² A ⁻²
モルエントロピー, モル熱容量	ジュール毎モル	J/mol	m ² kg s ⁻² mol ⁻¹
照射線量 (X線及びγ線)	ジュール毎モル毎ケルビン	J/(mol K)	m ² kg s ⁻² K ⁻¹ mol ⁻¹
吸収線量率	クーロン毎キログラム	C/kg	kg ⁻¹ s A
放射線強度	グレイ毎秒	Gy/s	m ² s ⁻³
放射輝度	ワット毎ステラジアン	W/sr	m ⁴ m ⁻² kg s ⁻³ = m ² kg s ⁻³
酵素活性濃度	ワット毎平方メートル毎ステラジアン	W/(m ² sr)	m ² m ⁻² kg s ⁻³ = kg s ⁻³
	カタール毎立方メートル	kat/m ³	m ³ s ⁻¹ mol

表5. SI接頭語

乗数	名称	記号	乗数	名称	記号
10 ²⁴	ヨタ	Y	10 ¹	デシ	d
10 ²¹	ゼタ	Z	10 ²	センチ	c
10 ¹⁸	エクサ	E	10 ³	ミリ	m
10 ¹⁵	ペタ	P	10 ⁶	マイクロ	μ
10 ¹²	テラ	T	10 ⁹	ナノ	n
10 ⁹	ギガ	G	10 ¹²	ピコ	p
10 ⁶	メガ	M	10 ⁻¹⁵	フェムト	f
10 ³	キロ	k	10 ⁻¹⁸	アト	a
10 ²	ヘクト	h	10 ⁻²¹	ゼプト	z
10 ¹	デカ	da	10 ⁻²⁴	ヨクト	y

表6. SIに属さないが、SIと併用される単位

名称	記号	SI単位による値
分	min	1 min=60 s
時	h	1 h=60 min=3600 s
日	d	1 d=24 h=86 400 s
度	°	1°=(π/180) rad
分	'	1'=(1/60)°=(π/10 800) rad
秒	"	1"=(1/60)'=(π/648 000) rad
ヘクタール	ha	1 ha=1 hm ² =10 ⁴ m ²
リットル	L, l	1 L=1 l=1 dm ³ =10 ³ cm ³ =10 ⁻³ m ³
トン	t	1 t=10 ³ kg

表7. SIに属さないが、SIと併用される単位で、SI単位で表される数値が実験的に得られるもの

名称	記号	SI単位で表される数値
電子ボルト	eV	1 eV=1.602 176 53(14)×10 ⁻¹⁹ J
ダルトン	Da	1 Da=1.660 538 86(28)×10 ⁻²⁷ kg
統一原子質量単位	u	1 u=1 Da
天文単位	ua	1 ua=1.495 978 706 91(6)×10 ¹¹ m

表8. SIに属さないが、SIと併用されるその他の単位

名称	記号	SI単位で表される数値
バール	bar	1 bar=0.1MPa=100 kPa=10 ⁵ Pa
水銀柱ミリメートル	mmHg	1 mmHg=133.322Pa
オングストローム	Å	1 Å=0.1nm=100pm=10 ⁻¹⁰ m
海里	M	1 M=1852m
バイン	b	1 b=100fm ² =(10 ¹² cm ²) ² =10 ⁻²⁸ m ²
ノット	kn	1 kn=(1852/3600)m/s
ネーパ	Np	SI単位との数値的関係は、 対数量の定義に依存。
ベレル	B	
デシベル	dB	

表9. 固有の名称をもつCGS組立単位

名称	記号	SI単位で表される数値
エルグ	erg	1 erg=10 ⁻⁷ J
ダイン	dyn	1 dyn=10 ⁻⁵ N
ポアズ	P	1 P=1 dyn s cm ⁻² =0.1Pa s
ストークス	St	1 St=1cm ² s ⁻¹ =10 ⁻⁴ m ² s ⁻¹
スチルブ	sb	1 sb=1cd cm ⁻² =10 ⁴ cd m ⁻²
フオト	ph	1 ph=1cd sr cm ⁻² =10 ⁴ lx
ガリ	Gal	1 Gal=1cm s ⁻² =10 ⁻² ms ⁻²
マクスウェル	Mx	1 Mx=1 G cm ² =10 ⁻⁸ Wb
ガウス	G	1 G=1Mx cm ⁻² =10 ⁻⁴ T
エルステッド ^(a)	Oe	1 Oe _e =(10 ³ /4π)A m ⁻¹

(a) 3元系のCGS単位系とSIでは直接比較できないため、等号「△」は対応関係を示すものである。

表10. SIに属さないその他の単位の例

名称	記号	SI単位で表される数値
キュリー	Ci	1 Ci=3.7×10 ¹⁰ Bq
レントゲン	R	1 R=2.58×10 ⁻⁴ C/kg
ラド	rad	1 rad=1cGy=10 ⁻² Gy
レム	rem	1 rem=1 cSv=10 ⁻² Sv
ガンマ	γ	1 γ=1 nT=10 ⁻⁹ T
フェルミ	f	1 フェルミ=1 fm=10 ⁻¹⁵ m
メートル系カラット		1 メートル系カラット=0.2 g=2×10 ⁻⁴ kg
トル	Torr	1 Torr=(101 325/760) Pa
標準大気圧	atm	1 atm=101 325 Pa
カロリ	cal	1 cal=4.1858J (「15°C」カロリ), 4.1868J (「IT」カロリ), 4.184J (「熱化学」カロリ)
マイクロ	μ	1 μ=1μm=10 ⁻⁶ m

